

第八十四回帝國議會 豫算委員會會議錄(速記)第六回

昭和十九年一月二十六日(水曜日)午前十時  
十二分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 島田 俊雄君

理事小笠原三九郎君 理事紅露 昭君

理事中井川 浩君 理事永野 護君

理事野田 武夫君 理事羽田武嗣郎君

理事松浦周太郎君

池田 秀雄君

今井 新造君

飯塚 茂君

植松 練麿君

上田 孝吉君

小山倉之助君

太田 正孝君

加藤鎌五郎君

勝田 永吉君

片山 一男君

岸田 正記君

窪井 義道君

木暮武太夫君

佐々井一晁君

篠原 陸朗君

田嶋榮次郎君

東郷 實君

中 助松君

南條 德男君

原口 純允君

花村 四郎君

藤本 捨助君

松岡 俊三君

松永 壽雄君

出席國務大臣左ノ如シ

內閣總理大臣兼  
陸軍大臣軍需大臣

厚生大臣

司法大臣

海軍大臣

大藏大臣

國務大臣

運輸通信大臣

內務大臣

大東亞大臣

農商大臣

國務大臣

文部大臣

子爵岡部

長景君

星野 直樹君

森山 銳一君

入江 俊郎君

天羽 英二君

村田 五郎君

井口 貞夫君

橋本 政實君

武藤 富男君

技術院總裁 子爵井上匡四郎君

技術院次長 和田 小六君

技術院參技官 堀岡 正家君

外務省政務局長 松本 俊一君

外務省戰時經濟局長 上村 伸一君

松村 光三君 松本治一郎君  
牧野 良三君 三善 信房君  
渡邊善十郎君

東條 英機君

小泉 親彦君

岩村 通世君

嶋田繁太郎君

賀屋 興宣君

岸 信介君

八田 嘉明君

安藤紀三郎君

青木 一男君

山崎達之輔君

大崎 唯男君

長景君

星野 直樹君

森山 銳一君

入江 俊郎君

天羽 英二君

村田 五郎君

井口 貞夫君

橋本 政實君

武藤 富男君

技術院總裁 子爵井上匡四郎君

技術院次長 和田 小六君

技術院參技官 堀岡 正家君

外務省政務局長 松本 俊一君

外務省戰時經濟局長 上村 伸一君

外務省條約局長 安東 義良君  
外務省調查局長 山田芳太郎君  
外務書記官 佐藤信太郎君

內務省地方局長 新居善太郎君

內務省警保局長 町村 金五君

內務省國土局長 宮村才一郎君

內務省管理局長 竹內 德治君

內務書記官 小林 千秋君

防空總本部總務局長 上田 誠一君

防空總本部業務局長 高野 源進君

朝鮮總督府財務局長 水田 直昌君

大藏省總務局長 谷口 恒二君

大藏省主稅局長 松田 令輔君

大藏省國民貯蓄局長 松隈 秀雄君

大藏省理財局長 氏家 武君

大藏省外資局長 田中 豐君

大藏省調查官 久保 文藏君

大藏省銀行保險局長 野田 卯一君

大藏書記官 山際 正道君

大藏書記官 前田 克己君

大藏書記官 窪谷 直光君

大藏書記官 湯地謹爾郎君

大藏書記官 正示啓次郎君

大藏書記官 福田 趙夫君

專賣局長官 濱田 幸雄君

陸軍主計中將 栗橋 保正君

陸軍主計大佐 二宮 義清君

陸軍主計大佐 遠藤 武勝君

海軍主計大佐 佐藤 裕雄君

海軍中將 澤本 賴雄君

岡 敬純君

海軍主計中將 山本丑之助君  
海軍主計大佐 山沖 芳市君  
司法省民事局長 齋藤 直一君

司法省刑事局長 池田 亮君

司法省刑政局長 正木 亮君

司法省調查官 佐藤 藤佐君

司法書記官 石田 壽君

厚生省健民局長 武井 群嗣君

軍事保護院副總裁 藤原 孝夫君

厚生書記官 青柳 一郎君

大東亞次官 山本 熊一君

大東亞省滿洲事務局長 竹內 新平君

大東亞省支那事務局長 今吉 敏雄君

大東亞省南方事務局長 宇佐美珍彦君

農商次官 水野伊太郎君

農商省總務局長 石黑 武重君

農商省農政局長 重政 誠之君

農商省山林局長 石井英之助君

農商省水產局長 西村 彰一君

農商省纖維局長 井出 正孝君

農商省生活物資局長 山口 喬君

食糧管理局長 湯河 元威君

農商書記官 笹山茂太郎君

軍需省機械局長 美濃部洋次君

軍需省燃料局長 菱沼 勇君

軍需書記官 北野 重雄君

運輸通信次官 赤間 文三君

運輸通信省鐵道總局長官 長崎惣之助君

昭和十九年一月二十六日

鐵道監 平山 孝君  
運輸通信省海 妹尾 知之君  
運輸通信省海運 山縣 昌夫君  
運輸通信省海運 小松 茂君  
運輸通信省海運 小林 武治君  
運輸通信省海運 中村 純一君  
運輸通信省海運 東 博仁君  
運輸通信省海運 岡崎 誠一君  
運輸通信省海運 古池 信三君  
運輸通信省海運 古池 信三君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十九年度歳入歳出總豫算案並昭和十九年度特別會計歳入歳出總豫算案

豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件

(特産第一號)特殊財産資金豫算追加案

(第一號)昭和十八年度歳入歳出總豫算追加案

加案

(特第一號)昭和十八年度特別會計歳入歳出豫算追加案

加案

(第一號)昭和十九年度歳入歳出總豫算追加案

加案

(特第一號)昭和十九年度特別會計歳入歳出豫算追加案

加案

(追第一號)豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件

(第二號)昭和十九年度歳入歳出總豫算追加案

加案

(特第二號)昭和十九年度特別會計歳入歳出豫算追加案

加案

○島田委員長 是ヨリ開會致シマス、質疑ヲ繼續致シマス——四王天延孝君

○四王天委員 總理大臣ノ施設方針ニ關スル御演説並ニ其ノ後本委員會ニ於ケル委員諸君ノ質問ニ對スル御答辯ヲ伺ヒマス、

世界ニ冠タル國體ヲ有スル大和民族ガ、玉碎尚ホ辭セザル盡忠報國ノ精神力ノ上ニ立ツテ勇往邁進スル時、我々ノ前途ニハ唯最後ノ勝利アルノミト斷ゼラレ、國民志氣ノ昂揚ヲ促サレマシタコトハ、洵ニ我々ノ意ヲ強ウスル所デアリマス、併シナガラ靜カニ實情ヲ考ヘテ見マス、國民ノ大部分ハ必勝ノ信念ヲ堅持シ、戰鬪配置ニ就イテ居ルニ拘ラズ、一部知識階級、指導階級ノ中ニハ、第三國人ナドカラ流レ込ム所ノ情報ニ神經ヲ尖ラセテ、同盟國ノ危機ヲ誇大ニ盲信シ、必勝ノ信念ニ動搖ヲ來シテ居ルノデハナイカト見エル人モアルデアリマス、ソレガ市井普通ノ人デアラバ兎モ角、有識者、上層ノ者デアラダケニ影響ハ大キイト思フノデアリマス、自然界ヲ見マシテモ、氣象ノ變化ハ上層部カラ起ルノデアリマシテ、成層圈等ニ昇ツテ見レバ、何時モ朗カデ太陽ハ照リ輝イテ居ルノデアリマス、併シナガラ下ノ方ニハ今日ノ如ク暗雲低迷シ、雨ノ降ルコトモアルデアリマス、而シテ氣象ノ變化ハ徐々ニ上層カラ段々ト起ツテ來ルモノデアリマシテ、是レ高層氣象ノ觀測ヲ重視シ、之ニ依ツテ氣象ヲ判斷シテ誤リガナイノデアリマス、人間界ニ於キマシテモ是ト同様ニ、知識階級、指導階級ノ思想動向ト云フモノハ、斯様ナ譯デ最モ注意スベキデアルト思フノデアリマス、是レ等ノ人々ニシツカリシテ貫ク爲ニハ、國體論ヲ述ベルコトモ固ヨリ必要デアリ、前線將兵ノ玉碎ヲハツキリ認メサセルコトモ必要デアリマス、ソレダケデハ十分デハナイ、更ニ第三國人ノ言説ニハ敵ノ謀略宣傳ガ加ハツテ居ルコトヲハツキリ知ラシテ、免疫ヲサセテ置クコトガ有效デア

ルト思フノデアリマス、聞ク所ニ依リマスト、昨年東京ニ居リマシタ某國ノ通信者ノ人並ニ中立關係ニアル某國ノ官吏ガ、其ノ本國ニ報告ヲシタモノニ、日本人ハ案外神經ガ細イカラ、神經戰ヲ掛ケルノニ好都合デアルト言ツタサウデアリマス、之ニ反シ此ノ程「ドイツ」責任ノ有ル官吏カラ聽イタノデアリマスガ、「ドイツ」デハ國民ニ短波無線ノ聽取ヲ必ズシモ嚴禁シテ居ラス、ソレハ前大戰ノ末期ニ敵ノ謀略ニ騙サレテ酷イ目ニ遭ツタコトヲ忘レテハ居ナイノト、謀略宣傳ニ長ズル「ユダヤ」人ガ何者デアラカ、如何ナル手ヲ打ツカト云フコトヲ國民ハ能ク承知シテ居ルカラデアルト云フ話ヲ聽キマシテ、洵ニ美シク思ツタノデアリマス、我が國モ一方主觀ニハ神經ヲ太ク、必勝ノ信念ヲ持タセルニ努メルト同時ニ、流レ込ム毒物ニ免疫トナルヤウナ處置ヲモウ少シ思切ツテ講ジテハ如何デアラウカ、今日ハマガ宜シイガ、歐洲ノ戰況、太平洋ノ戰局、日本本土ノ空襲等、種々場合ヲ想定致シマシテ、之ニ應ズル思想上萬全ノ防衛策ヲ講ジ置クノデアイト、如何ニ只今生産ノ擴充、戰力ノ増強ノ段取りヲシテ居リマシテモ、萬一思想的缺陷ガ現ハレテ來マス時ニハ、今日此處ニ冷靜ニ論議シ、準備シテ置イタコトモ、鵝ノ嘴ト食ヒ違フコトガナイトハ限ラスト思フノデアリマス、皇國內ノコトハ何等憂慮スル必要ナシト斯ウ考ヘル人モアルカモ知レマセヌガ、中谷君ガ此ノ席デ御述ベニナツタ如ク、上滑リノ戰意昂揚ハ甚ダ危險デア

ル、風ノ吹キ廻シニ依ツテハ又滑リ落チル虞ガナイトモ限ラスト思ヒマス、之ニ關シテ政府ノ御所見ヲ承リタイノデアリマス、尙ホ次ニハ是ヨリモ最モ注意スベキハ大東亞共榮圈內ノ民衆ノ動向デアリマス、先般ノ大東亞會議ハ世界歴史ノ大成功デア

ノデアリマス、而シテ如何ナル人種ガ世界ノ中人種ノ差別ヲ喧シク言フカト申シマスルト、是ハ「ユダヤ」人種デアリマス、御承知ノ通り彼等ハ自己ヲ神ノ選民ト稱シ、男子生レテ八日目ニ陰莖ニ手術ヲ施シ、サウシテ人種ノ差別ヲハツキリシ、他ノ民族ヲ以テ獸類ニモ等シイモノト稱シ、又世界ハ唯「ユダヤ」人ノ爲ニ造ラレタルモノナリト云フコトヲハツキリ書イテ、之ヲ教ヘ込シテ居ルノデアリマス、是ハ我が國ノ八紘爲宇ノ大理想トハ對蹠的ニ立ツモノデアリマシテ、實ニ利己的、功利的米英思想ノ根柢ヲ成スノハ是デアリマシテ、萬邦ヲシテ各、其ノ所ヲ得セシメ、兆民ヲシテ悉ク其ノ堵ニ安シゼシムルト云フヤウナ大理想トハ、實ニ比較ニナラナイ天地霄壤ノ差ノアル差別思想デアリマス、之ヲ叩キ付ケナイ内ハ、世界ニ平和ハ來ナイノデアリマスルガ故ニ、私共ハ人種差別ノ撤廢ヲ唱ヘツ、彼等ノ誤レル獨善觀ヲ是正シテ行カナケレバナラス、斯ウ考ヘルノデアリマスルガ、是等ニ關シテ政府ハ如何ニ御考ヘニナリマスルカ、御所見ヲ國務大臣カラ承リタイト思ヒマス

### ○安藤國務大臣

國務大臣トシテ私ヨリ御答ヘ致シマス、「ユダヤ」人問題ハ世界的ノ問題デアリマシテ、殊ニ現戰時下、此ノ世界ノナ問題ヲ繞ツテ、我が國內ニモ色々ノ情報、或ハ其ノ情報ト對照シテ見レバ、一脈ノ關係ヲ持ツタルガ如キ動キモナイデハナイト思ヒマス、今日海外ヨリスル所ノ宣傳ニ對シマシテハ、十分ナル嚴重ヲ警戒取締ニ當ツテ居リマス、今後ト雖モ此ノ問題ニ付キマシテハ、私共十分ノ戒心ヲ加ヘ、微細ナ點ニ互リマシテモ注意ヲ怠ラズ、事

ノ萌芽ニ先立ツテ防止ノ策ヲ講ズル考ヘデゴザイマス、内務省ト致シマシテハ、既ニ是等ニ關係スル所ノ思想方面ノ取締ニ付キマシテハ、現ニ若干ノ事例モ存シ、嚴重ナル取締ヲ今後ト雖モ力強クヤツテ行ク決心デゴザイマス、左様御承知ヲ御願ヒ致シマス

次ニ思想ノ色々ヲ推移變化ト云フモノハ、何レノ時代ニ於キマシテモ知識階層、所謂俗ニ申シマス上層方面カラ、下ノ方ニ知ラズ識ラズノ裡ニ浸潤シテ來ルト云フ御意見ハ、御尤モデアルト存ジ御同感デアリマス、斯カル意味ニ於キマシテ、今日ノ戰時下敢テ上層トハ申シマセヌガ、特ニ官吏自體ガ自ラ思想ヲ正シ、自ラ其ノ公私ノ言動ヲ慎ミ、自ラ任ジテ垂範シテ行クト云フ覺悟ヲ以テ臨ンデ行クコトハ、非常ニ重要ナ事柄デアリ、特ニ戰時官吏服務令ノ御制定ヲ見タノモ、亦茲ニアルト存ジテ居ルノデアリマス

只今特ニ人種差別撤廢ト云フコトニ付テ、無差別平等ニアラズシテ、自然ノ儘ニ差別ノ存スル中ニ於テ、所謂日本ハ萬邦ヲシテ其ノ所ヲ得シメ、兆民ヲシテ其ノ堵ニ安シゼシムルト云フ其ノ適所ヲ得テ、所謂差別ノ存スル所ニ大キイ公平ノ存スルコトヲ意味スルモノト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ社會ニ眞ノ差別ノ存スルコトハ現實デアリマス、其ノ現實ノ差別ヲ一掃ニスルト云フコトハ、假令假ニサウ云フ抽象的ナ理想ヲ持チマシテモ、現實ニハ決シテ出來ルモノデハナイト信ジマス、即チモノヲ無差別ニ見ルト云フ其ノ觀察ハ、抽象的ナル或ル一ツノ概念デアツテ、地上ニ存スルモノノ總テノモノノ實體ト云フモノハ、

必ズソコニ特性ガアリ、特色ガアリ、差等ハ存スルモノト信ジマス、隨ヒマシテ政府ガ人種差別ノ撤廢ヲ叫ブト云フコトハ、只今四王天君ノ仰セノ如ク、絕對平等視シテ之ヲ扱フト云フノデハナクシテ、所謂日本肇國ノ理想其ノモノニ差別ノ存スルコトヲ認メツ、而モ其ノ差別ノアルモノヲシテ各、其ノ所ヲ得、安定シ、人生ノ幸福ヲ享有セシムル、言葉ヲ換ヘレバ共存共榮ノ實ヲ舉ゲテ行ク、併シ日本帝國ハ何處マデモ世界唯一ノ日本帝國デアリ日本人ハ何處マデモ米人ニアラズ、英人ニアラズ、日本帝國臣民デナケレバナラスト感ジテ居リマス、斯カル意味ニ於キマシテ、四王天君ノ此ノ點ニ對スル御意見ニ付テハ、全ク御同感ノ意ヲ表スル次第デゴザイマス

### ○四王天委員

只今ノ内務大臣ノ御答ヘニ依リマシテ満足ニ存ジマスガ、唯取締一方デナクシテ、前ニ述ベマシタ如ク豫防注射的ニ思想ヲ確立シテ行クト云フ點ニ付キマシテハ、此處ニ文部大臣ガ御列席ニナツテ居リマセヌガ、ドウゾ政府部内ニ於テ能ク御話合ヒ下サイマシテ、是等ノ知識ヲモツト注入スベキハ注入ヲシテ、如何ナル宣傳ガ來ウトモビクトモシナイ、短波無線ナド開放シテモ宜イト云フ位ニ進ムヤウニ御盡力願ヒタイト思ヒマス、尙ホ此ノ問題ニ付キマシテハ總理大臣ヨリ適當ノ機會ニ於テ、何等カノ御表示ガアレバ仕合セト存ジテ居リマス

次ニ伺ヒタイノハ、帝國ハ「ソ」聯トハ中立關係ニアリマシテ、善隣友好ノ關係ヲ結ンデ居リマス、北邊ニ事ノ起ラナイヤウニ期シテ居リ、「ソ」聯モ亦帝國ト事ヲ構ヘナイヤウニ苦心ヲシテ居ルコトハ外務大臣ノ御話デ篤ト分ツタノデアリマス、但

シ國際共產黨ト云フモノハ「ソ」聯ガ既ニ解散ヲ命ジテシマツタモノデアリマスカラ、之ニ關スル話ハ幾ラシテモ差支ヘナイモノデアリ、遠慮ノ必要ハナイト私ハ考ヘルノデアリマス、昔ハ我が國ニモ國際共產黨ヲ謳歌シタ不心得者モアツタノデアリマスルガ、日本人デアル以上、此ノ戰爭ニナリマシテ前線勇士ノ流シタ熱血ヲ褻ギ被ハレタ者ガ多イデアラウト思フノデアリマス、ケレドモ共榮圈内ニハマダ、多數頭ノ切替ヘガ出來ナイモノガ存在ヲシ、保護色ヲ取ツテ雌伏シテ居ルヤウナコトガアルカト思ハレマス、是等ノ人々ガ獨「ソ」戰爭ニ於ケル「ソ」聯ノ底力等ニ釣込マレ、之ヲ第三「イ」ンターナショナルノ功績ナラント誤認シ、今後時ニ應ジテ思想ノ攪亂デモヤラウト云フ風ナコト等ガアリハスマイカ、斯様ナ點ニ付キマシテハ、決シテ注意ヲ怠ツテハナラスト思フ、又政府モ御注意ニナツテ居ルコトトハ思ヒマスガ、如何ナル程度ニ御考ヘニナツテ居リマスカ、今日ハ乏シキヲ患ヘズ均シカラザルヲ患フト云フノハ、是ハ鐵則デアリマシテ、私共モソレヲ眞ナリト信ジテ居ルノデアリマシテ、色々々運動モ致シテ居ルノデアリマスガ、之ニ便乗シマシテ、又惡平等思想ト云フヤウナモノガ擡頭ヲ致シマスルト云フト、サウ樂觀モ出來ナイ、斯ウ思ハレルノデアリマス、殊ニ指摘致シタイコトハ、元來支那事變ノ起リマス直前ニハ、彼ノ西安事件ト申シマシテ、中國共產黨ヲ主體トシタモノモアリマスルシ、又歐洲大戰ノ始マル直前ヲ觀察シテ參リマシタガ、今大戰ヲ惹キ起スノニハ國際共產黨ノ努力ガ非常ニ多カツタノデアリマス、此ノ現在ノ大戰ノ裏ニハ大ナル努力

ヲ彼等ガ拂ツテ居ルト認メラレル點ガアルノデアリマス、若シ我が國ガ勝タナカツタト云フヤウナコトガアリマシタナラバ、世界ハ一時共產黨ノ跳梁スル時代トナツテ大混亂ヲ來スノデハナイカト思フノデアリマス、斯クノ如ク國內竝ニ大東亞共榮圈ニ共產黨ノ據頭シナイヤウナ工合ニ、如何ナル御處置ヲ御考ヘニナツテ居リマスカ、具體的ノコトハ御伺ヒ致シマセスガ、簡單便宜シイカラ御答ヘヲドナタカラカ願ヒタイトヒマス

○安藤國務大臣 御答ヘ致シマス、「コミンテルン」ノ解消ニ依リマシテ、世界赤化ノ大キイ思想運動ト云フモノニ變化ヲ生ジタトハ考ヘマセヌ、依然トシテハ一貫不動ノ方向ニ向ツテ強ク動イテ居ルト信ジテ居リマス、隨テ往年ノ如キ表面ニ現ハレタル運動ノ形態ハナクモ、形ニ現ハレザルニ察シテ、深く思想ノ機微ナル點ニ觸レテ、其ノ源ヲ芟除シ、苟モソレガ外ニ働キトナリ、言動トナツテ現ハル、面ニ對シマシテハ、事ノ大キクナラヌニ先立ツテ、速カニ豫防防止ノ對策ヲ講ズルト云フコトニ付キマシテハ、私ハ此ノ戰爭下デアルガ故ニ、過去ニ比シテ尙ホ一層戒心慎重ノ態度ヲ以テ臨ムベキモノナリト考ヘマス、又政府モ其ノ意思ヲ以チマシテ、諸方面ニ向ツテ細心ノ注意ト努力ヲ拂ヒツ、アル次第デゴザイマス、此ノ點ハ篤ト政府ノ表裏ニ於ケル配慮努力ヲ御諒察ヲ願ヒタイト存ジマス

○四王天委員 今マデ伺ヒマシタコトハ、寧ロ思想防衛ニ關スル消極的方面ノコトデアリマスガ、是カラ積極的方面ノコトヲ伺ヒタイト思ヒマス、此ノ委員會ニ於テ、太田君ハ劈頭ニ、敵國ニ對スル政治攻勢ニ付

テ所見ヲ述ベ、政府ノ所信ヲ質サレタノデアリマスガ、自分ハ更ニ進シテ、政府ガ思想攻勢ヲ勇敢ニ敵國ニ對シテ實施スル意思ハナイカト云フコトヲ御伺ヒシタイノデアリマス、此ノ攻勢ニハ資材モサウ要ラズ、人員モサウ要ラズ、大ナル豫算モ必要トシナイト思フノデアリマス、是ハ隠レタル戰力ヲ使用スルコトデアルト思フノデアリマス、東條首相モ述ベラマシタ如ク、萬邦無比ノ國體ヲ堅持シ、前線ニ於テ何千人ノ部隊ガ砲煙彈雨ノ中デ最後ノ一人マデ力戰奮闘シ、斃レテ尙ホ已マズノ氣概ヲ以テ玉碎スルト云フコトハ、餘程シツカリシタ思想力ガナクテハ出來ナイコトデアリマス、此ノ底力ヲ持ツ皇國ガ、内ニハ之ヲ以テ國內ヲ結束シテ必勝ノ態勢ヲ保持スルト共ニ外ニハ之ヲ武力戰ニ發揮スルバカリデハナク、其ノ思想力ヲ以テ敵國ノ漂ヘル思想ヲ粉碎シ得ナイ筈ハナイト思フノデアリマス、我が國ノ戰爭目的ハ宣戰ノ大詔ニ御示シマシタツテ炳トシテ明カデアリマスガ、憐ムベキハ之ニ打突カツテ來ル敵國民デアルト云フ意味ノ御話ガ首相カラモアツタヤウニ思フノデアリマス、洵ニ同感デアリマス、私ハ米國ガ無名ノ師ヲ起シテ、皇國日本ニ双方向ツテ來タノハ、同國ノ指導者デアル「ルーベルト」ヲ初メ、其ノ取巻キ數十名ガ、彼ノ「ユダヤ」人系ノ者デアリマシテ、又其ノ別働隊デアル所ノ「フリーメイソン」秘密結社ノ一味デアリマス、同結社ハ所謂世界一家、「ワンワールド」ト云フヤウナコトヲ申シテ居リマスガ、是ハ我が國ノ八紘爲宇トハ似テモ似ツカナイ所ノ世界制覇ノ運動デアリマシテ、窪井君ガ米國ニ戰爭目的ノナイ筈ハナイト喝破セラレマシタノハ同感

デアリマス、世ノ中ニハ「フリーメイソン」ト云フ秘密結社ハ、我が國ノ六合一都ノ崇高ナル思想ト同ジヤウナモノダト考ヘ、國際親善ノ組織ダト誤認ヲシテ居ル者ガアリマスガ、眞赤ナ偽リデアリマス、阿片戰爭ノ直後、香港ニ渡ツテ來マシタ「フリーメイソン」ガ、上海ニ於テ第一ノ殿堂ヲ建テマスル時ニ、日本ノ通貨マデ其ノ中ニ埋メマシテ定礎式ヲヤリマシタガ、其ノ時幹部ノ一人ガヤツタ演說ノ中ニ、明カニ「シーザー・アレキサンダー」大王、「ナポレオン」ノ企テテ及バナカツタコトヲ、方式ヲ變ヘテヤルノガ「フリー、メイソン」デアルト誇ラカニ述ベテ居ル、正ニ世界制覇ノ運動デアリマス、又其ノ外ニ幾多ノ文獻モアリマスガ、煩ハシイカラ省略シマス、其ノ結社ガ前世界大戰後支那、「インド」ノ赤化ヲ策シ、其妨害物タル日本ヲ除カウトシタノデアリマシテ、此ノ間ノ「カイロ」會談ニ於テ、「ルーベルト」ガ日本ヲ本土内ニ叩キ込シデ、其ノ他ノ領土ヲ奪ツテシマフト申シタノハ、此ノ戰爭ニナツテカラ彼等ガ思ヒ付イタノデハナク、ズツト前カラ考ヘテ居ツタコトデアリマス、昭和四年七月ノ初メニ濱口内閣ガ成立シタ時ニ「フリー・メイソン」ト看做サレル張學良ガ、其ノ機關新聞東三省日報ヲ通ジテ濱口内閣ニ要望スト云フ標題ヲ以テ、此ノ間「ルーベルト」ノ言ツタコトト略、同ジコトヲ言ツテ居ル、旅順、大連租借地ノ返還ヲ初メ、南滿鐵道ノ還附、不平等條約ノ撤廢、臺灣ノ返還マデ全部符節ヲ合スル如ク述ベテ居リマス、是ハ實ニ「フリー・メイソン」ノ一貫シタ方針ニ依ツテ居ルノデアリマス、斯クノ如ク日本ヲ本土内ニ押込ムト云フコトハ、日

本ヲ内部破裂ニ導カウトスル彼等ノ長イ間ノ念願ナノデアリマス、「エー・ビー・シー・デー」包圍陣ト云フ如キコトモ全ク前カラノ計畫デアツタノデアリマス、斯カル要ラザル野望カラ其ノ犠牲トナツテ、何ニモ知ラズニ米國ノ濠洲邊リカラ太平洋ヲ遙、渡ツテ來テ海底ノ藻屑トナリ、或ハ「ジャングル」ノ中デ我が將兵ノ銃劍ノ錆トナツテ行クノガ米國兵デアリマス、併シ米國デハ輿論ノ激昂ヲ俱レテ、戰死者ノ發表モ碌々セズ、闇ニ伏セテ置ク狀態デアルサウデアリマス、又米國人ノ中ニハ既ニ是等ニ付テ目覺メタ者ガアリ、兵隊ノ間ニモ、何ノ爲ノ戰爭カ分ラヌデハナイカ、「ユダヤ」ノ爲ノ戰爭ナラ眞平御免ヲ蒙ルト言ツタノヲ確カニ聞イテ來タト云フコトヲ、信頼スベキ日本人カラ聞イテ居リマス、斯クノ如キ情勢デアリマスカラ、世界「フリー・メイソン」四百四十八萬人ノ中、三百三十萬人ヲ米國ニ擁シ、正ニ「フリー・メイソン」國デアリ、又「ユダヤ」人ノ最大ノ居住國デアリマスガ、ソレ等カラ選出サレタ大統領ノ指令ニ依ツテ夢物語世界制覇ノ爲ニ米人ヲ驅リ立テテ無名ノ戰爭ヲヤリ、惡魔ガ神ニ對スル戰爭ヲヤツテ居ルノデアリマスガ、此ノ點ニ付テ勇敢ニ思想攻勢ヲ執ツテハ如何デアラウカ、是ハ戰爭ヲ案外早ク片付ケル有效ナル手段デアルト思ヒマス、恐ラク情報局等ニ於テモ十分ナル御用意ガアリ、オヤリニナツテ居ルト思ヒマス、前ニ述ベマシタ人種ニ關スルコトハ非常ニ「デリケー」トナ點モアリマスノデ色々御考慮モアリマセウガ、既ニ彼等「ユダヤ」人自ラ今度ノ戰爭ハ「ユダヤ」戰爭ナリト其ノ著書ニ於テ、又今カラ四年前ノ十二月二十日ノ「アメ

リカン・ヘブリュー」ト云フ彼等ノ機關雜誌ニ、今度ノ戦争ハ吾々「ユダヤ」人ト之ニ反對スル者トノ戦争デアル、今世界ハ二ツノ陣營ニ分レテヤツテ居ルノダトハツキリ言ツテ居リマスカラ、此ノ人種問題ニ對シテハ何ノ遠慮モナク彼等自ラ言ツテ居ルコトヲハツキリサセ、此ノ弱點ヲ御衝キニナツタラドウデアルカ、米國通ノ鶴見君モ御指摘ニナツタ如ク、米國內ニハ聊カ混亂ガ起ラウトシテ居ルノデアリマスカラ、之ニ對シテ十分勇敢ニ攻撃ヲ實施サレタラ如何カト存ジマスガ、政府ノ御意見ハ如何デアリマスカ、伺ヒマス、尙ホモウ一點新聞電報ノ傳フル所ニ依ルト、去ル一月十四日米國大統領ハ、二月二十日カラ二十六日マデ同胞週間トシテ、米國民ガ人種ノ差別感ヲ棄テテ同胞トシテノ團結ヲ強化スルヤウニ要請シタサウデアリマス、同盟通信ノ解釋デハ、右ハ主トシテ米國內ノ「ユダヤ」ヲ目指シタ懷柔策ト看做サレルト云フコトデアリマスガ、前大戦ニ於テ、米國ガ參戰ニ先立ツテ、時ノ大統領「ウイilson」ガ「ニューヨーク」ニ「ユダヤ・デー」ヲ設ケテ、彼等ニ同情ヲ表シ、盡力ヲ要請シタ事實ニ徴シマス、ソレト同巧異曲ト認メラレマスガ、實ハ今度ノ世界戦争ハ「ユダヤ」自ラ傲語スル「ユダヤ」戦争ニ反感ヲ持タズ、素直ニ「ソロモン」「ニューギニア」ヘ行ツテ戦ツテ死ンデ呉レト云フ騙シ込ミノ謀略ト私ハ觀テ居ル、是レ程マデニ米國內デモ「ユダヤ」問題ニ考慮ヲ拂フ事態ガ起ツテ居ルト思ヒマスガ、政府ハ斯カル思想ガ勢ヲ米國ニ展開スル御用意ガアルカドウカ、御伺ヒ致シマス

○天羽政府委員 思想問題ニ付テ御高見ヲ拜聽致シマシタ、御説ノ如ク此ノ戦争ハ武力ノ戦争ノミナラズ 思想戦ガ非常ニ大キナ意義ヲ有スルノデアリマス、又御説ノ如ク「ユダヤ」ノ思想、「フリーメーソン」ノ思想、第三「インターナショナル」ノ思想ガ勢ヒヨク存在シテ居ルコトモ事實デアリマス、私共ノ仕事ニ於キマシテハ、諸々ノ思想問題ニ深甚ナル注意ヲ以テ研究シ、其ノ動向ニハ業ニ已ニ非常ナル注意ヲ以テ對處致シテ居リマス、唯思想問題ハ非常ニ複雑デアツテ、眞正面カラソレニ對シテ反撃ヲ加ヘルト、却テ反對ノ結果ヲ招來スルヤウナコトガアリマス、今「フリーメーソン」ノ御話ガ出マシタガ、世間デハ「フリーメーソン」ニ付テ色々議論ガアリ、反對ノ運動モアリマス、今カラ四五年前「スイス」ニ於テ「フリーメーソン」ニ對スル非常ナ反對運動ガ起リマシテ、或ル一派ノ人ガ國民投票決定スレバ勝利ハ疑ナイト云フノデ、議會ニ提案シ「フリーメーソン」ヲ禁ズルヤ否ヤト云フ國民投票ヲヤツタノデアリマスガ、當時ハ多分國民投票ニ依ツテ「フリーメーソン」ヲ禁ズルコトニナルガラウト云フ豫想デアリマシタガ、意外ニモ反對ノ結果デ「フリーメーソン」ヲ禁ズルコトハイタナイト云フコトニナツタ、是ハドウ云フコトカト云フト、「フリーメーソン」ニ反對スル者ガ餘リニ働キ過ギテ、其ノ爲ニ國民ガ反感ヲ起シテ其ノ反對ノ結果ニナツタノデアリマス、ソコデ「アメリカ」ニ於テ「ユダヤ」人ノ勢力ガ大ナルコトモ事實デアリ、又其ノ反對ノ勢力ガアルト云フコトモ事實デアリマスガ、ソレ等ニ付テハ餘程ウマク手心ヲ以テ當ラナイト、我々ガ所期シタコトト反對ノ結果ニ到達スラスト考ヘマス、其ノ邊ハ色々機微ナル問題ガアリマシテ、詳シク申上ゲルコトハドウカト思ヒマスガ、出來ルダケノコトヲ以テ善處シテ居ル積リデアリマス、又今後トモ御氣附ノ點ニ付テ、議會外デアリマシテモ拜聽ノ機會ヲ得マスレバ幸甚デアリマス

○四王天委員 只今情報局總裁ノ御答辯ニ依リマシテ色々困難ナルコトモ存ジテ居リマス、併シ外國ノ事例ト又我が國トニ違ツタ點モゴザイマスカラ、一ツ今後トモ此ノ問題ニ付テハ十分ナル御注意ヲ願ヒタイト思ヒマス、尙ホ序デニ申上ゲテ置キマスガ、昨日他ノ委員會ニ於テ問題ニナリマシタル彼ノ中等學校ノ教科書「クラウシ・リーダー」ノコトデアリマスルガ、アノ著者ハ日本人デアリマスガ、或ル本ニハ「フリーメーソン」ノ秘密結社員ト書イテアルノデアリマス、斯ノ如キ英國ノ國歌ヲ擧ゲタリシタノハ如何ナル理由デアアルカ、又之ヲ採用シタノハ如何ナル理由デアアルカハ知リマセマスガ、彼等ノ運動ハ實ニ目ニ立タナイヤウ働イテ來ツ、アルモノデアアル、取締リモ困難ナヤウナ状態デアアルノデアアルカラ、特ニ深イ注意ヲ要スルト云フ點ガケラ申上ゲテ、今後ハ御善處ヲ要望致シマス、尙ホ又「イタリヤ」ニ於ケル此ノ間ノ謀叛ノ陰ニハ此ノ「フリーメーソン」並ニ「ユダヤ」ノ非常ナル謀略ノアツタコトモ聞イテ居リマスガ、時間モアリマセスカラ又分科會等ニ於テ御所見ヲ承ルコトヲ留保致シマシテ、最後ニ回教問題ニ付テ御伺ヒシタイト思フノデアリマス

第八十一議會ニ於キマシテ、豫算第一分科會並ニ本會議ニ於テ本員ガ質問ヲ致シマシタルニ對シテ、外務大臣、大東亞大臣、文部省政府委員等カラ御懇切ナル答辯ヲ與ヘラレマシテ、世界ノ回教民三億五千ニ對スル同情ヲ表セラレ、其ノ繁榮ヲ冀ヒ、又大東亞圈ニ在ルモノニ對シテハ、信教ノ自由、文化向上ノ便宜ヲ與フル等有益ナル御發言ガアリマシタノデ、是ガ回教圈ニ對シテ非常ニ好イ影響ヲ與ヘマシテ、其ノ直後世界各地カラ、或ハ外務大臣ニ對シ、或ハ本員ニ對シテ、熱情ヲ籠メタ感謝感激ノ言葉ガ寄セラレタノデアリマシテ、政府當局ニ於テモ既ニ御承知ノコトト存ズルノデアリマス、然ルニ其ノ後一年經過致シテ居リマスルガ、何等實際ノ施策ノ進マナイト云フ點ニ付キマシテ、回教圈カラハ聊カ當テガ外レタヤウナ聲ヲ洩シテ來ルモノモアルノデアリマス、殊ニ其ノ後北「アフリカ」ノ回教圈ハ全然米英ニ蹂躪セラレテシマヒ、「トルコ」國ハ頻リニ米英ヨリ戦争ニ引摺込まレヤウトスル脅迫ヲ受ケテ居ルノデアリマシテ、洵ニ同情ニ堪ヘナイ次第デアリマス、政府ニ於カレテハ何等カ再ビ御發言ヲナサツテ、此ノ前ノ議會ニ於テ述べラレタコトハ何等變ルコトハナイト云フ點ヲ明ニセラレタラドウデアアルカ、殊ニ「インド」ニ於キマシテハアノ大人口ノ中デモ九千萬ニ近イモノガ回教徒デアリマス、先般「チャンドラ・ボース」氏ガ東京ニ於テヤツタ大演説ノ中ニモ、「インド」ニ於テ從來「モガール」王朝ノ時以來、宗教上ノ反目ト云フモノハナカタノダ、ソレヲアツタヤウニ見セテ居ルノハ、ソレハ「イギリス」ガ分割統治ノ爲ニヤツタ一ツノ策略デアルト言ウデ、熱烈ニ彼處デハ回教徒モ何モ彼モ皆獨立ト云フコトニ必死ニナツテ居ルノダト云フ點ヲ明カニセラレタヤウデアリマスルガ、是等ノ點カラ見マシテモ、我々ハ回教ト云フ問題ニ付テ發言ヲスルコトハ、何等全體ノ統一ニ惡影響ヲ及ボ

スコトハナイノデアリマスカラ、勇敢ニ發言ヲセラレタイト思フノデアリマス、大東亞會議ハ、前ニ申上ゲマシタ通り、洵ニ歴史の大成功デアリマシタ、我々ハ之ヲ讀歎スルモノデアリマスガ、單ニ代表者ガ集マツテ氣焰ヲ上ゲタダケデアツテハイケナイノデ、各國ノ國民ガ眞ニ互ヒニ協力スルノデナケレバ、實效ハ擧テナイト思フノデアリマス、大東亞共榮圈ハ洵ニ廣イノデアリマスカラ、劃一的ニハ行キマセズガ、東「インド」ノ如ク、殆ド全部ガ回教民カラ成ツテ居ルヤウナ地方ニハ、モツト強ク回教徒トシテ之ヲ取扱フヤウニシテハ如何カト思フノデアリマス、

ト云フカ、非常ニ有效ナコトデアルト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、而シテ世界回教徒三億四千餘萬人ノ中デ實ニ二億六千萬ガ東西「アジア」ニ住マツテ居ルノデアリマシテ、七割五分ヲ占メテ居リマス、「アジア」ハナリト云フコトカラ申セバ、モウ少シ回教徒ニ對シテ熱意ヲ披瀝スルコトガ必要デハナイカト思フノデアリマスルガ、政府ノ御所見ハ如何デアリマスカ、此ノ點ダケ承ツテ私ノ質問ヲ終リタイト思フノデアリマス、簡單デ宜シウゴザイマスカラ、御答ヘテ願ヒマス

シテモ軍ト協力致シマシテ、南方地域其ノ他ニ於テ回教徒ニ接スル場合、只今申上ゲマシタヤウナ、肇國ノ精神ヲ如實ニ具現スルヤウニ、サウシテ回教民族ヲシテ其ノ所ヲ得安住ノ地タラシメルコトニ全力ヲ盡シテ參ツテ居ルノデアリマス、又御述べノ如ク、今ヤ敵米英ハ凡ユル宣傳謀略ヲ以テ大東亞ノ結果ヲ亂シ、殊ニ回教民族ニ呼掛ケテ居ルノデアリマス、之ニ對シマシテモ適當ナル方策ヲ以テ之ヲ擊破シ、我ガ國ノ正シキ眞意、又大東亞建設ノ理念ヲ徹底セシムルコトニ盡力致シテ居ル次第デアリマス

陸軍大臣ヲ兼テ居ラレ、分科會ニ於テハ軍需、陸海軍ハ一ツノ分科ニナツテ居リマスカラ、總理大臣ニ確メラレル機會ハ十分ニアラウト考ヘマスノデ、サウ云フヤウナ場合ニ於テハ分科會ニ御譲リ下サルヤウニシタ方ガ適當デアラウカト考ヘマスカラ、總會ニ於テ質問ヲ通告セラレテ居ル方ハ、成ベクハ總會デ質問ヲ進行セラレルコトガ宜イト思ヒマスガ、是非總理ノ出席ヲ希望セラル、場合ニハ、只今申シタヤウナ手段ニ出デラレルコトヲ希望致シテ置キマス——岸田正記君

又米英ニ對スル攻勢ノ爲ニハ、昨年モ述ベマシタ如ク、回教徒ト云フモノハ「ユダヤ民族」トハ氷炭相容レザル點ガアルノデアリマシテ、回教徒ノ豫言ノ中ニハ「ユダヤ」人ハ二回ニ互ツテ世界ニ大擾亂ヲ企テル、其ノ第一回ハ相當ニ成功ヲスルガ、第二回ハ一敗地ニ墜レ、大殺戮ヲ受ケルコトニナル、彼等ハ天下ニ身ノ置キ所ガナクナツテ、終ヒニ「デーブル」ノ下ニ隠レナケレバナラスコトニナル、其ノ時「デーブル」ガ聲ヲ發シテ曰ク、「此處ニ一人「ユダヤ」人ガ隠レテ居ルゾ」ト云フ風ナ所マデ行クト云フコトヲ回教民ハ信ジテ居リマス、ソレハ「ユダヤ」ノ百科全書ニモ亦ソレト同ジヤウニ、「デーブル」ト石ト違フダケデアリマスケレドモ、明カニ書イテアルノデアリマス、斯様ナ關係ニアルノデアリマスカラ、回教民ガ現在ノ世界情勢ニ決シテ満足シテ居ルノデハナク、今米英ノ壓迫下ニアリマシテモ、何時カハ之ヲ離脱シヨウト思ツテ居ルノデアリマスカラ、是等ノ奮起ヲ促スト云フコトハ亦、政治的攻勢ト云フカ、思想的攻勢

ニ對スル帝國政府ノ考ヘ方ハ、第八十一帝國議會ニ於テ政府ヨリ御答ヘ申上ゲタ所ト今日何等變ハル所ハゴザイマセズ、即チ世界各國ノ民族ヲシテ各、其ノ所ヲ得シメ、共存共榮ノ世界ヲ作ルト云フコトガ、我ガ肇國ノ理想デアアルコトハ繰返シテ申上ゲルマデモナク、更ニ此ノ大原則ハ大東亞會議ニ於テ各國ノ代表者ニ依ツテ齊シク強調サレタ點デアアルノデアリマス、回教民族ハ今御述ベノ通り非常ニ多數ノ人口ヲ擁スルニモ拘ラズ、米英ノ世界制覇ノ禍ヒヲ最も多ク受ケタ民族デアリマシテ、今日マデ洵ニ同情スベキ境遇ニ沈淪致シテ居ツタノデアリマス、隨ヒマシテ帝國ト致シマシテハ、此ノ肇國ノ大精神ヲ回教民族ノ解放、此ノコト及ニボスベキコトハ當然デアリマス、大東亞共同宣言ニ於テ其ノ初メニ、世界ノ各國各民族ガ其ノ所ヲ得、共存共榮ノ秩序ヲ作ルノハ世界平和確立ノ基調デアルト申シタノハ、單ニ是ハ大東亞ニ限ルコトダケデハナク、全世界ニ適用シテ然ルベキモノト考ヘテ居リマス、隨ヒマシテ政府ニ於キマ

シテモ軍ト協力致シマシテ、南方地域其ノ他ニ於テ回教徒ニ接スル場合、只今申上ゲマシタヤウナ、肇國ノ精神ヲ如實ニ具現スルヤウニ、サウシテ回教民族ヲシテ其ノ所ヲ得安住ノ地タラシメルコトニ全力ヲ盡シテ參ツテ居ルノデアリマス、又御述べノ如ク、今ヤ敵米英ハ凡ユル宣傳謀略ヲ以テ大東亞ノ結果ヲ亂シ、殊ニ回教民族ニ呼掛ケテ居ルノデアリマス、之ニ對シマシテモ適當ナル方策ヲ以テ之ヲ擊破シ、我ガ國ノ正シキ眞意、又大東亞建設ノ理念ヲ徹底セシムルコトニ盡力致シテ居ル次第デアリマス

陸軍大臣ヲ兼テ居ラレ、分科會ニ於テハ軍需、陸海軍ハ一ツノ分科ニナツテ居リマスカラ、總理大臣ニ確メラレル機會ハ十分ニアラウト考ヘマスノデ、サウ云フヤウナ場合ニ於テハ分科會ニ御譲リ下サルヤウニシタ方ガ適當デアラウカト考ヘマスカラ、總會ニ於テ質問ヲ通告セラレテ居ル方ハ、成ベクハ總會デ質問ヲ進行セラレルコトガ宜イト思ヒマスガ、是非總理ノ出席ヲ希望セラル、場合ニハ、只今申シタヤウナ手段ニ出デラレルコトヲ希望致シテ置キマス——岸田正記君

又米英ニ對スル攻勢ノ爲ニハ、昨年モ述ベマシタ如ク、回教徒ト云フモノハ「ユダヤ民族」トハ氷炭相容レザル點ガアルノデアリマシテ、回教徒ノ豫言ノ中ニハ「ユダヤ」人ハ二回ニ互ツテ世界ニ大擾亂ヲ企テル、其ノ第一回ハ相當ニ成功ヲスルガ、第二回ハ一敗地ニ墜レ、大殺戮ヲ受ケルコトニナル、彼等ハ天下ニ身ノ置キ所ガナクナツテ、終ヒニ「デーブル」ノ下ニ隠レナケレバナラスコトニナル、其ノ時「デーブル」ガ聲ヲ發シテ曰ク、「此處ニ一人「ユダヤ」人ガ隠レテ居ルゾ」ト云フ風ナ所マデ行クト云フコトヲ回教民ハ信ジテ居リマス、ソレハ「ユダヤ」ノ百科全書ニモ亦ソレト同ジヤウニ、「デーブル」ト石ト違フダケデアリマスケレドモ、明カニ書イテアルノデアリマス、斯様ナ關係ニアルノデアリマスカラ、回教民ガ現在ノ世界情勢ニ決シテ満足シテ居ルノデハナク、今米英ノ壓迫下ニアリマシテモ、何時カハ之ヲ離脱シヨウト思ツテ居ルノデアリマスカラ、是等ノ奮起ヲ促スト云フコトハ亦、政治的攻勢ト云フカ、思想的攻勢

ニ對スル帝國政府ノ考ヘ方ハ、第八十一帝國議會ニ於テ政府ヨリ御答ヘ申上ゲタ所ト今日何等變ハル所ハゴザイマセズ、即チ世界各國ノ民族ヲシテ各、其ノ所ヲ得シメ、共存共榮ノ世界ヲ作ルト云フコトガ、我ガ肇國ノ理想デアアルコトハ繰返シテ申上ゲルマデモナク、更ニ此ノ大原則ハ大東亞會議ニ於テ各國ノ代表者ニ依ツテ齊シク強調サレタ點デアアルノデアリマス、回教民族ハ今御述ベノ通り非常ニ多數ノ人口ヲ擁スルニモ拘ラズ、米英ノ世界制覇ノ禍ヒヲ最も多ク受ケタ民族デアリマシテ、今日マデ洵ニ同情スベキ境遇ニ沈淪致シテ居ツタノデアリマス、隨ヒマシテ帝國ト致シマシテハ、此ノ肇國ノ大精神ヲ回教民族ノ解放、此ノコト及ニボスベキコトハ當然デアリマス、大東亞共同宣言ニ於テ其ノ初メニ、世界ノ各國各民族ガ其ノ所ヲ得、共存共榮ノ秩序ヲ作ルノハ世界平和確立ノ基調デアルト申シタノハ、單ニ是ハ大東亞ニ限ルコトダケデハナク、全世界ニ適用シテ然ルベキモノト考ヘテ居リマス、隨ヒマシテ政府ニ於キマ

シテモ軍ト協力致シマシテ、南方地域其ノ他ニ於テ回教徒ニ接スル場合、只今申上ゲマシタヤウナ、肇國ノ精神ヲ如實ニ具現スルヤウニ、サウシテ回教民族ヲシテ其ノ所ヲ得安住ノ地タラシメルコトニ全力ヲ盡シテ參ツテ居ルノデアリマス、又御述べノ如ク、今ヤ敵米英ハ凡ユル宣傳謀略ヲ以テ大東亞ノ結果ヲ亂シ、殊ニ回教民族ニ呼掛ケテ居ルノデアリマス、之ニ對シマシテモ適當ナル方策ヲ以テ之ヲ擊破シ、我ガ國ノ正シキ眞意、又大東亞建設ノ理念ヲ徹底セシムルコトニ盡力致シテ居ル次第デアリマス

陸軍大臣ヲ兼テ居ラレ、分科會ニ於テハ軍需、陸海軍ハ一ツノ分科ニナツテ居リマスカラ、總理大臣ニ確メラレル機會ハ十分ニアラウト考ヘマスノデ、サウ云フヤウナ場合ニ於テハ分科會ニ御譲リ下サルヤウニシタ方ガ適當デアラウカト考ヘマスカラ、總會ニ於テ質問ヲ通告セラレテ居ル方ハ、成ベクハ總會デ質問ヲ進行セラレルコトガ宜イト思ヒマスガ、是非總理ノ出席ヲ希望セラル、場合ニハ、只今申シタヤウナ手段ニ出デラレルコトヲ希望致シテ置キマス——岸田正記君



敵米英ノ實ニ辛辣極マル陋劣飽クナキ陰險ナル宣傳或ハ謀略、此ノ實情ヲ見マス、之ニ對處シテ行クノニハ、日本トシテハ、大東亞民族結集ノ上ニ、又單リ日本ノミナラズ、大東亞各國實ニ協力シテ此ノ根固メヲシテ行カケレバナラヌコトハ申スマデモアリマセヌ、而モ此ノ大敵ヲ向フニ廻シテ彼等ノ非望ヲ徹底的ニ粉碎シテ行ク爲ニハ、如何ニシテモ一億火ノ玉ノ態勢カラ十億火ノ玉ノ態勢ヲ作り上ゲテ行クコトガ最モ肝要ナコトデアリ、是コソ大東亞戰爭最後ノ必勝ヲ期スル要訣デアルト私ハ考ヘルノデアリマス、然ラバ此ノ大東亞民族ノ結集ヲ圖リ、十億ノ總蹙起ヲ強化シ促進シテ行クニ付テハ何ガ要諦デアルカ、是ハ申上ガルマデモナク我が國ノ眞意ヲ全「アジア」民族ノ隔々マデ透徹サセ、サウシテ「アジア」共同ノ理想ヲ十二分ニ自覺サセ、「アジア」ハ今共同ノ運命ニ立ツテ興廢ノ岐レ目ニ起ツテ居ル、此ノ戰爭ニ打ち勝ツコトハ「アジア」全民族ノ共同ノ責任デアルト云フコトヲ十二分ニ自覺サセ、滲透サセルコトガ最モ大切ナル要諦デアルト私共ハ考ヘルノデアリマス、此ノ信念、理想ノ透徹、是ハ決シテ略デハナク、正道デアリマス、民族結集ノ眞實ノ大道ナノデアリマス、是ガ米英ノヤリ方ト全ク趣キヲ異ニシ、逆ニナツテ居ル點デアリマス、「アメリカ」ハ今日世界戰爭ヲ勝ち抜ク上ニ於テ、先ヅオ手許ノ全米洲ノ共同體ヲ誇示シテ居ルノデアリマス、併シナガラ此ノコト一ツニ於テスラ全ク謀略ノ結晶デアルト云フコトハ過去ノ歴史ガ明カニ證明シテ居ル、私ハ之ヲ多ク申シマセヌガ、唯彼等ガ世界制覇ノ「ドル」帝國主義ノ前衛戰トシテ先ヅ中南米ヲ固メテ

行クト云フコトニ付テ、如何ニ陰險極マル凡ユル謀略ヲ逞ミシウシタカ、而モ汎米會議デアルトカ、或ハ全米洲外相會議デアルトカ、斯ウ云フヤウナモノノ度重ナル決議、是ハ要スルニ彼等ノ此ノ謀略ノ戰果ノ發表デアリ、條約形式ニ於テノ確認ヲ押付ケル手段ニ過ギナカツタノデアリマス、斯ウシタ結果デ以テ既ニ大東亞戰爭ガ始マル前ニ、彼等ハ第三回ノ米洲外相會議ニ於キマシテ、日本ハ西半球ノ脅威者デアルト云フコトヲ決議シ、サウシテ樞軸側ニ對シテノ通商外交或ハ財政上ノ一切ノ關係ヲ斷絶スルト云フコトヲ決議シ、或ハ勸告スル決議ヲ決定致シテ居ル、斯ウシテ中南米二十箇國ヲ抱キ込シダケレドモ、是ハ只今申上ゲタヤウニ悉ク謀略、宣傳、脅喝、誘惑、凡ユル是等ノ手ノ結晶デアリマス、併シナガラ日本ガ今ヤリツ、アル又は非ヤラネバナラヌ點ハ、「アジア」ノ協同體、東亞ノ新秩序ノ建設、是ハ斷ジテ斯ノ如キ類ノ謀略宣傳ノ行キ方デハナクシテ、何處マデモ眞實ノ透徹、茲ニアルト云フコトハ我々ノ固ク信ジテ疑ハナイ點デアリマス、私ハ此ノ點ニ於キマシテハ、何處マデモ略ハ避ケテ正々堂々ト今日ノ日本ノ眞意、「アジア」ノ理想、之ヲ五原則ニ依ツテ明カニサレテ、之ヲ「アジア」ノ隔々マデ十億ノ全民族總テニ互ツテ極力滲透サセテ行ク、徹底サセテ行ク、是レコソハ今最モ大切ナル日本ノ盡スベキ手デアルト考ヘルノデアリマシテ、又是ガ戰爭必勝ノ要諦デアリ、斯ウ信ジテ居ルノデアリマスガ、之ニ付キマシテハ具體的ナ方策ヲ逐次後ニ御伺ヒ致シマスルトシテ、今日ノ世界戰爭ノ情勢、米英ノ陰謀策略、是等ヲ考ヘマスルト、餘程ノ思ヒ切ツタ大掛リナ積極的ナ、

而モ實踐的ナ方途ヲ著々ト打ツ必要ガアル、是ガ一番緊要ナ問題デアルト考ヘルノデアリマスガ、政府ニ於カレテハ總理大臣ハ今日御出席デアリマセヌカラ、國務大臣トシテノ大東亞大臣ノ御所見ヲ伺フノデアリマスガ、飛躍的ナ線ノ太イ大キナ計畫、是等ニ對シテノ民族結集ノ御決意、是ハ如何ナルモノデアルカ、如何ナル御考ヘデアリマスカ、此ノ點ニ付テ一ツ先ヅ其ノ御心構ヘヲ承リタイト存ジマス

ル方法ニ依リ情報局其ノ他ト協力致シマシテ、之ヲ擊破スル用意ガアルノデアリマス、更ニ私ガ最モ重キヲ置カントスル所ハ、我が方ノ現地ニ於テ行フ諸般ノ施策ニ於テ、此ノ理想ヲ事實ニ依ツテ具現スルト云フ一點デアリマス、此ノ點ハ特ニ重キヲ置ク點デアリマス、更ニ單ニ政府ノ施策ノミナラズ一億國民ガ皆同様に心構ヘヲ持ツテ、他國民、他民族ニ接シ、個人的接觸面ヲ通ジテ、其ノ理想ヲ顯現スルト云フコトモ、同時ニ期待スルモノデアリマス、更ニ現在各國ニ於キマシテハ大東亞會議後、各國代表者ガソレソレノ歸國サレタ後ニ於テ、何レモ聲明ヲ出サレ、或ハ議會ニ於テ報告演說ヲサレテ居リマス、其ノ他諸般ノ方法ヲ以テソレソレノ國民ニ呼掛ケ、大東亞共同宣言ノ理想滲透ニ努力サレテ居リマス、又各國ノ新聞其ノ他ノ輿論モ之ニ呼應シテ、其ノ國內ノ結束ニ一段ノ氣勢ヲ揚ゲテ居ル狀況デアリマス、各國ノ狀況ハ一様デアリマセヌガ、中ニハ建國勿々デアリマシテ、種々困難ナル情勢下ニ於テ國民ノ思想ヲ統一シ、經濟ヲ安定シ、以テ其ノ國民ヲ率キテ共榮國建設ノ一途ニ足並ヲ揃ヘテ行クト云フコトニ付テハ、相當困難ナル事情ニアルト云フコトハ深く察スルノデアリマス、私共ハ其ノ重責ニ當ル各國ノ指導者ノ立場ニ同情ヲシ、其ノ政治力強化ト云フコトニハ、凡ユル協力ヲ致シテ參リタイト考ヘテ居リマス

更ニ其ノ點ニ於テ特ニ今後私共ノ力ヲ用ヒントスル問題ハ、各國ノ民生ノ問題デアリマス、共榮國ノ理想ヲ説ク、是モ固ヨリ大切デアリマスガ、實情カラ申シマスルト、先ヅ生活ノ問題ヲ確保シテヤラナケレバ其ノ效果ハ乏シイノデアリマス、然ルニ戰時

第一類第一號 豫算委員會議錄 第六回

昭和十九年一月二十六日

先ヅ第一ハ今御心配ノヤウニ敵側ノ非常ナル反擊謀略ニ付キマシテハ、是ハソレソレノ適當ナ

一五三

昭和十九年一月二十六日

下ニ於テ、是ハ世界共通ノ現象デハアリマスガ、國民ノ生活ハ段々ニ窮迫ヲ加ヘテ參ツテ來テ居ルノデアリマス、殊ニ大東亞共榮圈ハ米英ノ搾取政策ノ犠牲トシテ、國民生活維持ノ爲ノ自給度ト云フモノハ非常ニ低イノデアリマス、總テガ從來米英等ノ本國依存ニ依ツテ出來テ來テ居リマスノデ、今日ニナツテハ其ノ影響ハ、相當深刻ナルモノガアリ、隨ヒマシテ私共ト致シマシテハ船腹ノ關係、其ノ他諸般ノ困難ナル條件ハアリマスケレドモ、出來ルガケ力ヲ盡シ、或ハ現地ニ工業ヲ興ス爲ニ我ガ國ヨリ機械ヲ送り、或ハ技術者ヲ送り、其ノ他我ガ方ノ手ニ於テ出來ル凡ニル手段ヲ盡シテ、各地域ノ民心確保ト云フコトニ協力致シマシテ、各國ノ政府當局ガ國民ヲ率キテ行ク爲ノ必要ナル協力ヲ其ノ方面カラ致シテ參リタイト考ヘテ居ルノデアリマス

○岸田委員 政府ノ之ニ關スル積極的ノ御心構ヘヲ伺ツテ非常ニ私共ハ力強く感ズルノデアリマス、將來ノ百ヲ約束スルヨリモ今日ノ一ヲ實踐シテ、サウシテ眞ニ日本ノ眞意ヲ透徹サセ、理想ノ顯現ニ向ツテ相携ヘテ進ム、此ノ態度ヲ實行ニ移シテ行クト云フコトガ最も大切デアル、此ノ點ニ於キマシテ政府ノ御所見ニ對シテハ私ハ非常ニ満足スル者デアリマス

更ニ此ノ民族結集ノ上ニ付テノ幾多積極的ノ方策、具體的ノ方途、之ニ付テ御伺ヒ致シタイノデアリマスガ、三、四其ノ重要ナル點ノミニ付テ私ハ所見ヲ開陳シテ御伺ヒシタイト思ヒマス、先ヅ第一ニハ、大東亞各地域ニ於ケル政治運動、民族運動、國民運動、是等ノ諸團體ノ總躍起、此ノ點デアリマス、大東亞ハ今眞ニ共生同死ノ誓ヲ

立テテ、サウシテ戰ヒヲ勝抜カナケレバナラス立場ニアルノデアリマスガ、之ニ付キマシテハ十億民衆ノ總躍起ノ爲ニハ、ドウシテモ先頭ニ立ツテ民族精神ヲ昂揚シテ率キテ立ツ所ノ各地域ノ是等ノ諸團體ガ、活潑ナル働キヲナシ、其ノ使命ヲ完遂シテ行カナケレバナリマセス、此ノ點ニ於キマシテハ、私ハ今日ニ是等ノ諸團體ノ内容ヲ一々批判スルコトハ避ケマスガ、遺憾ナガラ十二分ノ連繫ガ執ラレテ居ラス所モアルト考ヘテ居リマス、此ノコトニ付テハ私ハ茲ニ觸レマセヌケレドモ、大體ニ於テ是等ノ各國各地域ノ諸團體ノ情勢ヲ見マス、滿洲ニ於ケル協和會、或ハ支那ノ純正國民黨、或ハ東亞聯盟中國總會デアルトカ、北支ノ新民會、タイノ「ラタニヨム」運動、東「インド」ノ「エ」運動、或ハ「スカル」博士ノ率キル「プートラ」運動、或ハ「フリン」ノ十八歳以上ノ青壯年實ニ七十萬ヲ擁シテ居ルと言ハレテ居ルノ「カリバビ」、斯ウ云フヤウナ幾多ノ諸團體ガ活潑ニ活動ハ致シテ居リマスガ、併シナガラ是等ノ運動ノ諸團體ハ、其ノ發足ノ歴史ニ於テ、又其ノ國、其ノ民族ノ國情、民情ニ依リマシテ各、特異性ガアルノデアリマス、併シナガラ今十億民族結集シテ興亞ノ理想ヲ達成シナケレバナラス、此ノ爲ニハ先頭ニ立ツテ民衆ヲ率キテ立タナケレバナラスト云フ此ノ使命ニ於テハ各、一ツデアリマス、此ノ點ニ於キマシテ私ハ是等ノ諸團體、諸運動ハ此ノ際大乗的ノ見地ニ立ツテ、各、緊密ナル連繫ヲ保チ、サウシテ十億民族躍起ノ筋金トシテ水モ漏サス鐵壁ノ陣容デ、相携ヘテ積極的ノ大運動ヲ展開シテ行クベキモノデアルト強ク、要望スルノデアリマス、此ノ點ニ於キマシテハ、固ヨリ是等

ノ諸團體ノ指導者ガ十二分ニ緊密ナル連繫ヲ執リ合ツテ行クト云フコトモ最も大切デアリマスガ、殊ニ各國各當局ガ能ク此ノ點ニ於テ協力的態度ヲ以テ此ノ緊密ナル連絡ヲ保チ、敵ノ謀略宣傳ノ乘ズル隙ノ餘地モ與ヘズ、相共ニ提携シテ此ノ使命達成ニ遂行シテ行クヤウニ力ヲ致スコトガ、最も大事デアルト私ハ考ヘルノデアリマスガ、之ニ付キマシテ大東亞大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイト存ジマス、是ハ具體的ニ餘リ深イ點マデ掘下ゲテ伺フノデアリマセヌカラ、大體ノ御考ヘヲ御示シ願ヒタイト思ヒマス

○青木國務大臣 大東亞各國ニ於ケル有力ナル國民運動ニ依リマシテ、大東亞ノ解放、大東亞ノ建設ト云フ共同ノ理想ヲ達成スルコトガ必要デアルト云フ御所見ニ付テハ仰セノ通りト考ヘマス、是等ノ各國ニ於ケル民間團體ハソレレノ沿革、歴史ヲ持ツテ出來テ居ルノデアリマスガ、今日ニ於キマシテハ何レノ國ニ於テモ、大東亞共同宣言ニ掲ゲラレテ理想ノ達成ガ最高ノ目標デアルト云フコトニ付テハ共通デアルト考ヘマス、隨ヒマシテソレレノ國ノ政府ト一體トナツテ此ノ有力ナル國民運動ノ展開ニ努力サレテ居ルコトト考ヘマス、而シテ我が國ハ固ヨリ各國ノ是等ノ國民運動ノ間ニ連繫ヲ執リ、相呼應シテ有力ナル推進ヲ行フト云フコトハ又望マシイコトデアリマシテ、一部ハ既ニ實行ニ移サレテ居ルコトト考ヘテ居ルノデアリマス

○岸田委員 次ニ私ハ大東亞諸民族結集ノ方途ト致シテハ、民間ノ適格者ヲ積極的ニ動員シテ此ノ事ニ當ラスベシト云フ意見ヲ持ツテ居ルノデアリマス、此ノコトニ付キマシテ續イテ政府ノ考ヘ方ヲ伺ヒタイト存ジマス、申上ゲルマデモナク、大東亞ノ各國、各民族ノ精神、思想ノ連繫ノ調整ハ、實ニ大東亞各國各民族間ノ識者ノ往來、識者ノ交遊、之ニ俟ツ所ガ非常ニ大キイノデアリマス、又一面ニ於キマシテハ南方各地域ニ於テノ政治ノ指導、或ハ行政ノ立場ニ日本ガ立ツテ、多クノ人々ヲ派遣シテ居リマスガ、而モ此ノ行政ノ任ニ當ル者ハ親心アリ彈力性アル、含ミノアル政治性アル態度ヲ以テ異民族ニ當ツテ行ク、此ノコトガ又非常ニ思想、精神ノ連繫ノ上ニ大事ナ問題デアルト私ハ信ジテ居ルノデアリマス、此ノ點ニ於キマシテハ先ヅ私ハ大東亞各國、各民族間ノ識者ヲ盛ニ往來サセテ、深く交遊ヲシテ行ツテ、サウシテオ互ヒノ思想、心持ノ連繫ヲ保ツテ行キ合ヒ、誓ヲ果シ合ツテ行ク、此ノコトヲ先ヅ強調シタイノデアリマスガ、私ハ之ニ付キマシテハ時間ヲ省ク爲ニ、私ノ見タ一ツノ例ヲ申上ゲタイノデアリマス、曾テ支那事變ノ勃發致シマシタ直後ニ於テ、某地域ノ代表者一行ガ日本ニ見エテ、日本ハ之ヲ御招キシタ、此ノ時ニ日本ト致シマシテハ凡ニル産業、文化、國防、是等ノ諸施設ヲ案内シテ、親シク之ヲ展覽サセテ、而モ一席海軍大臣官邸ニ此ノ一行ヲ招イテ歡迎ノ宴ガ開カレタノデアリマスガ、其ノ席上ニ於テ時ノ海軍大臣カラ慰勞ニ而モ力強イ挨拶ガアツタ、其ノ言葉ノ中ニ、今日目ノアタリ御覽ニナツタ帝國ノ不動ノ備ヘ、施設、是ハ斷ジテ一朝一夕ニ出來上ツタモノデハアリマセス、七十年來實ニ上下一體、粒々辛苦ノ結晶、努力ノ賜デアルト云フ言葉ヲ述ベラレタニ對シテ、一行ノ感銘ハ非常ナモノデアツタ、後ニ其ノ一行ノ中ノ、而モ私ト母校ヲ同ジク



シタ留學生デアツタ人達ガ、非常ナル感銘ヲ私ニ話シテ居ツタノデアリマス、私ハ大東亞ノ諸民族ノ結集、精神思想ノ連繫ハ百ノ説法、千ノ宣言決議ヨリモ、身ヲ以テ體得シタ實感、是ガ魂ノ結付キノ上ニ於テハ最モ大事ナ所デアルト信ジテ居リマス、此ノ意味ニ於キマシテ、私ハ日本ノ眞意ヲ全「アジア」ニ透徹セシムル爲ニハ、「アジア」各地域ニ於ケル指導者、識者ヲ盛シ日本ニ招イテ、日本ノ姿、日本ノ魂ヲ十二分ニ認識サセルコトガ非常ニ大事デアルト存ジテ居ルノデアリマス、同時ニ又日本カラモ民間ノ即チ經濟界、政治界、教育界、凡ニル部面ニ於ケル識者——其ノ識者、人格、人物、度量ノ優レタ人ヲ、是ハ十分ニ嚴選シナケレバナリマセスガ、其ノ嚴選シタ擧句ノ適格者ヲ積極的ニ多量ニ大東亞諸民族ノ間ニ今後ドシドシト送り出シテ、サウシテ各地ノ指導者、各地ノ政治當局、教育當局、經濟當局、凡ニル部面ト擧組歎談ノ裡ニ日本ノ姿、日本ノ精神ヲ透徹サセテ行ク、是ガ最モ效率的デアルト私ハ信ズルノデアリマス、此ノ點ニ於キマシテハ一ツ思ヒ切ツタ大掛リノ民間適格者ノ動員ヲ今後オヤリニナルコトヲ希望スルノデアリマスガ、此ノ點ニ付テノ政府ノ御所見ヲ伺ヒタイノデアリマス

同時ニ續イテ行政ノ面ニ於ケル民間適格者ノ積極的動員、此ノコト一ツ私ハ注文シタイノデアリマスガ、申上ゲルマデモナク今日東亞ノ各地域、特ニ南方方面ニ於キマシテハ、多數ノ行政ノ任ニ當ル人々ガ日本カラ派遣サレテ居ル、供シナガラ、其ノ大多數ハ現ニ日本ノ官吏デアアル人、或ハ會テ官吏デアツタ人、即チ官界出身ノ方々ガ大多數ヲ占メテ居ルノデアリマス、併シナガラ

此ノ點ニ付テハ多少考慮スル餘地ガアルノデハナイカ、ト申シマスコトハ、私共屢、此ノコトヲ現地カラ歸ツテ來タ人カラモ耳ニスルノデアリマスガ、言フマデモナク日本ノヤウナ秩序整然タル單純性、行届イタ行政ト、南方各地域ノ行政トハ餘程茲ニ手加減ヲ變ヘテ行カナケレバナラナイト存ジマス、要スルニ畫一的ナ規律ヅクメ、一律一様ナ行政ヲ施シテ行クト云フコト、殊ニ重箱ノ隅ヲホヅクルヤウナ几帳面ナ法律、几帳面ナ行キ方、斯ウ云フヤウナヤリ方デ臨ミマス、茲ニ非常ナル誤解ガ生ジ易イノデアリマス、「フランス」革命夜話ノ中デ「ローランサン」夫人デアリマシタカ、嗟歎シテ居ル言葉ノ一節ニ、自由ト云フ美名ノ下ニ如何ニ多クノ罪惡ガ行ハレルコトヨ、斯ウ歎イテ居ル一節ガアリマスガ、若シソレ民族解放ト云フ美名ノ下ニ如何ニ多クノ痛屈ガ加ヘラレルコトヨト云フヤウナ誤解ヲ來サシメ、嗟歎セシメルヤウナコトガアツタナラバ、是レ全ク帝國ノ眞意ニ反スル所デアリマス、私ハ十分是等ノ點ニ付テハ心ヲ御配リニナツテ、官界出身ノ人々ノミニ偏ルコトナク、民間ノ凡ニル部面カラ人物、度量、才氣等ノ方面ヲ十分ニ嚴選ノ上デハアルケレドモ、行政方面ニ當ル人々ヲモ動員シテ、之ヲ南方ニ送ル、サウシテ彈力性ノアル、機動性ノアル、政治性ノアル、含ミノアル、常識豊ナ、親心ノ溢レル政治行政ヲ行ハセテ行ク、斯ウシテ以テ思想ノ連繫、日本ノ心意ノ透徹ヲ此ノ上ニモ進メルト云フコトガ非常ニ大事デハナイカト私ハ思フノデアリマス、ドウカ此ノ點ニ付キマシテ民間適格者ノ思想連繫、眞意ノ透徹ノ上ニ役立タシメ、或ハ行政面ニ於テノ活用、此

ノ點ニ付テハ積極的ノ御考ヘアリヤ、又如何ナル御所信デアラセラレルカニ付キマシテ、御當局ノ御意見ヲ續イテ承ツテ置キタイト思ヒマス

○青木國務大臣 國家ノ親善提携ノ實現シ、思想的連繫ヲ強化スルコト云フコトノ上ニ於キマシテ、各國民ノ個人的接觸及ビ意思ノ疏通ト云フコトガ非常ニ役立ツモノデアルト云フコトハ、只今御述ベノ通りト思フノデアリマス、其ノ事ハ私ハ外國ニ居リマシタ當時、特ニ感ジタ點デアリマシテ、中國人ノ場合ノ如キ、個人的信用ト云フコトガ非常ニ強イ影響ヲ持ツテ居ルヤウ實情ニアルノデアリマス、隨ヒマシテ各國ノ指導的地位ニ在ル人達ガ出來ルダケ往來ヲ多ク致シマシテ、其ノ意思ノ疏通ヲ圖ルコトガ極メテ望マシイノデアリマス、大東亞會議ニ於キマシテ各國代表ノ御話ヲ伺ツテ見マスト、今マデ一度モ會ツタコトガナイ人ガ一堂ニ會スル、此ノ事ダケデ非常ナル満足ヲ感ゼラレタヤウデアリマス、隨ヒマシテ出來ルダケサウ云フ機會ヲ多ク希望スルノデアリマスガ、特ニ今御述ベノ如ク國內各國各方面ノ人達ヲ出來ルダケ我が國ニ招致致シマシテ、我が國ノ國情、國力、我が國ノ國策ノ存スル所ヲ具サニ實地ニ視察セシメルト云フコトハ極メテ望マシイノデアリマス、昨年來モ數回サウ云フヤウナ實際ノ試ミモ行ハレタ次第デアリマス、今後ニ於キマシテモ出來ルダケサウ云フ機會ヲ多ク致シタイト考ヘマス、又我が國ヨリ各國ニ人ヲ派シテ各國ノ實情ヲ視察セシメルコトモ、亦同様ニ我が國民ノ認識ヲ深メ、兩國ノ理解ヲ深メマスル上ニ於テ、是レ亦同様ニ望マシイノデアリマス、唯御存ジノ

通り交通問題其ノ他ニ依リマシテ、其ノ數ニ於テハ自ラ制約ガアルト考ヘマス、唯今日ニ於キマシテモ南方方面ニハ、只今御述ベノヤウニ行政方面或ハ産業、交通方面等ノ要員トシテ當然送ラナケレバナラナイ人ガアルノデアリマスカラ、是等ノ人達ノ選定ニ當リマシテハ、今御指摘ノ如ク現地ニ於テ我が國策ノ實行ノ尖兵トシテノ責務ヲ果シ得ル人、現地住民ニ對シテ親心ヲ以テ彼等ヲ包容シ、其ノ信望ヲ贏チ得ル適材ヲ送ラナクテハナラナイ、此ノ點ニ付テハ全ク同感デアリマス、隨ヒマシテ要員ノ選定ニ當リマシテハ、固ヨリ其ノ出身ニ付キマシテ官吏、民間ノ差別ナク適材ヲ選ブト云フコトノ方針ニハ全然同感デゴザイマス

○岸田委員 大東亞大臣ノ此ノ點ニ對スル御考ヘヲ承リマシテ満足スル者デアリマス、ドウカ一ツ異民族ニ當ル上ニ於テハ、此ノ點ハ十分ニ頭ニ置イテ、政治、經濟、教育、凡ニル點ニ於テ一ツ手心ヲ加ヘテ行クト云フコトニ一層ノ御努力ヲ願ヒタイト存ジマス、殊ニ何分ニモ南方各地域ハ文化ノ程度ト云ヒ、思想ト云ヒ、習俗ト云ヒ千差萬別デアリマス、會テ「フィリピン」ニ在勤シテ居ツタ私ノ知人ガ話スノニ、「フィリピン」ダケデモ四十三種類カラノ人種ガアル、言語モ八十四種モアル、斯ウ云フ複雑難多ナ國情、社會狀態ニ對シテ、日本ノヤウナ秩序整然タル立場デ慣レテ來タ政治行政ヲ押シ進メテ行クノハ非常ニ困難ダト云フ話ヲ申シテ居ツタコトヲ記憶スルノデアリマスガ、ドウカ一ツ是等ノ事情ヲ十二分ニ御考ヘニナツテ、特ニ南方各地域ハ「フィリピン」ヨリモ更ニ一層然リデアリマスカラ、此ノ點今後一層ノ御善處ヲ願ヒタイト存ジマス

尙ホ續キマシテ私ハ青少年ノ南方「アジ  
ア」各地ニ於ケル青少年ノ指導者、特ニ留  
學生ノ問題ニ付キマシテ御所見ヲ伺ヒタイ  
ト存ジマス、言フマデモナク米英蘭ガ南方  
ノ各地域ヲ制壓シテ居ツタ時代ノ教育ノヤ  
リ方ハ、全ク自己ニ利シ、自己ニ役立タシ  
ムル、此ノ目標ニ向ツテ彼等ニ或ル程度ノ  
教育シカ與ヘナイ、斯ウ云フ文盲主義ノ教  
育方針ヲ採ツテ居ツタノデアリマス、併シ  
ナガラ日本ガ眞ニ「アジア」諸民族ト提携シ  
テ興亞ノ大理想ヲ達成シテ行クト云フ此ノ  
尊イ目標ヲ完遂シテ行ク上ニ於テハ、又是  
ガ主義デアルカラニハ、此ノ教育ノ振興ト  
云フコトニ付キマシテモ米英ト全ク趣キヲ  
異ニシ、指導精神ヲ異ニシタリ方ヲ事實  
ノ上ニ施策シテ行ク、實踐シテ行ク、是ガ  
最モ私ハ大切デアルト信ズルノデアリマス、  
殊ニ南方各民族ノ家庭ニ於ケル興亞精神、  
大東亞共榮圈ノ建設理念、此ノ推進力トナ  
ルモノハ青少年デアリマス、此ノ點ニ於キマ  
シテハ十二分此ノ教育ニ當ツテ日本ノ眞意  
ヲ徹底シ、闡明シ、滲透シテ行クト云フコト  
ハ餘程力ヲ注ガナケレバナラス點デアリマス  
ガ、殊ニ此ノ青少年ノ指導ノ任ニ當リマス指  
導層ノ青年達ヲ一人デモ多ク日本ニ留學セ  
シムル、サウシテ身ヲ以テ日本ノ精神、日  
本ノ眞ノ姿ヲ認識體得サスコトガ非常ニ大  
切デアルト存ジマス、大東亞大臣御承知ノ  
ヤウニ、今日南方各地域カラ日本ニ來テ居  
ル留學生ノ數ハ極メテ少イ、昨年末ノ數ヲ  
調べテ見マシテモ「フィリピン」カラ僅カ三十  
人、蘭印カラ三十一人、「インド」カラ二十七  
人、「ビルマ」カラ十七人、其ノ他ノ諸地域  
ノ數ハ僅ニ七名、五名ト云フヤウナ實ニ寥  
寥タルモノデアリマス、是デハ本當ニ將來

ノ大東亞各地域ノ指導者トシテ、日本ヲ認  
識シ、日本精神ヲ體得シ、由ツテ以テ興亞  
ノ大使命達成ノ上ニ大キナ働キヲ俟ツト云  
フコトニ於テ、甚ダ心細イ今日ノ留學生狀  
態ニナツテ居ルト思フノデアリマス、ドウ  
カ此ノ點ニ付キマシテハ一ツ日本政府ハ大  
イニ肚ヲ据エテ出來得ルダケノ方途ヲ盡シ  
テ、數多ク有爲ノ青年達ヲ日本ニ留學セシ  
メ、而モ彼等ガ日本ニ於テ修學スル上ニ於  
テ、又日常ノ生活ノ上ニ於テ、或ハ厚生施  
設ノ上ニ於テ、政府ハ十二分ニ心ヲ致シテ  
是等ノ利便ヲ圖ツテ、之ヲ御進メ願ヒタイ  
ト存ジマス、此ノ點ニ付キマシテノ大東亞  
大臣ノ御考ヘヲ伺ヒタイト存ジマス  
○青木國務大臣 米英「オランダ」等ガ南方  
統治ヲヤツテ居リマシタ時ニ、各國民族ノ  
教育ニ對シテ非常ナル消極の方針ヲ執ツテ  
居ツタト云フコトハ御指摘ノ通りデアリマ  
シテ、各民族ノ能力向上ヲ極端ニ恐レテサ  
ウ云フ方針ニ出テ居ツタモノノヤウデアリ  
マス、我ガ方ノ新シイ方針ノ下ニ、彼等ハ  
教育ノ面ニ於テモ非常ナル積極の方針ノ  
下ニ喜ンデ教育ヲ受ケテ居リマス、ソレカ  
ラ南方各地ノ留學生、殊ニ青少年多數ヲ我  
ガ國ニ招致シテ、我ガ國情ヲ知ラシメ、我  
ガ日本精神ヲ體得セシムル、ソシテ我ガ國  
ト提携シテ大東亞建設ノ大業ヲ達成スル中  
堅ノ人材ニナツテ、各國ノ民衆ヲ率キテ行  
ク、其ノ素地ヲ養成スルコトハ極メテ大事  
ナコトデアルト思フノデアリマス、昨年此  
ノ留學生招致ニ關スル方針ヲ閣議ニ於テ決  
定致シマシテ、實行ニ移ツテ居ルノデアリ  
マスガ、只今御指摘ノ通り其ノ數ニ於テハ  
マダ十分トハ申上ゲ兼ねルノデアリマス、  
何分ニモ昨年ヨリ計畫的實行ニ入ツタヤウ

ナ狀況デアリマスノデ、年ト共ニ其ノ數モ  
殖エテ參リマスシ、其ノ指導、教育ノ方針  
ニ付キマシテモ實效ヲ收メルヤウニ努力ヲ  
致シタイト考ヘテ居リマス  
○岸田委員 尙ホ大東亞民族結集ノ具體的  
ナ方策ニ付キマシテハ、幾多私ハ伺ヒタイ  
點ガアルノデアリマスガ、餘リ時間ガナイ  
ヤウデアリマスカラ、最後ニ一點、南方ノ  
各地域ニ博物館乃至文化會館ナドヲ相當ノ  
規模ニ於テ建設シテ、大東亞ノ實相、日本  
ノ實情ヲ是等ニ十分認識セシメルコトガ、  
今日特ニ緊急ナ要務デアルト私ハ考ヘテ居  
ルノデアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテ簡  
單ニ私ノ所見ヲ申述ベテ、大東亞大臣ノ御  
意見ヲ伺ヒタイト存ジマス、百聞ハ一見ニ如  
カズト云フ言葉ガアリマスガ、私ハ百ノ説  
法ヨリモ千ノ決議ヨリモ、本當ニ目ヲ通シ  
テ「アジア」ノ眞ノ姿「アジア」ノ眞ノ魂ヲ認識  
シ自覺スルコトガ、今日非常ニ大切ナ要諦デ  
アルト存ズルノデアリマス、今日マデノ「ア  
ジア」各地域、特ニ南方各地域ニ於ケル情勢  
ヲ見マスルノニ、大東亞全體ノ資源ノ狀態、  
産業ノ狀態、或ハ文化或ハ教育、斯ウ云フ  
ヤウナ諸方面ニ於ケル實相、而モ亦是ガ幾  
百年來米英蘭ノ爲ニ制壓セラレ、蹂躪サレ、  
其ノ爲ニ東亞ノ諸民族ハ非常ナル不幸ニ陷  
ツテ居ツタ、此ノ實情、更ニ又日本ノ經濟、  
文化、教育、國防等ノ諸方面ニ於ケル實力、  
殊ニ又日本ノ尊貴ナル歴史、國體、斯ウ云  
フヤウナ方面ニ付テノ認識ハ、非常ニ米英  
蘭ノ彩リニ塗リ潰サレ蔽ハレテシマツテ、  
其ノ認識ヲ至メラレテ來テ居ル、是デハ本  
當ニ「アジア」ノ隅々マデ、眞ニ我等ノ姿、我  
等ノ魂ハ斯クノ如キモノデアルト云フコト  
ヲ自覺セシメ、立上ラスコトハ中々出來ナ

イノデアリマス、私ハ先年南方各地域ヲ視  
察旅行致シマシタ場合ニ、幾多此ノ點ニ付  
テノ實情ヲ目撃シ痛感シタコトガアルノデアリ  
マス、例ヘバ原住民、或ハ日本ノ在留邦人ノ  
小學校程度ノ教育、是等ノ點ニ於キマシテ  
モ此ノ本當ノ實相ヲ認識サセル教材ハ殆ドナ  
イト云ツテ宜イ位ノ有様ニナツテ居ル、一  
例ヲ申シマス、北「ボルネオ」ノ「タワオ」ノ  
小學校ニ行キマシタ場合ニ、丁度私ト同郷  
ノ校長ガ居リマシテ、此ノ人ノ説明スルノ  
ニ、壁ニ僅カニ數枚ノ繪葉書ヲ貼リ付ケテ、之  
ニ依ツテ現住民達ヤ又在留邦人ノ子弟達ニ日  
本ノ姿ヲ教ヘテ居ルノデアル、實ニ是デハ日本  
ノ眞意ハ透徹シマセスト云フコトヲ慨イテ居  
ツタノデアリマス、私ハ斯クノ如キ狀態デハ  
絕對ニ相成ラスト存ジマス、此ノ點一ツ百  
聞ハ一見ニ如カズデアリマシテ、言葉ヲ通  
シ、文字ヲ通シテ教ヘルコトモ大事デア  
ルケレドモ、ソレヨリモ第一著手ヲ致シマシ  
テ、出來得レバ此ノ際博物館乃至文化會館  
的ノ施設ヲ各地域ノ中心地ニ建設シテ、眼  
ヲ通シテ「アジア」ノ實體ヲ彼等ニ把握セシ  
メ、此ノ施策ヲ實踐ニ移スコトガ非常ニ大  
事デアルト存ズルノデアリマス、此ノ點ニ  
於キマシテ世界ノ國々ハ餘程先進的ナ實行  
ヲヤツテ居ルノデアリマシテ、アノ「イギ  
リス」ノ三百年モ掛ツテ作り上ゲタ雄大ナ  
ル「ブリッヂ・ミュージアム」ハ別ト致シ  
マシテ、又「アメリカ」ノ如キハ之ヲ凌駕ス  
ル大キナ施設ヲ設ケテ、世界ニ對シテ「ア  
メリカ」ヲ認識サセ、世界ノ姿ヲ又「アメ  
リカ」ニ認識サス、斯ウ云フヤウナコトニ今  
力ヲ致シテ居ルヤウデアリマスガ、斯ウ云  
フ大規模ナコトハ別問題ト致シマシテモ、  
日本自體トシテ、又南方各地ニ於キマシテ

モ此ノ施設ダケハ、決戦下ト雖モ最非至急ニナル必要ガアルト存ジテ居ルノデアリマス、幸ヒ我ガ國ニ於キマシテハ先般大東亞會議ヲ契機ト致シマシテ、大東亞省、文部省、博物館協會ナドガ協力サレテ、六百萬圓ノ經費、三箇年ノ事業デ大東亞博物館ノ建設ヲ決定サレタト云フコトハ、非常ニ我々欣快ニ存ズルノデアリマス、固ヨリ日本國內ニ是ガ出來ルコトハ喜バシイガ、今燃エ上ツテ居ル日本國民ニ對スル是等ノ施設ヨリモ、先ヅ私ハ緊急トスル所ハ大東亞ノ各地、殊ニ南方各地ニ決戦下ノ緊急施設トシテ此ノ施設ヲ設ケテ、本當ニ「アジア」ノ姿ヲ彼等ニ認識サセ、魂ヲ自覺サセ、本當ノ魂ノ結付キヲ之ニ依ツテ其ノ實ヲ擧ゲテ總蹙起セシメル、此ノ施設ガ私ハ非常ニ大切ナ事デアルト存ジテ居ルノデアリマスガ、是等ニ對シマシテ政府ハ如何ナル御考ヘデアルカ、又如何ナル御用意ガアラセラルカ、此ノ點ヲ最後ニ御伺ヒシテ置キタイト存ジマス

○青木國務大臣 大東亞建設ノ基礎ハ、要スルニ「アジア」人トシテノ自覺ト、我ガ國ニ對スル信頼、此ノ二ツガ基礎ニナルノデハナイカト思ヒマス、從來「アジア」ニハ世界ニ誇ルベキ文化ガアツタノデアリマスガ、米英ノ謀略ノ爲ニ影ガ薄クナリ、「アジア」人自身、自信ヲ失ツテ居タウニ考ヘラレルノデアリマス、我ガ國情ヲ彼等ニ十分認識セシメ、一方ニ於テハ我ガ國ノ方針、我ガ國力ニ絕對ノ信頼ヲ贏チ得マスト共ニ、彼等自身ニモ「アジア」人トシテノ自信ト責任ヲ與ヘルコトガ極メテ大切ダラウト考ヘマス、其ノ意味ニ於キマシテ今御話ノ如ク文化會館、博物館ト云フヤウナ、直接眼デ

見デモ直グ分ルト云フヤウナモノハ極メテ有效デアルト私モ考ヘルノデアリマス、隨ヒマシテ現在一部ハ既ニ計畫モ進ンデ居ルノデアリマスガ、尙ホ今後諸般ノ事情ガ許スニ應ジテ、是等ノ計畫ヲ更ニ擴充シテ参リタイト考ヘテ居リマス

○岸田委員 私人質問ハ之ヲ以テ打切りマス

○島田委員長 午後一時マデ休憩致シマス  
午後零時三分休憩

午後一時七分開議  
○島田委員長 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キマス、此ノ際主査ノ選定及ビ分科所屬ノ委員ノ配置ヲ定メテ置キタイト思ヒマスガ、是ハ先例ニ依リ委員長ニ御一任ヲ願ヒタイト思ヒマス、御異議アリマセスカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕  
○島田委員長 御異議ガナケレバ直チニ主査ヲ指名致シマス

第一分科(外務省、司法省及大東亞省所管) 主査 箸本 太吉君

第二分科(內務省及厚生省所管) 主査 作田高太郎君

第三分科(大藏省及文部省所管) 主査 池本甚四郎君

第四分科(陸軍省、海軍省及軍需省所管) 主査 中村三之丞君

第五分科(農商省所管) 主査 藤本 捨助君

第六分科(運輸通信省所管) 主査 南條 徳男君

斯様ニ御願ヒテ致シマス、尙ホ分科所屬委員ノ配置ニ付キマシテハ、委員カラノ御

希望ノ申出等ヲ參酌ヲ致シマシテ決定致シマシテ、公報ヲ以テ御知ラセスルコトニ致シマス、是ヨリ質疑ヲ繼續致シマス——江口繁君

○江口委員 私人先ヅ厚生大臣ニ御尋ネシタイト思ヒマス、戰局ガ益々苛烈深刻ニナルニ伴ヒマシテ、第一線將兵ノ盡忠報國ニ應ヘテ、愈々此ノ軍人援護ニ缺クル所ナキヲ期サナクテハナラヌト思フモノデアリマスガ、政府ノ之ニ對スル方策ハ如何様ニ御進展ニナツテ居リマセウカ、先ヅ御承リ致シタイト思ヒマス

○小泉國務大臣 戰局ノ推移ニ鑑ミマシテ軍人援護ノ愈々強烈ニ其ノ充實ヲ圖ラナケレバナライコトハ、御趣旨ノ通りデゴザイマス、從來政府ト致シマシテハ生活援護、職業輔導乃至醫療保護ト云フヤウナ方面ニ力ヲ盡ス、大體斯ウ云フ方面ニ於キマシテハ一應整ツテハ參リマシタガ、末梢ニマデ、是ガ徹底スルト云フ點ニ於テハ、未ダ足ラザルモノアルヲ憂ヘル次第デアリマシテ、今後一層此ノ點ヲ充實致シタイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマスガ、十九年度ニ於キマシテハ此ノヤウナ考ヨリ致シマシテ傷痍軍人遺族、家族ノ職業輔導或ハ教員養成所ノ施設ノ擴充、又出征軍人ノ子弟ノ育英ト云フヤウナコトニ、豫算の處置ヲ講ジテ居ル次第デアリマスガ、併シ是等ノ外ニ全面的ニ軍人援護事業ヲ通ジテ國民志氣ヲ大ニ昂揚スル、之ニ依ツテ戰争完遂ノ上ニ寄與セシメナケレバナラス、此ノ精神方面ニ大ニ力ヲ盡シタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○江口委員 精神方面ニ大イニ力ヲ注イデ戴クト云フコトハ勿論肝要ナコトデアリマスガ、生活上ノ安定、殊ニ子弟ノ育英等

ニ付キマシテハ、相當考慮シナケレバナラスト思フノデアリマス、ソレニ付テハ援護事業ナルモノハ、畫一的又普遍的ニ援護シテヤルト云フノデハナクシテ、各地方ノ特色ヲ十分捉ヘテ、遺憾ナク援護ノ徹底ヲ期スルコトガ必要デハナイカト思ヒマス、例ヘバ福岡地方ニ於キマスル博多織ノ鼻緒ノ製造ノ仕事デアリマスガ、之ニハ遺家族ヲ中心トシテ、一部傷痍軍人モ混ツテ居ルヤウデアリマスガ、五百三十人ノ人デ年間三百萬圓ノ生産ヲ致シテ居ル、斯様ナコトハ、地方ニ依ツテハ竹細工或ハ菓子工、更ニ婦人ノ仕事トシマシテハ「ミシン」裁縫ノ如キハ非常ニ適當デハナイカト思フノデアリマス、此ノ援護事業ヲ地方ノ特色ニ應ジテ徹底セシメルト云フコトニ付テハ、中央地方ヲ通ジテ此ノ事業ニ要スル資材ヲ適當ニ御世話願フ、是ガ大事ナコトデハナイカト思フ、例ヘバ家庭向ノ婦人ニヤラセル所ノ「ミシン」機械ニシテモ、轉廢業者ノ出シタモノガ更生金庫ノ倉ノ内ニ眠ツテ居ルト云フヤウナコトデハナラス、是等ヲ一日モ早く倉庫カラ出シテ、優先的ニ援護事業ニ使ツタナラバ、非常ニ有意義ナコトデハナイカト思フノデアリマス、是等ノ關係カラ援護資金ノ配分方法ヲ改善セラル、御考ヘハアリマセウカ

○小泉國務大臣 今日軍人援護事業ハ御承知ノ通り、國費ヲ以テマシテ國家的ノ事業トシテ致シテ居リマスル中央援護關係、其ノ面ニ於キマシテハ、只今御話ノヤウニ畫一的ノ所モアルノデアリマスガ、仰セノ通りハ地方事情ニ即スル援護ト云フコトガ本當ニ徹底スル次第デゴザイマスノデ、此ノ點ニ付キマシテハ從來トモ地方各府縣ノ

軍人援護會ニ助成ヲ致シテ其ノ趣旨ノ徹底ヲ圖リ、或ハ又市町村ニ御承知ノ通りノ銃後奉公會ノ隣保相助ノ手ヲ強ク伸バスト云フヤウナコトヲヤツテ居リマスルガ、併シ其ノ色々ノ仕事ノ上ノ資材ト云フモノノ世話、是ガ過去ニ於キマシテハ色々手違ヒ等モアリマシタコトハ洵ニ遺憾ニ存ジマスルノデ、其ノ後軍需品ノ發注等ヲ軍部トモ相談ヲ致シマシテ、海軍軍需部、陸軍軍需品關係ノ部署ヨリ配給ヲ致シ、大變好イ結果ヲ得ツ、アル次第デアリマスノデ、今後ハ只今ノ御話ノヤウナ資材ニ對スル中央カラ特別ノ配慮ヲ尙更倍加シテ参リタイト存ズル次第デアリマス、尙ホ之ニ伴ヒマスル援護資金ニ付キマシテモ、是レ亦同様ニ軍人援護事業ノ徹底ノ爲ニ今後トモ特ニ國費助成其ノ他ノコト以外ニ篤ト研究ヲ進メテ参リタイト思ヒマス

〔委員長退席、中井委員長代理著席〕

○江口委員 戦時下ニ於テ最モ重視シナケレバナラスコトハ道徳心ノ低下ニ依ル風紀ノ弛廢、之ニ關聯シテ戦時下女子ノ貞操上ノ問題ガ相當考慮ヲ要スルモノガアラウト私ハ思フノデアリマス、是ハ戦争遂行上正シキ道徳ガ確立サレト云フコトガ總テノ戦力ノ根柢ヲナス、隨テ此ノ戦時下女子ノ貞操ノ堅固ナルコトハ十分之ヲ留意スル必、要ガアルト思フノデアリマス、女子ノ貞操ノ擁護ノ爲ニ深キ理解ヲ世ノ男子ガ持つト云フコトハ、女子ガ工場ニ、各種ノ勞務ニ服シテ行ク上ニ於テ影響ノアルコトデアリマス

隨テ女子ノ貞操上ノ擁護ニ付テハ一段ト留意ヲ仰ガナクチャナラスト思ヒマスルガ、厚生大臣ハ此ノ風紀維持ト云フ精神上ノ根

本ヲ成ス問題ニ付テ如何様ナ御考ヘヲ持つテ居ラレマスルカ、御聞キシタイト思ヒマス

○小泉國務大臣 戦争遂行ノ時ニ當リマシテ、國民道義心ノ廢頽ト云フコトハ、全ク戰敗ノ根源デアリマスルコトハ、戰史ニ徴シテ明カデアリマス、御説ノ通り、斯ル時ニ於キマシテハ風紀ノ問題等モ特ニ注意ヲ致サナケレバナラスト存ジテ居リマス

○江口委員 戦時皇民道徳ノ昂揚ニ付テ取締ノ立場ニ居ラレル内務大臣ニ一言此ノ機會ニ御尋ネシテ置キタイト思ヒマス、此ノ大戰争完遂ノ爲ニ一體トナツテ乗切ツテ行ク、是ハ皇國眞ニ一家ノ大親和ノ中ニアツテ初メテ出來上ルノデアリマス、此ノ大親和ヲ打立テ行クニハ、國民ノ益、切詰メテ行カナケレバナラナイ生活苦ニ反面シテ、國民ノ道徳心ガ之ト逆行シテ高メラレテ行クト云フコトガ大切ナコトデアラウト思フノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ、官紀ノ振肅、官吏ガ率先垂範スルト云フコトハ勿論必要デアリマスガ、國民ノ多數ト常ニ接觸スル部面ニ居ル所ノ警察官ノ素質、是ガ非常ナ影響ガアルト思フノデスガ、之ニ對スル内務大臣ノ御所見ヲ伺ヒマス

○安藤國務大臣 御答ヘ致シマス、只今國民ノ戰時道徳ノ昂揚、延イテハ戰時生活ノ確立ト云フヤウナ點カラ御覽ニナリマシテ、日常一般ノ同胞ト最モ接觸面ノ廣イ所ノ警察官ノ教養素質ト云フコトニ付テ、江口君ノ御述ベニナリマシタ御意見御感想ハ全然私ハ御同感デゴザイマス、殊ニ此ノ戦時下ニ於キマシテハ、精神問題ニシロ、思想問題ニシロ、社會ノ現狀ニ鑑ミマスレバ、日常ノ職務或ハ日常ノ生活ヲ通ジテソコニ現ハ

レル所ノ實踐面ト云フモノガ、社會ノ一般ノ綱紀ヲ維持シ、又戦力ヲ増強シテ行ク上ニ於テ、直接的ニ重視シナケレバナラヌ面デアルト考ヘテ居ルノデアリマス、左様ナ觀點ニ立チマシテ、御説ノ如ク、私ハ特ニ警察官、殊ニ一般ノ巡查、斯ウ云フ人々ガ少シデモ自ら正直ナル戦争生活ヲ完遂シテ行ク、強靱ナ意思ヲ持つテ何處マデモ自ラ一ツ正直ニ戦時下ノ生活ヲヤツテ行クト云フ所ニ、警察官トシテノ誇リト感激ヲ持つテ貫ヒタイト思ヒマシテ、上級ノ警察官ニ期待スルヨリモ、寧ロ斯カル日常一般國民ニ接觸面ノ廣イ所ノ警察官ニ向ツテ、及バズナガラ熱意ヲ籠メテ指導ニ當ツテ居ル次第デゴザイマス、併シナガラ、御承知ノ如ク、國民ノ中カラ、健康ニ於テモ又年齢ニ於キマシテモ、勝レタ人々ハ舉ツテ第一線ノ戰場ニ立チ、然ラザル人モ戰時下最モ重要ナル生産ノ部面ニ多數營々努力ヲシテ居ラレルノデアリマシテ、實際上優レタル警察官ノ補充ヲ致シテ行キマスコトハ、ソコニ非常ニ困難ナル事情ノ伴ツテ居リマスコトモ御諒察願ヒ得ルコトト存ジマス、左様ナ實情ニアリマスルガ故ニ、尙更私共トシテハ警察官ノ教養並ニ其ノ日常ノ職務ヲ通ジテノ言動ト云フモノニ付テ、細心ノ注意、自戒ヲ加ヘテ臨ム、是ガ戦力増強ノ上ニモ大イナル關係、影響ヲ持つモノト確信シマシテ、其ノ指導ニ當ツテ居ル次第デアリマス、尙ホ未ダ及バザル所多スアルコトヲ遺憾ニ存ジマスガ、今後一層努力スル考ヘデアリマス

○江口委員 昨今日色々聞取引ノ問題ニ付テ、相當警察官ニ對スル所ノ批評ヲ各地デ耳ニ致シテ居ルノデアリマスガ、是ハ

寧ロ、警察官ノ鍊成ト云フコトモ大切デアリマスルガ、更ニ生活ノ安定、待遇ノ改善ト云フコト、之ニ相當親心ヲ發揮シナケレバ、安イ月給ノ中デ其ノ體面ヲ保チ、子弟ノ教養ヲシ、或ハ貯金ヲシテ行カナケレバナライ、公債モ買ハナケレバナラスト云フコトハ、到底警察官トシテノ威信ヲ保ツコトハ困難デハナイカ、是等ノ待遇問題ニ付テハドウ云フ風ナ御考ヘヲ持つテ居ラレマスカ、承リタイト思ヒマス

○安藤國務大臣 警察官ノ待遇ハ現在ヲ以テ、十分ト認メラレテ居ルカドウカト云フノガ御質問ノ要點デアツタト存ジマス、是ハ單リ警察官ニ限ラズ、官吏ト云ハズ、種々ノ公職ニ携ハル人モ、或ハ民間ニ於テ雇傭ノ關係ニ於テ給與ヲ得テ居ル人々モ、ソレ等ノ精神的、物的ノ待遇ガ完全ナリト云フ所ハ、一ツモナカラウト私ハ思ツテ居リマス、要スルニ物ハ標準ノ置キ方デアリマシテ、其ノ標準ノ物差ノ置キ方ニ依ツテハ、不足ヲ多ク懸ヘルコトモ出來マセウシ、物差ノ置キ方ニ依リマシテハ是デ足レリトスルモノモアラウト思ヒマス、勿論政府當局ト致シマシテハ、諸般ノ均衡ヲ能ク考ヘマシテ、相互釣合ヲ得ルヤウニ考ヘテ行カナケレバナラスコトハ、是ハ當然ノ責任デゴザイマス、隨ヒマシテ多數ノ警察官ヲ隸下ニ持つテ、之ニ多大ノ又重要ナ役割ヲ課シテ行ク所ノ當局ト致シマシテハ、出來ルダケ今日以上ニ尙ホ精神的、物的兩面共ニ於テ、待遇ノ向上ヲ圖リタイト念ジテ居リマス、併シナガラ此ノ戦争下物ノ考ヘヤウト物差ノ持チャウニ依リマシテハ、決シテ十分トハ言ヘナイト私ハ信ジマス、隨テ一面ニ於テハ警察官ガ能ク此ノ時局ヲ理解シ

テ、十分ト認メラレテ居ルカドウカト云フノガ御質問ノ要點デアツタト存ジマス、是ハ單リ警察官ニ限ラズ、官吏ト云ハズ、種々ノ公職ニ携ハル人モ、或ハ民間ニ於テ雇傭ノ關係ニ於テ給與ヲ得テ居ル人々モ、ソレ等ノ精神的、物的ノ待遇ガ完全ナリト云フ所ハ、一ツモナカラウト私ハ思ツテ居リマス、要スルニ物ハ標準ノ置キ方デアリマシテ、其ノ標準ノ物差ノ置キ方ニ依ツテハ、不足ヲ多ク懸ヘルコトモ出來マセウシ、物差ノ置キ方ニ依リマシテハ是デ足レリトスルモノモアラウト思ヒマス、勿論政府當局ト致シマシテハ、諸般ノ均衡ヲ能ク考ヘマシテ、相互釣合ヲ得ルヤウニ考ヘテ行カナケレバナラスコトハ、是ハ當然ノ責任デゴザイマス、隨ヒマシテ多數ノ警察官ヲ隸下ニ持つテ、之ニ多大ノ又重要ナ役割ヲ課シテ行ク所ノ當局ト致シマシテハ、出來ルダケ今日以上ニ尙ホ精神的、物的兩面共ニ於テ、待遇ノ向上ヲ圖リタイト念ジテ居リマス、併シナガラ此ノ戦争下物ノ考ヘヤウト物差ノ持チャウニ依リマシテハ、決シテ十分トハ言ヘナイト私ハ信ジマス、隨テ一面ニ於テハ警察官ガ能ク此ノ時局ヲ理解シ

テ、自ラ一貫シテ其ノ自分ノ職務ニ盡瘁シテ行クニ足ルダケノ物差ト尺度ト云フモノヲ、銘々ガ自分デ持つテ、サウシテ其ノ上ニ安ンジテ自ラ進ム、其ノ意思ヲ作り、其ノ考ヘテ自ラ決メテ掛ル、斯ウ云フ方面ノ力ヲ私ハ念ジ、之ヲ鍊成スルコトニ努力ヲ致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、附言致シマスガ、當局トシテハ決シテ今日他トノ一般ノ鈞合上、十分ナリトハ考ヘテ居リマセヌ、政府部内ニ於キマシテ是等ノ給與ヲ向上スル所ノ議ガ、諸般ノ權衡勘案ノ上デ其ノ途ヲ得マスレバ、喜ンデ其ノ向上ヲ圖リタイト考ヘテ居ル次第デゴザイマ

ス  
ヲ増シテ、六百億圓ニナツタシテ増税ヲセラレ、國民ハ喜ンデ此ノ増税ニ應ズル氣持ハアリマス、國民所得ノ増加シテ部面ニ於テ、其ノ所得ニ應ジテ多額ノ納税、貯蓄、公債ニ應ジテ行クト云フコトハ勿論デアリマス、所ガ少クトモ中以下ノ官吏、俸給生活者ニ於テハ、此ノ百億圓ノ増加ノ中ノ所得ノ増加トシテ、之ヲ見ルコトハ困難デアリマス、其ノ所得ノ増加セザル者ガ、所得税ニ付テ百分ノ十デアツタノガ百分ノ十五ニナルト云フコトハ、所謂五分ノ減俸デアル、或ハ綜合所得税ニ於テ百分ノ六ガ百分ノ八ニナツタト云フコトハ、此ノ部面カラモ二分ノ減俸デアル、斯様ナコトモ考ヘラレノデアリマス、唯官吏訓ヲ以テ精神ノニノミ之ニ臨ムト云フコトハ、マダ親心トシテ足ラザル所ガアルト考ヘル、官吏ノ不正ハ之ヲ大イニ制壓シテ、十分官紀ノ振肅ヲ圖ラナケレバナラスノデアリマスガ、又一面生活上ノ安定ト云フコトモ、十分考慮シテヤラナケレバナラスと思フ、唯物差ノ計リ方ダケヲ、古イ昔カラノ階級ノナ、澤山ノ段階ニ因ハレタ所ノ物差ダケヲ以テシテハ、眞ノ官紀ノ肅正ヲ望ムコトニハ困難デアラウト思フノデアリマス、ソレト共ニ今日國民全體ガ汽車ニ乗ツテモ、電車ニ乗ツテモ、買物ニ行ツテモ、非常ニ不愛想ニナリ、不親切ニナツタ、今少シ大國民トシテノ氣風ヲ興サナケレバナラスと思フ、我々今日ハ一宇ノ肇國ノ大理想ヲ振翳シテ、全人類ノ爲ニ最高ノ道德ヲ是ニ打樹テヨウトスル、道義ニ基ク新秩序ノ爲ニ命ヲ捧ゲ、國ノ興廢ヲ賭シテヤツテ居ル、人類ノ最高ノ道德ヲ打樹テ爲ニ、國ヲ賭シテ戰ツテ居ル所ノ國民ガ、逆ニ此ノ道德心

ガ低下シテ行クト云フコトハ、我々日本國民トシテ考ヘナケレバナラス點デアリマス、隨テ國民全體ガ此ノ戰爭目的ニ、最高道德的ナ聖戰ノ意義ヲ自覺シテ、大國民トシテ而モ東亞ノ指導國民トシテノ一大反省ヲ要スル時デアル、殊ニ武士道精神ヲ振起シ、昔ノ武士道の生活ヲ今日ノ國民ガ實踐シナクテハナラスト私ハ思フノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ當局ガ凡ニル施策ノ上ニ御考慮願フコトニ致シマシテ、私ハ次ニ司法大臣ニ御尋ネ致シタイ、司法省、司法官ハ如何ニ戰力増強ニ協力セラレントシテ居リマスカ、其ノ御抱負ヲ御聽キ致シタイ

○岩村國務大臣 御答ヘ致シマス、司法官ハ御承知ノ通り司法官ノ職責ガゴザイマス、司法官ガ完全ニ司法ノ職責ヲ盡スコトガ本當ノ御奉公ト私ハ考ヘテ居リマス、司法部ノ仕事ト致シマシテハ檢察、裁判ガ其ノ中心ヲナスノデアリマス、檢察、裁判、何レモ其ノ理想トスル所ハゴザイマス、國民各ガ其ノ職域ニ於テ完全ナル御奉公ヲスルコトガ私ハ最も大切ナコトト考ヘテ居リマス、司法部ノ職員ノ職務ハ法制ニ明カニ定メラレテ居ル、之ヲ完全ニ御盡シスルト云フコトニ依ツテ御奉公スベキダト考ヘテ居リマ

ス  
○江口委員 此ノ戰爭完遂ノ爲ニ最モ考ヘナクテハナラスコトハ人權ノ尊重ト云フコトデアリマス、若シ司法ノ運宜シテ得ズシテ國民ノ中ニ人權蹂躪ノ數キマスル者ガアリマシタラバ、是ハ生産増強各部面ニ於テ甚ダ面白カラザル現象ヲ生ズルト思フノデアリマス、殊ニ裁判ノ適正ヲ期スルト云フコトハ、國家ノ重大事デアリマス、天皇ノ名ニ依ル所ノ裁判、此ノ裁判ガ誤マ

ル  
○江口委員 此ノ戰爭完遂ノ爲ニ最モ考ヘナクテハナラスコトハ人權ノ尊重ト云フコトデアリマス、若シ司法ノ運宜シテ得ズシテ國民ノ中ニ人權蹂躪ノ數キマスル者ガアリマシタラバ、是ハ生産増強各部面ニ於テ甚ダ面白カラザル現象ヲ生ズルト思フノデアリマス、殊ニ裁判ノ適正ヲ期スルト云フコトハ、國家ノ重大事デアリマス、天皇ノ名ニ依ル所ノ裁判、此ノ裁判ガ誤マ

ル  
○江口委員 此ノ戰爭完遂ノ爲ニ最モ考ヘナクテハナラスコトハ人權ノ尊重ト云フコトデアリマス、若シ司法ノ運宜シテ得ズシテ國民ノ中ニ人權蹂躪ノ數キマスル者ガアリマシタラバ、是ハ生産増強各部面ニ於テ甚ダ面白カラザル現象ヲ生ズルト思フノデアリマス、殊ニ裁判ノ適正ヲ期スルト云フコトハ、國家ノ重大事デアリマス、天皇ノ名ニ依ル所ノ裁判、此ノ裁判ガ誤マ

ル  
○江口委員 此ノ戰爭完遂ノ爲ニ最モ考ヘナクテハナラスコトハ人權ノ尊重ト云フコトデアリマス、若シ司法ノ運宜シテ得ズシテ國民ノ中ニ人權蹂躪ノ數キマスル者ガアリマシタラバ、是ハ生産増強各部面ニ於テ甚ダ面白カラザル現象ヲ生ズルト思フノデアリマス、殊ニ裁判ノ適正ヲ期スルト云フコトハ、國家ノ重大事デアリマス、天皇ノ名ニ依ル所ノ裁判、此ノ裁判ガ誤マ

問題デアル、其ノ周圍ニ、其ノ社會ニ、國  
法ヲ恨ミ、裁判ニ對スル不信ノ聲ヲ放ツガ  
如キ者ガ出ルコトニナリマシタナラバ恐ル  
ベキコトト思ヒマスガ、此ノ戰時刑事特別  
法ノ運營ニ付テ、司法大臣ハ如何様ナル決  
意ヲ持ツテ當ラレテ居リマスルカ、御聽キ  
シタイト思フ

○岩村國務大臣 御答ヘ申上ゲマス、只今  
人權尊重ト云フコトハ非常ニ大切ナコトデ  
アルト云フコトニ付テ、御述ベガゴザイマ  
シタ、私モ全く同感デアリマス、民權ヲ尊  
重スベキコトハ司法部ニ於テ最モ行ハナケ  
レバナラス重要ナ事柄ト思ヒマス、殊ニ其  
ノ運營ヲ誤リマス、或ハ生産其ノ他ニ非  
常ナ惡イ影響ヲ及ボスト云フ御説モアリマ  
シタガ、全く御説ノ通り裁判ノ適正、檢察  
ガ適正デアルト云フコトハ司法部ニ取ツテ  
最モ大切ナコトデゴザイマス、其ノ事ニ  
關聯致シマシテ戰時刑事特別法ノ運用ニ付テ  
色々御意見ガアリマシタ、其ノ點ニ付テ御答  
ヘ申上ゲタイト思ヒマス、戰時刑事特別法ハ  
大東亞戰爭中ノ特別ノ法律デアリマシテ、大  
東亞戰爭ガ終了致シマシタナラバ、此ノ法律  
ノ效力ヲ失フコトニナツテ居ルノデアリマス、今  
次ノ戰爭中已ムラ得ズシテ斯カル特別ヲ設ケ  
タノデアリマス、是ハ江口君モ御承知ノ通  
リデアリマス、此非常ノ時ニ於テ是ガ其ノ  
運用ヲ十分注意致サナケレバナラスコトモ  
御説ノ通りニ存ジマス、然ルニ只今戰時刑  
事特別法デニ審判ニナツタガ、果シテ其ノ  
運營ハドウナツテ居ルカト云フヤウナ點、  
又體刑ガ略式命令ニ依ツテ科セラレルコト  
ニナツタガ、其ノ點ニ付テハドウ云フヤウ  
ナ注意ヲ致シテ居ルカト云フヤウナ趣意ノ  
御尋ネガアリマシタ、二審制ガ原則トシテ

採用セラレ、一定ノ限度デハアリマスガ、  
體刑ガ略式手續ニ依ツテ科セラレルト云フ  
コトハ非常ナ變革デアリマス、是ノ運用ニ  
付キマシテハ相當ニ私共注意ヲ致シテ居ル  
積リデゴザイマス、併シナガラ只今其ノ運  
營ニ付テ色々ナ説モ聞カガト云フヤウナ御  
意見モアリマシタガ、サウ云ウコトノアリ  
マスノハ私共ノ注意ガマダ徹底シテ居ラス  
ノデゴザイマシテ、將來十分ニ注意ヲ致ス  
積リデゴザイマス、今日マデ戰時刑事特別  
法ノ運營ニ付キマシテ注意ヲ致シマシタ要  
點ダケヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、戰  
時刑事特別法ニ依リマシテ區裁判所ニ非常  
ナ大キナ權限ガ任サレタ譯デアリマス、先  
ヅ區裁判所ノ判事ノ充實ト云フコトハ注意  
ヲシナケレバナラス點ダト思ヒマス、其ノ  
點ニ付キマシテハ從來カラ意ヲ用ヒテ居ツ  
タノデゴザイマスガ、特ニ昭和十七年三月  
裁判所構成法戰時特別例、戰時民事特別法及  
ビ戰時刑事特別法ガ施行セラレ、又昭和十  
八年十一月三日右三法律ノ各改正法律ガ實  
施セラレマシタノデ、優秀ナル判事ヲシテ  
區裁判所事件ノ處理ニ當ラシムルヤウ、人  
事行政ノ運營ヲナシ來ツタノデゴザイマス、  
其ノ結果トシテ昭和十七年三月下旬ヨリ昭  
和十八年十二月末日マデノ間ニ於キマシテ、  
控訴院判事ヨリ區裁判所判事ニ轉補シタル  
者二十名、地方裁判所判事ヨリ區裁判所判  
事ニ轉補シタル者百九十名、地方裁判所部  
長ヲシテ區裁判所判事ヲ兼シメタル者三  
十五名ニ達シテ居ルノデアリマス、斯カル  
人事ノ交流ニ依リマシテ老練ナル判事ヲ區裁  
判所ノ一審ノ事務ニ當ラシメルヤウニ注意  
ヲ致シテ參ツタノデゴザイマス  
ソレカラ略式手續ノ點デゴザイマス、是ハ

曩ノ議會ニ於テモ法律案御審議ノ際ニ色々  
御意見モアリマシタノデ、其ノ點ヲ篤ト私共  
御意見ヲ採リ入レマシテ、今日マデ運營上誤  
リナキヲ期シテ居ルノデアリマス、先般ノ改  
正ニ依リマス略式手續ノ要點ハ略式命令  
ヲ以テ一定限度ノ體刑ノ言渡シヲナシ得ル  
コトト致シマシタコト、及ビ略式命令ニ對ス  
ル正式裁判ノ請求ノ法規ヲ認メマシタノト、  
此ノ二點ガ主要ナ點デゴザイマスガ、司法  
省ト致シマシテハ、右手續ガ重大ナル戰時  
特別デアリマスノミナラズ、殊ニ色々御論  
議ノ次第モゴザイマシタカラ、其ノ運營ニ  
付キマシテハ專ラ深キ注意ヲ拂ヒマシテ、苟  
クモ濫用ニ互ルガ如キコトナキヤウ注意、  
努力ヲ致シテ居ルノデゴザイマス、即チ改  
正法律ヲ實施スルニ當リマシテハ、或ハ全  
國ノ院長、檢察長ヲ臨時ニ會同致シマシテ、  
或ハ司法部ヨリ調査官其ノ他關係官ヲ各地  
方ニ出張セシメマシテ、同法ノ運用ノ完壁  
ヲ期スル爲メ裁判所當局ト協議ヲ致シマシ  
タ外、訓令等ヲ發シマシテ部下職員ニ對シ  
テ其ノ趣旨ヲ徹底セシムル措置ヲ執ツテ居  
ルノデゴザイマス、左様ナ處置ヲ講ジマシ  
テ戰時刑事特別法ノ運用ニ付テハ遺憾ナキ  
ヲ期シテ居ルノデアリマス、左様ナ措置ニ  
依ツテ人權ノ尊重ニ缺クルコトノナイヤウ  
ニ十分注意ヲ致シテ居ル積リデゴザイマス、  
多數ノ職員デアリマスカラ、色々御聞キノ  
コトモアラウト思ヒマスガ、將來尙ホ此ノ  
法律ノ運營ニ付テハ注意ヲ致ス積リデゴザ  
イマス

○江口委員 時間モアリマセヌカラ其ノ運  
營ニ付テノ御努力ヲ御願ヒシマシテ、深ク  
ハ質疑ヲ致サヌコトニ致シマス  
次ニ戰時ニ於ケル司法省ノ立法ニ對スル方  
針ヲ一ツ承リタイノデアリマス、最近ノ立  
法ヲ見マス、唯國民ニ向ツテ刑罰ヲ以テ  
臨ムト云フコトノ一點ニ集中サレテ居ル、  
而モ刑罰ガ輕イト云フノデ之ヲ重課シテ行  
クト云フコトニ方向ガ進メラレテ居ルト云  
フコトハ、私ハ一考ヲ要スルノデハナイカ  
ト思ヒマス、刑罰ハ懲罰目的デハナイ、教  
育ヲスルノデアアル、而モ唯教育ニ止ツテハ  
イカナイ、犯罪ヲ犯サナイヤウニ豫防ヲシ  
テ行ク、保護ヲシテ行ク、斯ウ云フ形式ニ、  
斯ウ云フ體制ニ整ヘテ行クノガ、刑ハ刑ナ  
キヲ期スルト云フ刑事政策ノ根本方針ニ合  
致スルノデハナカラウカト思フ、隨テコ、  
デ考ヘナケレバナラスコトハ、戰時下ニ  
犯罪人ノ殖エルト云フコトハ、是ハ甚ダ考  
ヘナクテハナラス、犯罪人ガ少クナツテ來  
ルコト、又一旦過チテ犯罪者ガアルトシ  
マスナラバ、此ノ犯罪人ト云フ烙印ヲ速カ  
ニ除イテ、立派ナル日本人トシテ何等精神  
上ニ曇リナク、戰力増強ノ爲ニ邁進セシム  
ル、精神ノ明朗性ヲ與ヘル、是ガ私ハ大キナ  
問題デハナイカト思フ、前ノ議會デアリマ  
シタカ、慥カ前科者ニ對スル取扱ヒノコト  
ガ議論ニナツタヤウニモ考ヘマス、今日コ  
ノ從前ノ過チヲ犯シテ前科者ヲ褻祓ツテ、  
此ノ戰時下ニ於テハ立派ナル人間トシテ戰  
争遂行ノ爲ニ積極的ニ其ノ價ヒヲセシメテ  
行ク、是等ノ人ニハ一日モ早く前科者ト云  
フ烙印ヲ除イテヤル、是ハ就職ノ上ニモ、  
或ハ結婚ノ上ニモ、凡ユル部面ニ前科者ト  
云フコトガ國民ヲ束縛シ、或ハ社會ニ對ス  
ル取扱ヒノ觀點カラ大キナル精神上ノ束縛  
ニナツテ居ル、此ノ束縛カラ除イテヤルト  
云フ立法ニ付テ司法當局ハドウ考ヘルカ  
○岩村國務大臣 御答ヘ致シマス、只今刑



罰ニ關シテ司法省ノ大體ノ考ヘ方ハドシナ  
モノカト云フ御尋ネガゴザイマシタ、私モ  
根本ノ理想ニ於テハ江口君ト同ジ考ヘヲ持  
ツテ居リマス、「刑ハ輕ヲ厭ハズ」ト云フ  
コトハ、支那ノ古イ時代カラ言ハレタノデ  
アリマス、刑罰ハ刑スルガ爲ニ作ラレタモノデ  
ハナイト思ヒマス、何モ刑罰ヲ用ヒルコト  
ナクシテ済ムナラバ、是レ程幸福ナコトハ  
ナイト私ハ思フ、併シナガラ是ハ理想デア  
リマシテ、現實ヲ見マスト必ズシモサウ行  
ツテ居ラス、戰爭以來一般犯罪ハ非常ニ減  
リマシタ、先ヅ檢事局ニ受理シテ居ル事件  
ハ、半分トマデハイカスカモ知レマセヌガ、  
非常ニ減リマシタ、是ハ國民ガ非常ニ時局  
ニ眼覺メテ緊張シタ所以デモアラウト思ヒ  
マス、併シ之ニ代ツテ犯罪事件ノ現レマシ  
タノハ經濟事件デアリマス、要スルニ普通  
事件ガ減ツテ經濟事件ガソレニ代ツタト云  
フ大體ノ形デアリマス、全體カラ言ツテ刑  
事事件ガ殖ニタト云フコトハアリマセヌ、  
若シ刑罰ヲ行ハズシテ國ガ治マルナラバ、  
私ハ是レ程有難イ幸福ナコトハナイト思ヒ  
マスガ、遺憾ナガラ今日ノ現狀ハ左様ナ域  
ニハ達シテ居リマセヌ、犯罪ノ起ルニハ必  
ズ原因ガアル、諸種ノ原因ガアルト思フ、  
其ノ諸種ノ原因ヲ糺シテ初メテ犯罪ト云フ  
モノハ減少スルモノト私ハ考ヘマス、併シ  
ナガラ中々人間社會ノコトハ犯罪原因ヲ全  
部除去スルコトハ至難ノコトデアリマス、  
出來ルダケ其ノ理想ニ向ツテ到達シタイト  
私共ハ非常ニ注意ハ致シテ居リマスガ、中  
色々ノ原因ガアリマシテ、理想通り參ラ  
ナイコトハ甚ダ残念ニ思ヒマス、要スルニ  
今日ノ刑罰ハ本人ヲ苦シメル爲ニ刑罰ヲ科  
シテ居ルノデハナクシテ、十分制裁ヲ與ヘ

テ、制裁ニ依ツテ之ヲ教化シテ行クト云フ  
コトヲ大體ノ方針トシテ刑罰ハ運用致シテ  
居ルノデアリマス、一旦刑ヲ受ケマシタ者  
ニ對シテハ司法保護ヲ加ヘテ居リマス、一  
旦犯罪ヲ犯シタ者ニ對シテ一應刑ヲ科シタ  
ナラバ、刑務所ニ於テ行刑ヲ致シテ居リマ  
スガ、刑ヲ終レバ之ニ對シテ司法保護ヲ加  
ヘルト云フコトガ、大體今日司法省ニ於テ  
執ツテ居ル措置デアリマス、犯罪ノ未然防  
止ト云フコト、是ハ犯罪ノ原因ヲ除去シナ  
クレバ出來ナイコトデアリマス、司法部ニ於テ  
執ツテ居リマスコトハ、一旦犯罪ヲ犯シタ  
者ガ再び犯罪ヲ犯サナイ、再犯ニ陥ラナイ  
ト云フコトガ、司法保護ノ關與シテ居ル所  
デゴザイマス、此ノコトタルヤ刑事政策ノ  
運用上特段ノ考慮ヲ拂ハナケレバナラス所  
デアリマス、從來モ犯罪ヲ再び犯サナイヤ  
ウニスルコトニ相當留意シテ居ル積リデア  
リマス、特ニ青少年ノ犯罪ニ關シマシテハ、  
近時矯正院或ハ司法保護委員會制度ノ運用ノ  
徹底ヲ圖リマシテ、青少年中犯罪ノ虞アル  
者及ビ輕微ナル犯罪ヲ犯シタ者ハ、之ヲ特  
設ノ鍊成道場ニ容レマシテ、特別ノ鍊成ヲ  
加ヘ、健全ナル産業戰士トシテ重要産業部  
門ニ就職セシメ、爾後ノ輔導ニ付キマシテ  
ハ、工場側ト緊密ナル連絡ヲ保ツテ、相當ノ  
成績ヲ擧ゲテ居ルト考ヘテ居リマス、一旦  
犯罪ニナリマシタ俗ニ謂フ前科デアリマス  
ガ、前科アルガ爲ニ隨分本人ガ苦シム實例  
ト云フモノハ、只今御指摘ノ通りデアリマ  
ス

タコトモゴザイマスガ、此ノ問題ニ付テハ  
色々研究スベキ點ガアルノデアリマス、所  
謂恩赦ト云フコトニ關係ヲ持チマスシ、其  
ノ本來ノ性質ヤ又今日マデ既存ノ慣例アル  
法規トノ關係モゴザイマシテ、其ノ他幾多  
立法トシテハ研究ヲ要スル點モゴザイマス  
ノデ、今日ノ所、將來ニ於テ前科抹消法案  
ト云フヤウナモノノ提案ガ出來ルカドウカ  
ト云フコトニハ、相當研究ノ餘地ヲ頂戴シ  
タイノデアリマス、要スルニ立法事項デア  
ルカドウカト云フコトガ、法律問題ニナラ  
ウト考ヘマス

尙ホ此ノ際一寸附加ヘテ申上ゲタイノデ  
アリマスルガ、昭和十七年二月十八日勅令  
第四十九號ヲ以テマシテ、大東亞戰爭ノ爲  
應召シタル時ハ、其ノ應召ノ時ニ於テ復權  
ノ恩典ニ浴スルコトニナツテ居リマス、又  
既ニ應召シタル者——是ハ支那事變ノ爲ニ  
應召シタル者モ含ムノデゴザイマスガ、既  
ニ應召シタル者ニ付テモ同様ノ恩澤ヲ泰ク  
スルコトニナツテ居リマス、私モ只管恐懼  
感激致シテ居ルノデゴザイマス、御承知ノ  
コトトハ存ジマスルガ、一言附加ヘテ申上  
ゲテ置キマス

○江口委員 餘リ時間モアリマセヌカラ簡  
單ニ要望ヲ申上ゲマスガ、出征應召者ニ對  
スル左様ナ恩典ガアリマスコトハ結構デア  
リマスガ、今日ノ總力戰下ニ於キマシテ、第  
一線ノ勝敗ハ一ニ懸ツテ銃後ノ戰力増強如  
何ニ在ルト云フコトヲ考ヘマスナラバ、其  
ノ戰力増強ノ軍需工場等ニ於テ、其ノ人ガ  
ナクテハナラヌト云フ立場カラ、日夜挺身  
シテ居ル所ノ人、是ハヤハリ應召ト同様ニ  
考ヘルベキ問題デアルノデ、十分御研究ヲ  
煩ハシタイト思フノデアリマス

尙ホ昭和十五年改正刑法假案ト云フノガ  
アリマシテ、此ノ假案ハ過ツテ罪ヲ犯シテ  
モ、必ズシモ刑罰ヲ科サナイデ保護觀察ヲ  
スル、第二ニハ保安處分ヲスル、或ハ裁判  
デ審理ヲシテモ、裁判ノ宣告猶豫ヲスルト  
云フ立派ナ法案デアリマス、更ニ進ンデ判  
決ヲシマシテモ執行猶豫ノ擴大ヲシテヤル、  
假出獄、假釋放ヲシテヤル、或ハ刑ノ消滅  
ヲ言渡ス、斯様ナ立派ナ法案ガ既ニアルノ  
デアリマス、之ヲ棚ノ中ニ棚曝シニシテ置  
クト云フコトハ考ヘモノデアリマス、此ノ  
重大ナル時局ニ於テコソ、一人デモ罪人ヲ  
作ラヌヤウニ、或ハ罪人ニナツタナラバ、  
早ク犯罪ニ依ル所ノ束縛カラ之ヲ解放シテ  
ヤルト云フ、溫カイ温情アル立法ヲ以テ、  
一面ニ於テ刑罰ヲ加重シテ行クト同時ニ、  
一面ニ於テ之ヲ救フ所ノ法律ト云フモノガ、  
兩々相揃ハナクテハナラヌト思フノニ、之  
ニ對スル司法部ノ立法ニ對スル觀念ハ跛行  
狀態デアルト私ハ考ヘルノデアリマス、尙  
ホ今日遵法精神ノ昂揚ハ最モ急ヲ要スルノ  
デアリマスガ、國家諸般ノ政策ガ適切ヲ得  
ナイ、例ヘバ物價ノ問題ニシテモ、或ハ配  
給ノ問題、賃金ノ問題、人ノ動員ノ問題、是  
等ノ問題ニ付テ政策ノ適切ヲ得ナイ爲ニ、  
闇ヲ誘發シテ居ル、或ハ遵法精神ヲ阻碍シ  
テ居ルト考ヘラレル點ガ多々アルト思フ、  
隨テ司法大臣ハ單ナル司法部内ノ運営ノミ  
ヲ頭ニ置カル、コトナク、國家ノ施策全般  
ニ付テ、此ノ遵法精神ノ昂揚ヲ損フガ如キ  
政策ガアルナラバ之ヲ改メ、又左様ナ政  
策ハ之ヲ阻止シテ行クト云フ、國務大臣ト  
シテノ輔弼ノ責任ヲ果サレンコトヲ私ハ希  
望シテ置キマス、總理大臣ニ對スル極ク簡  
單ナ質問事項ハ保留致シマシテ、是デ私ノ

質問ヲ一應打切ツテ置キマス

○島田委員長 佐々井一昇君

○佐々井委員 私ハ主トシテ農業生産ノ増強、農業生産ノ能率増進ニ對スル對策ニ付キマシテ、農商大臣並ニ總理大臣ニ伺ヒタイノデアリマス、總理ガ後御見エニナリマスレバ、其ノ時ニ又御意見ヲ伺フコトト致シマシテ、先ヅ農商大臣ニ伺ヒマス、御尋ネ致シタイ主タル目的ニ入リマスニ先ダチマシテ、豫備的ノ質問デアリマスガ二、三伺ヒタイノデアリマス、近年ニ於ケル農地交換分合ノ實績ヲ伺ヒタイノデアリマスガ、實ハ農商當局ニ就キマシテ資料モ頂戴致シマシタガ、是ハ昭和十四年カラ十七年マデノモノガ出テ居ルダケデアリマシテ、十八年ノハ出テ居リマセス、マダ日ガ淺イノデスカラ無論ノコトデアリマスガ、十八年ニ於ケル農地ノ交換分合ノ實績ハ、ドウ云フヤウナ傾向ヲ示シテ居リマセウカ、大體デ宜シウゴザイマスカラ、御分リニナツテ居リマスレバ、一寸御聽カセ願ヒタイト思フノデアリマス

居リマセス、是モ佐々井君御専門デ能ク御存ジノ通り、相當ノ效果ヲ舉ゲルコトハ疑ヒノ餘地ハナイノデアリマス、數字ノ御必要ガアリマスレバ、事務當局カラ後程取揃ヘテ申上ゲルコトニ致シマス

○佐々井委員 幸ニシテ分ツテ居リマスレバ、數字モ後デ教ヘテ戴キタイノデアリマス、昭和四十年デカラ十七年度マデニ於ケル所ノ農地ノ交換分合ノ幹旋ヲサレマシタ成績ヲ見マスルト、此ノ四箇年間ニ三萬六千餘町歩ト云フ數字ガ出テ居ルノデアリマスルガ、此ノ農地交換分合ハ生産増加ノ上ニ於キマシテモ非常ナ成績ヲ舉ゲルノデアリマスルシ、農村ノ勞働力ノ合理化ニモナルノデアリマスルカラ、モツト急速ニ大仕掛ニ是ガ進展サレンコトヲ日頃望シテ居ルノデアリマス、ドウ考ヘマシテモ、如何ニモ進ミ方ガ少イノミナラズ、規模ガ小サ過ギルヤウニ思フノデアリマス、一番成績ノ舉ツテ居リマスルノハ十七年度デアリマスルガ、ソレガ一萬四千四百餘町歩ニ過ギナイ、其ノヤウナコトデハ非常ニ遺憾ニ思ヒマスルノデ、モツト思切ツテ大規模ニ是ガ進展致シマスルヤウニ御進メヲ願ヒタイノデアリマスルガ、之ニ對シマシテ本年度ハドレ位ナ經費ト、ドレ位ナ御計畫デ進ンデ居ラレマスルカ、是モザツト御聽カセ願ヒタイト思ヒマス

考ヘナケレバナラスノハ、農道ノ問題デアリマス、是モヤハリ相當程度ニ併セ考ヘテ行クコトガ、耕地ノ能率ヲ發揮スル上ニ非常ニ必要ナノデアリマス、實ハ本年モ第二次増産計畫ヲ立テマシタ當時ニ、一ツ農道ニ付テ相當大キナ計畫ヲ織込ミタイト云フ氣持デ、實ハ調ベニ掛ツテ見タノデアリマス、是ガ相當進ンデ行キマス、同時ニ交換分合ノ促進ニモナル譯ナノデアリマスガ、遂ニ大規模ナ計畫ヲ立テルコトヲ中止シマシタノハ、何分ニモ當面ノ増産ヲ急グ譯デアリマスカラ、農道ニ付テ大キナ計畫ヲ此ノ際立テルコトガ、全體ノ生産ヲ増ス上ニ於テドウデアアラウカト云フ所カラ、實ハ躊躇致シマシテ、地方廳ニ照會ヲシマシテ、確實ニ支障ナク行ケル見込ノ分ダケノ農道ノ開設ニ付テ、實ハ豫算ニ計上致シタ譯デアリマス、一寸其ノ數字ハ今茲ニ宙ニ覺エテ居リマセスガ、唯其ノ土地ノ分合ト言ヒ或ハ農道ノ問題ト言ヒ、地方ノ實情ニ依リマシテ實行可能デアリ、又必要ナコトガ起リマスレバ、是ハモウ既定ノ豫算ノ範圍ニ於テ相當ナコトハ要求ニ應ジ得ル譯デアリマス、萬一豫算ガ不足ヲ致シマシテモ、或ハ豫備金等ノ方法ニ依ツテモ實行ガ出來マスノデ、配置分合ヲ何町歩トカ云フヤウナ風ニ豫算上區切ツタ額ハ出シテ居ラスノデアリマス、御説ノヤウニ出來ルダケハ促進スルコトガ必要デアリマスルカラ、地方ニ對シマシテ十分獎勵助長、又指導ヲ行フコトニハ努メテ參ル積リナノデアリマス、豫算上ノ數字ハ記憶致シテ居リマセスガ、假リニ其ノ數字ガ餘リ多クナクテモソレハ別ニ氣ニ御留メヲ願フ必要ハアリマセス、是ハ行ヒ得ルコトデアリ、又相當ノコトデア

レバドノ程度デモヤツテ宜シイ、斯ウ云フ考ヘヲ持ツテ居リマスカラ、ドウゾ左様御諒承ヲ願ヒマス

○佐々井委員 次ニ自作農創設維持事業ノ實績ヲ伺ヒ、且ツ自作農創設維持事業ニ對スル御計畫ヲ伺ヒタイノデアリマスルガ、是モ昭和十六年マデノ統計ハ頂戴致シマシタ、十七年度及ビ十八年度ハ大體ドンナ傾向ニナツテ居リマセウカ、傾向ダケデモ宜シウゴザイマスカラ聽カシテ戴キタイト思ヒマス

○山崎國務大臣 十八年度ノ豫定ノ計畫ハ一寸私ハ數字ヲ宙ニ覺エマセスケレドモ、三萬五千町歩カ四萬町歩ダツタト思ヒマスガ、局長ガ參リマシタラハツキリ致シマス、ソコデ來年度ノ計畫ハ四萬五千町歩ノ計畫ニ致シテ居リマス、十八年度ノ實施ノ狀況ハマダ年度途中デアリマスカラ一寸見當ハ付キマセスケレドモ、昨年ノ暮マデニ慥カ資金ノ融通ノ申込ヲ受ケマシタ金額ガ一億四、五千萬圓デアツタカト記憶シテ居リマス、數字ノコトデアリマスカラ或ハ多少間違ヒガアルカモ知レマセスガ、大體ノ見當ハ間違ヒナイト思ヒマス

○佐々井委員 此ノ自作農創設維持事業ニ對スル所ノ政府當局ノ年來ノ御努力ハ、私モ能ク了承致シテ居ルノデアリマスルガ、昭和元年カラ十六年度マデノ實績ニ徴シテ見マスルト、如何ニモ其ノ進ミ方ガ少ナ過ギルノデアリマス、規模ガ小サ過ギルノデアリマス、殊ニ昭和十六年度ヲ昭和十年度ニ比較致シマスルト遙カニ減ツテ居ルノデアリマシテ、昭和十六年度ノ實績ハ昭和元年カラ十六年度マデノ平均ヨリハ畠ナドハ少イト云フヤウナ狀態デアリマス、又創設ノ戸數カラ見マシテモ此ノ十六年間ノ平均

○山崎國務大臣 交換分合ヲヤツタ個々ノ場所ニ付テノ増産ノ數字ハ、私宙ニ覺エテ

後程事務當局カラ申上ゲルコトニ致シマス

○佐々井委員 農地ノ交換分合ガ農業勞働力ノ合理化、即チ能率ノ増進、隨テ生産増加ヲ來シマスコトハ明カデアリマスルガ、昭和十四年カラ十七年マデノ間ニ於キマスル其ノ農地ノ交換分合ガ出來マシタ結果トシテノ生産ノ増加ニ對シテ、ドレ程ノ成績ヲ舉ゲテ居ルデアリマセウカ、是モ大體デ宜シウゴザイマスカラ、分リマシタラ伺ヒタイ……

○山崎國務大臣 農地ノ交換分合ガ生産増強ノ上ニ非常ニ重要デアルコトハ申スマデモナイコトデアリマス、唯佐々井君能ク御承知ノ通り、是ガ實行ニ付キマシテハ、土地ノ事情ナリ、種々ノ沿革トカ云フヤウナコトノ爲ニ、中々サウ簡單ニハ實ハ參リニタイ仕事ナノデアリマス、尙ホ又モウ一ツ

考ヘナケレバナラスノハ、農道ノ問題デアリマス、是モヤハリ相當程度ニ併セ考ヘテ行クコトガ、耕地ノ能率ヲ發揮スル上ニ非常ニ必要ナノデアリマス、實ハ本年モ第二次増産計畫ヲ立テマシタ當時ニ、一ツ農道ニ付テ相當大キナ計畫ヲ織込ミタイト云フ氣持デ、實ハ調ベニ掛ツテ見タノデアリマス、是ガ相當進ンデ行キマス、同時ニ交換分合ノ促進ニモナル譯ナノデアリマスガ、遂ニ大規模ナ計畫ヲ立テルコトヲ中止シマシタノハ、何分ニモ當面ノ増産ヲ急グ譯デアリマスカラ、農道ニ付テ大キナ計畫ヲ此ノ際立テルコトガ、全體ノ生産ヲ増ス上ニ於テドウデアアラウカト云フ所カラ、實ハ躊躇致シマシテ、地方廳ニ照會ヲシマシテ、確實ニ支障ナク行ケル見込ノ分ダケノ農道ノ開設ニ付テ、實ハ豫算ニ計上致シタ譯デアリマス、一寸其ノ數字ハ今茲ニ宙ニ覺エテ居リマセスガ、唯其ノ土地ノ分合ト言ヒ或ハ農道ノ問題ト言ヒ、地方ノ實情ニ依リマシテ實行可能デアリ、又必要ナコトガ起リマスレバ、是ハモウ既定ノ豫算ノ範圍ニ於テ相當ナコトハ要求ニ應ジ得ル譯デアリマス、萬一豫算ガ不足ヲ致シマシテモ、或ハ豫備金等ノ方法ニ依ツテモ實行ガ出來マスノデ、配置分合ヲ何町歩トカ云フヤウナ風ニ豫算上區切ツタ額ハ出シテ居ラスノデアリマス、御説ノヤウニ出來ルダケハ促進スルコトガ必要デアリマスルカラ、地方ニ對シマシテ十分獎勵助長、又指導ヲ行フコトニハ努メテ參ル積リナノデアリマス、豫算上ノ數字ハ記憶致シテ居リマセスガ、假リニ其ノ數字ガ餘リ多クナクテモソレハ別ニ氣ニ御留メヲ願フ必要ハアリマセス、是ハ行ヒ得ルコトデアリ、又相當ノコトデア

○佐々井委員 此ノ自作農創設維持事業ニ對スル所ノ政府當局ノ年來ノ御努力ハ、私モ能ク了承致シテ居ルノデアリマスルガ、昭和元年カラ十六年度マデノ實績ニ徴シテ見マスルト、如何ニモ其ノ進ミ方ガ少ナ過ギルノデアリマス、規模ガ小サ過ギルノデアリマス、殊ニ昭和十六年度ヲ昭和十年度ニ比較致シマスルト遙カニ減ツテ居ルノデアリマシテ、昭和十六年度ノ實績ハ昭和元年カラ十六年度マデノ平均ヨリハ畠ナドハ少イト云フヤウナ狀態デアリマス、又創設ノ戸數カラ見マシテモ此ノ十六年間ノ平均

ハ一萬八千戸ヲ超エテ居ルノデアリマス  
レドモ、昭和十六年度ハ一萬三千四百四十  
三戸ト云フ數字ガ現ハレテ居ルノデアリマ  
ス、斯クノ如キ狀態デ進ムト致シマスルト、  
此ノ自作農創設ガ目的ヲ達シマスルノニハ、  
非常ナ歳月ヲ要スルノデアリマシテ、田  
見マスルト、平均率ヲ以テ進ミマスルト、  
田ノ小作地ガナクナリマスルノニハ三百六  
十八年ヲ要スルノデアリマス、又畑ハ昭和  
十六年度ノ實績デ進ミマスルト、三百年掛  
ルト云フヤウナ實情デアリマス、是デハ此  
ノ大切ナ自作農創設ノ事業ト云フモノガ、  
餘リニモ實績ガ擧ラナサ過ギルト云フコト  
ヲ斷言セザルヲ得ナイノデアリマス、是ハ  
實ニ遺憾ニ思フノデアリマス、是モ大體ノ  
推測デアリマシテ分リマセヌケレドモ、小  
作地ヲ自作地ニ致シマスルト、大體二割ノ  
增收ガ出テ來テ居ルト云フコトヲ承ツテ居  
リマス、尤モ小作地ヲ自作地ニ致シマスル  
ノニハ、地主ガ手放スコトヲ快諾スルト云  
フヤウナ部面ノ餘リ良田デナイモノモアル  
ト致シマシテ、即チ土地トシテハ餘リ良イ  
土地デナイモノノ方ガ早ク手放サレルト云  
フヤウナコトモ觀察致シマシテ、輕減シテ  
推定ヲ致ストシテ、假ニ一割五分ノ增收ト  
云フコトニ見當ラ付ケルト致シマスレバ、  
小作地カラノ穫レ高ガ大體先ヅ平均三千萬  
石ト致シマス、年ニ四百五十萬石ノ相違  
ガアル、所ウ云フコトニナルノデアリマス、  
大體五百萬石位ナ增收ハ、若シ直チニ本年  
ナラ本年ノ内ニデモ小作地ガ自作地ニナル  
ヤウナ方法ガ講ゼラレルト云フコトニナリ  
マスレバ、明年カラハ先ヅ五百萬石ト云フ  
モノハ耕ス者ノ勤勞精神ノ結果トシテ現ハ  
レテ來ルト云フコトハ、斷言シ得ラレルト思

フノデアリマス、サウ云フ點カラ考ヘマ  
スルト、今日ノ自作農創設事業ニ對スル所  
ノ政府ノ施策ガ、是ハ現内閣ダケデハアリ  
マセヌガ、如何ニモ小規模過ギル、モツト  
思ヒ切ツテオヤリニナルベキデハナイカ、  
斯様ニ存ズルノデアリマス、殊ニ昭和十二  
年ニ於キマシテハ、支那事變出征記念自作  
農創設維持事業ト云フヤウナ項目マデ出來  
テ居リマシテ、如何ニ自作農創設ニ當局ガ  
意ヲ用ヒラレテ居ルカト云フコトガ分ル  
デアリマスルケレドモ、折角オヤリニナツ  
テ居リマスルコトガ餘リニ小規模デアツテ、  
是デハ事志ト違フト云フコトニ現實ナツテ  
來テ居ルノデアリマス、之ニ對シテ農商相  
ハドウ云フ御考ヘヲ御持チニナツテ居リマ  
スルカ、一ツ伺ヒタイノデアリマス

第一類第一號 豫算委員會議錄 第六回

昭和十九年一月二十六日

ニ戒メテ行カケレバナラスノデアリマス、  
左様ナ關係ガ自作農創設ノ促進ト云フコト  
ガ中々思フヤウニ參ラス大キナ原因ニナツ  
テ居ル、斯ウ思フノデアリマス、然ラバ從  
來ノ方法デ宜シイカ、斯ウ申シマス、是  
ハ私ハ足りヌスト思ヒマス、從來ノ政府ノ施  
設ニハ甚ダ足ラザル所ガアル、斯ウ考ヘマ  
シテ、今同戰時農業委員ノ整備ト相俟チマシ  
テ、自作農創設促進ト云フコトノ爲ニ格段  
ノ措置ヲ講ズルコトト致シタノデアリマス、  
其ノ點ニ付キマシテハ、先般來三善君其ノ  
他ノ御質問ニ對シテ御答ヘヲ申上ゲマシタ  
ガ、何分ニモ今日ノ農地ノ統制價格ト標準  
小作料ヲ基準トシタ地主ノ採算價格トノ間ニ  
實ハ相當ノ開キガアル譯デアリマス、其ノ爲ニ  
自作農タラント希望スル者ガアリマシテモ、  
中々地主ノ方デ土地ヲ提供スルコトニ躊躇サ  
レル實情ニアルコトハ、是ハモウ申上ゲルマデ  
モナイ、ソコニ何等カノ施策ヲ講ジマセヌ  
ケレバ、私共ノ考ヘル意味ニ於ケル自作農促進  
ノ方法トシテハ全キヲ得ザルモノデアリマス、  
佐々井君ガ何レ今後御述ベニナルデアラウ  
ト思ヒマスヤウナ方法デアレバ、是ハ別デ  
アリマスガ、私共ガ妥當ナリト思フヤウナ  
方法ヲ以テ促進スルノニハ、今申上ゲマシ  
タヤウナ現象ガアルコトハ、非常ナ大キナ  
自作農創設ノ障礙ト相成ツテ居ル譯デアリ  
マス、其ノ障礙ヲ除去スルコトガ自作農創  
設ヲ促進スル所以デアリマスカラ、ソコデ  
先般申上ゲマシタヤウニ所謂統制價格ト基  
準小作料ヲ基礎ト致シマシタ地主ノ採算價  
格トノ開キ、是ガ全國平均致シマシテ、田  
ニ付キマシテハ反當リ約二百圓デアリマス、  
之ヲ何等カノ方法デ一ツ始末ヲ付ケマセヌ  
ケレバ、自作農ハ巧ク參ラス、ソコデ今回

ハ其ノ開キヲ國ノ補給ニ依ツテ解決ヲスル  
ト云フ方法ヲ執ツタ譯デアリマシテ、反當  
リ百五十圓、之ヲ基礎ト致シマシテ、而モ  
ソレハ一時ニ補給スルト云フ意味デナシニ、  
自作農ガ行ヒマス年賦償還金ニ對シテ、反  
當百五十圓ニ相當スル部分ノ年賦償還金ヲ  
國カラ補給スル、斯様ナ方法ヲ執ラントス  
ル譯デアリマス、此ノ方法ガ成立チマスレ  
バ地主ガ自作農ノ創設ニ共鳴サレテ、土地  
ヲ快ク提供サレル途ガ開ケテ參ル譯デアリ  
マスカラ、此ノ方法ニ依ツテ自作農創設ヲ  
促進致シテ行カウ、斯ウ云フ考ヘ方デアリ  
マス

○佐々井委員 御答ヘヲ伺ヒマシテ能ク分  
リマシタ、私ガ述ベヨウト思ツテ居リマス  
コト、ソレハ別ト致シマシテ、國ノ補給ニ  
依ツテ土地ノ統制價格ト、小作料ヲ基準トシ  
テノ地主側ニ於ケル採算價格トノ開キト云  
フモノヲ補填スル方法ニ依ツテ、反當百  
十圓ヅツ見積ツテノ補給金ヲ本年ハ計上  
サレテ居ルノデアリマスガ、ソレハ幾ラデ  
アリマスルカ、實ハ私此ノ豫算ヲ拜見シ  
マシテ能ク分ライノデアリマス、自作農  
創設維持補助、昭和十九年度改定額三百五  
十八萬餘圓ガ出テ居リマスガ、是デゴザイ  
マセウカ

○山崎國務大臣 是ハ申數マデモナイコト  
デアリマスガ、サツキ申上ゲタヤウニ、年  
賦償還金ニ對シテ補給ヲ致シマスカラ、主  
ナル金額ハ豫算外ノ契約ノ方ニ入ルノデ  
アリマス、其ノ三百萬圓ト云フノハ十九  
年度ノ所要額ダケデアリマス、大部分ハ後  
ノ方ヘ引クコトニナリマス、左様ニ御承知  
願ヒマス

キ契約ニ關スル要求書ノ中ニ出テ居リマス  
ル金額ガソレデアリマスガ、要スルニソ  
レニ依リマスルト、本年度ハ大體下位ナ  
田畑ハ自作農創設トシテ實現シテ來ルコト  
ニナルノデアリマセウカ

○山崎國務大臣 十九年度ハサツキ申上ダ  
マシタヤウニ四萬五千町歩デアリマス

○佐々井委員 統計ハ大分古クナル譯デア  
リマスケレドモ、小作地ノ田ハ、昭和十四  
年度末ニ於キマシテ百六十六萬町歩アルノ  
デアリマス、ザツト百六十萬町歩デアリマ  
ス、儲テ此ノ三百五十八萬圓ト云フ自作農  
創設維持補助金ハ田畑合ヘセタモノデゴザ  
イマセウガ、サウシマストヤハリ是ハ相當長  
イ歲月ヲ掛ケナイト自作農ノ創設ハ出來ナイ  
ト云フコトニナルノデス、詰リ全國的ニ小  
作地ヲ無クスルト云フコトヲ早ク實現致シ  
タイト云フ考ヘカラ致シマスレバ、餘リニモ  
緩漫ナル策デアルト思フ、今仰セニナリマ  
スル如ク、當局ノ御意見ヲ是認致シ、日本  
ノ農村ノ特質ト云フモノヲ見テヤルト仰シ  
ヤル、其ノ儘ヲ肯定スルト致シマシテ、然  
ラバ其ヲ肯定シタル上ニ於テ愚見ヲ申上ダ  
ルノデアリマスガ、現在當局ガオヤリニナ  
ツテ居リマス方法ハ御説ノ如ク非常ニ穩健  
ナル方針デ、私モ贊成デアリマス、贊成デ  
アリマスガ故ニ、願ハクバセメテ本年計  
上サレテ居リマスモノノ二十倍トカ三十  
倍トカ、多ケレバ多イ程多ク益、辨ズルノデ  
アリマスガ、是ハ思ヒ切ツテオヤリニナツ  
テ然ルベキモノデハナイカ、餘リニモ不徹  
底ナル對策デアルト存ズルノデアリマス、  
私モ飛躍的ニ申シマスガ此ノ事業ノ實現ニ  
種々ナル障礙ノ存スル點カラ考察シテ寧ロ  
小作地ノ國有ヲ即時斷行シテ、一時ニ小作

地ヲ無クスルト云フ方法ヲ執ル外ニナイト  
云フ確信ヲ持ツテ居ル一人ナノデアリマス、  
其ノ點ニ於キマシテ農商相トハ意見ヲ異ニ  
シテ居ルカノ如ク考ヘラレルノデアリマス  
ガ、ソレハ別ト致シマシテ、農商相ノ御考  
ヘニナツテ居リマスル方策ヲ執ルコトニス  
ルナラソレモ宜イ、宜イガ、ソレナラソレ  
デ何故モツト思ヒ切ツテ之ニ數十倍スル計  
畫ヲ御立デニナラヌカ、是ハ非常ニ必要  
ナコトデアルト思フノデアリマス、耕ス者  
ノ勤勞心ヲ昂メマシテ、同ジ肥料ヲ使ヒ、  
同ジ人員ヲ以テ、而モ實績ガウシト舉ガル  
ノデアリマスカラ、生産増加ト云フ上カラ  
申シマシテモ、耕ス國民ノ勤勞心ヲ鼓舞激  
勵スルト云フ上カラ申シマシテモ、又農村  
ノ厚生ナリ、農業經營ノ合理化ト云フ點カ  
ラ申シマシテモ、ドウシテモモツト／＼思  
ヒ切ツタ所ノ計畫ヲ御立デニナルベキモノ  
ト存ズルノデアリマス、ドウシテ斯ウ云フ  
小サナ計畫ヲ御立デニナツテ居ルカ、之  
ヲ伺ヒタイノデアリマス

○山崎國務大臣 考ヘ方トシマシテハ、本  
年度四萬五千町歩ノ計畫ヲ實行致シテ、更  
ニ十分大キナ面積ノ計畫ヲ立テ得ルト云フ  
情勢デアリマスレバ、之ヲ擴大スルコトニ  
ハ少シモ吝カデナイノデアリマス、唯私ト  
アナタトノ考ヘ方ニ違ヒガアルモノデスカ  
ラ、話ガ食ヒ違ツテ參ル譯デアリマスガ、  
私ハ實ハ斯ウ云フ考ヘヲ持ツテ居ル、農村  
デ最モ大事ナコトハ、何ト云ツテモ農村ノ  
組織ト言ヒマスガ、農村社會ト申シマスル  
カニシテモ、或ハ又農村ノ文化ト云フモノ  
ニシテモ、總テ土地ノ上ニ築カレテ居ルモ  
ノデアアル、隨テ農政トシテ最モ重キヲ置イ  
テ行カナケレバナラヌ點ハ、其ノ村ノ土地

ハ成ベク其ノ村ノ人ノ手ニト云フコトガ最  
モ大切ナルコトデアアルノデアリマス ソン  
ナ意味ニ於テ、ヤレ地主ト云ヒ、ヤレ小作  
ト云ヒ、ソコニ何等カ階級的ナ考ヘ方ヲ織  
込ンデ、村ノ融和一致ニ苟モ間隙ヲ生ズル  
ヤウナコトガアツテハ、是ハ日本ノ農村ト  
シテハ望マシカラザルコトデアアル、コ、ガ  
一番農政ノ上ニ於テハ大事ナ點デアルト云  
フ考ヘ方ヲ實ハ持ツテ居ル、必ズシモアナ  
タノ御主張ニナルヤウニ、日本ニ一人ノ小  
作人モナイヤウニスルコトガ理想デアルト  
ハ實ハ私ハ考ヘテ居ラスノデアリマス、是  
ニアナタト私ノ考ヘ方トニドウシテモ食違  
ヒガ起ル譯デアリマスガ、併シ現在ノ計畫  
デアアル四萬五千町歩デ是ガ十分トハ決シテ  
考ヘテ居リマセヌ、事情ガ許シ、實行可能  
ナラバ、更ニ之ヲ倍或ハ三倍或ハソレ以上  
ニモ擴大スルト云フコトニハ、私ハ出來ル  
ダケノ努力ヲ拂フニ吝カナラヌ考ヘ方デア  
ルト云フコトダケヲ御承知願ヒマス

○佐々井委員 農商相ノ御説明ニ注目スベ  
キ一點ヲ見出スノデアリマシテ、ソレハ我  
ガ國ノ農村組織ト云フモノヲ考ヘテ見ル時  
ニ、大イニソコニ慎重ヲ要スルモノガアル、  
其ノ一ツノ御説明ノ中ニ、其ノ村ノ土地ハ  
其ノ村ノ人ニ依ツテ耕ス、又農村ノ組織  
ニ於テ融和一致ヲ見出スコトガ必要デア  
ル、サウ云フ觀點カラシテモ、此ノ自作農創設  
ノ仕事ト云フモノガ、餘リニ急激ナル對策  
ヲ執ルコトハ考慮ヲ要スルト云フヤウナ御  
意見ニ拜シタノデアリマスガ、一面ニ於  
キマシテソレヲ肯定スベキ點ガアルノデア  
リマス、現ニ地主ノ人々ニ於キマシテ立派  
ナ地主ガアル、又長イ間マルデ小作人ヲ我  
ガ子ノ如ク思ウテ、色々ト小作人ノ面倒ヲ

見ラレダケデナク、農村ノ幾多ノ事業ニ貢  
獻モシテ居ラレ、全ク自分ノ責任トシテマ  
デ感ゼラレテ、模範的ナ國民トシテノ務メ  
ヲ果シテ居ラレト云フヤウナ實情モ能ク  
存ジテ居リマスルシ、又他面地主ノ間ニ於  
テ宜シクナイ所ノ地主ノ存在スルコトモア  
リマスルケレドモ、サウ云フノハ比較的ニ  
數ガ少イデアラウ、斯様ニマデ存ジテ居リマ  
スルカラ、地主ト云フ階級ノ存在致シマスル  
コトガ、今日ノ農村ノ秩序ヲ維持シ、人心ノ  
融和ヲ圖ツテ居ル現實ハ私モ認メルノデア  
リマスルケレドモ、然ラバドウシテ小作地  
ガ自作地ニナリマスレバ二割トカ一割五分  
ノ增收ヲ見ルヤウナ風ニマデ耕ス者ノ心ヲ  
鼓舞激勵スルカ、此ノ點ハ非常ニ御注目ニ  
ナラナケレバナラヌ、又日本ノ小作爭議  
ガソレ程多イトハ申サレマセヌケレドモ、  
大正ノ頃カラ急激ニ殖エテ參リマシタ、是  
ハ社會思想ノ影響モゴザイマスガ、之ニ對  
シマシテハ當局デモ御苦心ニナラレマシテ、  
農地調整法トカ或ハ小作料統制令ノ實施ナ  
ドニ依リマシテ著シク減少致シマシタ、又  
支那事變以來銃後ノ農民ガ自重自戒ヲ致シ  
テ居ルト云フヤウナコトト相俟ツテ、昭和  
十年ノ六千八百餘件ノ小作爭議ヲ頂上ト致  
シマシテ、十五年ニハ三千六百六十五件トナツ  
テ居リマス、翌年ノ十六年ハ凶作デアリマシ  
タガ故ニ殖エタノデアアラウカト思ウテ居リ  
マスルガ、三千三百八件ノ小作爭議ヲ出シ  
テ居リマス、小作爭議トシテ表面化致サナイ  
デモ、常ニ斯ウ云フヤウナ動キト云フモノ  
ハアル、是ハ小作人ガ惡イトバカリモ言ヘナ  
イ、地主ノ中ニモ惡イノガアル、サウ云フヤ  
ウナ結果デアリマシテ、是ハ小作地ヲ自作地  
ニスルト云フコトニ依ツテ、我ガ國ノ農村ノ

美風ヲ破壊スルト云フヤウニ、或ハ其ノ點  
破壊マデセズデモ、破壊ニ導ク虞ガアルト  
云フヤウナ考ヘ方ヲスルコト、其ノコトニ  
先立ツテモツト現實ヲ能ク見ル必要ガアル  
カト思フノデアリマス、例ヘバ今モ、其ノ  
村ノ土地ハ其ノ村ノ人ニ耕サセテ、其ノ村  
ノ人ノ所有ニシテト云フ御意見デアリマス  
ガ、昭和十四年ノ統計ヲ見マス、耕作ニ  
從事セザル地主ガ、耕地所有者總數五百八  
萬一千戸ノ中百五萬戸アルノデアリマス、  
五百八萬一千戸ノ中百五萬戸ハ自ラ耕作  
ニ從事セザル地主デアル、即チ全體ノ二割  
七厘ニ該當致シテ居リマス、ソレカラ所有  
關係ガ變化スルト云フコトニ依ツテ人心ニ  
及ボス影響ト云フコトニツイテハ、マダ後  
デ申シマスケレドモ、耕地所有者數ノ計數  
カラダケ判斷致シマシテモ急ギマスカラ合  
計デ申シマシマスガ、五反歩未満ト一町歩未満  
ヲ合計致シマスト三百七十六萬九千戸アル  
ノデアリマス、即チ全耕地所有者數ノ七割  
四分二厘ニ該當致シテ居リマス、ソレカラ  
其ノ上ニ一町歩以上三町歩未満ト云フモノヲ  
加ヘマスト——是ガ九十三萬七千戸、一割八  
分五厘アリマスカラ、六體三町歩未満ノ土  
地所有者ノ總數ハ合計四百七十萬六千戸ア  
リマス、即チ比例ニ致シマシテ九割二分七  
厘ニ該當致シテ居リマス、而モ茲ニ計數ガ  
出テ居リマセヌカラ分リマセスケレドモ、  
一町歩以上二町歩未満ノ方ガ二町歩以上三  
町歩未満ヨリ遙カニ多イト思フノデアリマ  
ス、サウ致シマスト耕地ノ所有關係ヲ變化  
サセルニ致シマシテ、其ノ變化ノ影響ヲ深  
ク受ケルモノハ、全耕地所有者ノ中デ主ト  
シテ三町歩以上ノ所有者即チ三十七萬二千  
戸、全體ノ七分三厘ダケニ該當スル、斯ウ

云フヤウナ關係ガ農村構成ノ實體デアリマス、  
サウ云フ點カラ觀察致シマスト、喜ブ者ハ  
ドレダケ、又之ニ依ツテ憂メ面ヲスル者ハ  
ドレダケト云フコトハ判斷シ得ラレト思  
フノデアリマス、尤モ單ニ數量ニ依ツテノ  
ミ判斷スルコトハ考ヘナケレバナラヌノデ  
アリマスケレドモ、大體ニ於キマシテ話ハ  
能ク分ルト思ヒマス、隨テ茲デ私ノ結論ノ  
方ヲ先ニ申上ゲマスト、自作農創設維持事  
業ノ進捗ガ今日マデノ如ク遅タトシテ進マ  
ナイト致シマスケレバ、一日モ早ク小作地ノ  
國有ヲ斷行シテ、耕ス者ノ手ニ耕ス土地ヲ  
歸セシメルコトニ依ツテ勤勞者ノ精神ヲ鼓  
舞激勵スル所ノ對策ヲ執リ、左様ニシテ之  
ヲ合理化サセルコトガ最モ捷徑デアリ、必  
要デハナイカト存ジマス、ダガ今茲デ其ノ  
コトヲ議論致シテ居リマシテモ十分ニ意ヲ  
盡シマセズ、時間ガ經ツダケデアリマスカ  
ラ、追ツテ又ユツクリシタ機會ヲ戴キタイ  
ト思ヒマスケレドモ、セメテ自作農創設ニ  
對シマシテハ、今日御計畫ニナツテ居リマ  
スノヲ二十倍三十倍、若シクハ五十倍ニ  
ナサツテ宜イノデハナイカ、思ヒ切ツタ  
所ノ對策ヲ御執リニナルコトニ對シテ、極  
力、而モ眞劍ニ御考ヘヲ願ヒタイト思ヒマ  
ス、土地兼併ノ弊害ガ如何ニ甚ダシイモノ  
デアルカハ、農商相モ無論御承知ノ通り、  
第三十六代孝德天皇ノ大化元年九月十九日  
ニ御下シニナツテ居リマス所ノ御詔勅ニモ  
明確ニ現ハレテ居リマス、其ノ後ノ歷代ノ  
天皇ノ御詔勅ノ中ニモ現ハレテ居リマス、  
又 今上陛下ノ朝見ノ御儀ニ賜ハリマシタ所  
ノ御詔勅ノ中ニモ「經濟ハ時ニ利害同シカラ  
サルアリ」ト云フヤウナ畏レ多イ御言葉ヲ戴  
イテ居リマス、是ハ土地兼併ノ弊ノ如キコ

トガ如何ニ甚ダシイカト云フコトヲ示スモ  
ノデアリマシテ、實ニ恐懼ノ至リナノデア  
リマス、十四年ノ統計ニ於キマシテ、日本  
ノ田ハ自作地ガ百五十四萬七千町歩デ、全  
體ノ四割八分一厘、隨テ小作地ハ百六十六  
萬一千町歩デ、五割一分九厘ニ該當致シテ  
居リマス、又自作農ハ百六十九萬九千戸デ  
三割一分、アトハ小作農ト小作兼自作農、  
總計致シマシテ三百七十九萬一千戸、比率  
ニ致シマシテ六割九分デアリマス、斯ウ云  
フヤウナ點カラ觀察致シマシテモ、如何ニ  
小作地ガ多イカ、又小作ニ從事シテ居ル農  
民ノ數ガ多イカ、純小作ハ百四十六萬戸デ  
アリマシテ、一割七分デアリマスケレドモ、  
自作小作兼業ヲ合セマスト大體七割ニナル、  
此ノ七割ノ農民ガ渾身ノ力ヲ出シテ増産ニ  
從事スルコトニナリマスト、直チニ四百五  
十一萬石乃至五百萬石ノ増産ヲ期待スルコ  
トガ出來ルト云フ斯クノ如キ現實ヲ見マス  
時ニ、洵ニ緩慢ナ對策ヲ御執リニナツテ居  
ルト斷ゼザルヲ得ナイ、是ハ當局トシテモ  
責任上如何カトマデ——私ハ甚ダ失禮ナ言  
葉ヲ使ヒマスケレドモ、當然左様ニマデ思  
フ、之ヲモツト思ヒ切ツタヤリ方ヲナサル  
ベキデハナイカ、眞劍ニ御考ヘ下サルベキ  
デハナイカ、宸襟ヲ惱マシ奉ツテ居ルコト  
ハ洵ニ畏レ多イ、既ニ昭和元年カラ今日マ  
デ斯クノ如ク遅タトシテ進ンデ居ラナイ、  
之ニ付テハ歷代ノ内閣ハ責任ヲ持タナケレ  
バナラス、今日マデ十八年間、此ノ間ノ内  
閣ハ責任ガアルト私ハ思フノデアリマス、  
此ノ利害相同ジカラザル現實、而モ其ノ結  
果ニ於キマシテ減産ヲ來シテ居ルト云フ實  
情ヲ其ノ儘ニシテ置ク——其ノ儘デハナイ  
ガ、甚ダ微温不徹底ナル方策ヲ御執リニナ

ツテ居リマスコトハ、斷ジテ許サレナイモ  
ノデアルト思フ、之ニ對スル御答ヘヲ伺ヒ  
タイ  
○山崎國務大臣 佐々井君ハ結論的ニ其ノ  
御主張ヲ御述ベニナリマシタカラ、之ニ對  
シマシテノ私ノ考ヘヲハツキリト申上ゲタ  
イト思ヒマス、佐々井君ハ農地ノ國有ヲ實  
行シテ、サウシテ自作農創設ヲヤレト言ハ  
レルガ、此ノ御考ヘナリ、農地國有ト云フ御  
考ヘニ付キマシテハ、私共ハ絕對ニ御贊成ハ出  
來ナイノデアリマス、此ノ事ハ私ハ單ニ農商  
省ヲ代表シテ申上ゲルダケデナク、政府ヲ代  
表シテ申上ゲルニ咨カナラヌノデアリマス、  
而シテ其ノ根本ノ考ヘ方ヲ持ツテ居リマス  
ガ故ニ、自作農創設促進ノ方途ニ付キマシ  
テモ、私共ハ飽クマデ堅實ニ、飽クマデ農  
村ノ實情ニ即シテ、サウシテ今日横タハツ  
テ居ル自作農創設ニ付テノ障礙ヲ取除クコ  
トニ依ツテ創設ノ事業ヲ促進スル、此ノ方  
針ニ出ツベキデアアル、斯様ニ考ヘテ居ルノ  
デアリマス、而シテ其ノ方法ニ依ツテ促進  
可能ナル目途ガ付キマスレバ、只今計畫シ  
テ居リマス計畫ヲ更ニ之ヲ擴大スルコトモ  
亦少シモ躊躇致サヌ、斯様ナ考ヘヲ持ツテ居  
リマス、尙ホ私ハ全國農民諸君ノ時局下ニ  
於ケル考ヘ方ハ、佐々井君ノ御懸念ニナル  
ヤウナモノトハ私ハ考ヘテ居リマセヌ、自  
分ノ所有デナイカラ農耕ニ十分ノ力ヲ盡ス  
氣持ガ起ラヌト云フヤウナ考ヘ方デハナイ、  
全國農村ノ態勢ハ左様ナモノトハ考ヘナイ  
ノデアリマス、即チ自分ノ土地デアツテモ、  
或ハ他ノ人ノ所有ニ係ル土地デアツテモ、  
耕作ニ從事セラレル農耕者其ノ人ハ、朝夕  
自分ノ骨身ヲ打込ンデ、サウシテ農耕ニ專  
念スルコトガ、戰時下ニ於ケル農民諸君ノ

御奉公ノ道デアル、此ノ考ヘ方ヲ以テ全國ノ農村ノ方々ハ、挺身努力ヲシテ戴イテ居ルモノト信ズルノデアリマス、無論サウアルガ爲ニ自作農創設ヲ蔑ロシテ宜イト云フ考ヘハ持チマセヌ、是ハ是デ穩健ニシテ堅實ナル方途ニ依ツテ促進ヲスル、此ノ施策ニ付テハ政府トシテ怠リガアツテハナラヌト考ヘルノデアリマス、茲ニ私ノ所信ヲ明確ニ申上ゲテ置ク次第デアリマス

○佐々井委員 此ノ席ニ於キマシテ私ハ土地國有ニ關スル論議ヲ聞ハス考ヘハ持ツテ居ラナイノデアリマスルケレドモ、堅實ナル對策ヲ執ルト仰セラレル其ノ態度ニ拘ラズ、遺憾ナガラ過去十八年間ニ互リマシテ實績ガ現ハレテ居リマセヌ、餘リニ甚ダシイ自作農創設事業ノ進捗振リナノデアリマス、ソシテ又此ノ僅カナ自作農創設ノ地域ニ於ケル實驗デアリマスルケレドモ、農商當局ニ於テ御認メニナツテ居リマスル所ノ實績ハ、明カニ二割ノ増收ヲ認メテ居ラレルノデアリマス、ソレヲ更ニ讓ツテ一割五分ト認メテモ云ツテ、私ハ御話ヲ申上ゲテ居ルノデアリマスガ、何故ニ小作地ヲ自作地ニスレバ、ソレダケノ成績ガ擧ルカト云フ點ニ、深ク思ヒテ致サレナケレバナラス、小作農民デアリマスルカラ、一種ノ階級鬭争的ナ考ヘヲ持ツテ居ルナドト私ハ申シマセヌ、サウ云フコトヲ言ウテ居ル時デモナシ申シマセヌ、併シナガラ自作地ニナリマスレバ、如何ニ喜ブカト云フコトハ明カナノデアリマス、是ハ此處デ論議ヲ聞ハシテ居ル譯ニ行キマセヌカラ、此ノ程度デ止メテ置キマスルケレドモ、篤ト御考ヘテ願ヒ、更ニ飛躍的ナ御考ヘテ願ヒタイノデアリマス

併セテ茲ニ農商相ノ御言葉デハナカツタガ、能ク言ハレルコトデアリマスルカラ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、地主階級ト云フモノガナクナツタラ、農村ノ秩序ハ維持サレ難イト云フヤウナ考ヘノ方ガ相當アルノデ、一言致シテ置クノデアリマス、ソレハ恰モ徳川ノ末期ニ於テ、武士階級ト云フモノガナクナツタラ日本ノ國防ハ護レナイト云フヤウナ考ヘ方ヲ、武士階級ハ持ツタデアリマセウ、併シナガラ國民皆兵トナリマシテ、初メテ茲ニ西南戰爭ニ現ハレテ來マシタガ、對外的ニ考ヘマスルト、日清戰爭、日露戰爭、今日ノ大東亞戰爭ニ於キマシテモ、此ノ國民皆兵ノ制度ガ日本國ヲシテ今日アラシメテ居ル、茲ニ一ツ飛躍的ニ御考ヘ方ヲ一新サレ、政策ノ上ニモ之ヲ考察ノ大切ナ一ツノ考ヘ方トシテ御執リヲ願ヒタイノデアリマス、之ヲ以テマシテ、此ノ問題ニ對スル質問ハ打切ルコトト致シマス

○山崎國務大臣 只今ノハ御質問デナク、御所見ノ御開陳デアリマシタケレドモ、此ノ場合一言申上ゲルコトノ御許シヲ得タイト思ヒマス、私ハ今日ノ戰時下ニ於テ、農村ニ、或ハ小作階級或ハ地主階級ト云フヤウナ階級的觀念ノ存在ハ宜シクナイト思フノデアリマス、小作デアツテモ自作デアツテモ、自作デアツテモ或ハ土地所有者デアツテモ、是等ノ人ガ總テ融和シ一致シ一丸トナツテ、村ノ運營ニ當リ、食糧増産ニ邁進スル、是ガ私ハ戰時下ニ於テ農村ノ最モ努ムベキ點デアアル、斯様ニ考ヘル譯デアリマス、一言申上ゲテ置キマス

○佐々井委員 農商相ノ御言葉デアリマシタノデ、一言私モ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、ソレハ私モ階級的ニモノヲ觀察スルト云フコトニ付キマシテハ、之ヲ打破スルコトニ非常ナ努力ヲ致シテ居ル譯ナノデアリマスカラ、其ノ點ハ無論地主階級モナク小作階級モナク、國民打ツテ一丸トナツテ骨ヲ折ラナケレバナラスコトハ、當然致サナケレバナラスコトデアリマス、是ハ分リ切ツタコトデアリマス、唯茲ニ昭和元年十二月二十八日ノ今上天皇陛下ガ朝見ノ御儀ニ際シテ賜ツタ所ノ御詔勅ノ中ニモ「戦近世態漸ク以テ推移シ思想ハ動モスレハ趣舍相異ナルアリ」ト仰セニナツテ居リマス、此ノ點ハ餘程取レタノデアリマスガ、後ノ點デアリマス、「經濟ハ時ニ利害同シカラサルアリ」ト仰セデゴザイマス、此ノ利害同シカラザル事情ノ生ズルコトヲ其ノ儘ニ存續サセテ置イテ、今アナタガ仰セニナリマシタヤウナ點ヲ認メタルト云フコトハ、ソコニ非常ナ根本的ノ無理ヲ生ズル、少クトモ政府ト致シマシテハ、利害相同ジカラザルモノヲ生ズル所ノ原因ヲ取去ツテヤルト云フ所ニ、政策ノ立テ方ヲ御考慮ニナラナケレバナラヌモノデアルト云フコトヲ申上ゲテ私ノ質問ヲ終ルコトト致シマス

○島田委員長 花村四郎君

○花村委員 私ハ首相ニ對シテ二點ノ質問ヲナサントスルノデアリマスガ、御見エニナリマセヌカラ留保致シテ、他ノ質問ニ移ルコトニシタイト思ヒマス、只今マデ主トシテ物ノ問題ニ付テハ質問ノミガナサレタノデゴザイマスガ、私ハ人ノ方面、人ヲ作リマス所ノ教育ノ問題ニ對シテ、質問ヲ致シテ見タイト思フノデアリマス、隨ヒマシテ文部大臣ニ教育ノ決戰態勢ト云フ問題デ、質問ヲ致サントスル者デアリマス、先

程來私ハ各工場ヲ廻ツテ見タノデアリマスガ、其ノ工場内ニ於キマスル職工ノ或ル者ガ、國民學校若シクハ中等學校ヲ終ヘテ工場ニ入りマス者ノ姿ヲ見ルノニ、ドウモ戰爭ニ關スル認識ガ缺ケテ居ルト云フコトヲ、各方面デ聞イタノデアリマス、成程是ハ私ハ肯ケル點ガアルヤウニ思フ、モツト國民學校ノ子供ナドヲシテ、米英ニ對スル敵愾心ヲ燃ヤシ、サウシテ敢闘精神ヲ旺盛ナラシムルト云フコトガ必要デハナイガラウカ、今日ハ御承知ノ如ク國ノ總テヲ舉ゲテ此ノ戰爭ニ掛ラナケレバナラスト云フ總力戰デアアル、隨テ教育ト致シマシテモ此ノ戰爭ニ無關心デアリ得ウ答ハナイ、總テ戰爭ノ方面ニ方向ヲ向ケテ進マナケレバナラスト云フコトハ當然デアリマス、元ハ教育ト云フモノハ個人ノ事象ト見ラレマシテ、子供ノ素質ヲ啓發シ或ハ個性ト云フモノヲ伸張スルノダト云フヤウナ意味ニ、功利主義乃至ハ個人主義ノ人生觀カラ解釋ヲ致サレテ居ツタノデアリマス、併シ近代ノ教育ノ對象ハ決シテ個人事象、其ノモノデハナイ、正ニ國家ノ事象トシテ考ヘナケレバナラナイノデハナカラウカ、斯ウ云フ觀點カラ見マシテ、教育ト云フモノハ正ニ國家ノ生命ノ根源デアリ、又國家活動ノ原動力デアルト申シテモ決シテ過言デハナカラウ、斯様ナ意味合ニ於キマシテ、若シ私ノ言ニシテ誤リナクンバ、此ノ教育其ノモノヲ總テ戰力増強ノ方向ヘ向ツテ進メテ行クト云フコトガ必要デハナイガラウカ、斯様ナ意味ニ於キマシテ、戰力増強ト云フ問題ヲ、ヤハリ教育的見地ニ立ツテモ考ヘナケレバナラナイ、然ラバ一體戰力増強トハ何デアルカ、申スマデモナク、重點的ニ考ヘ



テ見マスルナラバ、國防力、生産力乃至ハ生活力デアリマス、此ノ三ツノ力ガ増強サレテコソ我が國ノ戦力ト云フモノガ増強サレノデアル、隨ヒマシテ若シソレ教育ガ戰爭ニ結び付カケレバイカナイト致シマスルナラバ、此ノ國家國防性、或ハ生産性、或ハ生活性、斯ウ云ツタモノガ教育ノ中ニ織込マレト云フコトデナケレバナラス、寧ロ言葉ヲ換ヘテ申上ゲマスルナラバ、是ガ戰時下教育ノ指導原理デアルトマデ叫ンデ間違ヒハナカラウト私ハ思フノデアリマス、此處ヘ教育ノ方向ヲ進メテ行カナケレバナライ、今日ノ教育——國民教育ニシロ、或ハ中等教育ニシロ、或ハ其ノ他ノ教育ニシロ、是ガ果シテ此ノ線ニ沿ウテ居ルト云フコトヲ文部大臣ハ斷言シ得ルデアリマセウカ、國家ノ生命ノ根源デアリ、國家活動ノ原動力トナリ得ベキ、又ナラナケレバナラス所ノ教育ガ、此ノ戦力ノ方向ニ眞直ガニ向ツテ行カスト云フ今ノ姿ヲ見マサル場合ニ於テ、先程申シタヤウナ聲ノ出ルコトハ必然ノ結果デアルト私ハ申上ゲタイ、斯様ナ點ニ付キマシテ文部大臣ハ如何ナル御考ヘヲ持ツテ居ラレマスルカ、先ヅ之ヲ御伺ヒシタイノデアリマス

○岡部國務大臣 花村君ノ御質問ニ對シテ御答ヘヲ申上ゲマス、御質問ノ御趣旨ノ通り、今日ハ總テ國力ヲ擧ゲテ戰爭完遂ニ集中シナケレバナラスコトハ申スマデモナイノデアリマシテ、教育モ亦此ノ大方針ノ下ニ出來ルダケ戦力増強、即チ今御話ノ通り國防力、生産力或ハ生活力等ノ増強ニ向ツテ努力ヲ拂ツテ居ル譯デアリマス、教授内容等ニ付キマシテハ多分ニ出來ルダケサウ云フ趣旨ノモノヲ織込ンデ居リマスルシ、又教練等モ非常ニ強化致シマシテ、所謂戰爭意識ノ昂揚ニ努メテ居ル次第デアリマス、又勤務等モ、教授ノ時間ヲ切詰メマシテ、直接生産力ノ増強ニ多大ナル貢獻ヲナシテ居ル積リデアリマス、又學徒ノ精神狀態ニ付キマシテハ、各方面カラ、今日ハ非常ニ緊張シテ目覺メテ居ルト云フコトヲ私ハ聞イテ常ニ喜ンデ居ルヤウナ次第デアリマスルガ、是ハ尙ホ益、強化シテ、此ノ時局下ノ青少年トシテ洵ニ之ニ相應シク、又此ノ國家ノ重大時期ニ假令子供ト雖モ應分ノ貢獻ヲサセルベキデアルト考ヘテ居リマス、此ノ點ニ付テハ日夜心ヲ碎イテ居ル次第デアリマス、以上御答ヘヲ申上ゲマス

○花村委員 次ニ戰時下教育ノ中樞ヲナシマスル青年教育ニ付テ御尋ネテ致サウト思フノデアリマスルガ、青年教育ニ對シマシテハ、相當ノ有識者デ反對ノ意見ヲ發スル者モゴザイマス、文部省ハ反對ハ致シマセヌガ、少シ冷淡ヤウニ考ヘマス、併シ是ハ青年教育其ノモノニ對スル理解ヲ持タザル誤ツタ考ヘデアルト申シテ宜カラウト思フノデアリマス、此ノ二三年前デアリマシタカ、或ル工場デ國民學校ヲ卒業シタ子供ヲ直グ工員ニシテ工場デ働カセタモノト、青年學校ヘ入レテ一年間工場ヘ顔ヲ出サセズニ教育ヲシタ青少年ト、其ノ後ニ於ケル能率ヲ比較研究致シマシタ所ガ、青年學校デ教育セラレタ子供ノ能率ガヨリ以上ニ上ツタ、決シテ其ノ一年ハ無益デナカッタト云フ話ヲ聞イテ居ルノデアリマス、又鹿児島縣ノ洵ニ立派ナ模範ノ青年學校ヘ參リマスト、寧ロ青年學校ノ生徒ガ其ノ農村ニ對スル科學的農業經營ニ對スル推進員トナツテ、サウシテ其ノ村デハ舊來ヨリモ青年學校ガ盛ンニナルト同様ニ、生産力モ一段ニ高マツテ來タト云フ話モ聞イテ居ル、斯様ナ點カラ見マシテ、決シテ此ノ青年學校教育ト云フモノハ意味ヲナサナイモノデハナイト云フコトハ明瞭デゴザイマス、今日我が國ノ國民學校ヲ卒業致シマスル者ガドノ位アルカト申シマスルト、約百八十餘萬人ト云フ莫大ナル數字ニ相成ツテ居ルノデアリマスガ、此ノ中ニ約十七萬内外ノ中等學校ヘ上リマス子供ヲ除キマシタ其ノ残りノ約百六十萬人ト云フ子供ハ、青年學校ニ進ンデサウシテ青年トシテノ教育訓練ヲ受ケルト云フコトニ相成ツテ居ルノデアリマスルガ、併シ是ガ驕テハ皇國民トシテ日本ノ生産組織ノ中核トナツテ偉大ナル力ヲ發揮スルノダ、又シテ居ルノダ、或ハ又戰闘力アル優秀ナル戰士ト致シマシテ戰線ニ立ツテ善戰奮闘ヲ致シテ居ルノデアリマス、昭和十七年ニ於キマスル文部省ノ壯丁ニ關シマスル教育程度ノ調査ヲ見テミマスルト、中等學校以上ヲ卒業シタ學歷ヲ持ツテ居ル者ガ十四・三%アリマス、然ルニ爾餘ノ實ニハ五・七%ト云フ此ノ中等學校卒業程度ニ達セザル、換言スレバ青年學校ノ教育ヲ受ケ、又ソレヲ卒業シタ者ガ其ノ總テヲ占メテ居ルト云フ點ニ鑑ミマシテ、如何ニ青年學校ノ教育ガ重要デアアルカト云フコトハ、此ノ一事ヲ以テシテモ明瞭ニ相成ルコトデアラウト思フノデアリマス、是等ノ我が國ノ總テ中堅トナルベキ多クノ青年ヲ、此ノ青年學校ノ教育ニ依ツテ叩キ上ゲルト云ノデアリマスカラ、極メテ重大ナ制度デアルト見ルベキデアラウト思フノデアリマスルガ、此ノ點ニ對シマスル文部大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○岡部國務大臣 御答ヘヲ致シマス、青年學校ノ重要デアルト云フコトニ付キマシテハ御同感デアリマス、只今花村委員カラ文部省モ餘リ熱心デハナイヤウニ仰セラレマシタガ、實ハ文部省ト致シマシテハ、青年學校ノ重要性ニ付テハ、十分ニ之ヲ認メテ居リマス、御話ノ通り世間ニハ往々青年學校ノ無用論ヲ説ク無理解ナ者サヘアルノデアリマスルガ、今有力ナル花村委員ノ如キ方ノ口カラ、青年學校ノ非常ニ有意義デアルト云フコトヲ此ノ席上ニ於テ御發言戴キマシタコトハ我々トシテハ非常ニ心強ク感ズル次第デアリマス、青年學校ノ内容ニ付キマシテハ、今御話ノ通り甚ダ遺憾ナ點ガ少クナイノデアリマシテ、マダ發展ノ過程ニアルト申シテ宜イノデアリマス、實ハ物資等ガモツト許シマスルナラバ、今日ノ如キハ大イニ擴張ヲ圖ラナケレバナラス答デアリマスルガ、遺憾ナガラ資材等ノ不足ノ爲ニ、ドウモ學校ノ設備等ノ充實ヲ圖ルコトガ出來マセヌノデ、或ハ遊休ノ建物ヲ使ヒマストカ云フヤウナ方法ヲ講ジマシテ漸次體形ヲ整ヘテ參ルヨリ外ハナイノデアリマス、此ノ點ハ我々トシテモ非常ニ遺憾ニ思ツテ居ル次第デアリマス、併シ青年學校ノ重要性ニ鑑ミマシテ、此ノ教育者ノ育成ト云フコトハ先ヅ以テ著手シナケレバナラスコトト考ヘテ居リマスルノデ、先年來、青年學校教員養成所ト云フモノガ府縣等ノ公立ノモノデアリマシタガ、之ヲ官立ニ直シテ正規ノ學校ニシテ十分ニ一ツ教員ノ養成カラ掛ツテ行カウト云フコトデ、今回豫算等モ提出シ、又國庫補助法ノ改正案等ニ付キマシテモ御審議ヲ御願ヒスルヤウナコトニ相成ツタノデアリマス、青年學校ノ重要性

ニ付テハ、決シテ之ヲ輕ク見テ居ルノデハ  
ナイデアリマスカラ、此ノ點ハドウカ御安  
心ヲ戴キタイと思ヒマス

○花村委員 洵ニ結構ナ御言葉デアリマシ  
タノデ満足ヲ致スノデアリマスガ、併シソ  
レ程重要ナ青年學校ガ今日顧ミラレテ居ラ  
ナイ、文部省ニ於テモ、極メテ冷淡デア  
ルト申シテハ失禮デアリマスルケレドモ、事  
實其ノモノガ雄辯ニ物語ツテ居ルト云フ意  
味ニ於テ洵ニ私ハ遺憾ニ堪ヘナイノデア  
リマス、先程文部大臣ガ言ハレマスル所ニ依  
レバ、物資モ足ラヌト云フヤウナコト、洵  
ニ吾々モ左様ニ考ヘマス、併シ足ラナイナ  
ガラモ重要デアアルカラソレヲヤツテ行ク  
ト云フノデナケレバ、此ノ大東亞戰爭ノ完  
ハ出來ナイノデハナイカ、私ハ日本全國ノ  
青年學校ヲ大體廻ツテ見タノデアリマス  
ガ、非常ニ優秀ナ青年學校モアル、ケレド  
モソレハ洵ニ僅カデアリマス、アトハ殆  
ド形バカリデアアル、洵ニ制度ハ立派デア  
リマスガ、佛作ツテ魂入レズデ、本當ニ形  
ダケデアアル、何處ヘ参リマシテモ小學校ノ校  
舎ノ片隅ヲ間借リヲシテ、サウシテ小學校  
ノ校長ガ兼任ダカ何ダカ分ラヌヤウナ有様  
デ、教員モヤハリ同様デアリマス、青年學  
校ヘ勤メテ居ルノデアアルカ、或ハ外ノ學校  
ヘ勤メテ居ルノデアアルカ分ラナイ、斯様ナ  
コトデ此ノ重大ナル青年教育ノ任務ヲ遂行  
シ得ルデアリマセウカ、而モ之ニ對シマシ  
テ、雇傭主デアルトカ或ハ父兄ト云フヤウ  
ナモノモ洵ニ不熱心デアリマシテ、隨テ此  
ノ制度ハ義務制ニ相成ツテ居ルノデアリマ  
スルガ、此ノ義務制ガ少シモ履行サレテ居  
ラナイ、義務制ヲ履行セズニ放ツテ置クト  
云フノハマダ是ハ消極的デアアルノデアリマ

スルガ、更ニ進ンデ怪シカラヌノハ、積極  
的ニ此ノ青年ノ就學ニ對シテ妨害スル者  
ガアルト申上ゲテ宜カラウト私ハ思フ、世  
上徒ラニ青年ノ作業時間ヲ増シ、サウシテ  
之ヲ鞭撻スルニ賃金ノ増額ヲ以テスルカ、  
然ラズンバ物資ノ増配ヲ以テスル、物ノミ  
ニ手段ヲ求メ、勤勞青年ニ與ヘラレマシタ  
所ノ、一面ニ於テハ此ノ勤勞青年ノ慰安ト  
モ見、又鍛鍊ノ道場デアルトモ言ハナケレ  
バナラス青年學校ノ通學スラモ、彼等カラ  
奪ツテ居ルト云フ様相ヲ凡ユル面ニ見ルコ  
トガ出來ルノデアリマス

〔委員長退席、紅露委員長代理著席〕

而モソレハ當ニ青年學校教育ヲ受ケサセ  
スト云フバカリデハナイ、斯クノ如キ考ヘ  
ガ却テ社會ニ對シテ害毒ヲ流ス、勤勞青年  
ノ勤勞時間及ビ收入ノ増加ト云フモノハ、  
世ニ往々ニ見、又私共モ體驗ヲ致スノデア  
リマスルガ、勤勞青年ノ不健全生活ヲ誘致  
シ、或ハ不良の行爲ヲ遞増シ、更ニ又思想  
的ノ惡化マデモ來スト云フヤウナ恐レベキ  
結果ヲ見ル場合ガ往々アルノデゴザイマス  
斯ウ云フ點ニ對シマシテ、文部當局ハ此ノ  
義務制ヲ強化シテ、サウシテ必ズ青年學校  
ニ就學ヲシナケレバナラナイト云フ意味ニ  
於テ指導シ、善導シテ行ク必要ガアルノデ  
ハナイガラウカ、斯クノ如ク致シマシテ、  
若シ此ノ百六十萬ノ青年ガ悉ク青年學校ヲ  
出テ参リマスルナラバ、必ズヤ生産面ニ於  
テ増産ノ一大躍進ヲ見ルコトガ出來ルバカ  
リデハナク、戦力ノ増強ニ寄與スル所大ナ  
ルモノガアルト申上ゲテ宜カラウト思フノ  
デアリマスルガ、斯ウ云フ點ニ對シテ文部  
大臣ハドウ御考ヘニナリマスカ

○岡部國務大臣 只今ノ御質問ノ點デアリ

マスルガ、青年學校ノ教育ハ非常ニ複雑ナ  
關係ガアリマスルノデ、ヤハリ一方教育的  
見地カラ成ベク知識モ、亦總テノ德育モ進  
ムヤウニ指導シナケレバナラスコトハ勿論  
デアリマスガ、一方青年學校ノ生徒ハ悉ク  
仕事ニ携ツテ居ル者デアリマスノデ、現ニ  
青年學校ニ理解ノナイ連中ノ申シマス所ニ  
依リマス、青年學校ニ時間ヲ取ラレルト  
其ノ間ハ皆機械ガ遊ンデシマフ、此ノ大事  
ナ増産ノ時ニサウ機械ヲ遊バセルコトハ甚  
ダ困ルト云フコトデアリマス、是モ一理ハ  
アルノデアリマス、隨テ此ノ勤勞青年ノ教  
育ト申スモノハ、今日増産ガ戦力増強ノ意  
味ニ於テ最モ必要ナル際ニ於キマシテハ、  
所謂坐學ハ犧牲ニ致シマシテモ、仕事即教  
育、所謂行學一致ノ教育方針ヲ以テ、仕事  
場ニ於テ教育ヲシテ行クト云フヤウナ方  
針ニ依リマシテ、指導ヲスルコトニ致シテ  
居ル次第デアリマス、併シ御話ノ通り青年  
ノ精神狀態、思想ト云フモノニ付キマシテ  
ハ、是ハ決シテ樂觀ヲ許スコトハ出來マセ  
ヌ、常ニ注意ヲ致シテ居ラナケレバナラス  
コトハ勿論デアリマス、殊ニ其ノ點ニ於テ  
青年學校等ニ於テ最モ力ヲ用ヒマスノハ、  
教練デアリマス、此ノ教練ハ工場ノ方ノ如  
何ナル犧牲ヲ拂ツテモ、時間ヲ割イテ十分  
教育ヲシテ居ルノデアリマス、モウ青年學  
校ヲ終リマシタ者ハ、直チニ軍隊ニ入ル年  
ニ達スル譯デアリマスノデ、軍隊ニ入ツテ  
モ相當程度ノコトハ豫備教育ガ出來テ居ル  
ト云フ風ニ、教練ニハ力ヲ入レテ居ル次第  
デアリマス、既ニ古來十五歳デ元服ヲシテ  
一人前ニナツタモノデアリマスカラ、サウ  
云フ歴史ヲ持ツテ居ル日本ト致シマシテハ  
十三四歳以上ノ青年學校ノ生徒ニ對シマシ

テハ、所謂子供扱ヒハシナイデ行キタイ  
考ヘテ居リマス、併シ何ト申シマシテモ非  
常ニ發育ノ旺盛ナ時代デアリマスカラ、是  
ガ指導ニ十全ヲ期シテ行クト云フコトハ、  
能率ヲ増シマス上ニ於キマシテモ、人物ヲ  
作リマス上ニ於テモ、國家ニ貢獻スル素養  
ヲ益々高メテ行ク所以ダト考ヘテ居リマス、  
設備等ニ於テハ洵ニ貧弱デアリマスガ、既  
ニ青年學校ノ教科書等モ國定ノモノヲ段々出  
版シテ、之ヲ配付スルヤウナコトニ致シテ  
居ル次第デアリマス、御不満足デハアリマ  
セウガ、出來ルダケノコトハ努力シテ居  
マス

○花村委員 只今モ一寸文部大臣ノ御言葉  
ノ中ニアツタノデアリマスガ、青年教育ガ  
何カ生産面ニ對シテ大キナ影響デモ持ツカ  
ノ如クニ考ヘテ居ラレル節モアルノデア  
リマスガ、左様ナコトハ如何ナル方面カラ考  
ヘテモナイト私ハ申上ゲテ宜カラウト思フ、  
御承知ノ如ク青年學校ノ教育ハ一週間ニ十  
時間デアリマス、大體二日ニヤル、三日ニ  
ヤツテ居ル所モアリマスルガ、時間數ニシ  
テ十時間デアアル、一週間ニ十時間デアリマ  
スカラ、一箇月大體四十時間デアアル、一年  
ニ致シマシテモ四百八十時間デアアル、之ヲ  
日ニ直シマスレバ二十日デアリマセヌカ、  
一年ニ二十日ノ日ヲ青年教育ノ爲ニ注ギ込  
ンダカラト云フテ、何ガソコニ産業方面ニ  
對シテ影響ガゴザイマセウカ、此ノ點ヲ見  
ナケレバナラス、斯ウ云フ點ハ一ツ十分ニ  
誤解ノナイヤウニ、文部當局ニ於テモ世間  
ノ人ニ納得ヲシテ貰フ方法ヲ講ジテ貰ヒタ  
イト思フ、年ニ二十日餘、青年ニ對スル教  
育指導ト云フ方面ニ此ノ日ヲ使ツタカラト  
云ウテ、決シテ無益ナコトハゴザイマセヌ、

而モ文部省ニ於キマシテハ昭和十八年十一月次官通牒ヲ以テマシテ、臨時措置ニ關スル件ヲ出シテ居ルノデアリマスルガ、是ハ此ノ青年學校ノ職業科ニ付テハ、工場内デ之ヲ指導シテ行ケト云フ方針ノヤウデアリマス、併シ是ハ中々言フコト易クシテ、難カシイコトデアラウト思フ、何處ノ工場ヘ參リマシテモ、青年工ハ部分的ノ作業ニハ關與ヲ致シテ居リマスルガ、始マリカラ終ヒマデノ工程ノ總テヲ教ヘルト云フコトハ、工場ニ於テハ中々困難デアアル、而モ此ノ職業科ノ時間ハ、青年學校デ幾ラ使ツテ居ルカト云ヘバ、一時間半乃至二時間デアリマス、少イ所デ一時間半、多イ所デ二時間、是ガ一週間ノ時間デアリマスカラ、一箇月ニハ八時間デアアル、一年ニ九十六時間デ、ソレヲ日ニ直セバ四日間デアリマス、一年ノ内僅カニ四日間ノ青年教育ニ對スル日ヲ奪ツテ、是ガドウナリマセウ、生産面ニ於ケル何等ノ不自由モ何等ノ關係モナキコトニシテモ、四日間位ノ日ハ出ルノデハナイデセウカ、デアリマスルカラ出來得ルコトデアラナラバ、斯ウ云フ一年ニシテ四日ト云フ短イ修業時間デアリマスガ故ニ、學校ニ於テ其ノ職業學科ヲ修得サセルコトガ最も適當デアラウト思フノデアリマスガ、若シ假ニ百歩ヲ讓ツテソレガサウデナク、工場デヤルコトニ致シマシテモ、其ノ青年學校ノ指導者、青年學校ノ教員ヲ工場ヘ連レテ行ツテ、其處デ教育サセルコトガ最も至當デハナイデセウカ、今日マデ工場ノ中ヘ放リ込シデ、唯一貫作業ヲヤラス、其ノ傍ニ附イテ居ル組長ナリ或ハ班長ナリト云ツタヤウナ工場生拔キノ、青年教育其ノモノニ對シテ何等ノ見識モナク、何等ノ經驗モ

ナク、何等ノ關係モナイ人ガ、教育的觀點ニ立ツテソレヲ指導シヨウト云フコトハ、到底出來得ナイコトデアアルト私ハ申上ゲテ宜カラウト思フ、寧ロ左様ナ出來得ナイコトヲ強ユルコト云フコトデアリマスルナラバヤラザルニ如カズト申上ゲテ宜カラウト思フ、デアリマスルカラ若シモ此ノ職業科ノ學科ヲ工場其ノモノデ實地ニ付テ教ヘヨウト致シマスナラバ、只今私が申上ゲマシタヤウナ青年教育ニ理解ヲ持チ、青年教育ニ經驗ヲ持ツ指導者ヲ工場ノ中ニ求メルト云フコトデアラネバナラヌト思フノデアリマス、斯様ナ意味ニ於キマシテ段々青年教育ガ寧ロ縮小サレル傾向ヲ持ツテ居ルノデアリマスルガ決シテ縮小スルコトニ依ツテ生産ノ增強ハ出來マセス、寧ロ擴張シ、サウシテ青年ガ休ム場合トカ、或ハ明日働カシガ爲ニ今日樂シマウツ云フヤウナ日ヲ割イテ、寧ロ斯ウ云フ教育方面ニ趣味ヲ持タシテ、勤勞青年トシテ鍛ヘテ行クコトガ最も望マシイコトデアラウト思ヒマスガ、斯ウ云フ點ニ付テモウ少シ文部省ニ於テ親心ヲ持ツテ考ヘ、而モ斯ウ云フ臨時措置ニ依ツテ一般ノ工場ニ於テモ、又父兄ニ於テモ、更ニ又雇主ニ於テモ青年教育ハヤラナイデヨイノダト云フヤウナ誤解スラモ凡ル方面ニ起キテ居ルト云フ此ノ事實ヲ見マス場合ニ於テ、文部當局ハ此ノ誤解ヲ一掃セシメ、而モ劃期的ニ青年學校ノ教育ヲ振興セシメル方途ヲ講ズル御考ヘガアルカドウカ

○岡部國務大臣 段々御意見モ拜聴シ、又熱心ナル御質問デアリマスガ、我々モ此ノ青年學校教育ノ重要デアルコトハ、先程モ申上ゲマシタヤウニ十分ニ認メテ居リマスノデ、其ノ指導ニ付テハ今後トモ其ノ事情ニ應ジテ手段ヲ取ツテ參リタイト考ヘテ居リマス、學校ノ教員ガヤハリ工場等ニモ行ツテヤルコトガ必要ダラウト云フ御考ヘ、是モ御同感デアリマス、現ニ先般閣議決定セラレマシタ緊急勤勞動員ノ一部ニハ、學校ノ教員或ハ關係ノ官吏等ヲ軍需監理官、或ハ勞務監理官ニ致シマシテ工場等ニ派遣スルコトニモシタ譯デアリマス、尤モ是ハ勤勞學徒ノ關係デアリマスガ、併シ此ノ青年學校ノ教育ニ於キマシテモヤハリサウ云フヤウナ人ガ關心ヲ以テ指導シテ貰フコトガ望マシイコトト考ヘテ居リマス、又會社側ニ於テモ工場等ニ於テ適當ナル人ヲ文部省或ハ地方廳ノ囑託等ニ致シマシテ、教育指導ノ上ニ協力シテ貰フヤウニ十分連絡ヲ圖ツテ行キタイト考ヘテ居ル譯デアリマス、又青年學校ノ生徒、特ニ遠方カラ工場等ニ參ツテ居ル者ガ非常ニ多イノデアリマスガ是等ハヤハリマダ何分ニモ年ノ若い者デアリマスカラ、所謂望郷ノ念モ相當アルヤウナ場合モアリマス、寂シク感ズルヤウナ場合モアリマスノデ、郷里ノ學校ノ先生ト云フヤウナ人ガサウ云フ工場ニ訪ネテ行ツテ、サウシテ大イニ激勵モシ、郷里ノコトモ話シ、又其ノ傳言モ聽クヤウニ致シマスコトガ、是ガ生徒ニ對シテ精神的ナ良イ糧ニナルト聞イテ居リマス、是等ガ其ノ内容充實ニナツテ居ルノデアリマスガ、大工場ニ於ケル青年學校ハ相當大キナ寄宿舎ヲ持チ、二十四時間教育ヲ實施シテ居リマスシ、又時間ハ非常ニ制限サレテハ居リマスガ、起居ヲ共ニシテ指導スルコト云フコトハ極メテ良イコトト考ヘテ居リマシテ、出來ルナラバサウ云フ教育方針ヲ執リ得マスレバ、色々時間ヲ工面シテ教育ノ機會ガ捉ヘラレルコ

トト思ヒマス、又青年學校ガ段々縮小サレルト云フヤウナ御考ヘヲ持ツテ居ルヤウデアリマスガ、我々ハ却テ出來ルダケ擴張シ充實シテ行カウト考ヘテ居ルノデアリマシテ、地方廳ニモ始終サウ云フコトヲ指示シテ居リマスカラ、縮小サレルヤウナコトハナカラウト思ヒマスガ、農村等ノ青年學校ニ於テハ近頃相當多數ノ者ガ工場等ニ、徵用ト申シマスガ、參ルコトニナリマスノデ其ノ生徒數ガ大變減ツテ居ルト云フトハ往聞イテ居リマス、是ハ色々事情デ已ムヲ得ナイノデアリマスガ、青年學校全體トシテ減ツテ來ルト云フ現象ハ全然考ヘラレナイト思ツテ居リマスガ、サウ云フ事情ガアリマスレバ、十分注意シテ青年學校教育ノ重要性ニ付テハ、社會、家庭、教育者方面ニ對シテモ徹底シテ行キタイト考ヘテ居リマス、尙ホ青年學校ノ教育者ハ從來餘リ惠マレナカツタノデアリマスガ、却テ非常ナ熱ヲ以テ從事シテ居ルコトハ我々ヨク聞ク話デアリマス、併シ何ト申シマシテモ待遇等今マデハ甚ダ不十分デアリマシタカラ今回ノ法律改正等ニ依リマシテ大體國民學校ト同程度ニシ或ハソレヨリモ多少良イ程度ノ待遇ヲ與ヘルヤウニシテ行キタイト考ヘテ居リマス

○花村委員 時間ガアリマセヌカラ以下列舉シテ青年學校ニ付テハ質問ヲ致シマス、私立青年學校ガ近來非常ニ殖エツ、アリマス、昭和十七年度デ、公立ハ七十萬一千二百二十七、私立ハ二十七萬五千八百三十八校、其ノ割合ハ公立七私立三ト云フ統計ニナツテ居リマス、私立ノ方ガ上ガツテ居リマシテ洵ニ結構ダト思ヒマス、大工場ハ自分ノ青年學校ヲ持ツト云フ建前ガ一番宜イ

ノデアリマスガ、進シテハ大工場ニ對シテ  
青年學校ヲ設置スベキ義務ヲ認メルコトモ  
一ツノ考ヘ方デアラウト思ヒマス、然ルニ  
私立青年學校ニ於ケル教員等ハ會社ノ雇人  
デ、場合ニ依ツテハ仕事ガ忙シイカラ學校  
ノ方ハ放ツテ置イテ、子供ノ手マデ借リル  
ト云フコトデ青年教育ガ規定通りニ行ツテ  
居ラナイ節ガ多イノデアリマス、斯様ナ私  
立青年學校ニ對シテハ國家管理ヲ強化シテ、  
其ノ教員ハ文部省カラ配屬セシメル方法ヲ  
執ルコトガ宜カラウト思フ、勿論費用ハ會  
社負擔デ宜シイ、之ヲ文部大臣ハ御考ヘニ  
ナツテ居ルカドウカ、モウ一點ハ青年學校  
ヲ卒業シタ者ニ對シ、中學校卒業ト同一ノ  
資格ヲ與ヘタラドウカ、若シ中學校ノ同一  
ニ出來ナイナラバ、ソレニ類似スル或ル意  
味ノ資格ヲ與ヘタラドウカ、是ハ決シテ無  
理デナイト思フ、中學校ダト、尋常科ヲ出  
テ七年、青年學校ダト尋常科ヲ出テ九年掛  
カル、高等科ヲ出テ中學ヘ參リマスルト今  
ノ制度ダト二年デ宜イ、所ガ青年學校ハ五  
年ヤラナケレバナラスト云フコトニナリマ  
スノデ、隨テ年數ノ上カラ見、而モ特段ナ  
ル教育ヲサレテ居ルト云フ建前カラ見テ、  
之ニ何等カノ資格ヲ與ヘ、サウシテ此ノ百  
六十萬ノ國家ノ中堅トナルベキ青年ニ對シ  
テ將來ニ希望ヲ與ヘ、光明ヲ與ヘルト云フ  
コトハ當然デハナイデセウカ、斯ウ云フ點  
ニ對シテ文部大臣ハドウ御考ヘニナツテ居  
ルカ、更ニ第三ト致シマシテ、女子ニモヤ  
ハリ同様青年學校ニ對スル義務制ヲ認メテ  
ハドウカ、此ノ三點ニ付テ御尋ネ致シマス  
ルガ、極メテ簡單ニ結論ダケヲ一ツ御答辯  
願ヒタイト思ヒマス

○岡部國務大臣 御尋ネノ點ニ付キマシテ、

御答ヘ申上ゲマス、私立青年學校ガ段々ニ  
殖エテ參リマシテ、其ノ教員ハ今ノ所デハ  
會社ノ雇人ト云フコトニナツテ居ルノデア  
リマス、青年學校教育ノ徹底ノ點カラ申シ  
マスルト、多少遺憾ナ點ガアル場合モアル  
ト考ヘマスルガ、國家管理或ハ文部省ヨリ  
配屬スルト云フヤウナコトニ付テモ研究ヲ  
シナケレバナラスト考ヘテ居リマス、ソレ  
カラ卒業生ノ資格ニ付キマシテハ、是ハ昨  
年ノ四月カラ師範學校ノ入學資格ハ既ニ認  
メタノデアリマスルガ、其ノ他ノ中等學校、  
中學卒業生ト同等ナ資格ヲ與ヘルト云フコ  
トニナリマスルト、男子ノ方ハ結局總テ  
者ガ資格ヲ得ルコトニナツテシマヒマシテ、  
或ハ資格ヲ與ヘタ意味ガナクナルト云フコ  
トニモナルノデアリマス、此ノ點ニ付キマ  
シテハ尙ホ一ツ研究シテ見ナケレバナラ  
ト考ヘテ居リマス、ソレカラ女子ニ義務制  
ヲ採ルコトハ、方針ハ既ニ教育審議會等ニ  
於テモ決定サレテ居リマスルガ、何分ニモマ  
ダ男子ノ方スラ完了シテ居ラナイヤウナ狀  
態デアリマスノデ、男子ノ方ノ完了ヲ俟ツ  
テ速カニ是ガ實施ヲ見ルヤウニシテ行キタ  
イト考ヘテ居ルノデアリマス

○花村委員 文部大臣ノ懇切ナル御答辯ヲ  
得マシテ洵ニ結構ト思ヒマス、是非此ノ重  
大ナル青年層ノ教育ニ對シテモウ少シ力ヲ  
入レテ——モウ少シ所デハナイ、今日ノ戰時下  
ニ於ケル教育ノ中心ハ是ニアルノダト云フ  
意味ニ於テ、大イニ一ツ再檢討セラレテ  
御努力アラント御願ヒ致シテ置キマス  
次ニ時間モアリマセヌカラ極メテ簡單ニ  
帝都防空ニ對シテ内務大臣ニ御尋ネヲ致シ  
テ見タイト思フノデアリマス、先づ第一ニ  
今日ノ帝都ノ防空ニ關スル施設其ノ他ノ方  
面ヲ見マスルノニ、洵ニ撓ツテ居ラスト云  
フコトヲ遺憾ニ存ズルノデアリマス、是ハ  
一體内務大臣ニ於カレテハ此ノ帝都ガ何時  
空襲サレルト云フ御考ヘヲ持ツテ居ラレ  
ルカ、之ニ付キマシテハ中々難カシイ問題デ  
アリマシテ、我々モ之ニ付キマシテハ、何  
時空襲サレルカト云ヘバ明日ニモ空襲サレ  
ルカモ知レヌ、總テノ人ガサウ思ヒマス、  
併シ是ハ根據ノナイコトデアアル、前ニ一  
度空襲サレタカラ或ハ明日デモ來ルカモ知  
レヌ、斯ウ云フ判斷ニ基クノデアリマスルガ、  
併シ今日ノ米國ノ飛行機ノ増産ノ關係、其  
ノ數種、性能、或ハ飛行基地ノ關係等カラ見  
マシテ大體何時頃ニ本格的ノ空襲ガヤツテ  
來ルデアラウカ、サウシテ其ノ空襲ハドウ程  
度ノモノデアラウカト云フコトヲ想定スル  
コトハ、要スルニ防空施設ヲドウ進メテ行  
カナケレバナラヌカ、ドウ云フ施設ガ肝腎  
デアアルカ、何時マデニ是ヲ完成セネバナ  
ラヌカト云フコトガ、自ら判斷セラレナケ  
レバナラスト思フノデアリマス、此ノ點ニ對  
シマシテ一ツザツクバラシニ内務大臣ノ御  
考ヘヲ伺ヒタイト思ヒマス、是ハ一寸難カ  
シイ間ヒデ或ハ御無理カモ知レマセヌガ、  
併シ帝都ノ都民ト致シマシテモ、一度來タ  
ノダカラ明日ニモ來ルカモ知ラヌガ、本當  
ニヤツテ來ルノハ何時デアラウカ、其ノ時  
コソハ本當ニ防空精神ヲ出シテ徹底的ニヤ  
ツツケナケレバイカヌト云フ氣構ヘモ、ヤハ  
リ私ハ必要デハナガラウカト思フノデアリ  
マス、其ノ點ヲ初メ一寸伺ツテ置キタイ  
ト思ヒマス

○安藤國務大臣 只今花村君ノ御尋ネ、敵  
ノ空襲判斷ト申シマスカ、殊ニ東京都民ノ  
心持ト致シマシテ洵ニ痛切ナ事項デアリ、  
御質問モ亦重々御尤モナ御質問ト存ジマス、  
併シナガラ敵ノ空襲判斷、ソレヲ具體的ニ  
申述ベルト云フコトハ、敵ノ作戰上ノ企圖  
判斷デアリマシテ、ソレニ對スル我ガ方ノ  
防衛ノ準備態勢ヲ同時ニ示スコトニ相成リ  
マスノデ、折角ノ御尋ネデハゴザイマスガ  
斯カル公開ノ席上ニ於キマシテ申述ベル  
トハ遺憾ナガラ之ヲ私ニ許サレテ居リマセ  
ヌ、隨テ具體的ニ此ノ席上デ其ノ判斷ヲ申  
述ベルコトハ、出來ナイノデアリマシテ、  
即チ抽象的ナコトニナルノデゴザイマスガ、  
國內ニ敵ノ空襲ハ既ニ必至ノ情勢ニアル、  
而モソレハ前回ノ如キモノニアラズシテ、  
相當ナ威力ヲ以テ反復空襲ヲ受ケルコトモ  
覺悟シテ、一日モ速カニ計畫ニ基ク所ノ防  
空態勢ヲ促進スベキ必要ヲ痛感致シテ居ル  
次第デゴザイマス

○花村委員 次ニ防空教育ト防空思想ノ普  
及徹底ニ付テ御伺ヒシタイノデアリマスル  
ガ、防空ハ要スルニ敵カラ空襲ヲ受ケルノ  
デアリマスカラ、之ヲ防グノニ國民ガ何處  
マデモ敢闘精神ヲ以テヤラナケレバナラヌ、  
隨ヒマシテ此ノ防空精神ノ涵養ガ必要ニ相  
成ツテ來ルノデアリマス、併シナガラ此ノ  
防空精神ガアリ、敢闘精神ガアリマシテモ、  
ソレヲ旨ク防グ訓練ガナサレテ居ラナケレ  
バナラヌ、又訓練ガアリマシテモ、家ノ設  
備ニ於テ、防空的ノ施設ガ整ツテ居ラナケ  
レバナラスト云フコトニ相成ルノデアリマ  
ス、併シ防空々々ト申シマスルガ、防空其ノ  
モノガ何モノデアアルカト云フコトヲ聞イテ  
見レバ、能ク知ツテ居ル人ハナイト申上ゲ  
テ宜カラウト思フ、斯ウ云フ意味ニ於テ泥  
棒ヲ前ニ置イテ繩ヲ綱フノ類ニ等シキヤウ  
ナ感ジモ致シマスルガ、防空教育ト防空思

想ノ普及ト云フコトニ先ヅ力ヲ入レテ、防空ト云フモノニ對スル認識ヲ持タセル必要ガアルノデハナイダラウカ、私が昭和十一年「ドイツ」ニ參リマシタ時ニ、既ニ「ドイツ」ニ於テハ彼ノ防空學校ガ到處ニ出來テ居ツタ、高等防空學校ガ十七、中等防空學校ガ五百、普通防空學校ガ全國デ四千五百、全部デ五千餘リノ防空ニ關スル學校ガ出來テ居ツタ、ソレノミナラズ、農村、漁村、山村ニ對シマシテハ、乗合自動車ヲ以テ二、三人ノ先生ガソレニ乘込シテ行ツテ指導教育ヲヤル所ノ移動防空學校ト云フモノモ出來テ居ル、所ガ日本ニ於テハ、只今内務大臣ノ明日ニモ空襲必至デアルト言ハレル防空下ニ於テ、斯ウ云フ防空方面ノ教育ヲ致ス學校ガ日本全國ニ於テ幾ツアルカト言ヘバ、僅カニ二十五デアリマス、「ドイツ」ノ五千ノ學校ト比較シテドウデアリマセウカ、之ヲ以テ果シテ足レリト致シマセウカ、「ドイツ」ノ〇・五%ニ過ギナイ、何モ「ドイツ」ノ眞似ヲシナケレバナラスト言フノデハアリマセケレドモ、唯隣組ガ機械的ニアツチコツチ飛ンデ歩クヤウナ、ソナナ防空訓練デハイケナイ、徹底的ニ防空ノ何モノデアルカト云フコトヲ知ラシメル必要ガアル、「ドイツ」ニ於テハ、防空ノコトガ小學校或ハ中學校ノ教科書ノ中ニモ出テ居ル、數學ノ中ニモ理科ノ中ニモ非常ニ織込マレテ居ル、ソレマデヤツテ居リマス、ソレデ今日「ドイツ」ガアレダケノ空襲ヲ受ケテモビクトモセヌト云フノモ亦ソコニアルノデハナカラウカト思フ、斯ウ云フ點ニ對シテ内務大臣ハ御考ヘガナイカドウカ、時間ガアリマセヌカラ續ケテ簡單ニ簡條書キダケ申上ゲマス

ソレカラ次ニ東京都ニハ御承知ノ如ク耐火建築ト云フモノガホンノ僅カデアリマス、防空ニ對シマシテハドウシテモ耐火構造デアラネバナラス、「ドイツ」ニ於テハ既ニ四百五十年前、英國ニ於テハ三百年前ニ耐火建築ヲ法制ノ上カラ國民ニ強制シテ居ル、所ガ明日ニモ空襲サレルカ分ラスト云フ帝都ニ於テ、今日尙且ツ建築ノ耐火構造設備ノナイコトハ洵ニ遺憾デアリマスルガ、今トナツテハドウモナリマセヌガ、之ニ對シテ應急的對策ヲ講ズル御考ヘガアルカドウカ、其ノ應急對策ノ一ツトシテ最モ必要デアリマスル所ノ、一般ノ軍事上ノ施設、工作物、軍需品貯藏所、武器彈藥其ノ他軍需品製造工場、通信及ビ交通施設、動力供給設備、食料品製造工場、埠頭、鐵道、瓦斯施設、上水道施設ト云ツタヤウナ重大ナモノ、其ノ他國軍ノ補給乃至國民ノ給與ニ關スル重大ナ施設ニ付テ、セメテモ耐火構築ヲシナケレバナラスト云フ必要ニ迫ラレテ居ルノデアリマスガ、此ノ種建築物ニ對シテ内務大臣ハ相當ニ御考ヘニナツテ居リ、準備ト御用意ガアラレルカドウカ

更ニ空襲ニ對スル一ツノ考ヘ方トシテ、防火「ブロック」ト云フモノヲ設定シナケレバナラス、是ハ私が申スマデモナク、大正十二年ノ關東大震災ノ折ニ私共ガ如實ニ體驗シタ所デアリマスガ、アノ時ノ統計ヲ見ルト、自然物ニ依ツテ延焼ヲ妨ガラレタモノ、自然ニ消火シタモノガ七一・四%、人意的ニ消火セラレタモノガ二八・六%ニナツテ居ル、此ノ事實ニ見マシテモ、自然物の意味ヲ以テ防火「ブロック」ヲ設定スル必要ガアルノデハナイカ、殊ニ日本ノ如ク、帝都ノ如ク木造デアリ、紙造ツテアルト云フ家ノ所ハ尙ホ痛切ニ感ズルノデアリマス、即チ耐火建築物、公設防火壁、高架鐵道或ハ河川池沼、公園、廣場、街路等ヲ利用シテ適當ナル區劃ヲ致シマシテ、ソレヲ防火區劃トシテ分割シ、防火「ブロック」ト云フモノヲ設定シテ、他ニ燃エ移ル危險ヲ防グ必要ガアルノデハナイカ、斯フ云フ點ヲ内務省ニ於テハ御考ヘニナツテ居ラレルカドウカ

更ニ又消火用水施設ヲ充實強化シナケレバナラスト云フコトモ一ツノ考ヘ方デアリマス、即チ上水道ノ水竝ニ下水道ノ水ガ、若シモ一箇所ニ於テ多量使用セラレル場合ニ於テハ、其ノ水壓ガ低クナル、デアリマスカラサウ云フ場合ヲ悞レテ、先ヅ自然水ヲ利用スルコトヲ考ヘナケレバナラス、ソレニハ河川、運河或ハ堀、貯水槽、井戸、「プール」ト云フヤウナモノヲ各方面ニ設備スル必要ガアル、勿論東京都ニ於テハ貯水槽、井戸或ハ「プール」等ニ對シテ今日マデ相當ノ力ヲ入レテ來テハ居リマスガ、今内務大臣ノ言ハレタヤウニ、相當量ノ空襲ヲ豫想シナケレバナラス帝都トシテハ、此ノ設備タルヤ洵ニ不十分ナルモノデアルト申サナケレバナラス、斯フ云フ點ニ對スル御考ヘハドウデアアルカ

マダ澤山アルガ、時間ガモウナイノデ最後ニ一點、密集地ノ危險地區ヲ疎開シナケレバナラス、更ニ「アメリカ」ニ於テハ、京濱地方ノ工場地帯ヲ狙ツテ居ルト云フ意味ニ於テ、アノ工場地帯ニ對スル疎開ト云フコトモ考ヘラレテ居ル、若シ生産面ニ影響ヲ及ボスト云フ故ヲ以テ疎開ガ出來ストスルナラバ、東京都ニハ一萬五千ノ工場ガアリマスガ、其ノ工場ノ中ニハ、機械器具工業、化學工業、金屬工業、紡績工業、食料品工業、瓦斯電氣工業、印刷製本工業、製材工業、雜工業等ガアリマスガ、此ノ一萬五千ノ工場ノ中デ、鐵工業若クハ金屬工業ト云フヤウナ企業整備ノ第二種部門ニ屬スルモノハ、比較的其ノ數ガ少イト見テ宜カラウト思フ、其ノ他ノ工場ハ第一種部門竝ニ第三種部門ニ屬スルモノデ、當然企業整備ヲナサルベキ運命ニ置カレテ居ルモノデアラウト思フノデアリマスガ、セメテ斯ウ云フ工場ダケデモ疎開スルト云フコトガ必要デハナイカ、斯ウ云フ點ニ對シテ内務大臣ハドウ御考ヘニナツテ居ルカ、此ノ點ヲ御尋ネシタイト思フノデアリマスガ、唯此ノ疎開ニ付キマシテハ、前ニモ述ベラレタノデアリマスルガ、又私ハ變ツタ見地カラ述ベタイト思ヒマスガ、時間ガアリマセヌカラ述ベマセヌ、要スルニ上田局長ガ防空法審議ノ折ニ述ベラレタ内務省ノ計畫ヲ聽キマス、疎開スベキ建物ハ約二萬戸デアルト云フ御話ニ聽イタノデアリマス、東京都ハ御承知ノ如ク百數十萬戸ヲ持ツテ居ル、此ノ百數十萬戸ノ中デ二萬戸ノ建物ヲ疎開シテ一體ドレダケノ防空上ノ影響ガアリマセウカ、效果ガアリマセウカ、斯クノ如キ小規模ノ方針、對策ヲ以テ是ナリトスルナラバ、私ハ其ノ御考ヘハドウカト思フ、殊ニ人口ノ疎散ニ致シマシテモ、上田局長ノ説明ニ依リマスレバ、約五萬人デアルト云フ、八百萬ノ人口ノ所ヘ五萬人ノ疎散ヲシテ一體ドウナリマセウ、而モ五萬人モ宜シイトシテモ、今日ハドンノ移入シテ居ルデハアリマセヌカ、移入人口ハ一年ニ約十五萬乃至二十萬ト稱セラレテ居ル、一體此ノ入ツテ來ル人口ニ對シテハドウ云



フ方策ヲ以テ今日臨マレテ居ルカ、又將來臨マントスルカ、昨今田舎へ疎開ヲシテ參ル人モアルノデアリマスガ、參ル端カラ其ノ家ガ塞ガツテ居ル、地方カラ來タ人ガ入ツテシマフ、是デハ何ニモ意味ヲ成サヌデハナイデセウカ、斯ウ云フ方面ニ對シテドウ御考ヘニナツテ居ルカ、斯クノ如キ洵ニ小規模ノモノデハ、我々ハ是ハ防空對策トハ考ヘラレナイ、「ドイッ」ニ於テハドウデアリマセウカ、一昨年ノ六月カニ「ベルリン」ニ於テハ百萬ノ人口ヲ直チニ疎散ヲシテ居ル、デアリマスカラアノ十月カ十一月ニ空襲ヲ受ケタ時ニモ多クノ被害ヲ受ケナカツタ、八百萬人ノ人口デ、私ハ偉イ内務大臣デアラレルカラ、セメテ二百萬位ハドウニカスルデアラウト大キナ期待ヲ持チ、希望ヲ持ツテ居ツタ、又今ノ内務大臣ノ御手腕ヲ以テスルナラバ、私ハソナコトハ屁デモナカラウト思フ、其ノ位大キイコトヲヤツテ貰ヒタイ、後藤サンハ昔ハ大風呂敷トカ何トカ惡口ヲ言ハレタノデアリマスガ、今日デハ都市計畫ノ神様デハアリマセウカ、私ハ内務大臣ニ將來神様ニナツテ貰ヒタイ、モウ少シ大キイコトヲヤツテ貰ヒタイ、建物ノ疎開ニシテモ、又人口ノ疎散ニシテモ、成程ハエライコトヲヤルナアト言ウテ驚ク程ノ仕事ヲヤラレ、對策ヲ講ゼラレテこそ、初メテ此ノ帝都ハ如何ナル暴襲アリト雖モ、完全ナリト私ハ言ウテ宜カラウト思フ、又八百萬ノ都民モ安心シテ其ノ職ニ勵ミ、其ノ職場デ働キ得ルデアリマセウ、ソレダケノ大度量ヲ以テヤツテ貰ヒタイ、或ハ今日ハヤリタイガ、其ノ資材ガナイトカ何トカ申サレルカモ知レマセウ、資材ガナイト言ツテモナイコトハアリマセ

ス、唯ソレガ使ヘルカ使ヘナイカノ問題デス、斯ウ云フ重大ナル問題ニ對シテ關係當局ヲ動カス位ノコトハ、内務大臣ノヤウナ偉イ御方デアラナラバ簡單ナコトナンデス、サウシテ此ノ防空施設ニ大イニ力ヲ入レテ戴キタイト云フコトヲ吳々モ御願ヒ致シマシテ、私ノ質問ヲ終リマス

○安藤國務大臣 只今防空ニ關聯スル各般ノ事項ニ付キマシテ御質疑ヲ受ケマシタ、御質疑ヲ受ケテ居ル際ニ、大凡都市ノ防空ニ施設スベキ各般ノ事項、又其ノ著眼スベキ要點等ヲ寧ロ御説明ヲ戴イタ譯デアリマス、之ヲ總括的ニ申シマスレバ、只今御指摘ニナリマシタ各般ノ防空上ノ施設事項竝ニ其ノ實施上ノ著眼ト云フヤウナ點ハ、一應今同豫算ト共ニ其ノ計畫内容ヲ定メマシテ、出來ルダケ速カニ實行ニ著手致シタク存ジテ居ル次第デゴザイマス、防空ノコトハ日本ト致シマシテ非常ニ遅レタコトハ、是ハモウ事實デゴザイマス、隨ヒマシテ、今後ノ實行ニ當リマシテハ、私共ハ稍、理想的ナ根本計畫モ持ツテ居リマス、併シテガ其ノ計畫ヲ直チニ或ル所望ノ期間ニ完了シテ行クト云フコトニ付テハ、事實上不可能ナル問題ガアリマスノデ、根本的ナ一ツノ大計畫ハ基礎計畫トシテ持チナガラ、時的ニハ段階ヲ設ケマシテ、逐次其ノ計畫ニ基イテ、而モ成ベク急速ニ之ヲ實行致シタク計畫ヲ進メテ居ル次第デゴザイマス

次ニ防空教育、防空思想ノ普及等ニ付キマシテ、防空學校ノ如キモノノ充實擴充ト云フ點ニ付テ御意見ヲ承リ、御質疑ヲ受ケマシタ、是モ多々益々辨ズデアリマシテ、現在ハ貧弱ナガラモ各府縣等ニ持ツテ居リマス、學校モ十分ニ活用シテ居ル次第デアリマス、

尙ホ今回從來ノ防空訓練ト云フモノノ内容ガ、實際ノ空爆下ニ於テ起リ得ベキ各般ノ事象ニ即應セザルモノモ相當多イト認メマシテ、隣組ノ訓練ハ勿論ノコト、其ノ他府縣、更ニ進シテハ四大地區ノ綜合訓練ト云フヤウナコトニ互リマシテモ、一應新タナル訓練ノ方針ヲ定メ、要領ヲ指示致シマシテ、既ニ各府縣ニ通達シタ次第デアリマス、是モ甚ダ時期ガ後レテ居ルト云フ責ヲ免レナイノデアリマスガ、併シ從來ノ訓練モ、大イニ將來ノ改善致シマシタ訓練ノ基礎トナツテ、決シテ無用デハナカツタ、唯今日ノ時局ニ於キマシテハ、過去ノ如キ訓練方式デハ實際即應ノ訓練ニナラナイト感ジマシタノデ、改善ヲ加ヘタ次第デゴザイマス、尙ホ此ノ防空思想ノ普及、訓練ノ徹底、殊ニ其ノ根本ヲ成スモノハ、何處マデモ日本ノ國民ガドウ云フ場所ニ、又ドウ云フ職業ニアリマセウトモ、兎モ角國ヲ擧ゲテ戰ツテ居ルノデアリマスカラ、目ニ見エザル敵――敵機ハ瞬間ニシテ我々ノ頭ノ上ヲ飛去ルデアリセウケレドモ、苟クモ敵ノ殘シタ、地上ニ與ヘマシタ其ノ危害ニ對シテ、之ヲ敵ト考ヘテソレニ向ツテ邁進シ敢闘スル、火災ニ對シテモ、家屋ノ倒壊ニ對シテモ、傷ツイテ居ル者ニ對シテモ、所謂敵ニ對シテ公憤ヲ抱イテ戰フノダ、斯ウ云フ氣分ダケハ根本的ニ養フ必要ガアルノデアラウト考ヘテ居ル次第デアリマス

次ニ耐火構築ニ付テ應急對策アリヤト云フ御質問デゴザイマシタガ、現行ノ防空建築規則ニ定メテ居リマス方法、即チ耐火木材ト「セメント」ニ依ル建築又ハ代用資材ヲ以テ右ニ準ズル建築ヲスルト云フヨリ外ニハドウモ今適切ナル方法ヲ考ヘ得マセウ、仍

テ政府ト致シマシテハ、現下色々資材難ノ折柄デモアリマスノデ、鋭意各種ノ代用資材ヲ活用致シマシテ、建物ノ防火改修ヲ實施スルカ、其ノ他ノ資材ノ研究活用ト云フコトニ著意シ、實行致シテ居ル次第デゴザイマス

防火地區ノ設定其ノ他軍事施設、重要工場、主要地區ニ對スル耐火、耐爆、防毒施設ノ必要等、種々御披瀝ヲ戴イタノデアリマスガ、御説ノ通り全ク御指摘ノ如キ各般ノ施設ヲスルコトノ必要ハ痛感致シテ居リマス、是等ノ點ニ付キマシテ今其ノ手段方法等ヲ詳細ニ申上ゲルコトハ餘リ時間ヲ費スカト存ジマスノデ、此處デハ詳細ハ略サセテ戴キマシテ、現在出來マスダケノ資材ヲ十分ニ活用シ、又從前ニ比シ資材甚ダ窮屈ノ際デアリマスケレドモ、防空法ノ改訂ニ伴ヒマシテ各關係廳、殊ニ軍需省、陸海軍方面カラモ非常ニ御協力ヲ得マシテ、現下ノ實情ト致シマシテハ比較的多クノ資材ヲ充當シテ戴ク所ノ餘地ヲ得マシタノデ、今後ハ是等ヲ十分ニ活用シテ行タコトニ付テ十全ノ努力ヲ拂ツテ行タ考ヘデゴザイマス、其ノ他防火用水ノ施設擴充、是モ大型貯水槽ノ増設トカ或ハ自然水利ノ利用施設ノ整備、其ノ他防火水道ノ増設、水道配水池ノ新設、是等ノコトモ出來ルダケノ力ヲ十分ニ使ヒマシテ、機能ヲ十分ニ發揮致スベク努力中デゴザイマス、人家ノ稠密地區或ハ京濱工場地帯ノ疎開ト云フヤウナコトニ付テハ、今日モ一部其ノ地區等ヲ内務省告示ヲ以テ指定致シマシタガ、逐次重要都市等ノ疎開地區ヲ指定致シマシテ、直チニ實行ニ移ル考ヘデゴザイマス

〔紅露委員長代理退席、委員長著席〕  
尙ホ人口疎開ニ付キマシテハ現在ノ豫算



立ニ付テ御伺ヒシタイノデアリマス、皇國  
農村確立ノ狙ヒハ正シイと思ヒマス、併シ  
ナガラ其ノ理念ヲ實踐ニ移スニ當リマシテ、  
一定ノ資格ヲ具備致シマシタル特定ノ農村  
ヲ指定シテヤツテ行クト云フヤリ方ハ、私  
ハ戰時下ニ於ケル農村施策トシテハ、其ノ  
方法ニ於テ妥當性ヲ缺クト思フノデアリマ  
ス、一部ノ人カラ之ヲ以チマシテ經濟更生  
運動ノ時局便乗ノ型デアルト云フヤウナ批

ヤウニ前年度計畫サレマシテ、十八年度ノ豫算ニ現ハレテ參ツタ施設デアリマスガ、御話ノ現在ノ農村ニ對シテ食糧ノ増産ト云フ一途ニ農村ノ總力ヲ擧揚シテ行クト云フコトハ、無論一番大事ナコトデアリマス、唯茲ニ考ヘナケレバナリマセスコトハ、ヤハリ現在ノ焦眉ノ急ニ迫ツテ居ル點ニ農村ヲ引張ツテ行クト同時ニ、之ト竝行シテ農村自體ノ組織ト申シマセウカ、形ト申シマセウカ、サウ云フ面ニ於テ恆久的ナ考ヘヲ以テ、絶エズ施設ノ改善ヲ併セ考ヘテ行クトガ私ハ非常ニ必要ダト思フノデアリマス、サウ云フ觀點カラ致シマス、所謂食糧増産ノ一途ニ全國農村ヲ引張ツテ行クト云フコトト同時ニ、一面ニハヤハリ恆久的ノ農村施策ガ竝行シテ進ム方ガ宜イノデハナイカ、其ノ面ガ即チ皇國農村運動デアル譯デアリマス、併シナガラ同時ニ皇國農村ト云フコトノ考ヘ方ノ中ニハ、食糧増産ソレ自體モ實ハ織込ンデ行カルベキモノデ之ヲ離レテ皇國農村ト云フモノガアリヤウ答ハナイノデアリマスカラ、兩者ヲ併セ考ヘテ施設ヲヤツテ行ツテ宜シイノデハナイカ、唯御話ノ所謂指定農村デアリマスガ、是ハ實ハ昭和十年デアリマシタカ、私初メテ農林大臣ヲ拜命致シマシタ時ニ、アノ計畫ハ致シタノデアリマス、當時御承知ノ非常ナ農村恐慌ノ時代デ、之ヲ打開スルノニア、云フ施設ガ必要デアルト云フ考ヘ方デ、當時ノ大藏大臣ノ高橋翁ニモ非常ニ贊成ヲシテ戴イテ、アノ施設ヲヤツタノデアリマス、今度ノ所謂指定農村ト云フモノハアノ時ト無論狙ヒハ違ツテ居ル譯デアリマス、併シ根本ニ於テ違ヒノアラウ答ハナイノデ、多少目ノ著ケ所ハ同一デハナイト云フ程度デアリマス、何ト云ヒマシテモ農村ハ指導

第一類第一號 豫算委員會議錄 第六回

昭和十九年一月二十六日



常ニ憂フベキ結果ヲ來スノデ、今回ノ施設ハ今日自作農創設ヲ促進スル手段トシテハ穩健デアリ、堅實デアリ、又非常ニ有效ナル施設デアルト斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレ以上ハ或ハ意見ノ相違デアルカモ知レマセヌ

○加藤(宗)委員 私ハ佐々井君ノヤウニ土地國有ト云フ理念ノ上ニ立ツテ、之ヲ目標トシテ申シテ居ルモノデハナイノデアリマス、我が國ノ農村ノ構想ト申シマスモノハヤハリ自作、地主、小作人等々ガアツテ宜シカラウト思ヒマス、其ノ有機的聯關ヲ緊密ニシテ、其處ニ正シイ農村ノ構想ヲ私共ハ頭ニ描クノデアリマスガ、併シナガラサウ云フ點カラ考ヘテモ、今日ノヤウナ比率デ以テ小作人ガアルノデハ、小作人ガ多過ギルト私ハ思フノデアリマス、是ハドウシテモ其ノ大部分ヲ自作ニ轉換セシメナケレバナライ、併シナガラ小作人ノ形デ置ク、地主ノ形ヲ殘スト云フコトハ、結局其處ニ努力ニ依ツテヨリ良イ地位ヲ獲得スル餘裕ヲ農村ニ殘スト云フコトハ、勤勞精神ヲ昂揚セシメルニ於テ極メテ妥當デアリマスルカラ、全部ノ農村人ニ何等ノ努力ナクシテ一ツノ法律的措置ニ依ツテ土地ヲ與ヘルト云フヤウナコトヲスル必要ハナイト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、併シナガラ現狀ノヤウナヤリ方デハ、自作農創設ヲ急激ニ行ヒマシテ、ソレカラ出ル所ノ増産ヘノ期待ヲ實現スルコトハ極メテ困難ダト私ハ思フノデアリマス、唯是レ以上ハ意見ノ相違デアルト云フコトハ早クモ大臣カラ御話ガアリマシタノデ、之ヲ更ニ突込シテ深メテ行クコトハ避ケナケレバナライノデアリマスガ、一言申上ゲタイコトハ、地

主ノ協力ヲ求メルニ、飽クマデモ價格ノ面ニ於テ協力ヲ求メルト云フコトダケデハ、私ハ問題ハ割切レナイト思ヒマス、一應今日農商大臣ノヤリ方ニ依ツテ解決サレタト致シマシテモ、是ハ又新シイ別ノ段階ニ於テ、再ビ價格ノ問題ガ一ツノ隘路ヲ形成スルニ至ルノデアリマシテ、斯ウシタコトデハ、私ハ何時マデモ此ノ問題ハ解決シナイト思ヒマス、國家ノ權力、法律的強制力ヲ用ヒルト云フコトハドウカ知レマセヌガ、行政的ナ力ヲ背景ニシタ一ツノ運動ニ依ツテ一應之ヲ試ミル必要ガアルノデハナイカ、既ニ此ノコトニ付テ私ガ考ヘマシタコトハ、名前ハ忘レマシタガ、靜岡縣ノ鈴木ト云フ村長サンハ、某市ニ於テ開催シマシタル村長座談會ニ於テ、斯ウ云フコトヲ言ツテ居ルノデアリマス、自分ハ村長トシテ、村ノ政治、經濟、文化ノ指導者トシテ立ツノデアルカラ、一般ノ農村人ト同様ノ反別デハヤツテハ行ケナイ、ソコデ自分ハ三町步ダケ自分ノ田トシテ確保スル三町步ニ依ツテ自分ハ農村ノ指導者トシテノ役割ヲ果スコトガ出來ルノデアアル、ソレ以外ハ全部小作人ニ解放スル、茲デ言フ小作人ト云フノハ、唯小作シテ居ル農村人ト云フノデハナクテ、自作農タラントスル熱意ヲ持ツテ居ルト同時ニ、又信義ノ念ニ富ンデ居リ、又正シキ自作農ヲ繼續シテ行ケルト云フ一ツノ能力ノアル者ト云フ譯デアリマスガ、サウ云フ小作人ニ對シマシテハ全部解放スルト云フコトヲ言ツテ居リマス、ソレニ依ツテ農村ヲ率キテ行カウト云フ、私ハ是ハ本當ニ戰時下ノ皇國日本ニ於ケル新シイ翼賛地主ノ在リ方デハナイカト私カニ思フノデアリマス、全然ナイモノニ對シマシテ之ヲ勸奨スルコトハ強要ニ

ナルノデアリマスガ、既ニ此ノ如クニ一ツノ皇國日本ノ治下ニ於ケル新シイ地主ノ型ガ出テ居ル限リハ、此ノ事ヲ他ノ地主ニモ見倣ヘト云フ運動ヲスルコトハ、是ハ強制デハナクテ、ヤハリ一ツノ推進運動ダト私ハ考ヘテ居リマス、茲ニ日本ノ行キ方ト致シマシテハ、價格ノ政策ニ依ツテ運營スルト云フコトヨリモ、私ハソコニヤハリ日本ハ日本のナ一ツノ面ヲ以チマシテ、精神的ナ面カラ之ヲ指導シテ行クコトガドウシテモ必要デアアル、既ニ地主ノ相當ノ部分ノ人カラ私共ハ色々意見ヲ聽イタノデアリマスガ、サウ云フ人々ハ國家ガ何等カノ手ヲ打テバ、欣然トシテソレニ協力シヨウト云フ氣持ヲ全部持ツテ居ルノデアリマス、併シナガラ自分カラ率先シテヤルト云フコトニナルト、自分ダケハ差支ハナイノデアアルガ、他ノ地主ニ迷惑ヲ掛ケルカラ、自分カラ進ンデヤル譯ニハイカナ、政府カラ一ツ手ヲ打ツテ戴ケバ、僕等ハ欣然トシテヤルンダト云フヤウナコトハ、新シイ、殊ニ若イ地主諸君ノヨク言フコトデアアルノデアリマス、既ニ現下ノ情勢カラ自然發生的ニサウ云フ美ハシイ日本精神ガ地主ノ方面ニモ出テ居ルノデアリマスカラ、此ノ情勢ノ上ニ立ツテ自作農創設ニ對スル地主ノ協力ト云フモノヲ進メテ行クノガ妥當デハナイカト考ヘルノデアリマス、併シ是ハ意見ノ相違ニナルト云フコトデアリマスカラ、答辯ハ御願ヒヲ致シマセヌ

モ、自作兼小作及ビ小作人ヲ合セマスレバ非常ナ數ニ上ルノデアリマシテ、此ノ低位農家ノ生産力ヲ高メルト云フコトハ、戰時下ノ増産政策ノ一環トシテドウシテモヤラナケレバナライ問題デアリマス、其ノ爲ニハ小作統制令ニ基キマシテ、適性小作ヲ小作人全般ニ行キ渡ルヤウニ速カニヤル必要ガアル、是ハ此ノ戰爭以前カラノ問題デアリマスガ、適性小作料ヲ決定スルニ當リマシテモ、私モ地方デ其ノ指導員ヲ致シテ居リマスガ、町村カラ申請ヲ取りマシテ、地方長官カラ其ノ村ヲ指定シテヤツテ行ク、ヤハリ皇國農村ト同ジク特定ノ村ヲヤツテ行クト云フヤリ方デアリマスサウシテヤツテ行クトニ依ツテ、附近ノ農村モ感化サセテ適性小作ヲ實現セシメテ行クト云フヤリ方デアリマス、是ハ私ハヤハリ戰時下ノヤリ方デハナイト思ヒマス、私ハ適正小作料モ適正ノ基準ト云フモノガ確定サレマシタナラバ、之ヲ全日本ノ小作人ニ均霑セシムル必要ガアラウト思ヒマス、適正ノ基準ガ出來テ居ナカツタナラバ是ハ別デアリマスガ、適正ノ基準ト云フモノガ既ニ出來テ居リマスルナラバ、同ジ日本ニ生レデ、一方ハ適正ノ小作料デ低額ニナツタ、一方ハ適正小作ニハナラナイカラ其ノ儘ニナツテ居ルト云フヤウナ形デハイケナイデハナイカト思ヒマス、私共ノ經驗カラ言ヘバ、隣村ノ田ハ適正小作ニナラナイト云フト、道義カラ云ヘバ、私ハ隣村ノ適正小作ガ決マラナイ所ノ地主ニ於テモ、決ツタ村ト同様ノ處置ヲ執ツテ然ルベキモノダ、是ガ日本ノ地主ダト思ツテ居リマスガ、我々ノ見ル所デハ、實際ニ自分ノ村ガ適正小作ニナ

ラナケレバ、隣村が適正小作ニナツテモ、決シテ小作料ノ低下ハ致シテ居ナイノデアリマシテ、是ハ甚ダ遺憾デアリマス、サウ云フヤウナ關係カラ致シマシテ、私ハドウシテモ是ハ此ノ際決戦下ニ於キマシテ増産ノ上ニ一ツノ役割ヲ小作人ヲシテ更ニ進シテ果サセヨウトスルナラバ——今日モ果シテ居リマスケレドモ、更ニ進シテ果サセヨウト致シマスナラバ、私ハ全國ヲ一遍ニ適正小作ニスル必要ガアルデハナイカ、其ノ爲ニハ小作統制令ノ第六條ニ於キマシテ、地方長官ハ其ノ必要ガアリマスルナラバ、小作料、條件等々ヲ命ズルコトガ出來ルト云フ既ニ法規ガアルノデアリマス、此ノ小作統制令ノ第六條ヲ適用致シマシテ、各縣共ニ一定ノ——一定ト申シマスコトハ、是ハ皆一緒クタクト云フ意味デハナイノデアリマス、地方地方ニ於ケル合理的ナ基準ト云フモノガ既ニ出テ居ル筈デアリマスカラ、之ヲ唯速カニヤル、決シテ別ノコトヲヤルノデハナイ、異種ノモノヲヤルノデハナクテ、決ツタモノヲ時間的ニ速カニヤルト云フコトダケガ殘ツテ居ルノデアリマスカラ、私ハ戰時下速カニ此ノ小作統制令ノ第六條ノ發動ニ依リマシテ、各地方長官ガ之ヲ決定スルト云フコトガ、戰時下ニ於ケル増産政策ノ一環トシテ十分役割ヲ果スノデハナイカト思フノデアリマス、此ノ點ニ對スル御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス

程注意ヲシテヤリマセスト、却テ之ニ因ツテ村内ニ種々ノ混雜ヲ惹起シ、村内ノ民心安定ヲ阻害スルヤウナ事例モ少クナイノデアリマスカラ、御説ノヤウニ行政權ヲ以テ急激的ニ全國的ニ之ヲ施行スルト云フヤウナコトハ、是ハ私ハ遺憾ナガラ御賛成ヲ申シ兼ルノデアリマス

○加藤(宗)委員 適正小作ノ最初ノ指導ニ於キマシテハ實ニ複雑デアリ、混亂デサヘモアリマシタ、隨テ非常ニ困難デアツタノデアリマス、併シナガラ一度ビ或ル村、或ル町ニ於テ決定サレルト云フコトニナリマスルト、ソレ以後ニ於ケル此ノ適正小作ノ問題ハ必ズシモ困難デハナイノデアリマス、隨ヒマシテ私共ノ言葉ガ全國の一遍ニヤルト云フヤウナコトニナルト、何トナク大キナ急激ナ變化ト云フヤウナ感ジヲナサルカモ知レマセスガ、是ハ言葉カラ來ル一ツノ陰影デアリマシテ、實質的ニハ既ニ各縣共ニ皆ヤツテ居ルノデアリマスガ、唯全部ニ互ラナイト云フ所ニ缺點ガアルノデアリマス、而モ皇國農村ノ行キ方ノヤウニ、條件豐カニ惠マレタ村バカリヲ採ツテヤルノデハナクテ、適正小作ヲヤル時ニハ却テ條件ノ惡イ、隨テ指導ノ困難ナ町村ヲ最初カラ採上ゲテヤツテ居ルノデアリマスルカラ、隨テ殘ツタ町村ニ於キマシテ、之ニ倣ヘト云フ一ツノ行政的措置ヲ執ツタト致シマシテモ、私共ハ決シテ混亂ガ生ズルモノトハ考ヘラレナイシ、又サウシタ所カラ混亂ガ生ズルト云フヤウナ考ヘ方デハ、革新的ナモノハ何モ得ラレナイノデハナイカ、況ヤ今日ノ此ノ戰時下ニ於ケル適正小作ノ基準ナルモノハ、決シテ革新的ナ内容モ何モナイノデアリマス、私共ハ寧ろ今日ノ如ク米

價ガ高クナツタ時ニハ現物時代ノ性格ヲ持つテ居ル此ノ今日ノ小作料ナルモノハ、更ニモツト基準ヲ下ゲナケレバ適正トハ言ハレナイト云フヤウナ私見モ持つテ居ルノデアリマスカラ、其處マデニ至ラナイ現實ノ今持つテ居ル基準デヤルノハ決シテ不安モ動搖モ與ヘナイ、ソシテ革新ト云フヤウナ名ニ値シナイ通常ノ事務的ナモノデアルト云フヤウナ感覺サヘ私共ハ持つテ居ルノデアリマスルカラ、是ハドウシテモヤル必要ガアル、全國一齊ニデハナクとも、少クとも今日ヨリモ其ノ指定ノ數ニ於キマシテモ、モツトノ規模ヲ大ニシテ、速カニ私ハ此ノ適正小作ト云フモノガ戰爭ニ寄與スル時期ノ早カラシコトヲ切ニ希望致シテ已マナイ次第デアリマス

次ニ御尋ネ致シタイト思ヒマスコトハ、是ハ農商相ト内相ト兩方ニ關係ヲ持つノデハナイカト思フノデアリマスガ、ソレハ供出ノ指導ト生産ノ指導トガシツクリシテ居ナイノデハナイカト思フノデアリマス、少クとも今日以後ニ於キマシテハ、供出ノ責任者ト生産指導ノ責任者ト云フモノハ出來ルナラバ一體化サレナケレバナラス、一體化シ得ナイナラバ、少クとも今日ヨリモ緊密ナ關係ニ立タナケレバ圓滿ナル供出ト更ニ此ノ食糧増産ト云フ二ツノ面ヲ立派ニ果スコトハ出來ナイノデハナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、即チ現在供出ノ指導者ニナル者ハ地方ニ於キマシテハ知事デアリマス、其ノ下ニ町村長ガ立チ、其ノ下ニ部落ノ農事實行組合長ガ立ツト云フナ機構ニナツテ居ルノデアリマス、所謂官廳的ナ形ヲ採ツテ居ルノデアリマス、所ガ生産指導ノ方面ニナリマス、固ヨリ官廳ニハ官廳自身食糧増産本部ト云

フヤウナモノガ各級ノ官廳ニアルヤウデアリマスガ、併シナガラ現實ニ農民ヲ技術的ニ其ノ生産面ヲ指導スルモノハ從來ノ農會、現在ノ農業會デアリマス、茲ニ私共ハ一ツノ問題ガアルト思フノデアリマス、生産指導ト供出ノ指導トガ一體化サレマスナラバ、供出ヲスル所ノ農村人ノ氣持モソコニモツト變ルノデハナイカト私ハ考ヘルノデアリマス、今日供出ノ指導者ガ官廳デアツテ、生産ノ指導者ガ農業團體デアルト云フヤウナ關係カラ、現實的ニ出テ來ル困難ハ斯ウ云フコトデアリマス、是モ私ハ地方デ町長ヲヤツテ居リマスルカラ自ラノ體驗ヲ通ジテ申上ゲルノデアリマス、隨ヒマシテ是ハ果シテ全國的ナ性格ヲ持つモノデアルカドウカト云フコトニ付キマシテハ、私ハ自ラ斷定ハ致シマセス、ソレハ特殊ナ體驗ダト言ハレ、バソレマデデアリマスガ、是ハ私ノ町長トシテ見タダケニ止マルモノデハナク、何トナクソコニ一般性モ含ンデ居ルノダト云フ考ヘカラ此ノ質問ヲスルノデアリマスガ、町村ニナリマス町村長ノ下ニ技術ノ指導者、農會ノ指導者、農業ノ指導者ト云フモノガ立チマス、從來ノ經驗ニ依リマスレバ、大抵ハ農會長ヲ兼任シテ居ル町村長ハ産業組合長ヲ兼任シテ居ル人ヨリモ多イノデアリマスガ、其ノ町村長ノ下ニ立ツ技術者ト云フモノハ、是ハ町村長ノ性格ノ下ニ十分供出ノ面ニハ積極的ニ協力ヲシマス、否協力デハナク、其ノ供出ノ責任者トシテ非常ニ努力ヲスルノデアリマス、所ガ是ガ郡トナリ、縣トナリ、農業會ニナツテカラハ私ハ之ヲ見テ居リマセスガ、農會當時ニ於キマシテハ、郡ノ農會、縣ノ農會ト云フ關係ニナリマスルト、是ハ町村ト

○山崎國務大臣 小作關係ノ問題ハ極メテ困難デアリ、且又完全ニ參ラスコトハ加藤君能ク御承知ノ通りデアリマス、加藤君ハ國ノ方針ヲ以テ全國的ニ急速ニ小作料ノ改訂ヲ實現スルヤウニシタラ宜カラウト云フ御主張デアリマス、所ガ是ハ其ノ運用ハ餘

程注意ヲシテヤリマセスト、却テ之ニ因ツテ村内ニ種々ノ混雜ヲ惹起シ、村内ノ民心安定ヲ阻害スルヤウナ事例モ少クナイノデアリマスカラ、御説ノヤウニ行政權ヲ以テ急激的ニ全國的ニ之ヲ施行スルト云フヤウナコトハ、是ハ私ハ遺憾ナガラ御賛成ヲ申シ兼ルノデアリマス

○加藤(宗)委員 適正小作ノ最初ノ指導ニ於キマシテハ實ニ複雑デアリ、混亂デサヘモアリマシタ、隨テ非常ニ困難デアツタノデアリマス、併シナガラ一度ビ或ル村、或ル町ニ於テ決定サレルト云フコトニナリマスルト、ソレ以後ニ於ケル此ノ適正小作ノ問題ハ必ズシモ困難デハナイノデアリマス、隨ヒマシテ私共ノ言葉ガ全國の一遍ニヤルト云フヤウナコトニナルト、何トナク大キナ急激ナ變化ト云フヤウナ感ジヲナサルカモ知レマセスガ、是ハ言葉カラ來ル一ツノ陰影デアリマシテ、實質的ニハ既ニ各縣共ニ皆ヤツテ居ルノデアリマスガ、唯全部ニ互ラナイト云フ所ニ缺點ガアルノデアリマス、而モ皇國農村ノ行キ方ノヤウニ、條件豐カニ惠マレタ村バカリヲ採ツテヤルノデハナクテ、適正小作ヲヤル時ニハ却テ條件ノ惡イ、隨テ指導ノ困難ナ町村ヲ最初カラ採上ゲテヤツテ居ルノデアリマスルカラ、隨テ殘ツタ町村ニ於キマシテ、之ニ倣ヘト云フ一ツノ行政的措置ヲ執ツタト致シマシテモ、私共ハ決シテ混亂ガ生ズルモノトハ考ヘラレナイシ、又サウシタ所カラ混亂ガ生ズルト云フヤウナ考ヘ方デハ、革新的ナモノハ何モ得ラレナイノデハナイカ、況ヤ今日ノ此ノ戰時下ニ於ケル適正小作ノ基準ナルモノハ、決シテ革新的ナ内容モ何モナイノデアリマス、私共ハ寧ろ今日ノ如ク米

價ガ高クナツタ時ニハ現物時代ノ性格ヲ持つテ居ル此ノ今日ノ小作料ナルモノハ、更ニモツト基準ヲ下ゲナケレバ適正トハ言ハレナイト云フヤウナ私見モ持つテ居ルノデアリマスカラ、其處マデニ至ラナイ現實ノ今持つテ居ル基準デヤルノハ決シテ不安モ動搖モ與ヘナイ、ソシテ革新ト云フヤウナ名ニ値シナイ通常ノ事務的ナモノデアルト云フヤウナ感覺サヘ私共ハ持つテ居ルノデアリマスルカラ、是ハドウシテモヤル必要ガアル、全國一齊ニデハナクとも、少クとも今日ヨリモ其ノ指定ノ數ニ於キマシテモ、モツトノ規模ヲ大ニシテ、速カニ私ハ此ノ適正小作ト云フモノガ戰爭ニ寄與スル時期ノ早カラシコトヲ切ニ希望致シテ已マナイ次第デアリマス

次ニ御尋ネ致シタイト思ヒマスコトハ、是ハ農商相ト内相ト兩方ニ關係ヲ持つノデハナイカト思フノデアリマスガ、ソレハ供出ノ指導ト生産ノ指導トガシツクリシテ居ナイノデハナイカト思フノデアリマス、少クとも今日以後ニ於キマシテハ、供出ノ責任者ト生産指導ノ責任者ト云フモノハ出來ルナラバ一體化サレナケレバナラス、一體化シ得ナイナラバ、少クとも今日ヨリモ緊密ナ關係ニ立タナケレバ圓滿ナル供出ト更ニ此ノ食糧増産ト云フ二ツノ面ヲ立派ニ果スコトハ出來ナイノデハナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、即チ現在供出ノ指導者ニナル者ハ地方ニ於キマシテハ知事デアリマス、其ノ下ニ町村長ガ立チ、其ノ下ニ部落ノ農事實行組合長ガ立ツト云フナ機構ニナツテ居ルノデアリマス、所謂官廳的ナ形ヲ採ツテ居ルノデアリマス、所ガ生産指導ノ方面ニナリマス、固ヨリ官廳ニハ官廳自身食糧増産本部ト云

フヤウナモノガ各級ノ官廳ニアルヤウデアリマスガ、併シナガラ現實ニ農民ヲ技術的ニ其ノ生産面ヲ指導スルモノハ從來ノ農會、現在ノ農業會デアリマス、茲ニ私共ハ一ツノ問題ガアルト思フノデアリマス、生産指導ト供出ノ指導トガ一體化サレマスナラバ、供出ヲスル所ノ農村人ノ氣持モソコニモツト變ルノデハナイカト私ハ考ヘルノデアリマス、今日供出ノ指導者ガ官廳デアツテ、生産ノ指導者ガ農業團體デアルト云フヤウナ關係カラ、現實的ニ出テ來ル困難ハ斯ウ云フコトデアリマス、是モ私ハ地方デ町長ヲヤツテ居リマスルカラ自ラノ體驗ヲ通ジテ申上ゲルノデアリマス、隨ヒマシテ是ハ果シテ全國的ナ性格ヲ持つモノデアルカドウカト云フコトニ付キマシテハ、私ハ自ラ斷定ハ致シマセス、ソレハ特殊ナ體驗ダト言ハレ、バソレマデデアリマスガ、是ハ私ノ町長トシテ見タダケニ止マルモノデハナク、何トナクソコニ一般性モ含ンデ居ルノダト云フ考ヘカラ此ノ質問ヲスルノデアリマスガ、町村ニナリマス町村長ノ下ニ技術ノ指導者、農會ノ指導者、農業ノ指導者ト云フモノガ立チマス、從來ノ經驗ニ依リマスレバ、大抵ハ農會長ヲ兼任シテ居ル町村長ハ産業組合長ヲ兼任シテ居ル人ヨリモ多イノデアリマスガ、其ノ町村長ノ下ニ立ツ技術者ト云フモノハ、是ハ町村長ノ性格ノ下ニ十分供出ノ面ニハ積極的ニ協力ヲシマス、否協力デハナク、其ノ供出ノ責任者トシテ非常ニ努力ヲスルノデアリマス、所ガ是ガ郡トナリ、縣トナリ、農業會ニナツテカラハ私ハ之ヲ見テ居リマセスガ、農會當時ニ於キマシテハ、郡ノ農會、縣ノ農會ト云フ關係ニナリマスルト、是ハ町村ト

○山崎國務大臣 小作關係ノ問題ハ極メテ困難デアリ、且又完全ニ參ラスコトハ加藤君能ク御承知ノ通りデアリマス、加藤君ハ國ノ方針ヲ以テ全國的ニ急速ニ小作料ノ改訂ヲ實現スルヤウニシタラ宜カラウト云フ御主張デアリマス、所ガ是ハ其ノ運用ハ餘

程注意ヲシテヤリマセスト、却テ之ニ因ツテ村内ニ種々ノ混雜ヲ惹起シ、村内ノ民心安定ヲ阻害スルヤウナ事例モ少クナイノデアリマスカラ、御説ノヤウニ行政權ヲ以テ急激的ニ全國的ニ之ヲ施行スルト云フヤウナコトハ、是ハ私ハ遺憾ナガラ御賛成ヲ申シ兼ルノデアリマス

○加藤(宗)委員 適正小作ノ最初ノ指導ニ於キマシテハ實ニ複雑デアリ、混亂デサヘモアリマシタ、隨テ非常ニ困難デアツタノデアリマス、併シナガラ一度ビ或ル村、或ル町ニ於テ決定サレルト云フコトニナリマスルト、ソレ以後ニ於ケル此ノ適正小作ノ問題ハ必ズシモ困難デハナイノデアリマス、隨ヒマシテ私共ノ言葉ガ全國の一遍ニヤルト云フヤウナコトニナルト、何トナク大キナ急激ナ變化ト云フヤウナ感ジヲナサルカモ知レマセスガ、是ハ言葉カラ來ル一ツノ陰影デアリマシテ、實質的ニハ既ニ各縣共ニ皆ヤツテ居ルノデアリマスガ、唯全部ニ互ラナイト云フ所ニ缺點ガアルノデアリマス、而モ皇國農村ノ行キ方ノヤウニ、條件豐カニ惠マレタ村バカリヲ採ツテヤルノデハナクテ、適正小作ヲヤル時ニハ却テ條件ノ惡イ、隨テ指導ノ困難ナ町村ヲ最初カラ採上ゲテヤツテ居ルノデアリマスルカラ、隨テ殘ツタ町村ニ於キマシテ、之ニ倣ヘト云フ一ツノ行政的措置ヲ執ツタト致シマシテモ、私共ハ決シテ混亂ガ生ズルモノトハ考ヘラレナイシ、又サウシタ所カラ混亂ガ生ズルト云フヤウナ考ヘ方デハ、革新的ナモノハ何モ得ラレナイノデハナイカ、況ヤ今日ノ此ノ戰時下ニ於ケル適正小作ノ基準ナルモノハ、決シテ革新的ナ内容モ何モナイノデアリマス、私共ハ寧ろ今日ノ如ク米

價ガ高クナツタ時ニハ現物時代ノ性格ヲ持つテ居ル此ノ今日ノ小作料ナルモノハ、更ニモツト基準ヲ下ゲナケレバ適正トハ言ハレナイト云フヤウナ私見モ持つテ居ルノデアリマスカラ、其處マデニ至ラナイ現實ノ今持つテ居ル基準デヤルノハ決シテ不安モ動搖モ與ヘナイ、ソシテ革新ト云フヤウナ名ニ値シナイ通常ノ事務的ナモノデアルト云フヤウナ感覺サヘ私共ハ持つテ居ルノデアリマスルカラ、是ハドウシテモヤル必要ガアル、全國一齊ニデハナクとも、少クとも今日ヨリモ其ノ指定ノ數ニ於キマシテモ、モツトノ規模ヲ大ニシテ、速カニ私ハ此ノ適正小作ト云フモノガ戰爭ニ寄與スル時期ノ早カラシコトヲ切ニ希望致シテ已マナイ次第デアリマス

農會ノ技術者ノ關係ノヤウニ、知事トノ間  
ガ緊密デアリマセヌカラ、ドウモ其ノ點ハ  
町村長ト技術者ガ一體ニナツテ供出ニ努力  
スルト云フヤウナ姿ハ少イノデアリマス、  
時ニハ、米ノ供出ナリ、麥ノ供出ナリニ對  
シマシテ、郡ノ技術者ノ一部ニ於キマシテ  
ハ批判的ナ態度ヲ執リ、傍觀的ナ態度ヲ執  
ル、縣ノ關係ニ於キマシテモ、縣廳ガ責任  
者デアリノダ、自分ノ方ハ生産ノ指導ダ、  
生産面カラ見レバ、アノ供出ハ無理デアル、  
イヤ無理デナイト云フヤウナ批判的ナ態度  
ニ出ルコトガ極メテ多イノデアリマス、私  
共ハ之ヲ實際ニ見テ居ルノデアリマス、斯  
ウ云フ供出ノ指導者ト生産ノ指導者トノ間  
ニ「ギャップ」ガ生ズルト云フコトハ、此ノ生

供出ト生産トガ二ツニ分レテ居ルノヲ一緒  
ニシテ行ク所ノ一ツノ構想ヲシナケレバ此  
ノ供出モ皆ク行カナイノデハナイカ、少ク  
トモ「スムーズ」ニ行クヤウニスルニハ、其  
ノ供出ガ強化サレテモソレガ來年ノ再生産  
力ヲ邪魔スルト云フヤウナ供出ニナラナイ  
ヤウニスルニハ供出ガ微發ノヤウナ感じニ  
ナラナイヤウニスルニハ、ヤハリ生産ノ指  
導ト供出ノ指導者トガ一體ニナツテ行カナ  
ケレバ出來ナイノデハナイカト云フコトヲ  
シミ、私ハ感ズルノデアリマスガ、此ノ  
點ニ付キマシテ關係當局者ノ方デハ如何ナ  
ル御答ヘガアルカ御尋ネ致シタイノデアリ  
マス

町村ニ於キマシテハ町村ノ一體の運營ハ町  
村長ニ依ツテナサレナケレバナラナイ、一  
定ノ地域ノ中ニ全國的ナ關聯ヲ持ツ職域團  
體ガ別個ニ存在スルト云フコトハ、其ノ地  
域ニ於ケル綜合的一體化ノ運營ノ上ニ於テ  
ハ非常ニ宜シクナイ、地域團體ハ職域團體ニ  
優先スルト云フ建前ヲ一方ハ執ラナケレバ  
ナラナイ、隨ヒマシテ町村長ハ農業會長ヲ  
兼任スルト云フノガ原則デナケレバナラナ  
イ、町村長ガ職域團體タル農業會長ヲ兼任  
スル、今ノ新シイ言葉デ言ヘバ、ソコニ職  
掌結合ノ制ヲ採ツテ行クト云フ方法ニシナ  
ケレバ、町村ハ町村トシテ國策完遂ノ上ニ  
全キヲ期スルコトハ出來ナイ、私ハ斯ウ云  
フ考ヘテ持ツテ居ツテ、現ニ又此ノ考ヘテ持  
ツ、アルノデアリマス、ソコデ此ノ際新  
シク農業團體ガ出來ル、現ニ出來ツ、アル  
ノデアリマスガ、此ノ際ニ當リマシテ此ノ  
問題ヲ解決シナケレバナラナイト私ハ思フ  
ノデアリマス、併シナガラ私が町村長ヲシ  
テ農業會長ヲ兼任セシメヨト云フコトハ、  
現在ノ町村長ヲシテ新ナル農業會長ヲ兼  
任セシメヨ、斯ウ言フノデハナイノデアリ  
マス、若シモ現在ノ町村長ヲ無條件ニ町村  
長ナルガ故ニ農業會長ヲ兼任セシメヨト云  
フコトデアリマスルナラバ、是ハ私ハ極メ  
テ妥當性ヲ缺クト思フノデアリマス、併シ  
ナガラ町村長ト云フモノハ其ノ地域ニ於ケ  
ル一切ノ職域團體ノ長ヲ兼任シテ運營シテ  
行クト云フノガ建前ダ、共同社會ハ利益社  
會ニ優先的ナ立場ニ立タナケレバナラヌ、  
斯ウ云フヤウナ觀點カラ言フナラバ、私ハ  
原則トシテドウシテモ町村長ガ農業會長ヲ  
兼任シテ行クノガ正シイ姿デアルト思フノ  
デアリマス、ソコデ現實ノ問題ト致シマシ

テハ、若シ新タニ生レントスル農業會長ヲ  
兼任スルコトノ出來ナイヤウナ、其ノ德望  
ニ於テ、其ノ活動力ニ於テ、其ノ他ノ條件  
ニ於テ兼任スルコトノ出來ナイヤウナ町村  
長デアリマシタナラバ、コ、ハ何等カノ方  
法ヲ以チマシテ一應辭メテ戴イテ、サウシ  
テ町村長、農業會長ヲ兼任出來ルヤウナ町  
村長ニ、詰リ其ノ村、其ノ町ニ於ケル一流  
ノ人ヲ立テテ、ソコニ新シイ戰時下ノ町村  
ヲ再建スル、農業會長ノ兼任ノ可能ナル町  
村長ヲ立テルト云フ行キ方ヲ執ル必要ガア  
ルノデハナイカ、言葉ハ町村長ノミニ執著  
シタヤウデアリマスルガ、決シテサウデハ  
ナイノデアリマシテ、若シモ農業會長ノ候  
補者ニ立ツテ居ル人ニ於テ優秀ナル人ガア  
リ、是ガ全體ノ地方行政ヲ運營シテ行ク力  
アリト致シマスルナラバ、此ノ人ヲ以テ町  
村長ヲ兼任セシメルト云フヤウナ表現ノ仕  
方デモ私ハ差支ナイト思フノデアリマス  
ガ、何レニ致シマシテモ、一ツノ地域ノ指  
導者ハ一人ノ指導者ニ依ツテ賄フベシト云  
フコトノ建前ヲ堅持シテ行キタイ、是ガ正  
シイ戰時下ノ行政ノ運營ダト私ハ思ツテ居  
ルノデアリマス、此ノ問題ニ付キマシテ一  
ツ内相ノ御所見ヲ御伺ヒ致シタイノデアリ  
マス、具體的ニ言ヒマス、現在ノ町村長ガ  
農業會長ヲ兼任スル力ガナカッタナラバ、  
新タニ兼任ノ出來ル町村長ヲ立テテ此ノ兼  
任ヲ實現セシメヨ、斯ウ云フ譯デアリマ  
ス、ソコニ行政官廳ノ指導ノ面ヲ働カセデ  
貰ヒタイ、斯ウ云フ意味デアリマス

○山崎國務大臣 農業團體ノ關係デア  
ラ一應私カラ申上ゲマス、又内務省御關係  
ノコトハ内務大臣カラ御答辯ガアルコトト  
思ヒマス、町村長ト農業團體長ノ關係ハ、

農會ノ技術者ノ關係ノヤウニ、知事トノ間  
ガ緊密デアリマセヌカラ、ドウモ其ノ點ハ  
町村長ト技術者ガ一體ニナツテ供出ニ努力  
スルト云フヤウナ姿ハ少イノデアリマス、  
時ニハ、米ノ供出ナリ、麥ノ供出ナリニ對  
シマシテ、郡ノ技術者ノ一部ニ於キマシテ  
ハ批判的ナ態度ヲ執リ、傍觀的ナ態度ヲ執  
ル、縣ノ關係ニ於キマシテモ、縣廳ガ責任  
者デアリノダ、自分ノ方ハ生産ノ指導ダ、  
生産面カラ見レバ、アノ供出ハ無理デアル、  
イヤ無理デナイト云フヤウナ批判的ナ態度  
ニ出ルコトガ極メテ多イノデアリマス、私  
共ハ之ヲ實際ニ見テ居ルノデアリマス、斯  
ウ云フ供出ノ指導者ト生産ノ指導者トノ間  
ニ「ギャップ」ガ生ズルト云フコトハ、此ノ生

○山崎國務大臣 大體加藤君ノト同ジヤウ  
ナ考ヘテ持ツテ居リマス、具體的ニ申セバ、  
例ヘバ中央農業會ノ如キハ、飽クマデ政府  
ト協力シテ増産ト供出ヲ一貫シテ全國農村  
ニ運動ヲ致ス、斯ウ云フ方針ヲ既ニ執ツテ  
居ル譯デアリマス、又府縣ノ農業團體等ト府  
縣廳ト十分協力シ、一體トナツテ、増産モ、  
供出モ、兩方トモ大ニ機運ヲ昂メテ行ク  
ト云フ働キヲナスベキモノト思ヒマス、カ  
ラ、丁度アナタノ御言葉ニモアツタヤウニ、  
官廳側トカ民間トカ別々ノ考ヘ方デナク、  
一體トナツテ生産、供出共ニ進メテ行ク、  
斯ウ云フ考ヘ方ガ宜シイト思ヒマス、又其  
ノ考ヘニ依ツテ漸次進シテ居ルト信ジマス  
○加藤(宗)委員 次ニ内相ニ御尋ネ致シ  
イト思ヒマス、簡單ニ申上ゲマスガ、現在全  
國ヲ通ジマシテ農業會ノ設立ガ各地ニ出來  
テ居ル譯デアリマス、之ニ關聯致シマシテ  
考ヘラレマスコトハ、町村長トノ關係デア  
リマス、是ハ私ハ昨市町村制改正ノ特別  
委員會ニ於テモ申上ゲタコトデアリマスガ、

町村ニ於キマシテハ町村ノ一體の運營ハ町  
村長ニ依ツテナサレナケレバナラナイ、一  
定ノ地域ノ中ニ全國的ナ關聯ヲ持ツ職域團  
體ガ別個ニ存在スルト云フコトハ、其ノ地  
域ニ於ケル綜合的一體化ノ運營ノ上ニ於テ  
ハ非常ニ宜シクナイ、地域團體ハ職域團體ニ  
優先スルト云フ建前ヲ一方ハ執ラナケレバ  
ナラナイ、隨ヒマシテ町村長ハ農業會長ヲ  
兼任スルト云フノガ原則デナケレバナラナ  
イ、町村長ガ職域團體タル農業會長ヲ兼任  
スル、今ノ新シイ言葉デ言ヘバ、ソコニ職  
掌結合ノ制ヲ採ツテ行クト云フ方法ニシナ  
ケレバ、町村ハ町村トシテ國策完遂ノ上ニ  
全キヲ期スルコトハ出來ナイ、私ハ斯ウ云  
フ考ヘテ持ツテ居ツテ、現ニ又此ノ考ヘテ持  
ツ、アルノデアリマス、ソコデ此ノ際新  
シク農業團體ガ出來ル、現ニ出來ツ、アル  
ノデアリマスガ、此ノ際ニ當リマシテ此ノ  
問題ヲ解決シナケレバナラナイト私ハ思フ  
ノデアリマス、併シナガラ私が町村長ヲシ  
テ農業會長ヲ兼任セシメヨト云フコトハ、  
現在ノ町村長ヲシテ新ナル農業會長ヲ兼  
任セシメヨ、斯ウ言フノデハナイノデアリ  
マス、若シモ現在ノ町村長ヲ無條件ニ町村  
長ナルガ故ニ農業會長ヲ兼任セシメヨト云  
フコトデアリマスルナラバ、是ハ私ハ極メ  
テ妥當性ヲ缺クト思フノデアリマス、併シ  
ナガラ町村長ト云フモノハ其ノ地域ニ於ケ  
ル一切ノ職域團體ノ長ヲ兼任シテ運營シテ  
行クト云フノガ建前ダ、共同社會ハ利益社  
會ニ優先的ナ立場ニ立タナケレバナラヌ、  
斯ウ云フヤウナ觀點カラ言フナラバ、私ハ  
原則トシテドウシテモ町村長ガ農業會長ヲ  
兼任シテ行クノガ正シイ姿デアルト思フノ  
デアリマス、ソコデ現實ノ問題ト致シマシ

テハ、若シ新タニ生レントスル農業會長ヲ  
兼任スルコトノ出來ナイヤウナ、其ノ德望  
ニ於テ、其ノ活動力ニ於テ、其ノ他ノ條件  
ニ於テ兼任スルコトノ出來ナイヤウナ町村  
長デアリマシタナラバ、コ、ハ何等カノ方  
法ヲ以チマシテ一應辭メテ戴イテ、サウシ  
テ町村長、農業會長ヲ兼任出來ルヤウナ町  
村長ニ、詰リ其ノ村、其ノ町ニ於ケル一流  
ノ人ヲ立テテ、ソコニ新シイ戰時下ノ町村  
ヲ再建スル、農業會長ノ兼任ノ可能ナル町  
村長ヲ立テルト云フ行キ方ヲ執ル必要ガア  
ルノデハナイカ、言葉ハ町村長ノミニ執著  
シタヤウデアリマスルガ、決シテサウデハ  
ナイノデアリマシテ、若シモ農業會長ノ候  
補者ニ立ツテ居ル人ニ於テ優秀ナル人ガア  
リ、是ガ全體ノ地方行政ヲ運營シテ行ク力  
アリト致シマスルナラバ、此ノ人ヲ以テ町  
村長ヲ兼任セシメルト云フヤウナ表現ノ仕  
方デモ私ハ差支ナイト思フノデアリマス  
ガ、何レニ致シマシテモ、一ツノ地域ノ指  
導者ハ一人ノ指導者ニ依ツテ賄フベシト云  
フコトノ建前ヲ堅持シテ行キタイ、是ガ正  
シイ戰時下ノ行政ノ運營ダト私ハ思ツテ居  
ルノデアリマス、此ノ問題ニ付キマシテ一  
ツ内相ノ御所見ヲ御伺ヒ致シタイノデアリ  
マス、具體的ニ言ヒマス、現在ノ町村長ガ  
農業會長ヲ兼任スル力ガナカッタナラバ、  
新タニ兼任ノ出來ル町村長ヲ立テテ此ノ兼  
任ヲ實現セシメヨ、斯ウ云フ譯デアリマ  
ス、ソコニ行政官廳ノ指導ノ面ヲ働カセデ  
貰ヒタイ、斯ウ云フ意味デアリマス

○山崎國務大臣 農業團體ノ關係デア  
ラ一應私カラ申上ゲマス、又内務省御關係  
ノコトハ内務大臣カラ御答辯ガアルコトト  
思ヒマス、町村長ト農業團體長ノ關係ハ、

シテハ十分御議論ノ盡キテ居ル問題デアリマス、又其ノ當時、御同様所屬致シテ居リマスル翼政會トシテモ一ツノ考ヘ方ハアツタ譯デアリマス、ソコデ只今アナタノ御言葉ノ中ニ農業會長ノ勤マライヤウナ町村長ハ云々ト云フコトガアリマシタ、是ハ何レ内務大臣ノ御答ヘガアルト思ヒマスガ、私ノ見ル所ハ町村長ハ町村全體ヲ統率サレル、農業團體長ハソレガ必ズシモ全村ト云フ譯デハナイ、町村ノ中ニハ農業モアレバ農業デナイモノモ澤山御承知ノヤウニアル、農業團體ヲ統率スル力ガナケレバ町村長ノ資格ガナイト云フ風ニサウ突キ詰メタコトヲ御考ヘニナル必要ハナイノデハナイカ、無論町村長デ同時ニ農業會長モ立派ニヤツテ行ケルト云フ方ガアレバ是ハ結構ナコトデアリマス、併シナガラ農業會長ノ資格ガナケレバ町村長ハ勤マラスト云フヤウニ突キ詰メタ御考ヘ方ハ如何ナモノデアルカト私ハ考ヘル、ソレト先程御言葉ノ中ニ農業團體ハ何カ利益團體ダト云フ風ナ意味ノ御言葉ガアリマシタガ、ソレハ左様ナモノデハナイト思ヒマス

○安藤國務大臣 御答ヘ致シマス、只今御質問ノ件ハ、農商大臣ヨリノ御答ヘト同一ノ思想方針ヲ以チマシテ現ニ指導致シテ居ル次第デアリマス、町村長ノ進退ト云フコトハ市町村制等ニ其ノ規定ガ儼存シテ居ルノデアリマシテ、只今仰セノ如ク農業會長タル資格ガナイカラ、町村長ノ位置ヲドウスルト云フコトハ、ドウモ是ハ市町村制其ノモノノ本旨ニ反スルト私ハ思ヒマス

○島田委員長 加藤君ニ御注意シマスガ、

○加藤(宗)委員 承知シマシタ、今ノ農商相ノ御答辯ノ中ニ私ヘノ御注意ガアリマシタガ、利益團體ト申シマスコトハ通俗的ナ利益團體デハナク、社會學的ナ意味ノ利益團體デアリマス、利益ヲ追求スルト云フヤウナ意味ノ團體デハナク、職域團體ト云ツテ差支ヘナイノデアリマスカラ、此ノ點御諒解ヲ願ヒタイト思ヒマス、簡單ニ結論ヲ申上ゲマスガ、町村行政ノ簡素化ヲ圖ル爲メニ地方町村殊ニ人口一萬以下ノ町等ニ於キマシテモ同様ト私ハ思フノデアリマスガ、役場ノ事務ノ中、勸業ノ部門、殊ニ其ノ中ニ於キマシテ農地委員會ノ運営及ビ自作農ノ創設ト云フヤウナモノガアルノデアリマスガ、是ハ私ハ新タニ農業團體ガ出來マシタナラバ、此ノ新ラシイ農業團體タル農業會ニ此ノ事務ヲ委讓スルコトニ依ツテ、農業ニ關スル事務ヲ農業人ノ團體ニ依ツテ最モ妥當的ニ處理シテ戴クト同時ニ、簡素化セントシテモ容易ニ簡素化ノ出來ナイ町村行政ノ簡素化ヲ實現スル、其ノコトニ依ツテ又他面ニ於キマシテハ今日ノ場合國家事務、委任事務、ソレト固有事務ト云フヤウナ差別的ナ考ヘヲ持ツコトハ寧ろ時代後レデモアリマスカラ、其ノ必要ハナイノデアリマスルガ、兎ニ角國策ヲ末端マデ滲透サセルト云フ爲メノ町村ノ行政ヲ活潑ニ働カセルコトニナルト私ハ思フノデアリマス、ソコデ之ニ對スル内務大臣、或ハ委讓スル先ガ農業會デアリマスカラシテ御考ヘニ依リマシテハ農商相カラデモ、ドチカラ局ノ御所見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス

一應私ヨリ御答へ致シマス、町村ノ勸業部  
ヲ農業會ニ委讓シタラドウカト云フ御意見  
ノヤウニ承ツタノデアリマスガ、是ハ地方  
ノ事情ニ色々依ルコトデゴザイマスガ、一  
般的ニ申シマスレバ、今日町村行政ノ上ニ  
勸業部ノ占メテ居ル部位即チ産業行政ノ占  
メテ居ル部位ハ相當重要性ヲ持ツテ居ルト  
存ズルノデゴザイマス、隨ヒマシテ今制度  
的ニ總テ勸業部ヲ農業會ニ委讓スルト云フ  
コトハ、尙ホ一層考究ノ餘地ガアルモノト  
存ジマスルノデ、篤ト研究スルコトニ致シ  
タイト存ジマス

○加藤(宗)委員 私ノ質疑ハ是デ終リマシタ  
○島田委員長 松浦周太郎君

○松浦(周)委員 私ハ主要食糧ノ問題ニ付  
キマシテ二、三御伺ヒ致シタイト思ヒマス  
ガ、今マデ色々御議論ガアリマシタカラ事  
柄ダケヲ御伺ヒ致シタイト存ジマス、食糧  
政策ニ對シテハ不安ナシトノ政府ノ御言明  
ニ對シマシテハ、至極結構ノコトデゴザイ  
マスガ、其ノ内容ヲナス本年度ノ需給推算  
及ビ昭和二十一年及ビ二十二年位マデノ大  
體ノ需給推算ノ見透シガ承リタイト存ジマ  
ス、色々ナ事情デ此ノ問題ヲ御發表サレ  
ルコトガ困難デアルナラバ、秘密會ニ於テ或  
ハ速記ヲ止メテデモ私ハ御伺ヒ致シタイト  
存ジマス、昨年ノ此ノ議場ニ於キマシテ此  
ノ推算ヲ御發表ニナリマシタカラ、今回モ  
速記ヲ止メタルナリ其ノ他ノ適當ナ方法ニ於  
テ御發表サレルコトヲ希望スルノデアリマ  
スガ、萬一ソレガドウシテモ出來ナイト云  
フ御事情ガゴザイマスナラバ、概數ダケデ  
モ一ツ御伺ヒ致シタイト存ジマス

寸……  
○山崎國務大臣 計ノ内容ニハハル前ニ  
○島田委員長 サウ云フコトデアリマシタ  
ナラバ速記ヲ止メテ……  
〔速記中止〕  
○島田委員長 速記ヲ始メテ……  
○山崎國務大臣 只今松浦君カラ本年度ノ  
食糧ノ需要、或ハ供給ノ概略ノ狀況ヲ聽キ  
タイト云フ御質問デアリマシタガ、御答ヘ  
ヲ申上ゲマス、先般ノ太田委員ノ御質問ニ  
應ジマシテ昭和十九年度ノ需給ノ關係、二  
十年度及ビ二十一年度ニ互ル計畫増産ノ概  
數ト云フモノハ既に申上ゲタ譯デアリマス  
ガ、十九年度ニ付キマシテハ大體斯ウ云フ  
風ニ御諒解ヲ願ヘバ御安心ガ出來ルノデハ  
ナイカト思フノデアリマス、内地ハ先般申  
シマシタヤウニ大體六千三百萬石ノ見當ヲ  
持ツテ居リマス、是ハ狂ヒマシタ所デ極メ  
テ僅少ノ狂ヒデアツテ、大シタ違ヒハナイ  
ト私ハ思ツテ居リマス、サウ致シマスト前  
年度ノ内地ノ米ト實收ガ六千六百餘萬石デ  
アリマス、ソコデ内地ニ於テ昨年トノ差ハ  
三百五、六十萬石ト云フモノガ減ル、斯ウ  
ナルノデアリマス、一方臺灣、朝鮮ノ所謂  
外地ノ關係ヲ御考ヘ置キヲ願ヒマス、朝鮮  
ニ於テハ昨年ハ實收ガ千五百餘萬石、本年  
ハ第二回豫想收穫ノ發表ガ千八百七十餘萬  
石程度ニナツテ居リマシテ、朝鮮ダケデ考  
ヘマシテ三百何十萬石トカ云フモノノ生産  
増、是モ第二回ノ豫想デアリマスケレドモ、  
是ハ殖エテ居ル、斯ウ云フコトニナリマス、  
ソレカラ臺灣ノ關係ハ昨年十八年ノ内地移  
入ヲシタ量ヨリモ十九年度ハ臺灣ニ於ケル  
片諸其ノ他ノ増産ノ計畫モアリ、實收ニ對



スル總督府ノ御見込モアリマシテ、昨年ノ内地ニ對スル移入量ヨリモ或ル程度ノ増加ト云フコトハ少シモ困難デナイノデアリマス、ソレカラモウ一ツ御考ヘノ材料ニ申上ダマスノハ、内地ニ於テ酒造米ガ昨年ハ百四十萬石ノ計畫デアツタノヲ、本年ハ八十五萬石以內、或ハ其ノ一部ハ屑米ヲ充テルカモ知レマセス、之ニ依ツテ五十萬石以上ノ浮キガ出ル譯デアリマス、ソレカラモウ一ツ御考ヘニ御入レ下サツテ宜シイコトハ、内地ノ實收ガ昨年ト比較シテ三百五十萬石假ニ減少シタトシテ、其ノ全部ガ供出ノ減少ニナルト云フ譯デハナイ、此ノ事情モ一ツ御考ヲ願ヒタイ、例ヘバ農村ニ於テ麥或ハ甘藷ノ増産ニ依ル所ノ補充ト云フヤウナ途ガアリマスカラ、總體ノ收量ガ三百五十萬石減ルカラ、然ラバ配給米ノ給源デアル供出米ガソレダケ減ルト云フコトデナイコトモ、是ハ能ク御想像ガ付ク譯デゴザイマス、サウ云フヤウニ御考ヘ戴キマス、内地外地ヲ通ジテ一方ニハ減ズベキモノガアルガ、増ス方ガ多イト云フ御想像ハ出來ルト思ヒマス、其ノ量ノ程度ハ申上ダ兼ナマス、殖エルト云フコトダケハ今申上ダタコトニ依ツテ御諒解ガ出來ルト思ヒマス、ソレカラ内地ニ於テ多少ノ需要ノ増加ト云フコト計算ニ入レナケレバナラス、人口ノ自然増加ガアリ、勞務動員ノ關係デ特配量ノ増加ト云フモノモ考ヘテ居ル譯デアリマス、ソコデ問題ハ、十八年度ハ外米ト云フモノヲ計畫ニ入レテ、十八年度ノ供給量ニ外米ガ入ツテ居リマス、ソレヲ十九年度ハ需給計畫カラ外ス、斯フ云フコトニナル、サウスルト問題ハ外米ガ入ツテ居ツタ其ノ量ヲ大體ドウシテ補填スルカト云フ御見當

ガ付ケバ、成程需給ニ不安ナシト云フ御結論ガ出ル譯デス、是ハ十八年ノ十月末、即チ十八米穀年度ノ末マデニ、當該年度ニ入ツタ外米ノ實數ヲ申上ダナケレバ一寸御諒解ガ付キニクイノデスガ、此ノ量ハ實ハ諸般ノ事情ガゴザイマスカラ申上ダラレナイノデゴザイマス、併シ當初私ガ農相ヲ拜命致シマシタ當時ニ、十八年度ノ推算ヲ立テマシテ、外米ノ輸入量ノ増加ヲ決メテ貰ツタノデアリマス、所ガ幸ヒニシテ私ノ見込デ居リマシタヨリモ、昨年ノ供出量ハ稍殖エテ居リマス、ソレカラ麥ノ買上量モ私ノ採ツテ居ツタ算盤ヨリモ相當増加致シテ居リマス、左様ナコトデ十八年度ノ外米ヲ考ヘテ居リマシタ量ヨリモ約四分ノ一位内輪デ十八年度ノ算盤ハ採レタノデアリマス、其ノ量ガ十九年度ニハ計算ニ載ツテ來ナイ、ソレドウ補填スルカ、問題ハソコニアル譯ナノデアリマス、ソコデ先程カラ申上ダマシタ内地ノ酒米ノ節約、或ハ外地ノ方ノ内地ニ對スル移入量ノ増加、ソレカラ内地ノ需要増ト供給ノ減少ト云フ、兩方差引イテ實ハ或ル程度ノ餘リガ出ル、幸ヒニ、此ノ間モ申上ダマシタヤウナ、滿洲國ノ非常ナ熱意アル協力ヲ受ケルコトガ出來テ居リマス、昨年ノ工業原料其ノ他ニ對スル日本ニ供給サレタ量ヨリモ、相當多量ノモノヲ純食糧資源トシテ供給ヲ受ケ得ルコトニ相成ツテ居ル譯ナンデアリマス

今一ツハ、内地ノ麥ニ付キマシテハ、是ハ或ル程度ノ增收ヲ需給計畫ノ中ニ見込デ居リマス、其ノ增收ノ見込ト云フモノモ、需給ノ計算トシテハ實際ニ期待スルヨリモ相當私ハ之ヲ緊メテ實ハ計算ハ採ツテ居ル積リデアリマス、併シナガラ、昨年ノ春ノ買上量ヨリモ相當程度ノ増加ハ、是ハ需給計畫ノ中ニ入レテ居リマス、昨年ハ幾ラノ買上デアツタカト言ヘバ、昨年ハ御承知ノヤウニ非常ニ麥ハ不作デアリマス、全國ノ收穫量モ非常ニ少ナカツタノデアリマス、千九百萬石ヲ割ツテ千八百何十萬石ト云ツタヤウナコトデアリマシタ、政府ノ買上量ハ豫定ヨリモ多カツタノデアリマスガ、八百七十萬石バカリノ買上ニナツテ居ルノデアリマス、是ヨリモ相當程度ノ麥ノ增收ヲ見込ムト云フコトハ、是ハ少シモ私ハ懸念ヲ持ツ必要ハナイト思ヒマス、何時カモ申シタト思ヒマスガ本年ノ作付面積ハ昨年ヨリモ相當殖エテ居ルコトハ事實デアリマス、ソレカラ麥ノ成育ノ狀況モ非常ニ佳良デアリマス、幸ヒニ昨日ノ雨ノ如キハ殆ド全國ニ降雨ヲ見テ居リマス、唯瀬戸内海ノ沿岸ニ若干雨ヲ見ナカツタ所ガアリマスルガ、其ノ他ハ殆ド全部降ツテ居リマス、併シ瀬戸内海ノ降ラナカツタ地方ハ別ニサウ乾燥シテ居ルト云フ憂ヒモナイノデアリマス、是ハ少シモ懸念ハアリマセス、昨年ヨリ時付ノ時期ガ早ク、ソレカラ濕リノ工合ガ昨年ト殆ド比較ニナラヌ狀態デアリマス、ソレト作付面積ノ増加更ニ麥ノ肥培管理ニ付キマシテハ、農商省トシテハ全力ヲ擧ゲテ今全國ニ向ツテ運動ヲ展開中デアリマス、是ニハ相當ノ增收ト云フモノヲ需給ノ算盤ノ中ニ入レテ居リマス、是モ私共ハ極メテ手堅イ算盤ヲ實ハ彈イテ居ル積リデアリマス、左様ナコトデ來年ノ需給ノ關係ト云フモノハ、現在ノ配給基準量ヲ確實ニ保持スルト云フ點ニ於テハ心配ハナイ

更ニ其ノ他ニ、此ノ間モ一寸申上ダタト記憶シテ居リマスガ、只今各地方ノ實情ニ應ジテ著々進行致シテ居リマス作物轉換ノ色々ノ作物ノ食糧生産ニ轉換ヲヤツテ居リマス、ソレニ依ル食糧ノ増産ト云フモノハ、是ハ今申上ダタ今日マデノ計算外ニ置イテ居リマス

ソレカラ此ノ四、五月或ハ三月ノ末頃ニナルカト思ヒマスガ、只今折角具體案ヲ練ツテ居ルノデアリマス、此ノ春ノ時期ヲ目掛ケマシテ、全國的ニ相當大規模ナ雜穀ノ大增産計畫ヲ進メテ居リマス、其ノ費用ハ只今御協賛ヲ御願ヒスルト云フ意味ニ於テ追加豫算ニ計上ニナツテ居リマス、ソレ等ニ依ル增收額ハマダ今日マデハ需給ノ計算ノ中ニ入レナイデ居ル譯デアリマスカラ、斯様ナコトヲ併セテ御考慮願ヒマシタナラバ、十九年度ニ於テ現在ノ配給基準量ヲ確カニ保持ガ出來ルト云フコトダケハ御安心ガ願ヘルノデハナイカト思フノデアリマス、細カイ數字ヲ申上ダル時期ニマダ達シテ居リマセスカラ、何トナク物足ラヌヤウナ感じモ致シマスケレドモ、此ノ點ハ私ハ全責任ヲ持ツテ又自信ヲ持ツテ申上ダル譯デアリマスカラ、ドウゾ其ノ邊ハ御諒察ヲ願ヒタイト思ヒマス

○松浦(周)委員 非常ニ確信アル御答辯ヲ伺ヒマシテ、一億國民ト共ニ安心シテ職域ニ奉公出來ルコトト存ジマス、只今ノ御答辯ハ、豫テ農林省ガ立テ、居リマシタ食糧ハ國內ノ自給ニ俟ツト云フ所ニ重點ヲ置イテノ御答辯デゴザイマス、此ノ食糧ノ充足ヲ計畫シテ行ク爲ニハ、只今ノ御計算ノ基礎ノ數字ハ、一面土地ノ改良或ハ新田ノ開拓、サウ云フ風ナモノ等ニ依ル確實ナル増産ヲ見込ムモノハ固ヨリ當然デゴザイマス

昭和十九年一月二十六日

ガ、同時ニ勞力ノ不足、肥料ノ漸減、工場設置ノ爲ノ耕地減少等、農業生産力ノ減退ニ作用スル減産ノ方面ヲモ差引イテ考ヘナケレバナラヌト存ジマス、食糧充足ノ計數ヲ豫想スルニ當リマシテ、是等ノ點ニ御考慮セラレルコトハ當然デアアルト存ジマスガ、又是等ノ點ヲ考慮セズトモ農業生産ハ確實ニ出來ルト御考ヘニナラレルノデアリマセウカ、是ガ全然心配ナイト云フコトニナル其ノ基礎ニナリマスモノハ、私ハドウシテモ肥料ガ此ノ増産計畫ニ對シテ伴ツテ行カナケレバ、其ノ目的ヲ達スルコトハ困難デア

ニナリマシタガ、此ノ相當ノ解決トハドウ云フ方途ニ出ラレルコトデザイマセウカ、全國五百七十萬ノ農民、又食糧ニ對スル重大問題ハ一ニ擧ゲテ肥料ノ生産確保ニアル、此ノ點ニ對シマシテ政府ノ方針ヲ伺フコトガ出來ルナラバ幸ヒダト存ジマス

ノ入手ノ出來ルヤウニ、軍需省ニ於テモ種種御苦心ヲ願ツテ居ル所デアリマス、ソレ等ガ急速ニ手配ガ出來マスレバ、本年ノ夏作ニ對スル肥料ノ用意ハ現在考ヘラレテ居ルヨリモ稍、良クナルト期待ヲ致シテ居ル、昨年ノ暮マデノ情勢デ行キマス、來年ノ夏肥ノ供給量ハ昨年ヨリモ餘程低下スル實情ニアツタノデアリマス、コ、ニ先程申上

南省トシテハ具體的ノ數字モ實ハ計算ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、今日ノ戰時下ニ物資ノナイ所デ作ラナケレバナラヌ譯デアリマスカラ、出來ルダケ現有設備ノ能率ヲ最高度ニ發揮スルコト云フ所ニ一ツノ狙ヒヲ置キ、補修資材等ヲ可能ナ限度ニ手遅レシナイヤウニ配給ヲシテ貰フ、更ニ第二ハ既定ノ肥料工場ニ建設中ノモノガアリマス、之ヲ資材ノ許ス範圍ニ於テ、又出來ルダケ資材ヲ工夫願ヒマシテ完成期ヲ成べく早日ニ繰上グルト云フコトガ第二ノ考ヘ方デアリマス、更ニ又事情ガ許セバ簡器ニ出來ル範圍ニ於テノ擴張等モ考ヘナケレバナリマセウカ、第一ハ現有設備ノ能率ヲ發揮、第二ハ既定計畫ノ増産ニ付テノ時期ヲ出來ルダケ繰上グル、斯ウ云フ所ニ重點ヲ置イテ一ツノ計畫ヲ持ツテ居リマス、此ノ點ニ付キマシテハ只今軍需省ト事務的ニ折衝ヲ繼續中デアリマス、軍需省トシマシテモ食糧生産ノコトデアリマス、十分同情モ持タレ、又好意モ持タレ、始終苦心ヲ戴イテ居ル所デアリマス、マダ其ノ結束ニハ達シテ居リマセウカ、併シ何ト申シマシテモ一方大戰争ノ最中デ、忍ブベキ限リハ當然忍ンデ行カナケレバナラスコトハ申スマデモナイコトデアリマス、ソコデ肥料ノ問題トシテハ化學肥料ノ問題ト併セテ自給肥料ニ出來ルダケ力ヲ盡シテ參ラナケレバナラス、是ハ年々相當自給肥料ノ獎勵施設ヲヤツテ參ツテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、併シ今日ノ肥料事情及ビ食糧事情ニ鑑ミマシテ、從來施設シテ來テ居ツタヨリモ更ニ擴大シテ自給肥料ノ増産施設ヲ講ズルコトガ必要ダト考ヘマス、之ニハ種々ノ行政的ノ措置モ必要デアリマスガ、ヤハリ一方畜産ノ面モ相當考ヘテ行

ガ、同時ニ勞力ノ不足、肥料ノ漸減、工場設置ノ爲ノ耕地減少等、農業生産力ノ減退ニ作用スル減産ノ方面ヲモ差引イテ考ヘナケレバナラヌト存ジマス、食糧充足ノ計數ヲ豫想スルニ當リマシテ、是等ノ點ニ御考慮セラレルコトハ當然デアアルト存ジマスガ、又是等ノ點ヲ考慮セズトモ農業生産ハ確實ニ出來ルト御考ヘニナラレルノデアリマセウカ、是ガ全然心配ナイト云フコトニナル其ノ基礎ニナリマスモノハ、私ハドウシテモ肥料ガ此ノ増産計畫ニ對シテ伴ツテ行カナケレバ、其ノ目的ヲ達スルコトハ困難デア

ニナリマシタガ、此ノ相當ノ解決トハドウ云フ方途ニ出ラレルコトデザイマセウカ、全國五百七十萬ノ農民、又食糧ニ對スル重大問題ハ一ニ擧ゲテ肥料ノ生産確保ニアル、此ノ點ニ對シマシテ政府ノ方針ヲ伺フコトガ出來ルナラバ幸ヒダト存ジマス

ノ入手ノ出來ルヤウニ、軍需省ニ於テモ種種御苦心ヲ願ツテ居ル所デアリマス、ソレ等ガ急速ニ手配ガ出來マスレバ、本年ノ夏作ニ對スル肥料ノ用意ハ現在考ヘラレテ居ルヨリモ稍、良クナルト期待ヲ致シテ居ル、昨年ノ暮マデノ情勢デ行キマス、來年ノ夏肥ノ供給量ハ昨年ヨリモ餘程低下スル實情ニアツタノデアリマス、コ、ニ先程申上

南省トシテハ具體的ノ數字モ實ハ計算ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、今日ノ戰時下ニ物資ノナイ所デ作ラナケレバナラヌ譯デアリマスカラ、出來ルダケ現有設備ノ能率ヲ最高度ニ發揮スルコト云フ所ニ一ツノ狙ヒヲ置キ、補修資材等ヲ可能ナ限度ニ手遅レシナイヤウニ配給ヲシテ貰フ、更ニ第二ハ既定ノ肥料工場ニ建設中ノモノガアリマス、之ヲ資材ノ許ス範圍ニ於テ、又出來ルダケ資材ヲ工夫願ヒマシテ完成期ヲ成べく早日ニ繰上グルト云フコトガ第二ノ考ヘ方デアリマス、更ニ又事情ガ許セバ簡器ニ出來ル範圍ニ於テノ擴張等モ考ヘナケレバナリマセウカ、第一ハ現有設備ノ能率ヲ發揮、第二ハ既定計畫ノ増産ニ付テノ時期ヲ出來ルダケ繰上グル、斯ウ云フ所ニ重點ヲ置イテ一ツノ計畫ヲ持ツテ居リマス、此ノ點ニ付キマシテハ只今軍需省ト事務的ニ折衝ヲ繼續中デアリマス、軍需省トシマシテモ食糧生産ノコトデアリマス、十分同情モ持タレ、又好意モ持タレ、始終苦心ヲ戴イテ居ル所デアリマス、マダ其ノ結束ニハ達シテ居リマセウカ、併シ何ト申シマシテモ一方大戰争ノ最中デ、忍ブベキ限リハ當然忍ンデ行カナケレバナラスコトハ申スマデモナイコトデアリマス、ソコデ肥料ノ問題トシテハ化學肥料ノ問題ト併セテ自給肥料ニ出來ルダケ力ヲ盡シテ參ラナケレバナラス、是ハ年々相當自給肥料ノ獎勵施設ヲヤツテ參ツテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、併シ今日ノ肥料事情及ビ食糧事情ニ鑑ミマシテ、從來施設シテ來テ居ツタヨリモ更ニ擴大シテ自給肥料ノ増産施設ヲ講ズルコトガ必要ダト考ヘマス、之ニハ種々ノ行政的ノ措置モ必要デアリマスガ、ヤハリ一方畜産ノ面モ相當考ヘテ行

カナケレバナラス、鶏言ヘバ、農家デ別  
段餌ヲ供給セヌデモ落穂其ノ他ヲ始末ノ付  
ク程度ノモノハ成ベク各農家デ飼ツテ貰フ、  
或ハ厨芥ニ依ツテ飼育ノ出来ル養豚ノヤウ  
ナモノハドシ／＼ヤツテ貰フト云フヤウナ  
畜産ノ面ニモ相當考ヘテ行ク必要ガアルト  
思ヒマス、其ノ畜産ノ點ガ同時ニ自給肥料  
ノ給源ヲ提供スルコトニナルデアリマス、  
是等ヲ併セテ更ニ又先般來種々動物ノ飼  
料ノ問題モ御心配ノ御議論ガ段々現ハレ  
テ居ツタヤウデアリマス、此ノ飼料ノ増  
産ト云フコトモ食糧増産ニ影響ノナイ範圍  
ニ於テ相當ノコトハ考ヘナケレバナナルマイ  
ト存ジテ居リマシテ、是等ノ關係ヲ一聯ノ  
關係トシテ取纏ツタ一ツノ案ヲ只今練ツテ  
居ル所デアリマスガ、成ルベク後レザル時  
期ニ於テ私トシテハ一ツノ纏ツタ案ヲ練リ  
上ゲタイ、斯様ニ考ヘテ先般來折角苦心ヲ  
シテ居ル所デアリマス、左様御諒承願ヒマ  
ス

○松浦(周)委員 自給肥料ノ増産ヲサレル  
ト云フコトニ對シマシテハ是ハ當然ヤラナ  
ケレバナラス所デアリマシテ、減耗スル地力  
ヲ回復、維持、増進シテ行ク爲ニハ、何ト  
云ツテモ自給肥料ニ俟タナケレバナラスノ  
デゴザイマス、併シナガラ此ノ自給肥料ハ  
今日其ノ増産ヲ叫ンデ今日ノ間ニ合ヒマセ  
ヌ、相當ノ計畫セル政策ノ下ニ日數ヲ要ス  
ルモノデゴザイマス、隨ヒマシテ今日ノ急  
場ヲ救フト云フコトニ對シマシテハ、ドウ  
シテモ化學肥料ヲ或ル程度補助シテ行カ  
ナケレバナラスコトハ、大臣ノ懸念ヲ持ツト  
云フ御言葉ノ中ニ非常ニ深いモノノアルコ  
トヲ思フモノデゴザイマス、之ニ對シマシ  
テハ只今軍需省ト事務的ノ折衝ヲシテ居ル

ト云フコトデゴザイマスガ、私ハ今日ノ決  
戰ニ於ケル此ノ肥料ノ充足コソ眞ニ刻下  
ノ急務デアアルト存ジマス、軍需省ノ大臣デ  
アラレル總理大臣ハ此ノ問題ニ對シマシテ  
ハ昨年モ此ノ議場ニ於キマシテ、又臨時議  
會ニ於キマシテモ肥料充足ニ對シマシテハ  
御言明ガアツタコトデアリ、重要ナ問題デ  
ゴザイマスカラ、此ノ肥料對策ニ對シマシ  
テ資料其ノ他ノ面ニ於テ、只今農商大臣ガ  
縷々述ベラレマシタ點ニ於テ、大臣ノ英斷  
ヲ煩ハス點ガ多クアラウト思ヒマス、此ノ  
點ニ對シマシテ迅速果敢ニ肥料ノ増産ヲ行  
ヒ、以テ今日ノ食糧政策ノ完璧ヲ期スト云  
フ點ニ付テノ御意見モ重ネテ伺ヒタイト思  
ヒマス

○東條國務大臣 御答ヘラ致シマス、今ヤ  
現下ノ戰局ニ直面ヲ致シマシテ、政府ト致  
シマシテハ二ツノ大キナ目標ニ向ツテ前進  
ヲ致シテ居リマス、是ハ言フマデモナク航  
空機ヲ中心ト致シマスル所ノ生産ノ増強デ  
アリマス、又他面ニ於キマシテハ國民ノ食  
糧ノ確保ノ問題デアリマス、是ハ政府ト致  
シマシテハ最モ重點ヲ置イテ居ル所デア  
リ、何レモ是ハ十分其ノ目的ヲ達成シテ行  
カナケレバナラス問題デアリマス、斯クノ  
如ク重要ナルガ故ニ、ソコニ例ヘバ今問題  
トナツテ居リマスル所ノ肥料ノ問題、是モ  
今御説ノ如ク急速ヲ要スルモノデアアルト云  
フコトモ十分承知シテ居リマス、又他面ニ  
於キマシテ航空機ヲ中心ト致シマスル飛躍  
的ノ増産ハ、是ハ現下ノ戰局下ニ於キマシ  
テ、一日、一刻モ猶豫ハ出来ナイ問題デア  
リマス、隨ヒマシテ此ノ化學肥料即チ詰ル  
所ハ硫酸ナリ石灰窒素ナリ、是ハ兩方競合  
シテ居ル所ノ問題デアル、隨ヒマシテ他面

ニ於テハ勿論何レモ充足ヲ要スル、併シ又  
他面ニ於テ何レモ缺クコトハ出来ナイ問題  
デアアル、大體ニ於テ今政府ノ執ツテ居リマ  
スル所ノ方向ハ、今農商大臣カラ説明シタ  
所ノ方向ニ向ツテ巨歩ヲ進メツ、アル、サ  
ウシテ今其ノ急速解決ノ方向ニ進ミツ、ア  
ルノデアリマス、併シナガラ他面ニ於テ其  
ノ解決ヲスルガ爲ニ之ニ大キナ罅ヲ入レル  
ト云フコトハ、是ハ又十分注意ヲシツ、ア  
ル、而シテソコニ何レニモ大ナル蹉跌ガ來  
ヌヤウニ逐次解決ヲ進メテ居ル次第デアリ  
マス、御意見ノアル所ハ十分承知致シテ居  
リマスノデ、御心配ノナイヤウニ解決ヲシ  
テ行キタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○松浦(周)委員 此ノ問題ニ對シマシテ總  
理ノ心配ノナイヤウニスルト云フ御言明ニ  
依リマシテ、満足シタノデゴザイマス、何  
卒善處セラレンコトヲ希望致シマス  
次ハ木材、木炭ノ需給狀況ニ付テ簡單ニ  
御尋ネ致シマス、特ニ今年、明年度ノ需給  
ノ見透シハドウナツニ居リマセウカ、近時  
各方面カラ逼迫ノ情勢ガ告ガレテ來タノ  
デアリマスガ、如何ナル方策ヲ立デ、之ヲ  
通り抜ケラレルカ、本豫算ノ中ニモ新シク  
組マレタ増産計畫ガ色々立テラレテ居リマ  
ス、特ニ私有林ノ立木買入等、種々増産計  
畫ガ立テラレテ居リマスガ、之ニ對シテ來  
年度ハ需要ニ對シテドレダケノ供給力ヲ持  
ツテ居ルカト云フ點ヲ明示セラレタイト存  
ジマス、特ニ岸國務大臣ニ御伺ヒ致シタイ  
點ハ、最近鑛山方面ヲ廻ツテ見マス、坑  
木ノ不足ノ點ヲ非常ニ懸ヘラレル、私ハ石  
炭増産ノ隘路ノ一ツガ是ニアルノデハナイ  
カト憂慮致シテ居リマス、此ノ點ニ對シテ  
之ヲ充足スルノニ、勿論農商省ノ方ト連絡

ハ執ツテ居ラレマスガ、今日ノ逼迫狀況ニ  
善處スル爲ニハ、何カ對案ヲ持ツテ居ラレ  
ルカト云フ點ヲ御伺ヒ致シタイト存ジマス、  
更ニ只今總理ノ御答辯ノ中ニモアリマシタ  
ヤウニ、今日ハ航空機ト食糧ガ何ヨリノ問  
題デアアル、其ノ航空機ノ用材、所謂積層材  
或ハ硬化木、斯ウ云フ方面ノモノ或ハ航空  
機生産ニ對スル建設資材ト云フヤウナモノ  
ニ對スル不自由ハナイカト云フ點デアリマス  
厚生大臣ニハ勞務計畫ニ對シマシテ、勞  
務ノ厚生施設或ハ住宅營團ノ資材ト云フヤ  
ウナモノノ現在ノ狀況ハドウデアアルカト云  
フ點ヲ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○山崎國務大臣 木材ノ需給ノ關係ガ第一  
ノ御質問デアツタヤウデアリマスガ、十八  
年度ノ木材ノ生産關係ハ豫定通りニ進行致  
シテ居リマス、物動計畫上、所要トサレテ  
居ツタ量ノ木材ハ供給ガ出来テ居ル譯デア  
リマス、來年度ノコトハマダ來年度ノ物動  
ノコトモ決マリマセヌノデ、此處デ數量ヲ  
豫定シテ申上ゲルコトハ困難デアリマスガ、  
無論相當ノ増加ヲ確保致シテ居ル、ソレカ  
ラ民有林ノ關係ハ、此ノ豫算ニ計上シテ居  
リマスノハ、取敢ズ特殊林分ニ付キマシテ、  
千萬石程度ノモノヲ直接買上ゲテ製材ニ供  
スル、千萬石ハ昨年初メテ其ノ途ヲ開キマ  
シタ一ツノ獎勵金ト申シマスガ、其ノ施設  
ニ依ツテ民有林ノ搬出ヲ助長シテ行カウ、  
斯ウ云フ考ヘデアリマスガ、是ハ必要ニ迫  
ラレマスレバ、狀況ニ應ジマシテ、將來又  
適當ナ考慮モ加ヘテ行クコトガ必要デア  
ル、斯様ニ考ヘテ居リマス、一應御答辯申上  
ゲマス  
○岸國務大臣 坑木ノ點ト飛行機用材ニ關  
スル點ニ付テノ御質問ニ御答ヘ致シマス、

坑木ハ石炭増産ノ上カラ見マシテ申スマデモナク極メテ大事ナモノデアリマス、特ニ九州地方ノ如ク御承知ノ通り、此ノ需要ガ増シテ參ルノデアリマス、而シテ從來是レノ割當及ビ入手等ニ付キマシテ、十分ニ現場ノ要求ニ即應シナイ憾ミガアツタノデアリマス、是ハ一ツハ石炭ノ生産目標ガ物動年度内ニ於キマシテモ、戦局ノ要請ニ基イテ之ヲ上ゲテ行ク、隨テ坑木ノ所要量ガ増シテ來ル、當然物動割當テラレタ所ノ量デハ足りナクナルト云フヤウナ事態ガ起ツテ參ツテ居リマス、其ノ都度是ガ割當テノ是正モ致シテ居リマス、現ニ昨年ニ於キマシテモ數回サウ云フ事態ガ起ツテ、之ニ應ズルヤウナ坑木ノ割當テヲ増加致シテ居リマス、尙ホ入手ノ點ガ思フヤウニ行カナイト云フ點ニ付キマシテハ、是ハ現地ノ事情デ必ズシモ一樣デハナイノデアリマスルガ、木材統制ノ機構ノ移リ變リ等ノ爲ニ、或ル地方ニ於テハ特ニサウ云フ點ニ於テ支障ガ生ジタヤウナ實例モアリマス、而シテ是ガ解決ニ付キマシテハ農商省及ビ地方協議會、府縣等トモ極力支障ヲ打開スルコトニ努メテ參リマシテ、現今ニ於キマシテハ一應此ノ木材統制機構モ整ツテ參リマシタ、坑木ノ入手ニ付キマシテモ、一時生ジマシタ如キ現物入手ノ支障ハ餘程緩和致サレルト思ハレマス、併シナガラ尙ホ其ノ點ニ關シマシテハ、從來ノ實例ニ徴シマサルニ、具體的ニ措置スベキ點モ少クナイノデアリマス、大體炭田ガ供給ヲ受クベキ坑木ノ產出ノ地方ト云フモノヲ豫定致シマシテ、其ノ府縣トノ間ニ特別ノ措置ヲ講ジテ行クト云フコトニ付キマシテ關係當局ノ間ニ話ガ出來上リマシタ、之ニ依ツテ私ハ將

來ノ入手ハ餘程改善サレルモノト考ヘテ居リマス  
次ニ航空機用材ノ問題デアリマスガ、是ハ航空機ノ劃期的増産ニ伴ヒマシテ非常多數ノ要スルノデアリマシテ、此ノ航空機用材ノ入手ニ付キマシテハ、其ノ目標量ヲ絶對ニ入手スルコトガ何ヨリモ必要ナノデアリマス、隨ヒマシテ是ガ入手ニ付キマシテハ、特ニ總理大臣ノ指示權ガ發動サレマシテ、萬全ノ方法ガ講ゼラレ、今日マデ豫定ノ如ク入手ヲ見ツ、アル次第デアリマス  
○小泉國務大臣 航空機生産或ハ船舶用ノ木材、其ノ伐採、搬出等ノ爲ニ要スル勞力ガ最近非常ニ逼迫致シテ參リマシタコトハ能ク承知致シテ居リマス、第一ニ是等ノ勞力確保ノ問題デアリマスガ、是ハ從來ハ一般勤勞力ノ配置ガ國民動員計畫ノ全國的ノ計畫ニ律セラレテ居リマシタ關係ト、各方面ヘノ必要ノ勞力ヲ割ルト云フヤウナ關係カラ、只今申サウナ事象モ生ジテ參リマシタ、洵ニ遺憾トスル所デアリマスガ、十九年度ノ國民勞務動員計畫ニ於キマシテハ、其ノ地方々々ノ事情ニ即スル——中央ノ國民勞務ガ動員計畫ノ實施方策ヲ各地方々々ニ於テ更ニ策定致スコトニ致シテ居リマシテ、其ノ國民勞務動員ノ全體性ト其ノ綜合性ヲ調節シツ、而モ其ノ地方ノ事情、殊ニ航空機ノ生産、船舶、或ハ只今御話ノ坑木ト云フヤウナモノノ必要面ニ十分其ノ勞力ヲ供給調整ヲ圖リ得ルヤウニ今後ハナルコトト期待致シテ居リマス、尙ホ特段ノ急ヲ要スルモノニ對シマシテハ、既ニ或ル縣ニハ特別ノ指令ヲ發シマシテ、措置ヲ致シツ、アルヤウナ次第デアリマス  
第二ハ勞務者ノ住宅ノ問題デアリマス、

是等ニ對シマシテハ、住宅營團モアリ、從來ハ其ノ手ヲ以テノミ行ツテ居ルヤウナ傾キモアリマシタガ、一昨年來殊ニ昨年ニナリマシテカラハ、獨身者ノ住宅ガ一切一棟家ノ規格ヲ定メマシテ、之ヲ大體事業主ニヤラセルコトニ致シマシテ、住宅營團ハ世帯ニ對シテ其ノ住宅ヲ建設シ、而モ是モ此ノ戦局ニ即應スルヤウナ所謂戰時型住宅ヲ作リマシテ、十八年度ノ物動計畫ニハ當然此ノ勞務施設ニ要スル普通鋼材及ビ木材ガ特掲サレテ居ツタノデアリマスルガ、是レ亦ヨリ以上重要ナル方面ヘ之ヲヤリ繰ル必要モ生ジマスシ、旁、以チマシテ入手難ニ陥リ、計畫ノ通りニ建設ガ出來ナカツタト云フ場面モ相當アツタノデアリマスルガ、是レ亦十九年度ノ物動計畫ニ於テハ、今後ノ見透シヲ以チマシテ、廣キ範圍ト可能ナル限りノ見透シヲ付ケマシテ、物動ニ特掲ヲ致シ、是ノ確保ヲ致スコト共ニ、更ニ既設住宅ノ利用ト云フコトニモ強キ手ヲ伸バシマシテ、今日ノ所ニ於テハ、航空機ノ飛躍的増産ニ對處スル多量ノ勞務移動ニ對シテハ、住宅問題ガケハ一應解決致シテ居ルヤウナ次第デアリマス  
○松浦(局)委員 大體充足サレテ居ルヤウデアリマスケレドモ、尙ホ色々御答辯ノ中ニ含マレテ居ル意味ハ、相當逼迫シテ居ルト云フコトモ見ルノデアリマス、ソコデ此ノ増産ノ一番ノ隘路ハ何處ニアルカト云フ點デアリマスガ、先ヅ第一ハ勞務、次ハ資材、小運送ト云フヤウナモノデアルト思ヒマス、ソコデ勞務ノ問題ニ付キマシテハ殆ド議論ガ盡キテ居リマスガ、私ハ此ノ生産ヲ確保スル爲ニ一點ダケ考ヘテ戴キタイト思ヒマス、ソレハ勞務ノ計畫ガ、綜合的ニ

配置計畫ガ出來テ居ラス爲ニ、是等ノ重要ナ生産部面ノ從業員ガドン／＼徴用サレテ行ク、ソレハ御國ノ爲ニ當然ナコトデハアルケレドモ、他ニ替ヘラレナイ此ノ種ノ經驗ノアル者デナケレバ出來ナイト云フ仕事、少クトモ伐材、運材或ハ製材ト云フヤウナモノニ關係シテ居リマス者、殊ニ伐材、運材ハ一年ノ中半分位シカ稼働日數ガゴザイマセス、ト云フノハ雪ガ降り、雨ガ降り、風ガ吹キ、外ノ仕事デアリマスカラ左様ナコトニナリマス、此ノ百五十日乃至百六十日勞働手帳ニ稼働日數ノアル者及ビ東北、北海道ノ如キ三箇月位ノ間ニ伐採ヲ終ルト云フヤウナ地方ノ者ト云フヤウナモノニ對シテハ、一ツ思ヒ切ツテ徴用免除ヲヤツテ戴キタイ、是デナケレバ大臣ノ御計畫サレル所ノ住宅モ營團モ立ツテ行カナイト私ハ思フ、此ノ點ニ對シテ特ニ御考慮ヲ願ヒマス  
更ニ資材ノ面ニ對シテデアリマスガ、只今國務大臣ガ御答辯ニナリマシタヤウナ狀況デアリマシテ、ドウシテモ是ハ生産ヲ確保シナケレバナラス、斯ウ云フモノデゴザイマスカラ、木材ノ生産ハ鐵、「セメント」、釘、針金、特殊鋼、斯ウ云フモノガ相當ニ要ルノデアリマス、併シ綿密ニ計算シテ見ルト、來年度假ニ一億ノモノガ必要デアルトスルナラバ、私ハ三萬「トン」位ノ鋼材、特殊鋼ガアレバ、一億石ヲ確保スルコトガ出來ルト云フ確信ヲ經驗上持ツテ居リマス、然ルニ今日ノ狀況ヲ見マスト、六七千「トン」漸ク戴クト云フヤウナコトデハ——今マデ蓄積ガアツタカラ宜イ、或ハ從來ノ道具ガアツタカラソレヲ其ノ儘使ツテ行クトガ出來ルト云フコトデゴザイマスケレドモ、

モウサウ云フモノハ使ヒ盡シテシマツタ、或ハ「ロープ」ガナイ、或ハ潤滑油ガナイト云フコトデ、今ニモ機械ガ止マルト云フヤウナ狀況ガアルコトヲ思フ時ニ、是ハドウシテモ國務大臣ニ於テ是非一ツ御協力ヲ願フテ、資材ノ配給ニ於テ十分善處願ヒタイト存ズルモノデアリマス、之ニ對スル御答辯ヲ御伺ヒ致シタイノデアリマス

最後ニ小運送ノ問題デアリマス、材木ハ大體ニ於テ其ノ價格ノ半分ガ運賃デアルトマデ言ハレテ居ル狀況デアリマシテ、輸送ニ要スル勞力ト云フモノハ相當ナモノデアリマス、隨テ「トラク」或ハ馬力、或ハ牛車ト云フヤウナモノガ非常ニ減ツテ参リマシタ今日ハ、小運送ガ重要ナ問題ニナツテ参リマシタ、之ニ對シマシテ鐵道當局ノ小運送ノ確保ニ付テ御意見ヲ聽イテ置キタイノデアリマス、同時ニモウ一點ハ斯ウ云フヤウナ現狀ニナツテ参リマス、原始ニ戻ツテ、川ヲ流送シナケレバナラヌト思ヒマスガ、其ノ流送方法ハ、筏ヲ組ンデ流スト云フコトデハ、流ス爲ニ非常ニ資材ヲ必要トシマス、隨テ斯ウ云フモノハ全部散流ニスル、俗ニ謂フバ流シト云フヤウナ方法デナケレバ是ハ確保出來ナイ、隨テ河川ノ障害ガ相當起ルト云フ憂ヒモアリマス、併シナガラ木ハ山ニアルノデアリマシテ、山ニ川ハ通ズル、是ガ全部流送致シマスナラバ、鐵路ノ能力モ上リ、又小運送モ助カルト云フコトデ、一石ニ鳥デアリマス、斯ウ云フ點ニ對シテ農商省ハドウ云フ考ヘヲ持ツテ居ラレルカ、又農商省ガ此ノ計畫ヲ立テマス場合ニ、河川及ビ土木ノ方ハ内務省デヤツテ居ラレマスガ、之ニ對スル内務省ノ御考ヘハドウデアルカ、更ニ又鐵道ガ此ノ川ヲ横切

ツテ居ルノデアリマシテ、之ニ對スル「ビーア」其ノ他ノ面ノ關係ガアリマスガ、之ニ對スル協力ノ關係ハドウデアアルカト云フ點ヲ伺ヒマス

○小泉國務大臣 只今ノ木材伐採其ノ他ノ勞力確保ニ付キマシテハ、其ノ地方ノ事情、特ニソレガ今日ノ航空機増産、或ハ船、坑木ト云フヤウナ必須ノモノニ付キマシテハ是ハ徵用ノ運用ヲ十分考ヘ、目的ニ副フヤウヘテ居リマスノデ、色々徵用ノ除外ノ中ニ當然考慮サレテ居リマス

○岸國務大臣 木材生産ニ必要ナ資材ノ確保ニ付キマシテハ、農商省ト十分連絡ヲ取リマシテ、極力是ガ萬全ヲ期スルヤウニ努メタイト思ヒマス

○八田國務大臣 只今小運送ノ木材ノ問題ニ付テ御尋ネガアリマシタガ、今日輸送ノ面カラ見マシテ、木材ノ利用ト云フモノハ非常ニ増大致シテ参リマシタ、數字ハ申上ダラレマセヌガ、驚クベキ數字ニ上ツテ居ルノアリマス、概シテ大キナ運送、即チ船舶ナリ或ハ鐵道等ニ依ツテ輸送致シテ居リマスモノハ、是ハ殆ド計畫通り、計畫通りト申シマスノハ、農商當局ノ山林方面デ立テラレマシタル國家計畫ニ副ウタ所ノ需給量ニ基キマシテ輸送計畫ヲ立テ、殆ド百「パーセント」ノ輸送ヲ致シテ居ルノデアリマス、所ガソコニ非常ニ困難ナル問題ハ只今御指摘ニナリマシタ大キナ運送ニ到着致シマスルマデノ間、所謂奥地ヨリ木材ノ集積地、更ニ又集積地ヨリ驛ナリ港ニ到ル間ノ所謂小運送ナルモノガ非常ニ隘路トナツテ居リマス、是ハ申スマデモナク、例ヘバ「トラク」ノ數ノ足りナイ爲ニ要求ニ應ズル十

分ナ準備ガ出來ナイ、或ハ燃料ノ問題、或ハ只今御話モアリマシタガ「トラク」ト殆ド同ジ働キヲ致ス所ノ荷牛馬車ト云フモノノ統制ガマダ十分出來テ居ラヌト云フヤウナ色々ノ點カラ致シマシテ、此ノ點ガ木材搬出ノ最モ隘路トナツテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ輸送ノ當局ト致シマシテハ、海陸共ニ、所謂小運送ノ點ニ付キマシテハ色々ト方法ヲ講ジテ居リマスルガ、是ハ單ニ木材バカリデナシニ、總テノ重要物資ノ輸送ニ付キマシテ此ノ小運送ヲ増強致ス爲ニ、本月ニ入りマシテ閣議ノ決定モ出來タヤウナ次第デアリマシテ、此處デ詳シクハ申上ダマセヌガ、是ハ新聞ニ發表致シタ通りデ、アリマス、ソレ等ノ項目ニ副ヒマシテ最善ヲ致シタイト思ヒマス

尙ホ筏等ニ付キマシテハ、海上筏ニ付キマシテハ只今申シマセヌガ、川流シノ筏ニ付テハ農商當局ヨリ御話ガアラウト思ヒマスガ、陸上小運送ノ逼迫致シテ居ル見地カラ致シマシテ、運輸通信省ト致シマシテモ他ニ支障ノナイ限リニ於テハ、出來ルダケ川流シヲ今御話ノ散流等ノ方法ニ依リマシテヤツテ載キタイト思フノデアリマス、現ニ九州、北海道等ニ於テモソレヤツテ居ルノデアリマスガ、全體ノ川ヲ流シマセヌデモ、或ル地點、所謂道路等ノ完備シタ所マデデモ流シテ載キマスナラバ、其處ニ集荷地ヲ設ケマシテ、之ニ接續シテ小運送ノ連繫ヲ持ツ驛ナリ其ノ他ノ所ニ運ビタイト思フノデアリマス

要スルニ小運送關係ノ輸送機關ヲ他ノ方法ニ依ツテ出來ルダケ短縮スルト云フコトガ私共ノ期待致シテ居ル所デアリマス、隨ヒマシテ往々ニシテ鐵道ノ橋梁等ガ斯カル

筏流シニ依ツテ、御話ノ如ク其ノ兩岸ノ損害或ハ又「ビーヤ」ノ防護ナドガ必要デアラウト思ヒマスガ、是ハ勿論内務當局ニ於テモ御考慮ノコトデアラウト思ヒマスガ、鐵道當局ニ於テモ勿論御協力申上ゲタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○山崎國務大臣 木材ノ流送ト河川ノ關係デアリマスガ、松浦君ノ御意見ハ極メテ御尤モト存ジマス、十分一ツ内務省トモ連繫ヲ執リマシテ其ノ邊ニ遺憾ナイヤウニ努メタイト思ヒマス

○安藤國務大臣 流木ノ關係ニ付キマシテ河川ノ關係カラ御尋ネヲ受ケマシタ、昔カラ日本デハ流木ハヤツテ居ルノデアリマシテ、色々陸上ノ運輸交通ノ發展トカ、或ハ河川ノ中ニ新シイ施設ガ出來ルトカ、ソレゾレノ關係カラ少クナツタヤウニ思フノデアリマスガ、今日ノ輸送逼迫ノ場合河川ガ利用出來ルト云フコトナラバ、内務省トシマシテハ出來ルダケ利便ヲ與ヘテ使用ニ供シテ行キタイト思ヒマス、尤モ河川ニ依リマシテハ、地域ガ限ラレテ居ルコトハ當然ト思ヒマス、他ニ支障ノナイ限リ、利用、活用ニ應ジ、進ンデ協力シタイト思ヒマス

○松浦(周)委員 私人質問ハ是デ終リマス

○島田委員長 今井新造君——今井君ニ申上ゲテ置キマスガ、總理大臣ハ七時頃マデ居ラレマスガ、繰合セテ見エタノデ、其ノ頃カラ退席シタイト云フコトデアリマスカラ、成ルベク其ノ積リデ御質問ヲ願ヒマス

○今井(新)委員 戦ヒノ前途ガ愈々深刻苛烈ヲ極メマシテ、私共草莽ノ微臣ニ至ルマデ、如何ニシテ此ノ戰爭ヲ勝チ拔クベキカト云フコトニ付テハ日夜苦慮マカリアル次第デアリマス、況ンヤ此ノ重大ナル時局ニ

政務、軍務ヲ擔當セラレテ居リマスル首相初メ閣僚諸公ノ御心勞ニ付テハ拜察スルニ餘リアリマス、私共ハ其ノ御心勞御努力ニ對シテ滿腔ノ敬意ヲ表スルモノデアリマス、戰ヒニ勝チ抜ク要諦トシテ、戰フ國ノ姿ガドウアルベキカト云フコトニ付キマシテハ、私ハ何トシテモ必勝不敗態勢確立ノ中心タルベキ内閣ガ絕對ニ強力デアルト云フコトガ根本ノ條件ダト思ヒマス、而シテ此ノ強力ナル内閣ニ全國民ガ絕對ニ信賴シテ、飽クマデ困難ニ耐ヘテ戰ヒ抜ク軍官民一體、團結ノ精神力ト云フモノガ、私ハ戰ヒニ勝ツ國ノ姿デアリ、此ノ結束團結コソ根本ノ要諦デナケレバナラヌト信ズルモノデアリマス、翻ツテ戰ヒツ、アル我が國ノ姿ハ如何デアルカ、斯ウ云フコトヲ私共考ヘマス時ニ、強力ナル現東條内閣ヲ全國民ガ信賴シテ、軍官民一體ノ下ニ必勝目的ニ邁進シツ、アル、洵ニ心強イ限リデアリマス、然ルニ此ノ戰フ日本ノ強キ姿ヲ認識セズ敵「アメリカ」ハ如何ナル謀略宣傳ヲ我ニ對シテ試ミテ居ルカ、如何ナル手段ヲ以テ日本國內ノ銃後ノ足竝ミ、結束ヲ亂サントシテ居ルカト言ヒマス、是ハ首相御承知ノ通り、専ラ軍官民ノ離間ニ力ヲ注イデ居リマス、就中政府ニ對スル國民ノ信賴ヲ失ハシメル、政府ト國民ノ間ヲ離間セシメルヤウナ謀略宣傳ニ専ラ力ヲ注イデ居リマス、併シス様ナ謀略宣傳ト云フモノハ我々ヲシテ言ハシムルナラバ、寧ロ氣狂ヒジミタ沙汰デアツテ、斯様ナ愚カナル謀略宣傳ニ乗ゼラレル國民ハ一人モナイト私ハ信ジテ居リマス、寧ロ我々ヲシテ言ハシムルナラバ、「アメリカ」ノ國民コソ「ルーズヴェルト」政權、世界征覇ノ野望ノ爲ニ躍ラセラレテ、

人ヲ失ヒ、物ヲ失ヒ、拂ハナクトモ宜イ大キナ犠牲ヲ拂ツテ居ル、哀ムベキ「アメリカ」ノ國民デアルト私共ハ信ジテ居ル、「ルーズヴェルト」政權ハ此ノ戰ヒト云フモノハ日本ノ國民ガ戰ツテ居ルノデハナクテ、國民ハ日本ノ軍閥ニ引摺ラレテ戰ツテ居ルノダト云フヤウナコトヲ盛ニ宣傳致シテ居リマス、隨テ「アメリカ」トシテハ日本ノ國民ヲ敵トスルノデハナイ、東條ヲ敵トスルノダ、日本ノ國民ノ中ニ起チテ東條ヲ倒ス者ハナイカト云フガ如キ不埒極マル、噴飯ニ堪ヘザル宣傳ヲスラ致シテ居ル、畏クモ大詔ヲ奉戴シテ強力ナル東條内閣指導ノ下ニ全國民ガ一致結束、飽クマデ戰ヒニ勝チ抜カント鐵ノ如ク團結セル今日ノ此ノ日本ノ姿、彼等「アメリカ」人ニハ、是ガ解ラナイノデアル、力強キ精神力ノ團結ヲ有シテ居ル日本國民ニハ、一人ト雖モ、斯様ナ滑稽極マル、噴飯ニ堪ヘザル「アメリカ」ノ謀略ニ乗ゼラレル者ハ斷ジテナイト私ハ信ジマスカラ、是ハ敢テ意トスルニ足ラナイケレドモ、唯此ノ機會ニ總理大臣ニ敢テ申上ガテ置キタイコトハ、政府ト國民ヲ離間セシムル「アメリカ」ノ謀略宣傳ニ恰モ乗ゼラレタカト思ハレルガ如キ言論ヲ不都合千萬ニモ敢テナス者ガアル、ト申シマスノハ、議會ノ一部、議員ノ中ニ政府ニ反對スル者ガアル、東條總理大臣ニ對シテ反對スル者ガアルカノ如キ流言ヲ私共耳ニスル、私共國民ノ代表トシテ議會ニ列席致シテ居リマス以上、良心ト信念ニ依ツテ政府ニ對シテ聽クベキコトハ聽キ、質スベキコトハ質シ進言モスル、警告モスル、飽クマデ國民ノ代表トシテ自分ノ責任ヲ果シタイト云フ信念ノ下ニ行動致シテ居リマス、勿論是ハ議員

トシテノ當然ノ責務ガラウト思フケレドモ、左様ナ信念ト良心ヲ以テ議會ニ行動シテ居ル者ヲ、如何ニモ反東條、如何ニモ反政府デアルカノ如ク、何人カ政府ニ對シテ放送スル者ガアルラシク私共頻リニ耳ニスル、言語道斷、以テノ外ノコトデアリマス、斯カル言行ヲ敢テスル者アリトスレバ、斯様ナ言行コソ私ハ軍官民一體ノ結束ヲ破ル利敵行為デアルト思フ、私ハ此ノ機會ニハツキリ總理大臣ニ申上ガマスガ、全國民ハ強力ナル東條内閣ヲ絕對ニ支持シテ居リマス、私共ハ常ニ民間ニ於テ、錢湯ヘモ參リマス、大衆食堂ヘモ參リマス、何レノ所ヘ行ツテ民間ノ聲ヲ聞イテモ、私、面ト向ツテ斯様ナコトヲアナタニ申上ゲルコトハ如何カトモ思ヒ、嫌デモアルガ、アナタニ對スル國民ノ信賴ハ絕對デアリマス、八面六臂ト云フカ、千手觀音ト云フカ、東條サンハ實ニ偉イ人デアアル、戰フ國民ノ總理大臣ハア、云フハツキリシタ、テキ、バキシタ人デナケレバ困ルト皆言ツテ居リマス、我々議會人亦然リ、我々ハ政府ニ對シテ質スベキコトハ質シ、言フベキコトハ言ヒマス、併シナガラ政府ニ對シテ反對ノ意見ヲ持ツ者ガ議會ニ於テアルカト言ヘバ、一人ト雖モ左様ナ觀念ヲ以テ行動シテ居ル者ハナイト私ハ信ズル、申上ゲルマデモナク、國家ノ運命ヲ賭シテ戰ヒ抜キ勝チ抜カナケレバナラナイ所ノ重大ナル時局デアリマス、烈々タル愛國ノ信念ト責任感ヲ持ツテ居ラレルアナタニ對シテ、私ガ敢テ斯様ナコトヲ申上ゲルコトハ釋迦ニ說法ノ感ガアリマスケレドモ、時局ハ實ニ考ヘレバ考ヘル程重大デアリ、總理大臣ノ責任ハ愈々重大デアリマス、雜念ニ迷ハサレズ、シツカリ、ヤツテ戴キタイ、

私ガ敢テ此ノ言ヲ爲ス所以ノモノハ、支那事變發生以來御承知ノ通り歷代ノ日本ノ内閣ト云フモノハ無力弱體、私ヲシテ言ハシムレバ何レモ無責任ノ辭職ヲ敢テシタ、此ノ時局下政變ノアルト云フコトガ如何ニ國家ノ内外ニ重大ナル影響ヲ及ボスカト云フコトハ、是モ言フマデモナイコトデアリマス、ドウカ首相ハ、磐石不動山ノ如キ信念、勇猛不退轉ノ信念ヲ以テ此ノ戰爭ヲ勝チ抜ク爲ニ、飽マデ國民ヲ指導シテ、國民ノ先頭ニ立ツテ必勝目的ヲ達スルマデ御健闘アラントコトヲ切ニ希望シテ已マナイ次第デアリマス、此ノ機會ニ首相ノ御信念ヲ發表願ヘレバ幸甚デアリマス

○東條國務大臣 先ヅ私東條ト云フ個人ノ名前ガ出マシタノデ、其ノ點カラ申上ゲマスガ、私ハ總理大臣ノ重責ヲ擔ヒ、常ニ聖旨ノ存スル所ヲ拳々奉體シ、其輔弼ノ責任ヲ盡スコトニ常ニ焦慮シテ居ル次第デアリマス、而シテ御稜威ノ下ニ於キマシテ其ノ職責ノ完全ヲ盡シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、又全國民ノ忠誠ニ付キマシテハ固ク之ヲ信ジ、全幅ノ信賴ヲ其ノ國民ノ上ニ置キ、而シテ今日政務遂行ノ全局ニ當ツテ居ルノデアリマス、而シテ只今御指摘ノ如ク、此ノ重大ナル戰局下ニ於キマシテ國民ノ一致協力ノ實ヲ擧ゲル、又ソレガ戰爭遂行ノ上ニ於キマシテ、常ニ中心ヲ成ス絶對ノ必勝ノ要件デアルコトハ申スマデモナイ所デアリマシテ、茲ニ私ハ只今ノ御言葉ヲ通ジ、國民ノ其ノ盛リ上ル所ノ共同一致ノ態勢ニ付テノ御説ヲ承リ、私カニ意ヲ強ウスル次第デアリマス、而シテ今議員諸君ノ一部ニ付テト云フ御言葉ガアリマシタガ、私ハソレヲ信ジナイノデアリマス、ソレハ



畏クモ去ル十二月二十六日、開院式ノ當初ニ當リマシテ、皆様ト共ニ我々ハ明勅ヲ拜シタノデアリマス、此ノ中ニ於キマシテハ「宜シク億兆一心國家ノ總力ヲ擧ゲテ敵國ノ非望ヲ粉碎スヘシ」此ノ御言葉ヲ我々ハ拜シタ次第デアリマス、此ノ戦局下ニ於キマシテ協力一致、總テガ丸トナツテ、戦争ノ一點ニ集中スルト云フ點ニ付キマシテハ、各皆様方モ御同感デアラウト思フノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ、私ノミナラズ、皆様方モ大ナル覺悟ノ下ニ御行動ニナツテ居ルモノト私ハ信ジテ居リマス、隨ヒマシテ此ノ議員諸君ノ一部ト云フ前提ノ下ニ御觸レニナリマシタ點ハ、此ノ見地ニ於キマシテハ私ハ毫末モ疑ヒヲ持ツテ居ナイノデアリマス、唯ソコニ政府ノ政策ニ對シテ疑點ガアリ、或ハ意見ヲ異ニスルト云フ點ヲ御質シニナルト云フコトハ、議會ノ職掌トシテ當然デアリ、此ノ見地ニ於テデアラウト私ハ考ヘルノデアリマス、而シテ只今御説明ノ如ク、我が帝國ノ最モ強イ所、即チ國民ノ忠誠心、皇室ヲ中心トスル所ノ國民ノ忠誠心、是ハ私ノ施政演説ニ於テモ述ベマシタル如ク、敵ハ密カニソレヲ恐レテ居ルノデアリマス、此ノ根柢ヲ粉碎セント掛ルコトハ是ハ當然デアリマス、即チ皇室ト國民トヲ離間シ、軍ト國民トヲ離間スル、是ハ彼トシテ當然行フ所ノ謀略デアリ、又彼カラ言ヘバ戦争ノ一ツノ手段デアリマス、私ハ全國民此ノ點ニ付キマシテハ固キ信念ヲ以テ此ノ前ニ立ツテ居リ、而シテ又敵ノ斯クノ如キコトヲナスト云フコトモ、國民トシテハ十分承知シテ居ル筈ダト思ヒマス、隨ヒマシテ之ニ乗ルヤウナコトハ私ハ萬ナイモノト、國民ヲ信ジテ居リ

マス、併シナガラ政府ト致シマシテハ、常ニ敵ノ謀略ガサウ云フ方面ニ深く行ハレルト云フコトノ前提ノ下ニ、國民ヲシテ知ラズ識ラズノ間ニ誤ラシムルコトノナイヤウニト云フ點ニ付キマシテハ、萬全ヲ盡シテ參リタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○今井新委員 御答辯ヲ得マシテ首相ノ意ノアル所ヲ了承致シマシタ

次ニ伺ヒタイコトハ敵ノ非人道暴虐行爲ニ對スル報復手段ノ點デアリマス、此ノ點ニ付テハ先般當豫算總會ノ席上ニ於キマシテ、首相ヨリモ御答辯ガアツタノデアリマスガ、甚ダ遺憾デハアリマスルガ、首相ノ御答辯ニ對シテ、私ハ満足ノ意ヲ表スルコトガ出來ナイノデアリマス、私ガ申上ゲルマデモナク、戦ヒニ勝ツニハ戦ヒ其ノモノニ對シテ徹底的ニ敵國民ニ恐怖ノ觀念ヲ與ヘルコトガ一ツ、ソレト同時ニ自國民ノ敵ニ對スル敵愾心ヲ極度ニ昂揚セシメルト云フヨリ、盛リ上ツタ國民ノ敵愾心ニ應ズルヤウニ、政府ハ有

效適切ノ處置ヲ講ズベキダト思フノデアリマス、斯カル觀點ニ立ツテ、敵ノ非人道ノ行爲ヲ見マスル場合、殊ニ一再ナラズ度重ナル我が病院船ノ爆撃ニ對シテハ、全國民吶ヲ決シテ、三尺ノ童子ト雖モ切齒扼腕痛憤致シテ居リマス、然ルニ私ラシテ忌憚ナク言ハシメレバ、此ノ度々ノ敵ノ暴虐行爲ニ對シテ、今日マデ政府ノ御執リニナツタ御處置ト云フモノハ、餘リニ敵ニ對シテ寛大ニ失スルデハナイカ、通俗ノ言葉デ言フト、政府ノ處置ハ生緩イデハナイカ、斯ウ云フヤウニ私共ハ感ジテ居リマス、先頃首相ノ御答辯ニ依リマス、敵ニシテ尙ホ反省セザル場合ニハ我ニ於テ斷乎膺懲ノ鐵槌ヲ下ス用意ガアル、斯ウ云フヤウナ御話デアリ

マシタガ、然ラバ御尋ネ致シマスルガ、政府ハ「アメリカ」ガ反省スルト御考ヘニナツテ居ルカドウカ、又之ニ對シテ彼ガ反省スベク如何ナル有效適切ノ御處置ヲ政府ガ執ラレタカ、我々ノ見ル所ヲ以テスレバ、到底從來ノヤウナ政府ノ御處置ヲ以テシテハ、「アメリカ」ハ反省シナイ、「アメリカ」ノ「フイリピン」人ニ對スル

アノ暴虐極マルヤリ方、之ヲ考ヘテモ思ヒ半バニ過ギマス、彼等ハ我々日本國民ヲ見ルコト恐ラク平等ニハ見テ居リマセス、動物ト人間ノ間ニ位スルモノガ日本人デアリ

位ニ我々日本人ヲ劣等視シテ居ル、而モ此ノ戰ヒニ臨ンデ「ルーヴル」ハ日本ヲ地球カラ抹殺スルノダ、日本人ヲ皆殺シテシマフノダト云フヤウナコトヲ放言シテ居

ル、生易シイ警告ヲ致シテ反省ヲ求メタ所デ、左様ナ生易シイコトデ彼等ガ反省シテ、其ノ非人道的行爲ヲ改メルナシテ若シ政府ガ御考ヘニナツテ居ルナラバ、政府ハ敵ノ本體實質ヲ認識シテ居ラスノデハナイカトサ

ヘ私ハ思フ、政府ガ從來有效適切ノ御處置ヲ執ツテ戴イテ居ルナラバ、一回、二回、三回……十二回モ日本ノ病院船ガ爆撃サレ

ルヤウナコトハナカッタラウト私ハ思フ、要スルニ私ハ過去ノコトハ此處デ申シマセ

スガ、ア、云フ犠牲者ヲドウスレバ重ネテ出サナイデ済ムカ、ドウスレバ日本ノ病院

船ガ再び沈マセラレルヤウナコトガナクテ済ムカ、之ヲ能ク御考ヘニナツテ、之ニ對

シテ如何ナル處置ヲ御執リニナルカ、此ノ點ヲ御説明願ヒタイト思ヒマス

○東條國務大臣 御答ヘ致シマス、敵ノ、殊ニ米國ノ暴虐行爲ニ付キマシテハ、先般モ御話申上ゲマシタ通り、許スベカラザル

行爲デアリマス、又之ニ對シマシテ國民ガ切齒扼腕セラレルノハ御尤モト存ジマス、而シテ此ノ席上ニ於キマシテモ申上ゲマシ

タ通り、然ラバ之ニ對シテ帝國ハ如何ニスルノカ、一應ハ彼ニ反省ヲ求メルコトハ必要ナル處置ナリト私ハ認メルノデアリマス、凡ソ暴ニ報ユルニ暴ヲ以テスル、而シテ遂ニ世界ヲ擧ゲテ野獸ノ世界ニスルト云フコトハ帝國ノ欲セザル所デアリマス、併シナガラ暴ヲ以テ依然トシテ反省ヲシナケレバ

サウ云フ世界ニ陥ルト云フコトハ是レ亦已ムヲ得スト思ヒマス、併シ何處マデモサウ云フ野獸ノ世界ヲ作リ上ゲルコトハ帝國ノ眞意デハナイノデアリマス、凡ソ帝國ハ德ニ生

キル國デアリマス、皇軍ハ正ニシテ武デア

ル、武ニシテ而シテ仁デア

ル、是ガ我ガ皇軍ノ本體デア

ル、勿論ソコニ有效適切ナル所ノ手段ヲ講ジテ居リマスゴトハ御承知ノ

通りデアリマス、即チ外交的ニ必要ナル處置ハ此ノ際講ジテ居ル、而シテ依然トシテ

此ノ非人道的行爲、暴虐行爲ヲ改メザル場

合ニ於テハ、帝國トシテハ如何ナル措置ヲ執ルカト云フコトハ、是ハ作戰行爲ニ屬ス

ルコトデアリマスノデ、此ノ席上ニ於キマシテハ申上ゲ兼ねルコトデアリマス

○今井(新)委員 委員長、時間モ迫リマシタガアト一點御許シテ願ヒマス——網紀ノ

肅正、吏道ノ刷新ト云フコトニ付テハ、總理大臣特ニ御留意願ヒマシテ、先般全國ノ官吏ニ向ツテ切々ト御訓示ヲ戴キマシタコ

トニ付キマシテハ、私共國民ノ首相ノ誠意ニ對シテ感謝致シテ居ル所デアリマス、官

界ノ振肅、吏道ノ刷新ト云フコトハ多年ノ問題デアリマシテ、首相ノ之ニ對スル御努

力ニ對シテハ、私共飽クマデ敬意ヲ表シマ

シ

スケレドモ、然ラバ之ニ依ツテ官界多年ノ積弊ガ一掃セラレ、吏道ガ刷新サレルカト申シマス、到底一朝一夕デハ實績ハ擧ラナイト思ヒマス、此ノ點ニ付テハ凡ユル點カラ尙ホ不斷ノ御考究ヲ願ヒマシテ、今後官界ノ肅正ガ厲行サレ、吏道ノ刷新サレルヤウニ尙ホ萬全ノ御配慮ヲ願ヒタイ、私ハ幾多ノ事例モ承知致シテ居リマスガ、是ハ言フベキ限りデナイカラ差控ヘマスガ、役人ガ國法ヲ犯シテ法網ニ掛ルト云フコトハ論外ト致シマシテ、法ニ掛ラナイ範圍ニ於テモ、修養ノ足りナイ結果、第一線ニアツテ民衆ニ接スル役人ガ、民衆ニ對シテ不親切デアル、無責任デアル、横柄デアルト云フヤウナ、サウ云フ態度カラドノ位國民ノ氣持ヲ暗クシテ居ツタカ、又國民ノ忠誠心ヲ曇ラシテ居ツタカト云フコトハ、事實枚舉ニ違ガナイ程實例ガアルノデアリマス、今後ドウカ是等ノ點ニ付テハ、只今申上ゲマシタヤウニ十分御取締リヲ願ツテ、法ヲ犯ス者ハ勿論、然ラザル者モ、苟モ吏道ニ背反スルガ如キ者ニ對シテハ十分御訓戒ヲ願ヒタイト同時ニ、私ハ一面政府ガ秋霜烈日ノ態度ヲ持ツテ、全官吏ニ對シテ取締リヲ厲行スル、ト同時ニ現在ノ社會情勢カラ考ヘマシテ、ドウシテモ一般下級官吏ノ優遇ト云フコトニ付テハ、温カイ親心ヲ以テ見テヤラナケレバナラヌノデハナイカ、斯ウ考ヘマス、此ノ點ニ付テハ先程江口サンカラ内務大臣ニ御話モゴザイマシタガ、私ハ現在ノ情勢ニ於テ、何トシテモ下級官吏ノ待遇ハモツト優遇シテ、生活ニ安定ヲ與ヘル、勿論戰時特別手當デアルトカ、家族手當ト云フヤウナモノニ依ツテ、從前ニ比スレバ確カニ其ノ收入モ

殖エテ居リマス、殖エテハ居リマススケレドモ、物價ノ騰貴——低物價ト云ツテモ、實際ハ高イノデスカラ、物價ノ騰貴其ノ他社會ノ狀態カラシテ、下級官吏ノ生活ガ苦シイ、貧スレバ鈍ス、窮スレバ亂ルト俗ニ申シマススケレドモ、兎ニ角生活ガ苦シナルト心ガ亂レル、心ガ亂レ、バ所謂凡夫ノ凡情デ行ヒモ亂レテ來ル、苦シクナレバ自然犯サナクテモ宜イヤウナ犯罪モ犯サウニナルノデアリマス、心ガ焦ラ——シテ居レバ、民衆ニ接スル場合勢ヒ言葉遣ヒモ、態度モトゲトゲシクナルト云フコトニ依ツテ國民ノ氣持ヲ暗クスル、財政多端ノ折カラ、政府トシテモ一般官吏ノ俸給ヲ上ゲルトカ、手當ヲ増スト云フコトニ付テハ非常ニ財政上苦シイコトモ、我々了承致シマススケレドモ、サウ云フヤウナ金ハドレダケ使ツテモ國家ノ爲ニ活キル金デアル、差上ゲルモノハ十分差上ゲル、働イテ貰フ所ハウント働イテ貰フ、役人ノ生活ヲ安定セシメ、國民ニ對シテハ親切ニ誠實ニ……斯ウ云フヤウナコトニシナイト、私ハ官民ト云フモノガピツタリシナイト考ヘル、此ノ點ガ一ツ、モウ一ツ一般下級官吏ノ待遇ヲ改善スルコト云フコトガ必要デアル、ト同時ニ私ハ官民一體ノ實ヲ舉ゲル立場カラ見マシテモ、多年是ハ問題ニナツテ居ルコトデアリマスルガ、高級官吏ノ退職者ニシテ莫大ノ別途收入ヲ有シテ、生活ニ何等不安ノナイ人ニ對スル恩給ノ支給ハ、恩給ノ根本精神カラ考ヘマシテ、此ノ際戰時立法ヲ以テ、セメテ戰時勝抜中間ダケデモ停止スルコト云フコトガ、私ハ適當ノ御處置デハナイカト考ヘマス、是ハ言フマデモアリマセヌガ、今戰ニ勝テ拔ケ爲ニハ、第一線ノ將兵ハ總テヲ皇國ニ捧ゲテ命ヲ懸ケ

テ戰ツテ居ラレル、銃後ノ臣民亦然リ、戰ニ勝ツ爲ニハ、皆素裸ニナツテ居ル、祖先傳來ノ家業ヲ捨テ、産業戰士ニナツテ働イテ居ル、殊ニ私共ノ感激ニ堪ヘナイノハ、勳章モ考ヘナイ、恩給モ考ヘナイ、榮譽モ、立身出世モ考ヘナイデ、十七、八ノ少年ガ、明日ニモ死ヌコトヲ覺悟シテ皆飛行兵トシテ戰線ニ立ツテ居リマス、是ハ餘談デアリマスガ、私ノ知ツテ居ル者ガ汽車ヘ乗ツタ所ガ七、八人ノ少年航空兵ガ同ジ所ニ乗ツテ居ツタ、葡萄酒ヲ持ツテ居ツタカラ「之ヲ食ベタラドウデスカ」ト言ツテヤツタ所ガ、非常ニ喜ンデ食ベタ、ソコデ私ノ知ツテ居ル者ガ激勵スル意味デ、「諸君モ兵隊ニナル以上ハ、セメテ閣下ト呼バレル位マデハ一ツ頭張ツテ出世シ給ヘ」ト言ツテ激勵シタ所ガ葡萄酒ヲ嬉シガツテ食ツテ居ツタ子供達ガ、啞然トシテ私ノ友人ノ顔ヲ見タ、默シテ答ヘナイ、ソコデ「何デ君達ハ默ツテ居ルノカ」ト言ツタ所ガ、側ニ居ツタ一人ノ少年航空兵ハ曰ク、「小父サンハ私達ヲ激勵スル意味デ少將位ニハナレト言ツテ下サルノデセウケレドモ、私達ハ少將ハオロカ、少尉ハオロカ、來年カ再來年ハ皆死ンデシマフノデス」ト言ツタサウデス、其ノ話ヲ聽イタ時ニ、私ノ友人ハア、サウカ、此ノ子供達ノ氣持ハサウダツタカト云ツテ本當ニ感激シタサウデアリマス、老モ若キモ男モ女モ全國民ハ戰ニ立ツテ居リマス、全部ガサウ云フ氣持デ戰フ爲ニ盡シテ居ル、サウ云フコトヲ、考ヘマシテモ、何等生活ニ不安ノナイ退職官吏ハ、戰爭最中、日本精神ガアルナラバ道義の觀念カラシテモ、進ンデ恩給ハ御辭退スベキガ至當デハナイカト私ハ思フ、人様ノ收入ニナルモノヲ取ルナナント云フコ

トヲ言フノハ、言フ私モ厭デスシ、聽ク方モサウ云フコトヲ御聽キニナルコトハ餘リ快クモナイデセウガ、國民ヲ指導スル高級官吏ノヤウナ方ガ、自ラ率先範ヲ示シテ、自分達モ取ルモノハ取ラナイ、君達モ一ツ素裸ニナツテヤツテ呉レト云ツテ、實踐躬行ノ御手本ヲ示シテ初メテ官民一致ノ實ヲ舉リ、民意ガ昂揚スルノデハナイカ、斯ウ私ハ思フ、是モ餘談デアリマスガ、我々モ汽車ニ只乗ル乘車券ヲ戴イテ居ル、從來ノ習慣デハアリマススケレドモ、議會ノ時ナド別ニ旅費ト云フモノヲ戴イテ居リマス、我々今度ハ御辭退シマス、額ハ小サイケレドモ、我々モ御辭退致シマス、非常ノ時ハ、頭モ非常時ニ切り替ヘルコトガ肝腎デス、ヤリニクイコトダケレドモ、恩給令ヲ此ノ際斷平トシテ改正ナサルコトガ私ハ國家ノ爲ニ必要デヤナイカト思フ、私ノ考ヘガ間違ツテ居リマスルナラバ、御教ヘヨ乞ヒタイデアリマスルガ、ドウカ此ノ點ニ付テ切ニ一ツ御考慮ヲ煩ハシタイ

○東條國務大臣 官吏ノ決戰化、是ハ先般施設演説デモ申上ゲマシタ通り、萬般施策ノ根本的前提ヲ成スモノデアリ、而シテ官吏ノ服務ノ態度如何ガ官民ノ士氣ニ反映シ、又國民ノ活動ヲ左右スルモノデアル、斯ウ考ヘルノデアリマス、而シテ今回戰時官吏服務令ノ御制定ヲ見マシタルコトモ、其ノ御聖旨ノ程ヲ拜察シマシテ、洵ニ我々ハ恐懼感激致シテ居ル次第デアリマス、勿論此ノ戰時官吏服務令ハ、惡イ者アルガ故ニ制定セラレタト云フ意味デハナイノデアリマシテ、即チ私ハ官吏全體カラ申シマスレバ、今御指摘ノヤウナ部分ハ一小部分デアラウト思ヒマス、大體ノ官吏ハ至誠ニ燃

エ、熱意ニ燃エテ、盡忠報國ノ誠ヲ盡シテ居ルモノト考フルノデアリマス、併シナガラ今申シマシタ如ク、官吏ノ決戦化、而シテ官吏ノ決戦化ニ伴ヒマスル所ノ其ノ執務ノ決戦化ト云フコトハ、國民ノ志氣ニ直チニ反映シ、其ノ活動ヲ左右スルモノデアリガ故ニ、茲ニ戰時特ニ官吏服務令ノ御制定ガアツタモノト拜察スルノデアリマス、我ハ十分此ノ御聖旨ノ程ヲ體シ、之ヲ拳々服膺シテ、行政ノ全部面ノ上ニ十分具現ヲシテ參ル所ノ重大ナ責務ガアルト了解スルノデアリマス、又各官吏モ其ノ覺悟ヲ新タニシタモノト考フルノデアリマス、之ニ關

タイ、最後ニ御述ベニナリマシタ所ノ高級恩給受給ノ停止ノコトニ付キマシテハ、御意見ノ存スル所ハ十分參考トシテ參リタイ、而シテ將來ノ施策モ講ジテ參リタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

#### ○今井新委員

農商大臣ニ一ツ御伺ヒ致シタイと思ヒマス、現在木炭ノ生産配給ハドウ云フ事情ニナツテ居リマスカ、私が申上

我ハ十分此ノ御聖旨ノ程ヲ體シ、之ヲ拳々服膺シテ、行政ノ全部面ノ上ニ十分具現ヲシテ參ル所ノ重大ナ責務ガアルト了解スルノデアリマス、又各官吏モ其ノ覺悟ヲ新タニシタモノト考フルノデアリマス、之ニ關聯ヲ致シマシテ、只今御述ベニナリマシタ下級官吏ノ待遇改善、戰時下日ニノ増加致シマスル所ノ、又複雑ナル所ノ各種ノ業務ガ今日少數ナル人員ヲ以テ處理シツ、アル官吏、特ニ直接國民ニ接スル所ノ御勞苦ニ對シマシテハ私ハ心カラ常ニ感謝致シテ居ルモノデアリマス、其ノ激烈ナル所ノ勤務ノ現狀ニモ鑑ミ、又戰時生活ノ各方面ノ困難ノ實情モ考ヘマシテ、此ノ上トモ所要ノ處置ハ必要ニ應ジテハ講ジテ參リタイ、斯ウ考ヘテ居リマス、唯茲ニ申上ゲタイコトハ、官吏ト致シマシテ、勿論政府ト致シマシテハ、親心トシテ常ニ其ノ狀態ヲ考ヘ、之ニ應ズル所ノ適切ナル處置ヲ講ズルコトハ是ハ當然デアリマス、又官吏ノ自體ト致シマシテハ、又別ノ考ヘガナケレバナラスト思ヒマス、即チ只今御話ニナリマシタ如ク、貧乏ニシテ困ルノ困ルノデアリマス、清貧ニ安ズル所ノ、又官吏トシテノ他面ノ心掛ハ必要グラウト思ヒマス、又我々ガ官吏ヲ指導スル上ニ於キマシテモ、サウ云フ氣持ヲ持つテ指導シテ參リ

タル、此ノ炭ト云フモノハ原料ガナイノカト云ヒマス、原料ハ十分アル、ナゼ炭ガコンナニナクテ困ツテ居ルノカト云フ、私共ノ方ハ山林國デアリマシテ、地方ノ事情モ幾分存ジテ居リマスガ、如何ニモ炭ノ値段ガ安イノデス、一俵二圓ナドト云フコトデハ到底引合ハナイ、率直ニ言ヘバ引合ハナイカラ作ラナイ、炭ノ値段上ゲテヤレバモツトノ作ル、一俵二圓ノ炭ヲ一俵三圓ニシテモ、四圓ニシテモ、大シテ其ノ炭ノ値上ニ依ツテ國民ノ生活ヲ脅威スルトモ私ニハ思ハレナイ、サウ云フ點カラ炭ノ値段ヲ適當ニ値上ラシテ、モツト澤山生産ヲシテ國民ニ寒イ思ヒヲサセナイヤウニシテ戴キタイガ、如何デスカ

○山崎國務大臣 薪炭ノ問題ガ殊ニ大消費地ノ生活上非常ニ重要ナモノデアルコトハ申スマデモナイコトデアリマス、細カイ需給ノ狀況ハ省イテ置キマスガ、是ハ配給機構云々ト云フ御言葉モアリマシタケレドモ、必ズシモサウ云フ所ニ原因シテ居ルモノトハ思ハヌノデアリマス、一方ニ於テハ勞務ノ關係デアルトカ、輸送ノ關係デアルトカ、殊ニ本年ハ薪炭ノ大生産地デアル例ヘバ島根縣或ハ宮崎縣ト云フ方面ニ御承知ノヤウナ不時ノ非常ナ大キナ災害ガアリマシタ、又東北方面ニモ出水等ノ爲ニ炭窯ガ壞ハレルト云フヤウナ所モアリマシタ、左様ナコトモ大キナ原因ニナツテ居ルノデアリマス、併シナガラ薪炭ノ生産ヲ高メテ行ク爲ニハ必要ナル施策ヲ執ラナケレバナラスコトハ十分考ヘテ居ル次第デアリマス、只今御述ベニナリマシタヤウナ點ニ付キマシテモ十分ノ考慮ヲ加ヘテ參ル積リデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○今井新委員 アト一點御伺ヒ致シマス、ソレハ供出米ノ代金ノ問題デアリマスガ、軍需會社ニ對シテ前渡金ヲヤツテ居リマスコトモ承知致シテ居リマスガ、私ハ農民ニ對シテ供出米ノ前渡金ヲヤレト云フヤウナコトハ申シマセスガ、セメテ供出シタ米ノ代金ハ引替ニヤツテ貰ヒタイ、私共ノ方ノ農民ノ話ヲ聽キマシテモ、米ハ供出スルガ、代金ハ直グ戴ケナイ、年末ニ際シテ金ガ要ル、産業組合カラ利息ノ付ク金ヲ借りテ、ソレヲ使ツテ居ル、斯ウ云フコトヲ現ニ聞キマス、私ハ何ト考ヘテモサウ云フ馬鹿ナコトハ今度改メテ戴キタイ、出シタ以上ハ農業會ガ代拂ヒヲスルナリシテ直チニ農民ノ懐ロニ代金ガ入ルヤウニシテ戴キタイ、斯ウ云フ希望デアリマスガ、如何デアリマスカ

○山崎國務大臣 其ノ點ハ從來カラモ相當注意サレテ居ルノデアリマス、今日ハ非常ニ改善サレテ居ルト信ズルノデアリマスガ、若シ私共ノ承知セザル地方デ御話ノヤウナコトガアリマスレバ、ソレハ相當又注意ヲ促スコトニ致シマス

○今井(新)委員 私ノ質問ハ是デ終リマス

○島田委員長 小笠原三九郎君

○小笠原(三)委員 私ハ金融問題ニ付テハ、三大藏大臣ノ御意見ヲ伺ヒタイと思フモノデアリマス、大東亞戰爭以來、急激ニ膨脹、増大ヲシテ參ツタ財政資金及ビ生産擴充資金ノ需要ニ應ジマシテ、一方ニソレ等巨額ニ上ル資金ヲ支障ナク、賄ハレ、他方ニ所謂惡性「インフレーション」ヲ起スコトナク、金融市場ガ極メテ平靜ノ裡ニ推移シツツ今日儼トシテ全經濟秩序ガ保持サレテ居ルコトニ付キマシテハ、全ク大藏大臣ノ御苦心、御努力ノ然ラシムル所ト深ク感謝ニ堪ヘヌ次第デアリマス、併シナガラ本年ハ純計五百億圓ニ餘ル前古未曾有ノ龐大ナル豫算ガ計上セラレ、又航空機ヲ中心トスル軍需資材ノ劃期的増産ノ要請モアリマシテ、産業資金ノ方面モ相當巨額ニ上ルコトハ想像ニ難クアリマセス、而モ本年コソハ必勝ノ基礎確立ノ年デアリマスルカラ、凡ソル施策ガ一方ニ於テ決戦必勝ヲ目途トスル戰力増強ノ一點ニ集中セラルベキコトハ固ヨリデアリマスト共ニ、之ニ伴ヒマシテ浮動購買力ノ發生ヲ防止シ、「インフレーション」防衛體制ヲ鞏固ニスル國內戰線ヲ強化スルコトガ喫緊ノ要務デアルト考ヘルノデアリマス、仍テ先ヅ第一ニ政府ハ是ガ對策如何

ト云フコトヲ御伺ヒ申上ゲタイノデアリマス

○賀屋國務大臣 只今ノ御質問ノ御趣旨ハ、別ノ方カラ申シマスレバ、資金ト物資、勞力等ノ調和ト云フコトニモ相成ルト存ズルノデアリマス、此ノ調和ヲ圖リマシテ、動モスレバ資金ノミ殖ヤシテ行クト云フ弊ニ陥リ易イコトヲ避ケルト云フコトガ極メテ肝要デアリマス、一面ニハ軍需會社ニ對シマスル金融新方策ノ如ク、極メテ適切敏活ニ資金ヲ供給シマスル面ト共ニ、資金ノ過剰ニナルノニ付テ嚴正ナル注意ヲシテ參リマス必要ガアリマス、特ニ豫算ノ數字モ五百億圓ヲ突破致シマシタ今日極メテ必要ナノデアリマス、第一ハ政府豫算ノ使用ニ付キマシテ、先ヅ俗ニ申シマスレバ、兎角豫算ガ多クナツテ氣ガ大キクナル、之ヲ防イデ、極メテ適切ナル效率ナル使用ヲ致スト云フコトニ留意致シテ參ルノガ第一點デアリマス、第二點ハ、納税及ビ貯蓄ヲ豫定ノ計畫ノ如ク完遂ヲ致シマシテ、資金計畫全體ガ適切ニ行ハレマスル一番ノ大本ト申シマスカ、重大ナル點ニ付キマシテ、凡ユル努力ヲ凝ラシマシテ、國民ノ熱心ナル努力ガ實ヲ結ビマスヤウニ努メタイト存ジテ居リマス、第三點ハ、資金ノ國家的使用面ノ中ノ國家自ラノ使用以外ノ産業方面ノ使用面デアリマス、之ニ付キマシテハ兎角物ガ大切デアルト云フ支那事變以來ノ良イ認識ガ、場合ニ依リマシテ履キ違ヘラレテ居ル點ガアルノデアリマス、金ガアレバ何デモ買ヘルト思フ時代ハ、輸入ハ思フヤウニ出來ル、生産力ハ餘ツテ居ル、金ガアレバソコニ生産ガ生レ、輸入ガアリマシタ、今日ハ全ク違ツタ時代ニナリマシテ、物ノ重要ナルコトハ

勿論デアリマスガ、金ハドウデモ宜イト云フ、此ノ點ニ付キマシテ私ハ全ク未ダ認識ノ徹底セザル方面ニ、極ク要點ヲ申セバ、一ツノ新ナル認識ヲ持ツテ貰ヒタイト思フノデアリマス、其ノ一點ハ、採算ニ構ハズ、金ナドハドウニデモナルト云フ考ヘノ内容ヲ正確ニ把握シテ貰ヒタイノデアリマス、平時ト違ヒマシテ採算ニ拘泥スル必要ハアリマセヌ、石炭デモ假令山元「トシ」百圓ノ生産費ガ掛リマシテモ、之ヲ國家的ニ掘ル必要ガ認メラレルト云フモノハ掘ルベキデアル、其ノ意味ニ於キマシテ各種ノ對策ガ講ゼラレ、十分ニヤリ繰ルノデアリマス、但シ採算ハ構ハヌト云フガ、十圓デ出來ルモノヲ十一圓、十二圓、十三圓、十五圓デヤツテモ構ハヌノダト云フ意味ニ取リマシタナラバ、是レ實ニ戰時下最モ貴重ナル資材、勞力、動力ヲ無効ニ消費スルモノデアリマス、戦力ノ増強上浪費是ヨリ大ナルモノハナイノデアリマス、採算ニ構ハナイト云フ意味、其ノ中ニ包藏スル意味ニ付テ履違ヘナイヤウニ産業人ニ考ヘテ貰フコトガ必要デアリマス、是ハ傍カラ何ト申シマシテモ、本人ガ自覺シナケレバ思フヤウニ行カナイノデアリマス、此ノ點ニ付テ十分ニ認識ノ徹底ヲ望ムモノデアリマス、尙ホ資金ノ效率使用ニ付キマシテハ、生産方面ニ於キマシテモ、數年後ノ生産モ必要デアリマスガ、今直グ役ニ立ツ生産ガ必要デアル、此ノ自覺ニ徹シテ貰フコトガ——無用トハ申シマセヌデモ、現在トシテハ寢タモノデアリ、寢カシタモノデアル、金ヤ有テナ惜シイ鐵材ヤ木材ガ皆寢テシマフヤウナ所謂餘リニ遠イ生産擴充ニ付テハ十分戒心ヲシテ貰ヒタイ、是ハ同時ニ只今トシテ

ハ此ノ重要ナルモノハ一ニ政府ノ處理如何ニ掛ルノデアリマスカラ、政府自體ニ於テ十分ニ此ノ點ニ戒心シテ參リタイ思ツテ居リマス、使用面ト蓄積面、此ノ二ツニ十分ナル努力ヲ致シマシテ、今年モ昨年ヨリ以上ニ物資、資金ノ調和ヲ圖ツテ參リタイ思ツテ居リマス

○小笠原(三)委員 只今大藏大臣ノ仰セラレタコトハ洵ニ御尤モデアリマシテ、此ノ使用面及ビ蓄積面ニ付テ是非トモ今ノ御考ヘテ強力ニヤツテ戴キタイと思フノデアリマスガ、貯蓄ノコトハ後カラ更ニ御尋ネ申上ゲマスケレドモ、一方今第二ニ御話ニナツタ納税ノ方面、是ハ勿論浮動購買力ヲ奪フノニハ相當ナ效果ガアリマスガ、是ハ何ト云ツテモ知レタモノデアリマス、而モドウカスルト、増税見越シデ、變態的デハアリマセウガ、一種ノ「インフレ」スラ起ル場合ガアルカラ、ドウシテモ貯蓄ノ方面ト今仰セラレタ使用ノ方面ニ非常ナ御努力ヲ願ハナケレバナラヌと思フガ、ソコデ一ツ御尋ネシタイノハ、昨年ノ公債ノ消化ハ大體九割五分ト云フ非常ナ好成绩ヲ擧ゲテ居ルノデアリマシテ、日銀手持公債ヲ見マシテモ、年末ハ十六億位殖エタダケデアリマス、所ガ一方銀行券ノ方ハドウカト云フト、百億ヲ超シテ居ツテ、實ニ三十億カラノ發行増加ヲ示シテ居ル事實デアリマス、是ガ原因ニ付テハ當局デハドウ云フヤウニ御覽ニナツテ居ルカ分リマセヌガ、私ノ考ヘニ依レバ、主トシテ民間銀行ヘノ貸出増加、更ニ言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、産業資金ノ増大ニ原因シテ居ルモノト考ヘルノデアリマス、勿論日本ノ財政、經濟ノ規模ノ擴大シテ居ル今日、又現金取引ガ相當増加シテ居ル事

情等モ勘案スレバ、此ノ程度ノ通貨流通量ハ敢テ憂フルニ足ルモノトハ申ス譯デハアリマセヌガ、併シソレハ國家資金計畫ニ於テ、斯ウ云フ風ニ公債ノ消化ガ九割五分ト云フ成績ヲ擧ゲテ居ルニモ拘ラズ、通貨ノ方面デ三十億圓カラノ増加ヲ來シテ居ルコトハ、國家資金計畫ノ御見積リヲナサツタ際ニ、産業資金ガ多少低ク見テアツタ結果デハナイカト思フノデアリマス、ソコデ私ハ昨年既ニ然リデアルカラ、此ノ點カラ見テ、昨日御發表ニナツタ前年通り産業資金六十億ト云フノヲ、モウ一度再檢討ヲ御願ヒスル方ガ宜イノデハナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、此ノ點ニ付テ藏相ノ腹藏ナキ御意見ヲ承リタイト存ジマス

○賀屋國務大臣 昨年末通貨ガ相當量増加致シマシタコトハ、只今御話ノ通りデゴザイマス、其ノ原因ト致シマシテハ、一昨年ハ國家豫算ノ規模ガ二百四十億デゴザイマシタノガ、昨年ハ三百六十億ト一躍五割ヲ増シテ居ルノデアリマス、是ハ即チ軍需産業、間接ノ軍需産業、之ヲ中心トスル經濟活動ノ部面ノ量ノ大増加ガアリマスノデ、ソレガ主タル原因デアツタコトハ勿論デゴザイマスガ、其ノ他物資配給ノ機構及ビ運用等ガ變リマシテ、多クノモノガ現金取引ニ變リ、又法人、個人ノ方面ニ於キマシテモ、何カノ際ノコトヲ考ヘテ、所謂現金ヲ持ツテ居ルト云フノモ相當殖エテ居ルト思ヒマス、是等ガ主要ナル原因デアルト思フノデアリマスガ、一面御話ノ如ク、所謂産業資金ガ當初ノ國家資金計畫ヨリ多クナツテ居ルコトモ事實デアリマスガ、尤モ産業資金ト申シマシテモ色々形式上ノ變リガアリマシテ、社債ガ株ノ拂込ニ變ルトカ、或

ハ合併ニナルトカ、色々ナモノガアリマシテ、實質上ノ増加ニ屬シナイモノガアリマスガ、當初ノ計畫ヨリモ多クナツタコトモ當然デアリマス、此ノ點注意シテ參ラナケレバナリマセヌノハ、先日本委員會ニ於キマシテ或ル御質問ニ對シマシテ、岸國務大臣ヨリ答辯ガアリマシタガ、所謂發注ノ一元化ヲ致シマス場合ニ、從來ノ發注ガ數年先マデノ機械ヤ色々ナモノマデ注文シテ居ル、是等ハ其ノモノカラ見レバ無論必要性ガアルガ、機械製造ノ工場能力ニシマシテモ、原料ノ供給能力ニシマシテモ、一定ノ限度ガアル譯デアリマス、ソレガ今戰力増強ニ必要ナルモノノ生産供給ヲ阻碍シテマデソレヲヤラナケレバナラヌモノカト云フコトハ、非常ナ問題デアリマス、ソコデ所謂全體ノ必要性ヨリノ勘案カラ、發注ノ一元化ト云フコトガ行ハレル譯デアリマス、ソコデ古イ發注ヲ調ベマシテ、後廻シニスルモノハ後廻シニスル、斯フ云フコトヲ實行スルト云フ意味ノ御答辯ガアリマシタガ、昭和十九年度アタリデハ是ハ極メテ必要デアリマス、生産力ノ擴充、是ハ非常ニ結構デアリマス、是ハ文字通り生産力ノ擴充デアリマス、將來ノ生産力擴充デアリマス、將來ノ生産力爲ニ今設備ヲスル爲ニ工場ニ資材ヲ運ビ、石炭ヲ使ヒ、電氣ヲ使ヒ、勞務者ヲ使フ、其ノ會社ノ首腦部ハ何シロ金ヲ掛ケテ、將來ノ爲ニヤルノデアリマスカテ今ノ生産ノ爲ヨリモ、將來ノ生産力ノ爲ノ設備ニ最モ頭ヲ使フ、東京ヘ地方ノ會社ノ重役ヤ幹部級ガ餘計ナルノハ其ノ用ガ多イカラデアリマス、今ノ生産ヲ如何ニシテ効率ヲ擧グルカ、如何ニシテ資材、勞力少クシテ、詰リ同ジ資材勞力デ餘計生産スル

カ、此ノ方ノ頭ガオ留守ニナル傾向ガアル狀態デアリマス、是ハ聊カ話ガ卑近ニナリマスガ、一億ノ會社ノ社長ヨリモ二億ノ會社ノ社長ノ方ガ宜イニ違ヒナイ、ソレハ將來モ必要ナ色々ナ生産ノ爲ノ設備アルカラ、ソレニ要スル資金ガナイトスレバ、ドウシテモ要ル資金ナラバ事實上國家ガ保障スル其ノ工場ガ出來テ、出來上ル品物ハドウシテモ買ツテ貰ヘルノダト云フコトニナリマスト、言葉ハ稍、強イカモ知レマセヌガ、ソレガ所謂擴張病ト云フモノニ取付カレルト云フコトモアルト云フ御話デアリマス、將來ノコトモ無論考ヘナケレバナリマセヌ、大切デアリマスガ、今決戰デアアル、今飛行機ガ要ル、今船ガ要ル、今彈ガ要ル、ソコデ生産力擴充ト云フコトニ對シテ、餘程再檢討ガ要ルト思ヒマス、是等ノ見地カラ、御示シニナツタヤウナ、昨年ノ生産力擴充資金ガ計畫ヨリ餘計要ツタト云フ事實モ考ヘナガラ 尙且ツアノ數字ニ致シマシタノモ、餘程其ノ邊ノ考慮ガ入ツテ居ルノデゴザイマス

○小笠原(三)委員 今ノ點ヲ承リマシテ洵ニ御尤モニハ思ヒマスガ、若シ生産資金ノ方ガ少ナク見テアリマスト、昨年ノ年末ニ見マシタヤウニ、一方デ大藏當局ハ大重デ公債消化ニ非常ニ御努力ニナルケレドモ、片方ニハ其ノ公債ヲ擔保ニシテ生産資金ヲ貸出サナケレバナラヌト云フコトニナリマスレバ、結局公債ヲ消化シツ、言葉ハ惡イカモ知レマセヌガ、公債不消化ノ實ヲ來シテ通貨ノ膨脹ヲ阻止シ得ナイト云フコトニナツテ來ルノデアリマス、私ハ此ノ點カラ、日本銀行ノ現在ノ公債擔保貸出ノ日歩ハ九厘ト思ヒマスガ、是ハ少シ安イノデハ

ナイカ、モウ少シコ、ハ考ヘナケレバナラヌノデハナイカト云フ風ナ感じガスルノデアリマス、ソレデ私ハ之ニ付テ、政府ハドウ云フ風ニ御考ヘニナツテ居ルカ御伺ヒ致シタイノデアリマス、ナゼ私ガソレヲ御尋ネスルカト云フト、是ハモウ一ツ貯蓄増強ノ面カラ見テ理由ガアルノデアリマス、大藏大臣ハ能ク御承知ニナツテ居ル通り、此ノ頃普通銀行ノ預金増加ノ趨勢ト云フモノハ遙カニ貸出増加ノ割合ニ及バナイモノガアルノデアリマス、更ニ言葉ヲ換ヘテ言ヒマスト、各銀行ニ於テハ預金吸收ニ對スル積極的ナ熱意ヲ缺クモノガアル、斯ウ云フ風ニ私共ニハ感ゼラレルカラデアリマス、最近銀行ノ考課狀ナドヲ見マスト、收益ノ増加ハ頗ル顯著ナモノガゴザイマス、私ハ普通銀行トシテ今一段ト預金吸收ニ銳意努力セシムルコトガ、貯蓄政策カラ見テモ極メテ必要ナコトデアルト考ヘマスノデ、只今申上ゲタ日銀ノ貸出制度ニ付テ、今ハ少シ御考ヘニナルベキ時期デヤナイカ、更ニ言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、再檢討ヲ要スルノデハナイカト考ヘマスガ、之ニ付テ政府ノ御所見ハ如何デアリマセウカ

○賀屋國務大臣 近來普通銀行ノ預金増加ノ趨勢ハ比較的鈍イノデアリマス、無論巨額ノ増加ハ致シテ居リマスガ、増加ノ趨勢トシテハ或ハ郵便貯金或ハ信用組合ナドニ比ベテ鈍イノデアリマス、是ハ只今ノ國民大衆ノ熱心ナ貯蓄ト云フコトガ一ツノ原因デアリマスガ、一方デハ先年ノ増税ノ際ニ伴フ措置トシテ、郵便貯金ノ利子ノ引下ヲ實行致シマスルシ、又貯蓄銀行ノ銀行預金ガ五千圓以下ガ無利子デアアル、普通銀行ノモノハ利子ガアル、ノミナラズソレガ増税

デ利子ガ高クナル、其ノ差モ大キイ、詰リ金融機關ノ側カラ言ヒマスト、普通銀行ガ歩ガ惡クナルヤウニ出來テ居ツタ、併シ大東亞戰爭ニ依ツテ飛躍的ノ貯蓄増強ノ爲ニハ、郵便貯金ノ利率ニ手ヲ著ケルノモ如何カト思ツテ考ヘタノデアリマスガ、今回ハ御承知ノ如ク郵便貯金ノ利率ノ改訂モ實行スル考ヘヲ決メマシテ、又小額貯蓄ニ付キマシテハ、貯蓄銀行ト普通銀行トノ間ノ差異モ餘程取レタノデアリマス、是等ノ關係モアリマスノデ、資金ノ増加趨勢ノ鈍イ原因ハ、今度ノヤウナ措置ヲ執ツテ參リマスト、果シテ他ニアルカ、ドノ邊ニアルカガ分ルト思ヒマス、相當程度除去サレテ居ル、ソレカラ日銀ノ公債擔保ノ貸出日歩ハ今ノ御話ノヤウニナツテ居リマスガ、算盤ヲ探ツテ見ルト、必ズシモ貯金ヲ取ラヌデモ、公債ヲ澤山取ツテ居レバ、日銀ヘ行クト簡單ニ間ニ合フ、是モ考ヘラレル所デアリマス、是ガ通貨膨脹ノ原因デアアル、金ガ欲シイ時ニ所謂銀行券ノ創造ニ依ツテ資金ヲ作ルト云フコトハ最モ戒心シナケレバナラヌノデアリマス、利子ノ計算ニ依リマスト其ノ邊モ一應考ヘラレルノデアリマスガ、只今マデノ實情ハ、ドツチカト申シマスルト、普通銀行ガ獨善的ニ稼業ヲシテ居ル、考ヘ方ニ依ルト非常ナ堅實ナ經營ヲシテ居ルト思ヒマスガ、中々日銀ニ公債擔保デ金ヲ借りニ行クノニオイソレト行カナイ、寧ロ大銀行ノ矜持トシテ見マスト、日銀ノオ世話ニナラナイ、是等ガ場合ニ依ルト金融ノ疏通ヲ阻碍スル場合モアルトマデ考ヘラレマスガ、現在ノ實情ハ其ノ點カラ來ル弊害ハ未ダ顯著デナイヤウデアリマス、殊ニ日銀モ金融統制ニ付キマシテハ其ノ銀行ノ資金

率モ能ク見テヤツテ居リマスシ、利子ノ算盤勘定ヲ主トシテ動イテ居リマセヌカラ、今日ハ未ダ其ノ點ニ付キマシテ惡弊ハ認メテ居リマセヌ、根本ノ資金ノ放資ト資金ノ供給ニ最モ改善スベク努力ヲ拂フ、是デ宜シイと思ツテ居リマス、又一面カラ申シマシテ、日銀ノ割引歩合ハ金利水準ノ重要ナモノデアリマスカラ、是ハ容易ニ變ヘナイ方ガ宜シイと思ツテ居ルデアリマス

○小笠原(三)委員 次ニ貯蓄ノ増加問題ニ付テ御伺ヒヲシテ見タイと思ヒマス、大藏大臣ハ度々私共ニ話セラレテ居ル通り、貯蓄ハ單ニ金ノ問題デハナイ、物資、物價、配給等、斯ウツタ各般ノ生産經濟政策運營ト全ク不可分ノ關係ニアルト云フコトヲ言ハレテ居リマス、全ク其ノ通りデアルト思フノデアリマス、然ルニ現下ノ貯蓄政策ヲ見マスルト、一方ニ貯蓄ガ戰時經濟政策ノ運營ニハ非常ニ大キナ役割ヲ持ツテ居ルニ拘ラズ、外ノ經濟政策ノ方カラハ貯蓄ニ對スル注意ガドウモ十分ニ拂ハレテ居ナイ、斯様ニ私共老ヘルノデアリマス、ドウカスルト往々ニシテ貯蓄政策ト全ク遊離シテ居ルノデハナイカト云フヤウナ政策スラ見受ケラレルノデアリマス、私ハ政府ノ貯蓄政策ハ戰時政策ノ一環トシテ生産、配給、物價等斯ウツタ總テノ政策トノ綜合調整ニ十分ナル注意ヲ拂ハナケレバナラヌ問題デアルト考ヘマス、又サウデゴザイマセスト、到底今後圓滑ニ貯蓄政策ヲ進メテ行クコトハ困難ナイカト考ヘルノデアリマス、例ヘバ如何ニ大藏省ガ貯金政策ニ熱意ヲ持チ、大藏ニナラレタシテモ、物價政策ノ方面デ、物ハ段々上ルノダナト云フ感ジガスルヤウナ手ヲ打タレタナラバ、謂ハバ貯蓄ノ面

ニ對スル注意ヲ怠ツタナラバ、國民ハ貯蓄ニ對シテ熱意ヲ失ツテ、其ノ結果ハ知ルベキノミト思フノデアリマス、此ノ點ニ付テ大藏大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイと思ヒマス

○賀屋國務大臣 總テ各種ノ經濟現象、又是ガ國家目的ニ副ヒマスルヤウニ政策ノ手ヲ打ツテ參リマス場合、ソレガ相互關聯ヲ致シマシテ、所謂綜合性ノ重要ナコトハ申スマデモアリマセヌガ、殊ニ戰時ノ如ク各種ノ政策ガ高度ニ最モ緊張シテ參リマス場合ニハ、其ノ相互ノ連絡調和、綜合性ノ重要サハ一層顯著ニ相成ル譯デアリマスルガ、御話ノ如ク貯蓄ト他ノ政策モ皆關聯ヲ致シマスシ、特ニ一億國民ノ懷ロニ、今年デ言ヘバ六割モ貯蓄ニ向ケナケレバナラヌト云フ時ニハ、非常ニ深い關聯ヲ持ツテ來ルコトハ御説ノ通りデアリマス、物價ニ致シマシテモ、今ノ物價政策カラ行キマシテ、國民ガ貯蓄セズシテ、此ノ戰時ノ大ナル資金ノ撒布ヲ消費生活ノ購買部面ニ向ケマシタナラバ物價政策ハ破綻セザルヲ得ナイ、貯蓄スルコト自身ガ購買力ヲ減殺シマシテ、ウント貯蓄スレバ同時ニ闇ガナクナル、少クトモ減ル譯デアリマス、又同時ニ闇ヲヤラヌデモ濟ムヤウナ物價、配給政策ガアリマスレバ貯蓄モ大イニ出來ル、是ハ皆相互關聯デアアルノデアリマス、各種ノ物價政策其ノ他ニ付キマシテモ此ノ關聯ハ各方面十分留意シテ參リマシテ、相互ガ相俟ツテ效果ヲ擧ゲマスヤウニ致シテ居ルノデアリマシガ、今後モ一層其ノ點ニハ留意シテ參リタイト考ヘマス

ナツテ居リマス、是ハ私ガ申上ゲルマデモナク段々消費財ノ蓄積モ減ツテ參リマス、又其ノ生産ハ來年カラ一層壓縮サレル、斯ウ云フ反面、而モ國家資金計畫ノ膨脹ニ連レマシテ所謂金ト物トノ不適合ガ段々過重シテ參リマス、サウスルト貯蓄ノ増加ト云フモノハ單ニ八十億ト云フ金ノ量的吸收増加ニ止マラズ、物資ト物價トノ關係ニ於テ非常ニ吸收ノ困難ヲ増シテ來ルコトハ當然デアルト思ヒマス、ソコデドウシテモ今マデノ手ヲ色々強化スルコトモ必要デアリマスケレドモ、單ニソレダケデハ最早十分デナイノデハナイカ、即チ何等カ是ニ新構想ノ貯蓄ガ生レテ來ナケレバイカヌノデハナイカト考ヘルノデアリマスガ、何カ貯蓄ニ對スル新構想ヲ大藏大臣カラ伺フコトガ出來レバ洵ニ結構デアリマス

○賀屋國務大臣 御答ヘヲ申上ゲマスガ、甚ダ言葉ガ適當デナイカト思ヒマスガ、實ハ所謂新構想ト云フ、詰リ此ノ手ヲ使ヘバ必ズ宜イト云フモノハ私ハナイト思フノデアリマス、是ハ昭和十三年カラノ經驗ヲ顧ミマシテモサウデアリマス、皆ソレレ、或ル程度ノ效力ガアルノデアリマスルガ、併シ全體ハ何ト云フテモ、此ノ所得ヲ貯蓄ニ向ケナケレバナラヌト云フ根本ノ認識、此ノ認識ガアリマシテモ、今デハ金ノアル人多ク、使ツテモ明日困ル譯デモナイ、相當貯蓄ガ出來テ居ル人モアル、働カナクテモ食ヘナイ譯デハナイ人多クアルノデアリマス、何トシテモ是ハ國民ノ根本ノ認識、負ケテハナラヌ、勝タナケレバナラナイト云フ此ノ戰爭認識ヨリ外ニナイノデス、是ガアリマセヌデ新手法ヤリマス、新ラシイ面白イ貯蓄ノ手ヲ向ケマスレバゾニ集マ

ル、外ヘ行ク管ガアツタモノガソコヘ集マルモノガ多ク、純粹ニソコヘ行クモノモアリマスガ、サウ云フ面ガ多ク、何シロ是ガ十億トカ五億トカヤナルナラバ新手法編ンデ安心スルト云フコトニモナリマスガ、六百億圓ガ懷ロニ入ル内三百五十億、六割ヲ集メヨウト云フノデアリマスカラ、是ハ何トシテモ平凡ナ途ヲ熱意デ押シテ行ク、是ハ國民ガ其ノ氣ニツテ貫ナフ外ニ何トシテモナイノデアリマス、唯著シイ一點ハ斯ウ云フ點デアルト思ヒマス、昨年ヨリ百億ナラ百億増ス、昨年ハ一昨年ヨリ五十億増シタト致シマシテ、ソレガ國民各個ニ同ジ割合ニハ參リマセヌ、所ガ何處ニドレダケ行クカト云フコトハ中々分リニクイノデ、ツイ町内會や部落會ナドデモ均等ニ各戸ニ割當ヲ増加シテ行ク傾向ガアリマス、所得ノ増加シナイ方面ニ於キマシテハ、税ハ上ル、貯蓄ノ割當ハ殖エル、年々上ツテ來テドウナルダラウカ、連モ出來ナイト云フ感ジガ起ル、事實困難ヲ相當感ゼラレル點ガアルノモ實際デアリマス、此ノ方面モヤツテ貫ハナケレバナリマセヌ、併シナガラ國民ノ負擔能力ニ差ガ出來テ居ルノデアリマスカラ、是ハ税モ同ジデアリマスガ、サウ云フ能力ノ變動ニ應ジテ何レモ重加シマスガ、其ノ程度ヲ何處ニ餘計持ツテ行クカト云フコトニ非常ニ力ヲ盡サナケレバナラヌ、此ノ點ニ付キマシテハ課税ノ方面モ同様デアリマスガ、特ニ力ヲ盡シテ參リタイ、其ノ他税法ノ上ナドデ色々工夫ハ致シテ居リマスガ、是ハ謂ハバ皆必要デアリマスケレドモ、全體ノ上ニ於テハ皆其ノ補助手段ニ過ギナイノデアリマス

○小笠原(三)委員 平凡ナ途ヲ力強ク進



メテ行ク、是ハ洵ニ其ノ通りデアルト思ヒ  
マスケレドモ、率直ニ申上ゲマスレバ、今  
日國民ガ非常ニ貯蓄スルノニ――言葉ハ  
少シ惡イカモ知レマセヌガ、大體消極的ナ、  
受動的ナ心持貯蓄ヲシテ居ルノデアリ  
マスガ、何トカ之ヲ、少シ國民ニ希望ト喜  
ビヲ與ヘテ、サウシテ積極的ニ貯蓄サセル  
ト云フヤウナ工夫ハナイモノデアラウカ、

曩ニ大藏大臣ガ納稅貯蓄ノ制度ヲ採ラレタ  
ノハ、是ハ洵ニ結構ナコトト思ヒマスガ、  
或ハ私共考ヘテ何時モ思フノハ、金ヲ貯メ  
テ置イテモ、同ジ物ヲ買フノニウント金ガ  
要ルヤウニナツタ、是デハ落著カヌデヤナ  
イカト云フヤウナ考ヘテ持ツ者ガ多イカラ、  
ソコデ物トノ抱キ合セテ考ヘル、例ヘバ都  
會デ見レバ、是レノ貯蓄ヲシタ者ハ住  
宅營團デ住宅ヲ一ツ優先的ニ割當ヲシテヤ  
ルトカ、或ハ外ノ必要物資ヲ少シ考ヘテサ  
ウ云フモノヲ割振ツテモ宜イト思ヒマス、

又農村デアリマスレバ、小サイモノハ自轉  
車ヲ一ツ割當テ、ヤルトカ、或ハ耕作地ヲ  
優先的ニ買ヘルト云フヤウナコトニシテヤ  
ルトカ、或ハ、廣イ意味デ言ヘバ、國策會  
社ガ出來ル時ニ、其ノ國策會社ノ株ヲ持タ  
セルトカ、或ハ今後大東亞共榮圈各地域ニ  
ハ各種ノ銀行會社ガ出來テ來ルコトト思ヒ  
マスガ、サウ云フモノガ出來タ場合ニハ株  
式ノ優先購入權ヲ與ヘテヤルト云フコトモ  
一ツ考ヘテ見タラドウデアラウカ、要スル  
ニ今直グ物ヲ優先的ニ與ヘルヤウナ途ヲ付  
ケルコトデハナイ、先デ宜イノデアリマス  
ガ、戰後ニ入手シ得ルヤウナ方法デ宜イト  
思ヒマスカラ、何カ今申上ゲタヤウナコト  
デ物トノ抱合セニ付テ今カラ御考ヘニナツ  
テ置ク方ガ、國民ニ希望ト喜ビト持タセ

テ貯蓄サセルコトニナルデハナイカト云フ  
風ニモ考ヘマスノデ、此ノ點ニ付テ一寸大  
藏大臣ニ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○賀屋國務大臣 御尤モナ御意見デアリマ  
スルガ、現在結付キマスコトハ、是ハ自轉  
車ニシマシテモ家ニシマシテモ、總テ最小  
限度ノ必要ニ應ズルヤウニナツテ居ルノデ  
アリマシテ、今結付ケルコトハ相當困難デ  
アリマス、將來ノ問題デアリマスノデ、是  
ハ十分アナタニモ御考ヘテ願ヒタイト思ヒ  
マス、御話ノヤウニ色々ナ有望ナ會社モ出  
來ルト思ヒマス、ソレデハドノ貯蓄ヲ通シ  
テソレニ結付ケルカト云フコトニナリマス  
ト、是ハ戰後ノ形態ニ依ツテ色々ソコハ違  
ツテ來マスカラ、結付キ方ガ中々一ツノ問  
題デアル、結付ケタモノト結付ケナイモノ  
ト出來マス、又ソコニ色々ノ問題ガ生ズ  
ル、只今ノ所デハ公債ハ千億ニナラウガ、  
二千億ニナラウガ、勝ツマデハヤリ切ル、  
是ハヤハリ私ハ今ノ所ハ單純ニ一色デ行ク、  
貯蓄シナケレバ敗ケルノダ、敗ケテ宜イノ  
カ、貯蓄シテ勝ツ、モウコレ一本槍デヤリ  
拔クコトガ私ハ非常ニ大切ダト思フ、モウ  
戰爭ハ勝ツ、ソレハ色々ノコトデ何年續ク  
カ分リマセヌガ、山ハモウ見エテ來タト云  
フ後ニ私ハ色々樂ミガアルコト考ヘル、私  
ハ其ノ例ヲ以テマシテモ此ノ貯蓄運動デ、  
日本全國ノ家庭ヲ健全ニ出來ルト思フ、是  
ハ樂ミガ少シ理窟ボクナリマスガ、凡ユル  
家庭ハ相當ノ恒產ヲ持チマシテ、詰リ負債  
ノナイ恒產ノアル全國國民ニスルコトガ出來  
ル、現ニ農村負債ノ問題ノ如キハ何時ノ間  
ニカ解消シタト云フ譯デモ宜シイト思ヒマス、  
勿論、負債ガナイト云フ譯デハナイ、是等  
ハ皆知ラズ識ラズ出來上ツテ居ルコトデア

リマシテ、結局、身體、精神ニ於テ健全デ、  
家庭經濟ニ於テ健全ナ立派ナ國民ガ貯蓄運  
動ト共ニ出來上リマシテ、私ハ非常ニ地味  
デハアリマスガ、自然ニ結果カラ見テ、前  
途ノ希望ヲ見ルヤウニナツテ居ル方面モ隨  
分アルト思ヒマス、サウシテ愈々決戰ノ基礎  
ガ鞏固ニナリマシタ後ニ於キマシテハ、只  
今ノ御考案ノヤウナ樂シミノ上ニ色ノ著イ  
タ樂シミガ出ル智慧モ、隨分其ノ時ニハ出  
テ來ルカト思フノデアリマス

○小笠原(三)委員 ソレデハ私ハ金融機關  
ノコトニ付テ色々御尋ネシタイノデアリマ  
スガ、唯一ツダケ御尋ネシテ私ノ質疑ヲ終  
了スルコトニ致シマス、金融機關ノ分野ト  
其ノ勢力ガ可ナリ急速ニ變ツテ居リマスコ  
トハ、大藏大臣御承知ノ通りデアリマス、  
例ヘテ申シマスレバ、金融機關別ニ見マシ  
テモ、先程一寸御話モ出マシタ普通銀行ガ、  
ホンノ數年前マデハ預金五〇%以上持ツテ  
居ツタモノガ、今日デハモウ四九%ガ一寸難  
カシクナツテ居ルト云フヤウナ狀況等カラ  
見テモサウデアルト思フノデアリマスガ、  
是等ノ金融機關相互間ノ分野ト、其ノ調整  
ニ付キマシテハ是ハ私ハ今少シク御尋ネシ  
タイノデアリマスガ、今申上ゲタ通りデア  
リマスカラ、是ハ差控ヘマスガ、唯茲デ一  
ツ御伺ヒ申上ゲタイノハ、今回軍需會社法  
ノ實施ニ伴ヒマシテ、軍需會社ノ生産設備  
ノ擴張新設其ノ他ノ所要資金ヲ迅速ニ供給  
スルコト云フコトデ、指定銀行制度ヲ御採リ  
ニナルコトガ大臣カラ御話ガ出テ居ルノデ  
ゴザイマス、是ハ洵ニ私モ適切ナ必要ナ措  
置デアルト思フノデアリマスガ、同時ニ  
此ノ指定銀行ト指定ヲ受ケナイ非指定銀行  
トノ營業分野カラ見マスルト、營業分野ニ

一大變革ヲ齎ス結果ヲ來スデアラウト思フ  
ノデアリマス、隨ヒマシテ從來ノ共同融資  
ノ方法トカ、或ハ又例ノ產業金融ヲヤツテ  
來マシタ日本興業銀行ト云ツタヤウナ特殊  
金融機關トノ關係ハドウナルノカ、又必要  
ナ場合ハ其ノ調整ヲドウ云フヤウニセラレ  
ヨウトスルノカ、此ノ點ニ付テ御所見ヲ承  
ツテ私ノ質疑ハ終リマス

○賀屋國務大臣 ソレハ小笠原君既ニ御承  
知ノ通りデアリマシテ、只今マデノヤウニ、  
一ツノ軍需會社ガ多數ノ銀行ト交渉ヲ持  
ツ、一ツノ銀行デ間ニ合フ場合モゴザイマ  
スガ、多數ノ銀行ト交渉ヲ持ツテ居レバ、  
先ノコトモアルカラ、一々ノ金ヲ借りル場合  
ニモ、手形ヲ書ク場合ニモ、各銀行ニ割振  
ツテ行クト云フヤウナコトデ中々面倒デゴ  
ザイマシテ、其ノ弊ヲナクスルコトニモ相  
當ノ努力ヲ拂ハネバナリマセヌ、今回ノヤ  
ウニ致シマス、或ル會社ガ、或ル一ツノ  
銀行ト云フコトニナリマスガ、中々軍需會  
社ノ數モ多イノデアリマスカラ、大概ノ銀  
行ガ受持ガ出來ルト思ヒマス、併シ是ハ唯  
各銀行ニ公平ト云フ觀念バカリデハ參リマ  
セヌノデ、其ノ軍需會社ト銀行ガ從來カラ  
相互ニ能ク連絡ヲ執リ、事情ヲ知ツテ居ル  
モノデアツテコソ話ガ簡單ニ早ク行クノデ  
アリマスカラ、ソコニ行キマス銀行ノ資  
力、預金ノ割合、指定會社トノ割合ガスツ  
カリト取レル譯ニ行カズ、或ルモノハ比較  
的多クノ指定會社ヲ持チ、或ルモノハ少數  
ノ指定會社ヲ持ツト云フコトニナリマシテ、  
大變營業上工合ガ惡イヤウデアリマスガ、  
何シロ其ノ指定銀行ダケデ、其ノ會社ニ要  
ル金ヲ皆供給スルト云フコトハ逆モ出來マ

セヌ、公債ノ消化ヤ何カモ致サナケレバナリマセヌ、ソコデ從來ノ共同融資銀行ト同じク、會社ト交渉ノアル銀行ニナリマスレバ、其ノ背後ニ共同融資團ヲ持チマシテ、其ノ金ヲ「プール」シテハ貸スコトニナリマスカラ、而モソレハ指定銀行ガ間ニ入ツテ利鞘ヲ取ツテヤル、直接自分ガ指定銀行ニナラナクテモ融資團ニ入ツテ指定銀行ヲ通ジテ借出ス場合ニモ利鞘ハ損ハスルコトモナクナル譯デアリマスカラ、投資ニハ少シモ困ラス、不利益モナイ、斯ウ云フ關係デアリマスカラ、其ノ點ハ支障ナカラウト思ヒマス、興業銀行ハ從來トモ多數ノ軍需會社ト關係ガ深イノデアリマスカラ、自然受持ノ軍需會社ノ最モ取引ノ多イ一ツノ銀行ニナル、ソレカラ普通銀行トシテハ事業ノ將來性其ノ他ニ付テ特別ノ國庫補助デモ致シマセヌケレバ金融ニ困ルヤウナモノハ、初メカラ戰時金融庫ヲ指定金融機關ニスル場合モアリマシ、戰時金融庫ガ手形債務ヲ保證スル場合モアリマシガ、普通銀行デナク、ソコマデ行カヌデ興業銀行ノ從來ノ事實上ノ機能カラ、興業銀行ガ或ハ強制融資等ニ活動スル場面モ相當多イト存ジマス、大體ソナコトニナツテ居ルト存ジマス

○島田委員長 小山倉之助君ヨリ水産關係ノ事項ニ付テ、農商大臣ニ對シ簡單ニ此ノ際質疑ヲ致シタイトノコトデアリマス、小山君ハ既ニ通告ニ依ツテノ發言ヲ終ラレマシタ次第デアリマスカラシテ、成ベク簡單ニ項目ヲ述ベテ戴キタイト思ヒマス

○小山(倉)委員 御許シテ得マシテ簡單ニ御質問申上ゲマス、就テハ九項目アリマシガ、九項目ヲ讀上ゲマスガ、其ノ各項目ニ

付テノ簡單ナ説明ヲ御許シテ願ヒタイ、此ノ九項目ニ對シマシテハ農商大臣ヨリ一括シテ、簡單ニ御答辯ヲ願ヘレバ結構デアリマス

第一ニ御質問申上ゲタイノハ、政府ハ水産物ノ飛躍的増産ニ對シテ如何ナル對策ヲ持ツテ居ルカト云フコトデアリマス、首相竝ニ農商相ハ食糧事情ニ不安ナシト言明ヲサレマシタガ、水産物ノ問題ニ付キマシテモ不安ナシト御認メニナルカドウカ、實ハ水産物ノ増産目標ハ九億萬貫トナツテ居リマスガ、其ノ九億萬貫ニ達シナイノミカ、今年度ニ於キマシテハ全水産物ノ六割ヲ占メルト云フ鱈サヘモ僅カニ二割五分ニ止マツテ居ルノデアリマス、斯様ナ狀態デ減産ニ次グニ減産ヲ以テシテ居リマスカラ、茲デ國民食糧ノ蛋白質ヲ増給スルト云フ意味カラ、飛躍的ノ増産ヲナス必要ハナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマシテ、此ノ質問ヲ第一點ト致シマス

第二點トシテ之ヲ計畫致シマスルニハ第一ニ漁船ノ建造ニ相當ノ御考慮ヲ願ハナケレバナリマセヌ、然ルニ昭和十七年度ニ於テハ其ノ計畫ノ半バニ達シ、十八年度ノ漁船ノ建造ニ付テハ何等著手スル所ハアリマセヌ、又此ノ漁獲ノ増獲ノ爲ニ必要ナ小舟ノ如キモ、木造船ノ殘材ヲ利用致シマスレバ相當之ヲ強化スルコトガ出來ルニ拘ラズ、木造船ニ於ケル殘材ノ如キハ殆ド焚物ニサレテ居ル、斯ウ云フコトヲ御考慮ニ入レマシテ、漁船ノ計畫造船ニ更ニ意ヲ用ヒテ戴キタイト云フノデアリマス

第三點ハ資材ノ供給ニ不足ガナイカト云フ點デアリマスルガ、漁獲ノ方法ノ此ノ十種目ヲ見マシテモ、計畫漁獲ヲ致シマスノ

ニハ約十八萬「トン」ノ重油ヲ要スルノデアリマスルガ、今日ノ配給ハ僅カニ五萬「トン」ニ過ギナイノデアリマス、即チ燃料ニ於キマシテハ實ニ八割ノ減デアリマス、綿絲、網、「マニラロープ」ノ如キハ實ニ九割減ニ達シテ居リマス、薬工品ノ如キハ五割減ニ達シテ居リマス、故ニ最小限度ノ漁獲ヲ確保致シマスル爲ニ、少クトモ最小限度ノ材料資材ヲ供給スル必要アリト認メマスルガ、政府ハ此ノ點ニ付キマシテ如何ナル對策ヲ有セラレルカト云フノデアリマス

第四點ニ於キマシテハ漁獲勞務對策デアリマスルガ、今日計畫漁獲ヲ致シマスニ付テモ、大體五十九萬人ノ勞働者ガ必要ナリトセラレテ居リマス、然ルニ應召ハ已ムヲ得ナイト致シマシテモ、船舶ト共ニ徵用セラル、者ガアリ、或ハ個人トシテ徵用セラル、者ガアツタリ、或ハ移動率ガ激シイ爲ニ、今日漁獲ニ從事シテ居ル所ノ勞務者ハ五割減トナツテ居ル現狀デアリマス、斯クノ如クシテ果シテ漁獲ヲ確保シテ國民ニ蛋白質ヲ供給スルコトガ出來ルヤ否ヤ、斯様ナコトヲ心配致シマスルノデ、此ノ第四ノ質問ヲ申上ゲル次第デゴザイマス

第五ノ質問ハ、政府ハ更ニ漁業統制ノ強化ニ付テ御考慮ヲ願ヒタイノデアリマスルガ、幸ヒニ水産系統團體ノ擴充強化ニ依リマシテ、各漁業家ヲ徹底的ニ指導啓發スルコトカラ始メテ、漁業統制ノ強力ナル遂行ト漁業ノ生産計畫化ニ依ツテ漁業ノ増産施設ヲ確立シテ戴キタイト云フ點デアリマス、強力ト申シマシテモ、實情ニ即シ、漁業家ノ潑刺タル企業心ノ昂揚ヲ阻止シナイ適切ナ統制方法ヲ講ジテ戴キタイト云フノガ第五點デアリマス

第六點ハ漁業増産指導施設ノ擴充強化ニ關スル施策如何ト云フコトデアリマス 全國漁業家ノ烈々タル報國精神ノ昂揚ニ俟ツコトハ増産ヲ強化スル所以デアリマスカラ、政府ハ幸ヒニシテ水産業團體ノ新發足ヲ見タル此ノ機會ヲ以テ系統團體ヲ擴充強化シ、共ニ水産報國ノ實ヲ舉ゲシムルヤウ適當ナル指導施設ヲ圖リマス同時ニ、日本ハ海洋ヲ以テ國マレテ居ルノデアリマスカラ、海ヲ恐レズ、海ヲ愛シ、海ヲ支配スル此ノ氣魄ヲ涵養シ訓練ヲ施シ、大東亞否世界大海運國トシテ世界ニ對抗シ得ル、大海軍建設ノ基礎ヲナス所ノ青少年訓育ノ大規模ナル施設ヲ茲ニ完備スル必要アリト感ズルノデアリマスガ、政府ニ其ノ用意アリヤ否ヤト云フノデアリマス

第七點ニ於キマシテハ、漁業者共濟制度ヲ設定スルノ御意思アリヤ否ヤト云フ點デアリマス、漁業ハ農業ト違ヒマシテ危險ノ非常ニ多イモノデアリマス、漁業家ノ職域ハ第一線ニ劣ラナイ危險ナ海域デアリマス、敵潜水艦ノ爲ニ死傷セル漁業者モ相當多數ニ上ツテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、斯カル狀態ノ下ニ於キマシテ、後顧ノ憂ヒナク漁業家ヲ奮闘セシムル爲ニハ漁業家ヲ共濟シ、其ノ家族ヲ援護スル適當ナル共濟施設ヲ講ズルノ必要アリト認メマスルガ、政府ノ御所見ヲ伺ヒタイトデアリマス

第八點ハ水産物ノ輸送對策如何ト云フ點デアリマス、鱈、鯨ノ如キ短日月ノ間ニ多量ノ漁獲アル魚類ニアリマシテハ、從來ハ大部分ガ肥料ニ供セラレタ傾向ガアリマスルガ、現況ニ於キマシテハ食糧ニ轉化セシムベキモノデアルト考ヘルノデアリマス、是ガ爲ニハ水ト鹽ヲ供給スル適切ナル施設

ヲナシマスルト同時ニ、鮮度ヲ保持シテ大都  
會ニ輸送スル計畫ヲ樹立シナケレバナラヌ  
ト思フノデアリマス、昨年度ニ於キマシテ  
ハ北海道及ビ樺太ニ於テ練ノ大漁ガアリマ  
シタガ、之ヲ食糧化スルコトハ出來ナカッ  
タ、偶、内地ニ搬入致シマシタ八百萬貫モ著  
シク其ノ鮮度ハ落チタノデアリマス、政府  
ハ一定數量ノ燃料或ハ用鹽ヲ漁獲地或ハ運  
搬基地ニ豫定ノ數量ヲ確保スルト共ニ、輸  
送計畫ヲ適切ニ之ニ對應スルヤウニ樹立ス  
ル必要アリト認メマスルガ、政府ニ其ノ用  
意アリヤ否ヤト云フ點デアリマス

第九點ハ、配給機構ノ刷新並ニ實情ニ即  
應シタ物價對策ヲ茲ニ施ス必要アリト認ム  
ルノデアリマス、水産ノ大宗デアリ、全漁  
獲ノ半分以上ヲ占メテ居リマス所ノ鱈製品  
統制ニ遺憾ノ點ガアリマス、故ニ鮮魚ノ配  
給統制ガ不十分ナル點ガアリマスカラ、生  
産地確保ガ――而モ其ノ鱈ハ大體ハ生産地  
ニ於テ確保セラレ、消費地ニ對シテ配給ガ  
極メテ少イト云フヤウナ現狀ヲ來タシテ居  
ルノデアリマスカラ、是ガ爲ニハ全國ニ可  
能的ニ普遍配給スルヤウナ配給機構ヲ茲ニ  
定メテ貫ヒタイ、即チ縣外ノ搬出ニ於キマ  
シテモ適切ナル調整ヲナスト共ニ、縣内外  
ヲ問ハズ鱈製品配給統制ノ運用ニ付テ適切  
ナル調整ヲ行ツテ戴キタイト云フノデアリ  
マス、併シ此ノ配給面ニ於キマシテ不圓滑  
ヲ來タシテ居ルノハ價格ノ設定ニ付テ適切  
ナラザル點モアリマスカラ、此ノ點ニ付テ  
十分調整スルコトニ御留意願ヒタイト云フ  
ノデアリマシテ、此ノ點ニ對スル政府ノ御  
所見如何デアリマスカ、此ノ九點ヲ御質問  
申上ゲタイノデアリマス、大體總括シテモ  
宜シイノデアリマス、或ハ分科會ノ席上ニ

於テ詳シク御答辯ニナリマシテモ結構デア  
リマスカラ、是等ノ點ニ付テ政府ノ御所見  
ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○山崎國務大臣 總括致シマシテ簡單ニ御  
答ヘヲ申上ゲマス、尙ホ足ラザル所ハ分科  
會等ニ於テ申上ゲルコトニ致シマス、水産  
ガ國民營養保健ノ上ニ極メテ重要ナ性質ヲ  
持ツテ居リマスコトハ全ク御説ノ通りデア  
リマス、事變以來避ケ難イコトトハ申シナ  
ガラ、只今御質問ノ中ニアリマシタヤウナ  
諸般ノ困難ナ事情ガ水産業ニ振掛ツテ來テ  
居ルコトモ事實デアリマス、昨年來農林省  
ト致シマシテ、何分ニモ戰時下諸種ノ惡條  
件ヲ取除クト云フコトハ中々是ハ難事デア  
リマシテ、取敢ズ内水面ノ利用、淺海ノ養  
殖ノ増進ト云フヤウナ所ニ主力ヲ置キマシ  
テ、昨年夏臨時議會會デ追加豫算トシテ皆サ  
シノ御協賛ヲ仰イダノデアリマス、來年度  
ノ豫算ニ於キマシテ大體同様ノ考ヘ方ヲ以  
テ相當ノ施設ヲ計上致シテアルヤウナ次第  
デアリマス、只今御舉ゲニナリマシタ各事  
項ノ中デ一、二尙ホ研究ヲ要スルト感ゼラ  
レル點モアルヤウデアリマスケレドモ、大體  
御舉ゲニナリマシタ事柄ハ總テ大切ナコト  
デアリマス、出來得ル限り私共トシテモ左  
様ナコトノ實施ノ出來マヌヤウニ十分ノ力  
ヲ盡シテ參リタイト存ズルノデアリマス、  
御質問ノ一貫シタ御精神、御趣旨ノアル所  
ニハ深く敬意ヲ表シマシテ傾聴致シタ次第  
デアリマス

○島田委員長 是ニテ總會ニ於ケル質疑ハ  
大體終了致シマシタ、明日ヨリハ只今審査  
中ノ昭和十九年度本豫算案及ビ追加豫算案  
ノ各案ヲ分科會ノ審査ニ移シマス、各分科  
會ハ何レモ明日ハ午前十時ヨリ開會致シマ

ス、尙ホ緊要ナル事項ニ付キマシテ質疑ヲ  
ナスノ必要ガアリマシタ時ハ、最終ノ總會  
ニ於テ討論前ニ之ヲナスコトト致シマスカ  
ラ、其ノ點御了承ヲ願ヒマス、次會ノ開會  
日ハ公報ヲ以テ御知ラセ致シマス、尙ホ各  
分科會ハ明日開會前各懇談會ヲ開キタイト  
ノコトデアリマスカラ、委員諸君ハ午前九  
時四十分マデニ各所屬分科ニ御集リヲ願ヒ  
マス、本會ハ是ニテ散會致シマス  
午後八時二十三分散會

(參照)

分科ノ區分、主査及分科所屬員左ノ如シ  
第一分科(外務省、司法省及大東亞省  
所管)

主査 箸本 太吉君

一宮房治郎君 江口 繁君  
岸田 正記君 佐藤洋之助君  
四王天延孝君 鶴見 祐輔君  
中谷 武世君 信正 義雄君  
原口 純允君 花村 四郎君

兼務

窪井 義道君 小山邦太郎君  
木村 正義君 紅露 昭君  
松永 壽雄君 飯塚 茂君  
第二分科(内務省及厚生省所管)

主査 作田高太郎君

今井 新造君 今成留之助君  
大村 直君 加藤鏖五郎君  
川崎 克君 勝田 永吉君  
河上丈太郎君 窪井 義道君  
山中 義貞君 松本治一郎君  
兼務

江口 繁君 池本甚四郎君  
喜多壯一郎君 一宮房治郎君

松浦周太郎君 原口 純允君  
上田 孝吉君 羽田武嗣郎君  
野田 武夫君 紅露 昭君  
松村 光三君 中川 重春君  
片山 一男君 藤生安太郎君

第三分科(大藏省及文部省所管)

主査 池本甚四郎君  
小笠原三九郎君 太田 正孝君  
片山 一男君 紅露 昭君  
佐々井一男君 東郷 實君  
永野 護君 藤生安太郎君  
渡邊善十郎君

兼務

松村 光三君 佐藤洋之助君  
加藤 宗平君 飯塚 茂君  
信正 義雄君 植村 武一君  
池田 秀雄君 松永 壽雄君  
川崎 克君 鶴見 祐輔君  
羽田武嗣郎君 木村 正義君  
今井 新造君 作田高太郎君  
中村三之丞君

兼務

第四分科(陸軍省、海軍省及軍需省所  
管)

主査 中村三之丞君  
植松 練磨君 喜多壯一郎君  
木暮武太夫君 篠原 陸朗君  
田嶋榮次郎君 中井川 浩君  
野田 武夫君 松村 謙三君  
松村 光三君 牧野 良三君  
兼務

佐々井一男君 渡邊善十郎君  
中 助松君 三善 信房君  
松岡 俊三君 加藤鏖五郎君  
中谷 武世君 河上丈太郎君  
小山倉之助君 永野 護君

星野靖之助君 川崎 克君

第五分科(農商省所管)  
主査 藤本 拾助君

池田 秀雄君 植村 武一君

上田 孝吉君 加藤 宗平君

木村 正義君 小山邦太郎君

中 助松君 松岡 俊三君

三善 信房君

兼務

木暮武太夫君 小笠原三九郎君

牧野 良三君 篠原 陸朗君

小山倉之助君 松本治一郎君

永野 護君 池本甚四郎君

羽田武嗣郎君 松浦周太郎君

佐々井一晁君 東郷 實君

第六分科(運輸通信省所管)

主査 南條 徳男君

飯塚 茂君 小山倉之助君

川副 隆君 中川 重春君

羽田武嗣郎君 星野靖之助君

松浦周太郎君 松永 壽雄君

兼務

植松 練磨君 紅露 昭君

喜多壯一郎君 片山 一男君